

スピークス @

取扱説明書

SPL-N10 SPL-N11W

準備
知識

電
話

ファ
クス
／
コ
ピ
ー

ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ

留
守
電

便
利
に
使
う

ナ
ン
バ
ー
・
デ
ィ
ス
プ
レ
ィ

キ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
／
ダ
ィ
ヤ
ル
ィ
ン

L
モ
ー
ド

こ
ん
な
と
き
は

Lモード(インターネット)
でいろんな情報が見られるんだって!
⇒159ページ

Lモード(メール)
で電子メールが
送れるのか!
⇒166ページ

送ってくれた
待ち合わせの地図は
液晶ファクス
で確認できるわ
⇒85ページ

留守電
聞いたわ・・・
元気?
⇒104ページ

このメモを
ハンドスキャナ
でとってみよう
⇒90ページ

 ナンバー・ディスプレイ…142ページ

 キャッチホン/
ダイヤルイン ……………154ページ

 Lモード……………159ページ

注意 ●製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
●本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

安全にお使いいただくために—必ずお読みください—

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークス@（アットマーク）SPL-N10/N11W」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。



危険

- ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

- ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



(お願い)

- ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。



(ワンポイント)

- ・ この表示は、本機を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

絵表示の例



(高温注意)

- ・ △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
- ・ 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



(分解禁止)

- ・ ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ・ 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



(電源プラグをコンセントから抜け)

- ・ ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
- ・ 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。

- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

- 本機の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対おやめください。

- この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。

- この取扱説明書をお手元に置き、常に本機を最良の状態でご使用いただくための手引書としてご利用ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本製品のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのCompact NetFront®を搭載しています。

Copyright ©1998-2001 ACCESS CO.,LTD.

Compact NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

本製品の日本語かな変換機能はNECビューテクノロジー株式会社と使用契約を締結し、使用しているものです。

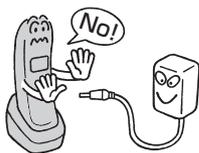
Copyright ©1991-2001 NEC Viewtechnology,Ltd.

⚠ 危険



禁止

充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。



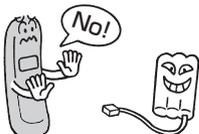
禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止

電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- 赤(プラス)・黒(マイナス)を針金などの金属類で接触しない。



分解禁止

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

⚠ 警告



電源プラグをコンセントから抜け

万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜け

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警告



電源プラグをコンセントから抜け

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。



禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



必ずアース線を接続せよ

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線が取り付けられているところは次の部分です。

- 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
 - 接地工事(第D種)が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口



禁止

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

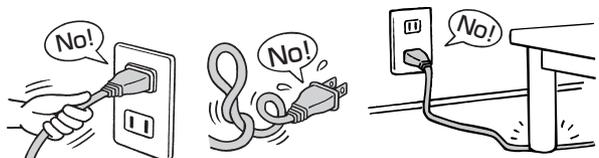


電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

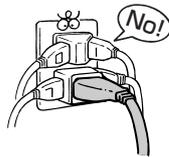


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

警告



テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。



電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

- 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- 使用を制限された場所では使用しないでください。
例：医療用電子機器など



禁止

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。



禁止

子機は、郵政省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなど、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。



分解禁止

充電器の内部には、高電圧がかかっているため、分解しないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

子機をねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに)強く押しついたりして、圧迫しないでください。本機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



電池パックから液漏れしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気から遠ざけてください。



電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

注意



禁止

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

インクフィルム交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



禁止

ハンズキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。



子機を壁掛け用に取り付ける場合は機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付け、設置してください。けがの原因となることがあります。



禁止

親機または子機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。



本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。



指をはさまれないよう注意

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を閉めるときは、指挟み、指のけがにご注意ください。



禁止

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

⚠ 注意



本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。



本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。



子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。



充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。



ハンズキャナをコードレスでご使用になる場合、ハンズキャナ用コードを強く引っばった状態でのプラグの抜き差しは危険な場合がありますのでご注意ください。



落としたり、強い衝撃を与えないでください。本機の故障の原因となります。



本機の上に重いものを載せたり、衝撃を与えないでください。本機の破損、故障の原因となります。



通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙が詰まって、故障の原因となります。



青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。



記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。



インクフィルム、インクフィルムカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。



分解禁止

インクフィルムカートリッジは、指定の取り外し箇所以外を分解しないでください。



インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。



ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



極端に寒いところで使用しないでください。



車のダッシュボードなど、直接日光の当たるところに放置しないでください。

⚠ 注意



風呂場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。



自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。



製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。



冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。



極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。



以下のようなところには置かないでください。

- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所



本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。

このような現象が本機の影響によると思われる場合は、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

- 本機をテレビ等から遠ざける
- 本機またはテレビ等の向きを変える

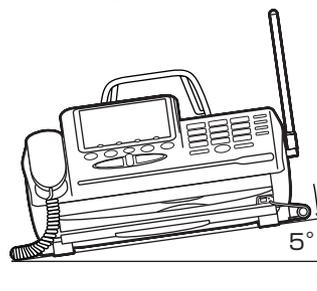


本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。

- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。



本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



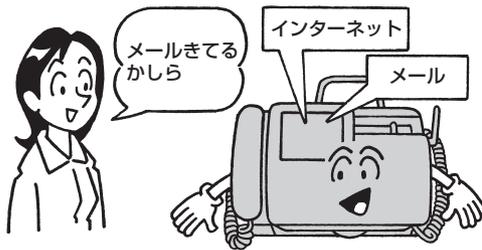
ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、郵政省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

SPL-N10/SPL-N11Wではこんなことができます

詳しくは本文を参照してください。

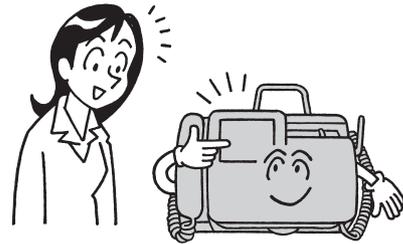
Lモード → (P.159)

メールのやりとりやインターネットの閲覧ができるLモードサービスをご利用いただけます。ご利用にはNTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要になります。



液晶ファクス → (P.85)

受信したファクスを大型液晶画面で見ることができるので、内容を確認してからプリントするかを決められます。



子機間通話 → (P.66)

子機間の内線通話ができます。SPL-N11Wは子機間（双方向）通話になります。SPL-N10は子機を増設した場合、簡易子機間通話（トランシーバー方式）になります。



コードレスhandsキャナ → (P.90)

本やノートをコピー／送信できるhandsキャナがコード付き、コードレスのどちらでも使えます。<2WAY>コピー／ファクス送信



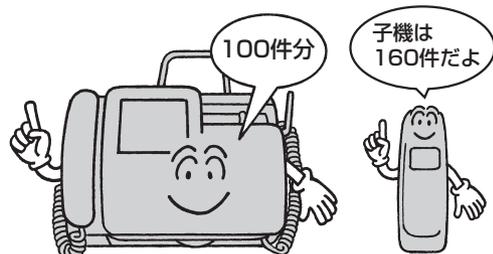
4和音着信メロディ → (P.129)

着信メロディが4和音になり、より表現豊かになりました。着信音10種類、着信メロディ5種類があらかじめ登録されていて、Lモードを利用すれば（有料）、更に曲を取り込めます。



らくらく電話帳 → (P.43、54)

親機で100件、子機で160件の電話帳登録ができます。親機では、1件に電話番号とメールアドレスを登録できます。



目次

索引 (P.239) もあわせてご利用ください。

安全にお使いいただくために	2
SPL-N10/SPL-N11Wでは こんなことができます	6

準備&基礎知識

はじめにご確認ください	11
各部の名称とはたらき	12
親機	12
子機	15
液晶ディスプレイ (画面)	16
本機の接続のしかた	17
記録紙について	17
作業の流れ	18
確認1 設置スペース	19
確認2 電話コンセント	19
親機を組み立てる	20
①インクフィルムをセットする	20
②受話器を取り付ける	23
③原稿セット台を取り付ける	24
④ハンドスキャナ用電池パックを取り付ける	24
⑤記録紙をセットする	26
⑥電源を接続する	27
⑦かんたん時刻セット	28
⑧組み立ての確認	28
子機の準備	29
子機を組み立てる	30
①電池パックの取り付け	30
②充電器の組み立て	31
③子機を充電する	32
充電器を壁にかけて使うとき	33
アンテナの調整	34
電話回線につなぐ	34
①電話回線接続コードの接続	34
②回線種別の設定	34
③電話ができることを確認する	35
契約しているサービスの内容	35
お買い求め時の状態について	35
操作を間違えたときは	35
文字の入力のしかた	36
親機で文字を入力する	36
子機で文字を入力する	38

電話

親機で電話をかける	40
受話器をとってかける	40
ワイワイトークでかける (ハンズフリー通話)	41
同じ相手にもう一度かける (リダイヤル)	42

らくらく電話帳でかける	43
電話帳を登録する	44
登録した電話帳を子機に転送する	47
親機で電話を受ける	49
親機で保留にする	50
子機で電話をかける	51
子機をとってかける	51
ワイワイトークでかける (ハンズフリー通話)	52
同じ相手にもう一度かける (リダイヤル)	53
らくらく電話帳でかける	54
電話帳を登録する	56
子機で電話を受ける	60
子機で保留にする	61
トーン信号に切り替える	62
親機と子機で話をする (内線通話)	63
親機から子機にかける	64
子機から親機にかける	65
子機から子機にかける	66
外線電話を他の電話機に転送する (外線転送)	68
親機から子機に転送する	68
子機から親機に転送する	69
子機から子機に転送する	70

ファクス/コピー

原稿について	72
送信/コピーの準備	74
写真や小さい文字の原稿のとき	74
色のついた原稿や薄い文字の原稿のとき	75
原稿セットのしかた	76
送信のしかた	77
ファクスを自動で送る (自動送信)	77
相手と話をしてから送る (手動送信)	79
複数の相手先へ送る (みんなに送信)	80
受信のしかた	82
自動で受ける	82
手動でファクスを受ける (手動受信)	83
ファクス情報サービスを利用する	84
メモリに受信したファクスをディスプレイに 表示する (液晶ファクス)	85
液晶ファクスを設定する	85
メモリに受信したファクスを表示する	85
表示しているページを印刷する	87
拡大/縮小する	87
回転する	88
メモリ代行受信	88

コピーのしかた	89
---------	----

ハンズキャナ

ハンズキャナを使う	90
ハンズキャナでの原稿の読み取りについて	90
ハンズキャナを外す、戻す	91
コードレスで使うとき	92
コードをつけたままで使う	93
コードをつけたままコピーする	93
コードをつけたままファクスを送る	94
コードレスで使う	96
コードレスで読み取る（メモリに記憶する）	96
メモリに記憶されている原稿を送る	97
メモリに記憶されている原稿を	
ディスプレイに表示する	98
メモリに記憶されている原稿を印刷する	99
メモリに記憶されている原稿を消す	100
ハンズキャナの設定	102
原稿を拡大／縮小する	102
読み取り時のメロディを流す／止める	103

留守電

留守番電話を使う	104
留守番電話の設定／解除	105
用件の再生	107
用件の消去	108
留守番電話の自作応答メッセージを録音する	109
外出先から留守番電話を操作する	
(外線リモート)	112
リモート操作の設定とパスワードの登録	112
外出先から留守を設定する	113
外出先から用件を聞く	113
用件が録音されたら外出先に通知する	
(用件転送)	114
用件転送先での受けかた	116
通話中の会話を録音する	
(通話録音)	117
通話録音する	117
通話中の相手に録音内容を聞かせる	118

便利に使う

ドアホン通話をする	119
ドアホン接続について	119
ドアホン接続の設定	120
ドアホンと通話する	120
ドアホンでモニタする	122
いろいろな設定	123
現在の設定内容（システムリスト）を	
プリントする	123

回線種別の自動／手動設定	123
自分の電話番号の登録	124
自分の名前や電話番号などを相手の	
記録紙にプリントさせる（発信元記録）	124
用件の有無を外出先から簡単に確かめる	
(トールセイバ)	126
時計を合わせる（時刻セット）	126
電話に出て相手がファクスだったとき簡単に	
受信する（ファクスかんたん受信）	127
いつも電話で受ける、またはファクスで	
受ける（着信モード）	127
着信ベル回数を変える	128
呼出ベル回数を変える	128
保留メロディを変える	129
ベルの音色／メロディを変える	129
電話をかけてきた相手にメッセージを流す	130
着信メロディを自分で作る	
(オリジナル着信メロディ)	130
メロディ入力のしかた	132
海外にファクスを送るとき	134
受信したファクスを縮小する（定型受信）	134
ファクス受信のとき、いったんメモリに	
蓄積する（メモリ受信）	135
記録紙モードの設定	135
不達レポートを出力する	136
背景画面の設定	136
画面コントラストを調整する	137
子機の送話音量を大きくする	137
子機の受話音量を大きくする	137
子機のキータッチトーンを設定する	138
子機のベルを優先して鳴らす	
(子機優先着信)	138
子機のクイック通話を設定する	139
パソコンやモデムをつなぐには	139
INSネット64を利用するには	140
その他のサービスを利用する	141
メッセージ到着お知らせサービスを	
利用する	141

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	142
利用申し込みにあたって	142
自分の電話番号の通知・非通知について	143
表示の見かた	143
ナンバー・ディスプレイの設定	144
サービスを利用した便利な機能	144
着信データを使って電話をかける	
(コールバック)	145
電話に出たくない相手先には着信拒否の	
メッセージを流す（着信拒否）	148
電話帳に登録されている相手にだけ自作応答	
メッセージを流す（応答メッセージ選択）	149

かけてくる相手によって着信ベルを変える (着信鳴り分けとプライベートコール) …	150
電話番号を通知してこない相手に メッセージを流す(番号リクエスト) …	151
留守中にかけてきた相手を確認する (留守録着信データ) …	152
お話し中に電話がかかってきたとき (キャッチホン・ディスプレイ) …	152

キャッチホン/ダイヤルイン

キャッチホンサービスを利用する …	154
ダイヤルインサービスを利用する …	155
利用申し込み …	155
ダイヤルインの動作 …	156
ダイヤルインの利用例 …	156
ダイヤルインの設定 …	157

Lモード

Lモードをご利用になる前に

必ずお読みください …	159
こんなことができます …	159
おぼえておいてください …	161
Lモードが使えるように設定する …	162

Lモードゲートウェイと接続して

各種サービスを利用する …	163
サイトに接続する …	163
マイメニューに登録したサイトに接続する …	164
よく利用するサイトをマイメニューに 登録する …	165
Lモード用パスワードを変更する …	165

メールを作成して送信する …

新規メールを作成して送信する …	166
作成したメールを保存する …	169

メールを受信する …

メールを受信して読む …	170
メールを読みなおす …	172

インターネットホームページを

見る(URL入力) …	173
URLを入力してホームページを見る …	173
表示中のページのURLを確認する …	174

お気に入りのサイト/ホームページを

登録する(Bookmark) …	175
お気に入りのサイト/ホームページを Bookmarkに登録する …	175
Bookmarkを使ってサイト/ ホームページを見る …	175
不要になったBookmarkを削除する …	176
Bookmarkにタイトルをつける …	176

表示中のページの内容を

保存しておく(画面メモ) …	178
気に入ったページを画面メモに登録する …	178
保存した画面メモを見る …	178
不要になった画面メモを削除する …	179
画面メモを待機画面に表示させる …	179

ページを更新して最新の情報を見る (再読込) …

表示されている情報を使って親機を

操作する(PHONE TO機能、 MAIL TO機能、WEB TO機能、 FAX TO機能) …	181
表示されている電話番号に電話をかける (PHONE TO機能) …	181
表示されているメールアドレス宛に メールを送る(MAIL TO機能) …	182
表示されているURLに接続する (WEB TO機能) …	182
ファクスデータを受信する (FAX TO機能) …	183

ページを印刷する …

サイトから新しい着信メロディを

ダウンロードする …	185
着信メロディをダウンロードする …	185

未送信メール/送信済メール一覧を

利用する …	186
保存していた未送信メールを送る …	186
未送信メールをまとめて送る(一括送信) …	188
未送信メールを編集して送る …	188
特定の未送信メールを削除する …	189
未送信メールをまとめて削除する (未送信メール一括削除) …	190
未送信メールを印刷する …	190
送信済みのメールを読みなおす …	191
送信済みのメールを編集して送る …	191
特定の送信済メールを削除する …	192
送信済メールをまとめて削除する (送信済メール一括削除) …	193
送信済メールを印刷する …	193

受信メール一覧を利用する …

特定の受信メールを保護/解除する …	194
受信メールを返信する(返信メール) …	195
受信メールを他の宛先に転送する (フォワードメール) …	196
送信者のアドレスを電話帳に登録する …	197
特定の受信メールを削除する …	198
受信メールをまとめて削除する …	198
受信メールを印刷する …	199

独自の定型文を編集する …

定型文を編集する …	200
------------	-----

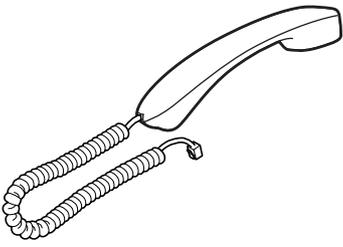
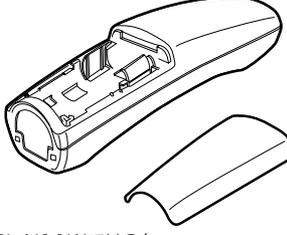
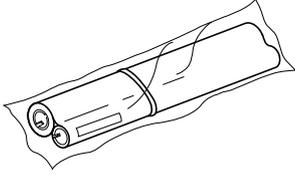
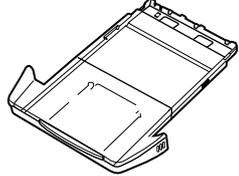
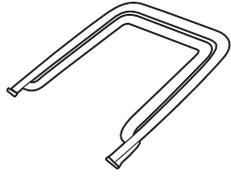
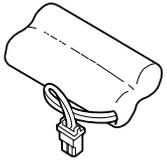
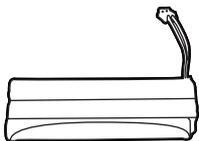
Lモードの設定変更機能／機種変更時に 便利な機能（Lモード設定）	…201
電話帳／Bookmarkデータを送信する （データアップロード）	…203

こんなときは

インクフィルムを交換する	…204
紙づまりのとき	…205
「記録紙がつまりました」と表示されたとき	…205
「原稿がつまりました」と表示されたとき	…209
日頃のお手入れ	…210
親機・子機の外装の清掃	…210
ハンズキャナの清掃	…210
記録紙カセットの清掃	…211
原稿送り用ローラの清掃	…211
記録紙送り用ローラの清掃	…212
記録ローラの清掃	…212
記録紙給紙用ローラの清掃	…213
電池パックを交換するとき	…214
子機の電池パックを交換する	…215
ハンズキャナの電池パックを交換する	…216
停電したとき	…217
困ったときは（Q&A）	…218
オプション品・消耗品の 購入について	…226
推奨消耗品	…226
子機の増設	…227
お客様ご相談窓口などのご案内	…228
修理・保守などのご相談は	…228
ファクス情報サービス	…228
インフォメーションサービス	…228
絵文字／記号一覧	…229
NEC保守サービス受付拠点一覧	…230
仕様	…233
操作早わかりガイド	…234
機能設定／登録早見表	…237
索引	…239

はじめにご確認ください

次のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、販売店にご連絡ください。

<p>親機（本機） 1台</p> 	<p>受話器 1個</p> 	<p>子機 1台（電池カバー付）</p>  <p>※SPL-N11Wでは2台</p>
<p>電話回線接続コード 1本（2 m）</p> 	<p>インクフィルム 1本</p> 	<p>子機充電器 1台（壁掛け用ネジ2本付）</p>  <p>※SPL-N11Wでは2台</p>
<p>記録紙カセット 1個</p> 	<p>原稿セット台</p> 	<p>ACアダプタ 1個（子機充電器用）</p>  <p>※SPL-N11Wでは2個</p>
<p>電池パック 1個（子機用）</p>  <p>※SPL-N11Wでは2個</p>	<p>電池パック 1個（ハンズキャナ用）</p> 	<p>取扱説明書（本書）1冊</p> <p>記録紙（A4サイズ5枚）</p> <p>「インクフィルムのセットについて」（A3サイズ1枚）</p>

保証書 1枚：保証書は大切に保管してください。
保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

電話

ファックス
コピー

ハンズキャナ

留守電

便利に使う

ディスプレイ

キャッチホン
ダイヤルイン

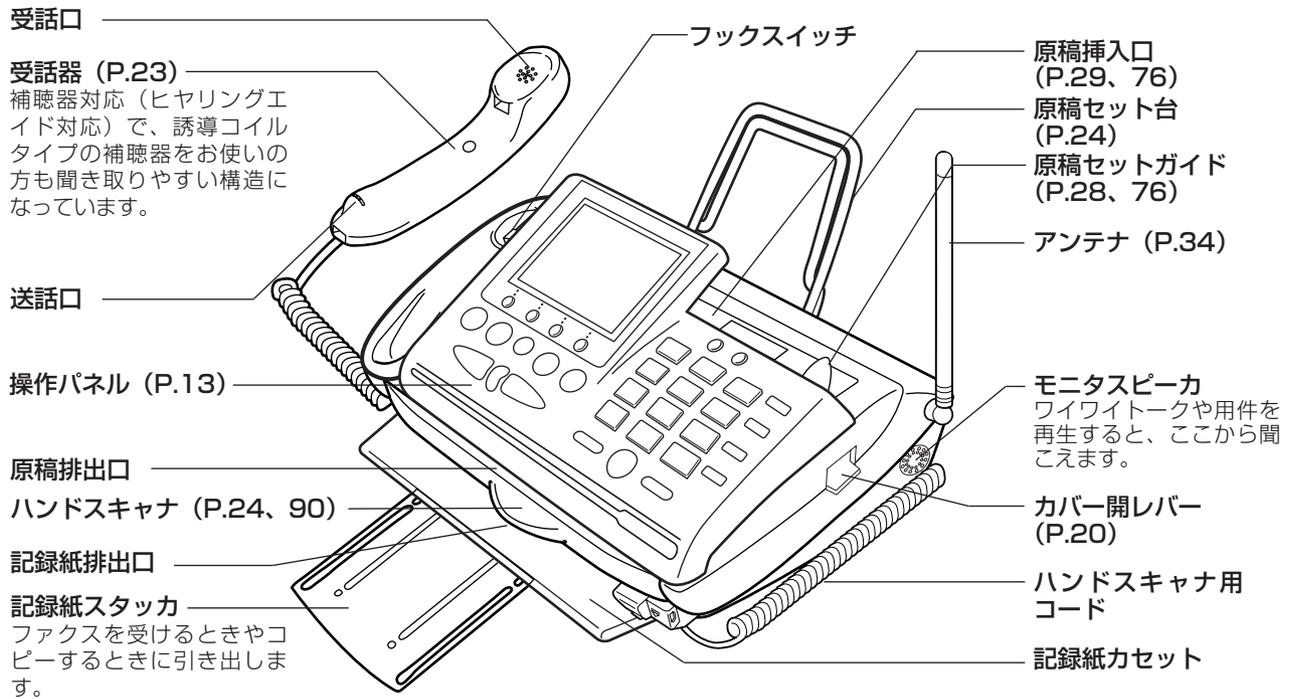
リモート

こんなときは

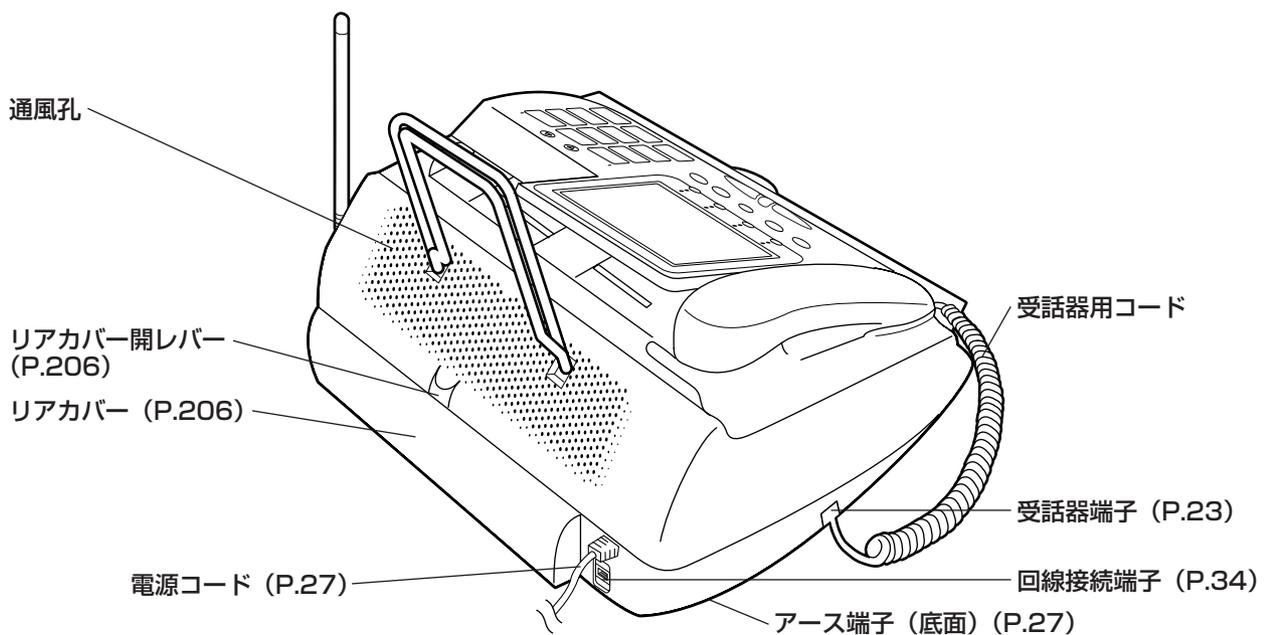
各部の名称とはたらき

親機

●外観図（前面）



●外観図（背面）



上図は、付属品を取り付けた状態です。

●操作パネル

液晶ディスプレイ (P.16)

ファンクションボタン
これらのボタンは、液晶ディスプレイ表示と連動しています。

[音量] ボタン
受話音量 (P.40)、ワイワートーク音量 (P.42)、ベル音量 (P.49)、モニタスピーカ音量 (P.105) を調節するときに押します。

ダイヤルボタン
ダイヤルするときに押します。

[再生] ボタン
再生中の用件をもう一度聞くときや、1つ前の用件を聞くとき (P.107) に押します。

[>>>]
次の用件の再生に進めるとき (P.107) に押します。

[トーン]
ダイヤル回線を使用している場合に、プッシュホンサービスを利用するとき (P.62) などに押します。

[再生] ボタン
留守番電話の用件を再生するとき (P.107) や、Lモードゲートウェイとの接続を切断するとき (P.162) に押します。

[ワイワートーク] ボタン
受話器を持たずに電話をするとき (P.41) に押します。以下の場合にはランプが点灯します。

ワイワートーク通話中	点灯 (赤)
着信中	点滅 (赤)

[リダイヤル] ボタン
同じ相手にもう一度かけるとき (P.42) に押します。

[保留/内線] ボタン
子機との内線通話や、電話を保留にするとき (P.50) に押します。

マイク
ワイワートークをするとき (P.41) に使います。

液晶ファクス] ボタン
ファクスをプリントする前に、受信した内容をディスプレイで確認するための設定または解除のとき (P.85) に押します。また、ファクスメモリ受信 (P.135) すると点滅します。以下の場合にはランプが点灯します。

液晶ファクス	未読ファクス	ボタン
設定	なし	点灯
	あり	はやい点滅
解除	なし	消灯
	あり	おそい点滅

[スタート/コピー] ボタン
ファクスの送受信時や、コピーをするときに押します。

[留守] ボタン
留守設定をするとき (P.105) に押します。以下の場合にはランプが点灯します。

留守設定中	点灯 (赤)
用件が録音されているとき	点滅 (赤)

くるくるローラ
メニューや電話帳を検索したり (P.43)、液晶ディスプレイに表示されるカーソルを上下に移動させるときなどに押します。

[<] ボタン
[>] ボタン
液晶ディスプレイに表示されるカーソルを左右に移動させるときなどに押します。

[メール] ボタン
Lメールメニューを表示させるとき (P.166) に押します。また、メッセージセンタにお客様のメッセージがあるときに点灯します。

[L] ボタン
Lモード (P.159) の端末自動設定やLトップメニューを呼び出したり、登録/設定した内容を決定するときに押します。また、Lモードゲートウェイに接続すると点灯します。

[マイメニュー] ボタン
Lモードのマイメニューを表示させるとき (P.164) に使います。

[電話帳] ボタン
らくらく電話帳で電話をかけたり (P.43)、電話帳を登録するとき (P.44) に押します。

❗ 本機は、ボタン入力や外線着信など、何らかの操作が約5分間無い場合は待機モード (待機時の消費電力を下げるモード) になります。ボタン入力を行った場合、表示画面の切り替わりや、画面の表示までに数秒間時間がかかることがあります。

電話

ファクス
コピー

ハンドスキャナ

留守電

便利に使う

ディスプレイ

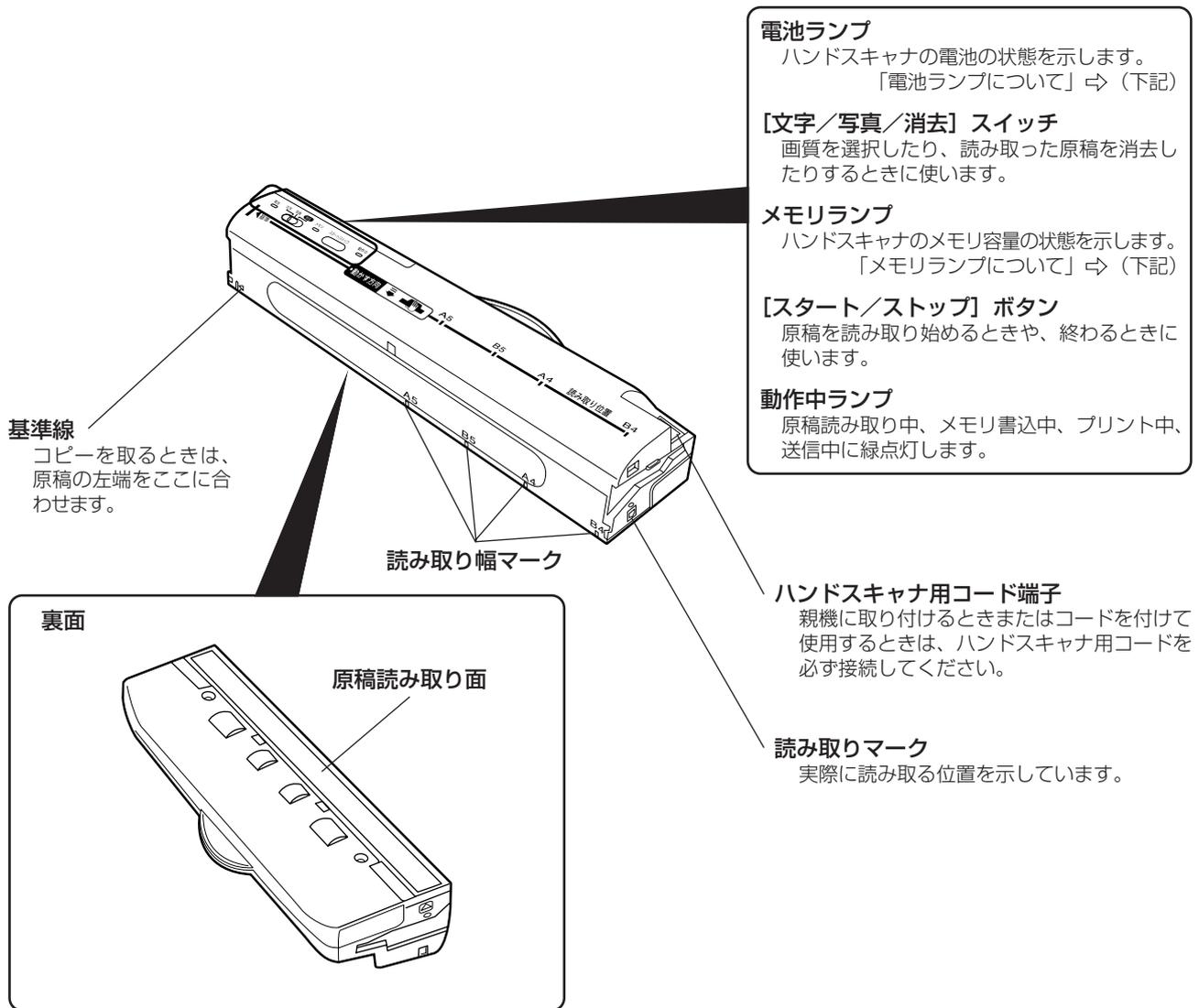
キャッチホン
ダイヤルイン

Lモード

こんなときは

●ハンドスキャナ

※親機から取り外したとき



電池ランプについて

電池ランプはハンドスキャナの電池の状態を示します。

	電池ランプの状態	ハンドスキャナの状態
コードレス時	点灯	電池が十分にあります。
	点滅	電池が少なくなっています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
	消灯	電池がなくなっています。ハンドスキャナ用コードを接続し、充電してください。
コード接続時	点灯	ハンドスキャナが使用できます。
	点滅	急速充電中です。ハンドスキャナ用コードを接続していれば、ハンドスキャナを使用できます。

メモリランプについて

メモリランプはハンドスキャナのメモリ容量の状態を示します。

メモリランプの状態	ハンドスキャナの状態
点灯	記録されている原稿があります。
点滅	メモリがいっぱいです。
消灯	何も記憶されていません。

子 機

●外観図〈前面〉

受話口

補聴器対応で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方にも通話が聞き取りやすい構造になっています。

液晶ディスプレイ (P.16)

ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力などに使います。

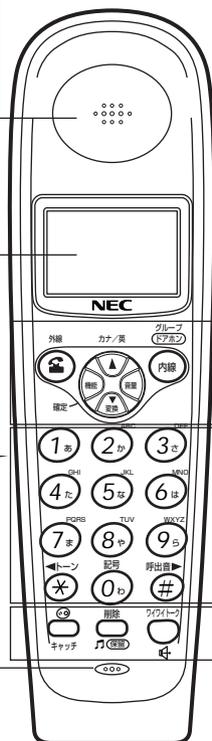
【◀】【トーン】

ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときや、カーソル移動、キータッチトーンのON/OFF設定に使います。

【呼出音】【▶】

ベル音量を切り替えるときやカーソル移動に使います。

送話口



【外線】ボタン

電話をかけるときや受けるとき、通話を終了するときなどに使います。

【機能】ボタン

各種の設定や登録のときに使います。また文字入力で確定するときに使います。

【▲】ボタン

らくらく電話帳を使って電話をかけるときなどに使います。

【▼/変換】ボタン

らくらく電話帳を使って電話をかけるときなどに使います。また漢字変換を行うときに使います。

【音量】ボタン

受話音量を調整するとき (P.52) に使います。

【グループ/ドアホン/内線】ボタン

内線通話やドアホン通話、電話帳のグループを選ぶときなどに使います。

【キャッチ】ボタン

キャッチホンを受取る時 (P.154) に使います。簡易子機間通話の送受話の切り替えに使います (SPL-N10のみ) (P.66、70)。

【削除/保留】ボタン

電話番号や文字の入力を間違えたときや、電話を保留するときに使います。

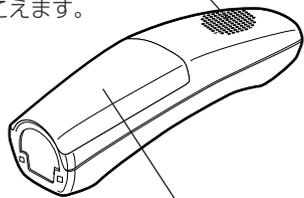
【ワイワイトーク】ボタン

子機を持たずに電話するとき (P.52) などに使います。

●外観図 (背面)

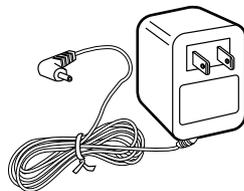
モニタスピーカ

ベルや、ワイワイトーク中に相手の声が聞こえます。



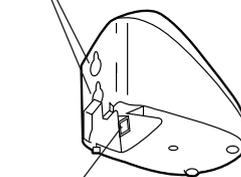
電池カバー

●子機充電器用ACアダプタ



●充電器

壁かけ用の穴



DC IN9V端子

子機充電器用ACアダプタを接続します。

●待機中の状態について

子機を充電器から取り上げたあと、以下の操作をして【外線】ボタンが消灯している状態を「待機中」といいます。

〈クイック通話ONのとき〉



⇒ 【外線】ボタンが点滅していることを確認

⇒ 【外線】ボタンを2回押す

⇒ 【外線】ボタンが消灯していることを確認

〈クイック通話OFFのとき〉

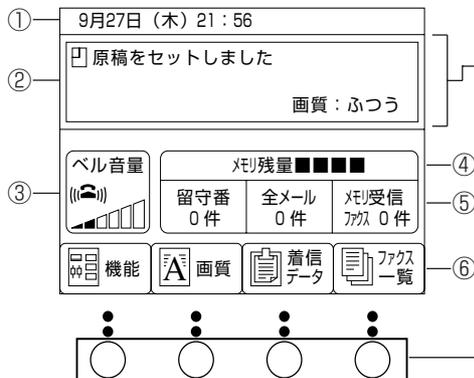


⇒ 【外線】ボタンが消灯していることを確認

クイック通話 ⇒ (P.51)

液晶ディスプレイ（画面）

〈親機〉



本書では、次のように簡略化して一部表記しています。

例：メッセージ表示部のみを表示するとき



ファンクションボタン

・ディスプレイの下部には、状況に応じていろいろな機能名が表示されます。表示される機能に対応するファンクションボタンを押すと、各機能を選択することができます。本書ではこの操作を、「ファンクションボタン【機能】を押します。」と記載しています。

<例>

「機能」の表示の下にあるファンクションボタンを押すと、機能画面が表示されます。

①日付／時刻	
②メッセージ表示部	相手の電話番号／メッセージなど ・液晶ディスプレイに表示される背景画面を変えることができます。⇒ (P.136) ・画面コントラストを調節できます。⇒ (P.137)
③音量表示	メッセージ再生時のモニタスピーカ音量
	通話時の受話音量
	ワイワイトーク時のモニタスピーカ音量
	ベル音量

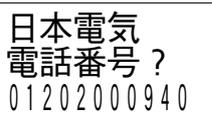
④メモリ残量表示		録音とメモリ受信で使用するメモリの残量
		録音およびメモリ受信でメモリがいっぱいするとき
⑤その他	留守番 ●●件	録音されている留守番電話の用件の件数
	全メール ●●件	メールの件数
	メモリ受信ファクス ●●件	メモリ受信されている件数
⑥ファンクションボタン	印刷、消去など	状況に応じて操作できる機能名

〈子機〉



本書では、次のように簡略化して一部表記しています。

例：メッセージ表示部のみを表示するとき



…ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話帳にグループ登録した相手から電話がかかってきたときに、登録したハート、クローバー、ダイヤ、スペードのいずれかのマークが表示されます。

漢字英

…電話帳に文字を入力するとき“漢”“カナ”または“英”のいずれかが表示されます。

漢字などの全角は6文字（半角は12文字）×3行まで表示します。何も操作していないときは、内線番号が表示されています。また、ベルやキータッチトーンを「OFF」に設定しているときは、「ベルOFF」「タッチトーンOFF」「タッチ&ベルOFF」を表示します。

〈通話時間表示について〉

通話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される時間はあくまでも目安としてご利用ください。

親機 …ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手が出ると再度0秒から表示しなおされます。

子機 …充電器から取ると通話時間表示が始まり、相手が出てからも続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。



- 受話器や子機を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
- 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示しなおされます。

本機の接続のしかた

記録紙について

●推奨紙

型名	サイズ・数量
普通紙 FUJIFILM 熱転写用紙 ファクス用普通紙 FAX A4×100	A4・100枚
感熱紙 FUJIFILM Economy リボン不要のワープロ用感熱紙 EC A4×100 C	A4・100枚

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合、A4サイズ、紙厚0.07～0.09 mmで表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙をお使いください。
このページの紙の厚さは約0.08 mmです。



- 表面がオーバーコートされた普通紙や厚い記録紙は、使わないでください。記録紙給紙不良の原因となります。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
- 表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。
- 記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。
- 記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合があります。記録紙を大量に購入される前に、一度テストプリントすることをおすすめします。
- 感熱紙を高温で湿度が高い場所で使用することは避けてください。記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。

記録紙の保管について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化して先端が波打った状態になります。

日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。

- ・0℃～35℃で保管する
- ・結露した場合は、乾燥後に使用する



品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

インクフィルムの保管について

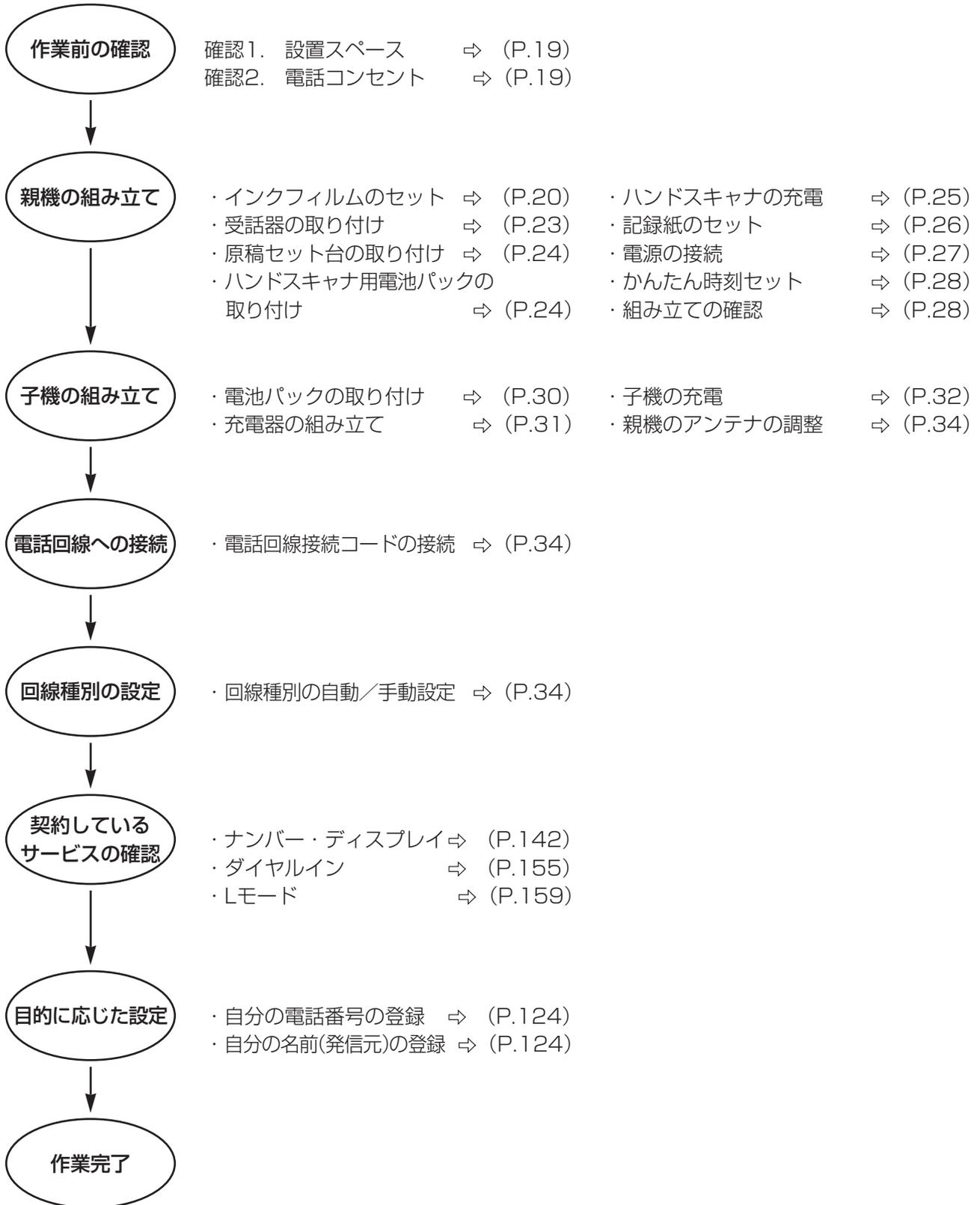
カートリッジにセットする前のインクフィルムは、袋に入った状態（お買い求めのときの状態）で保管してください。カートリッジにセットしたインクフィルムは、カートリッジにセットしたまま乾いたビニール袋などに入れて保管してください。

どちらの場合も、以下のことに注意して保管してください。

- ・直射日光が当たらない場所に保管する
- ・0℃～35℃で保管する
- ・結露した場合は、乾燥後に使用する

作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。



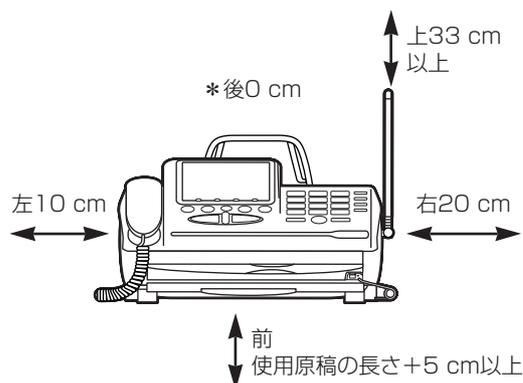
確認1 設置スペース

親機を置く場所には十分なスペースがありますか？
操作や消耗品の交換、日常点検などを行うため、必要なスペースを確保してください。



- 親機は壁に掛けての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
 - ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
 - ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘッドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど

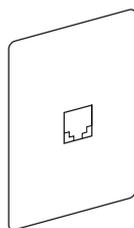
*親機は後背面を壁につけて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、十分なスペースがある場所に移動してください。



確認2 電話コンセント

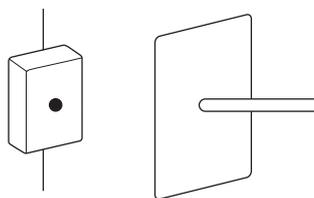
電話コンセントは、どのタイプですか？
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

モジュラ式



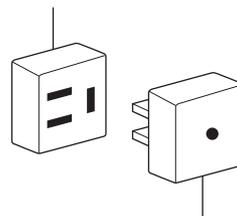
そのまま接続できます。
カチッと鳴るまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）



このままでは親機を接続できません。
NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

3ピンプラグ式



このままでは親機を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。



接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

▶ INSネット64を利用している ⇨ (P.140)

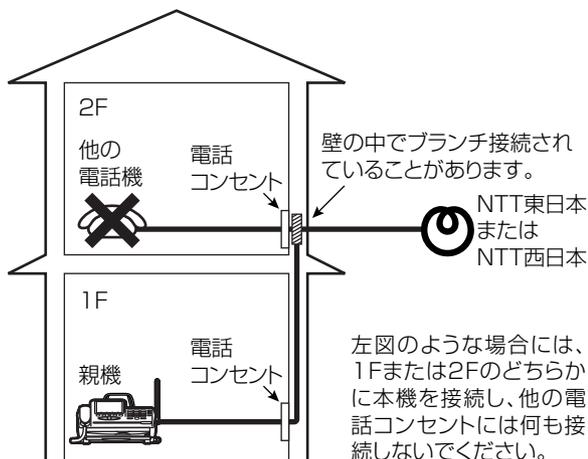
▶ パソコンやモデムと接続したい ⇨ (P.139)



- 他の電話機と親機をブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（右図）。NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。

ブランチ接続すると、こんなことが起こります。

- 一電話がかかってきたとき、ブランチ接続されている電話機のベルが途中で鳴り止むことがあります。
- 一ファクスを送受信しているときに、ブランチ接続されている電話機の手話器を上げると、ファクスの画像に異常が起きます。
- 一相手がファクスを送信したとき、ファクスが受信できないことがあります。
- 一ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイが利用できません。



親機を組み立てる

感熱紙を使用する場合には、インクフィルムのセットは行わず、受話器の取り付け（P.23）に進んでください。

①インクフィルムをセットする

▶インクフィルム1本でプリントできる枚数の目安

- ・お買い求めのときに付属のインクフィルム：約 15枚
- ・消耗品（P.226）のインクフィルム：約130枚

■インクフィルムカートリッジ（以降カートリッジと略す）の取り外し

1 カバーを開けます。

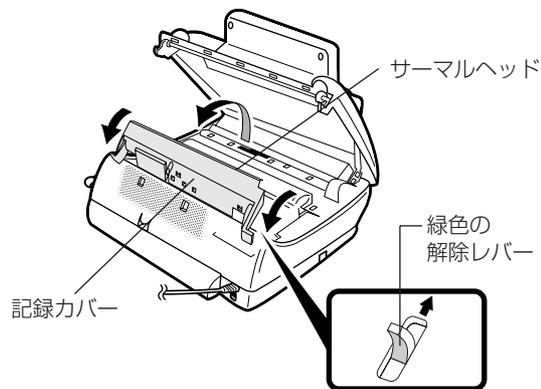
親機右側にあるカバー開レバーを引き上げて開きます。



⚠注意

- 作業中に指をはさまれないように注意してください。

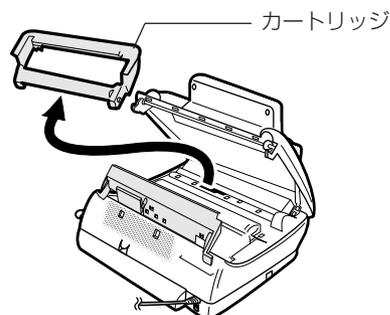
2 緑色の解除レバーを矢印の方向に倒して記録カバーのロックを解除し、両端を持って開きます。



⚠注意

- サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。

3 カートリッジを取り外します。



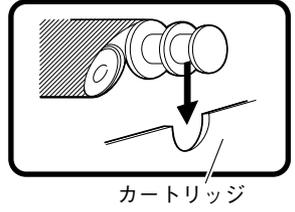
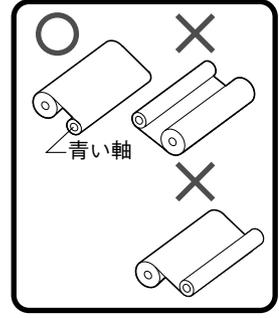
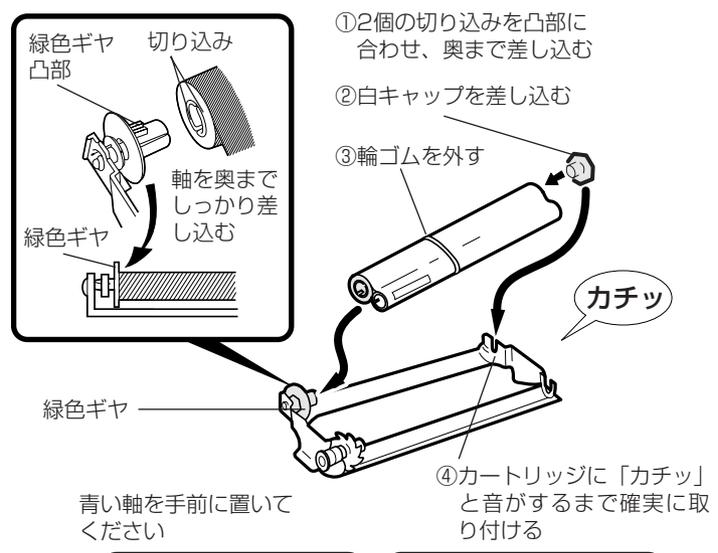
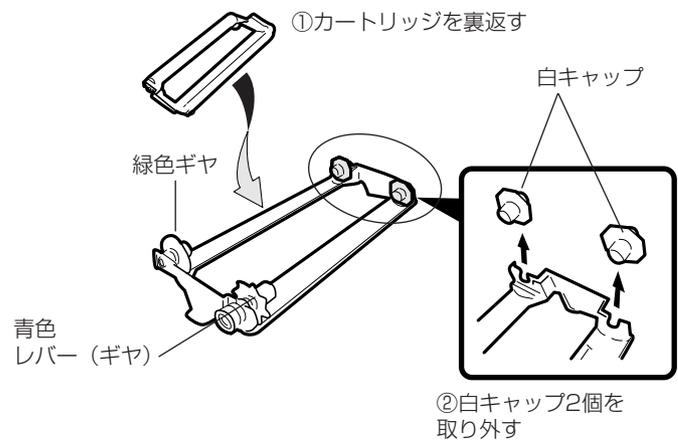
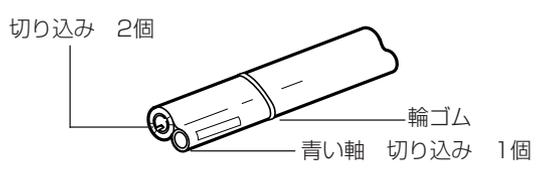
■インクフィルムの取り付け

1 新しいインクフィルムを用意します。

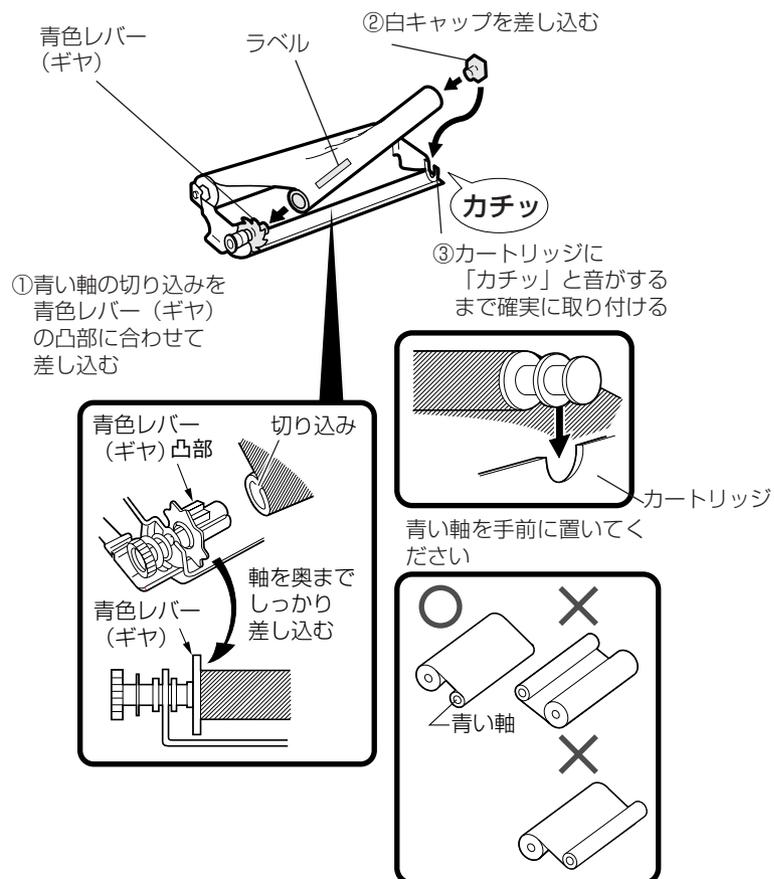
袋から取り出します。
輪ゴムは、まだ外さないでください。

2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外します。

3 インクフィルムの軸（2個の切り込みのある側）をカートリッジ（緑色ギヤ）の凸部に合わせ、奥まで差し込みます。



4 青い軸の切り込みをカートリッジ（青色レバー）の凸部に合わせ、奥まで差し込みます。



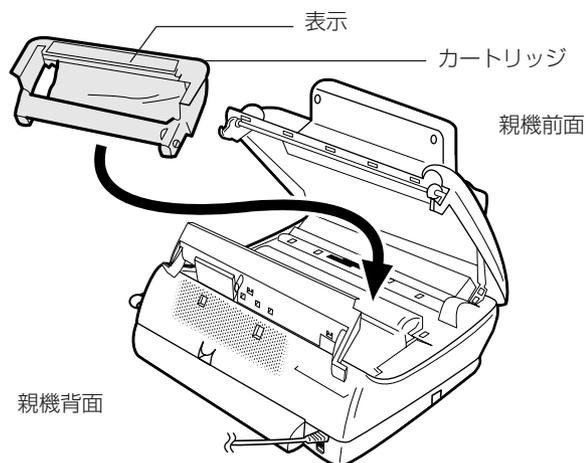
⚠ 注意

- インクフィルムが奥まで差し込まれたことを確認してください。奥まで差し込まれていない場合、取り付け不良や故障の原因となります。

■カートリッジの取り付け

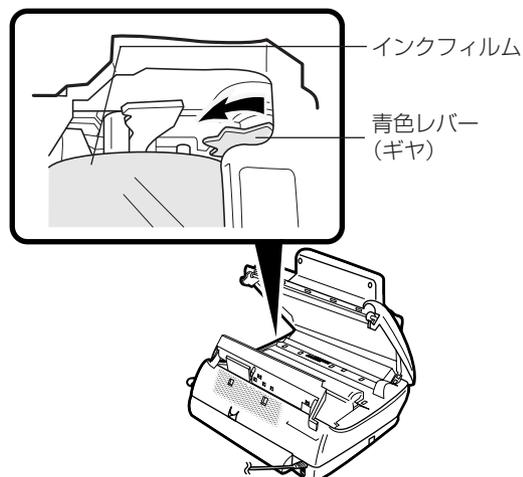
1 カートリッジを取り付けます。

フィルム面が下側になるようにカートリッジを裏返し、表示がある側を本機の前面側に向け、後方から先に取り付けます。



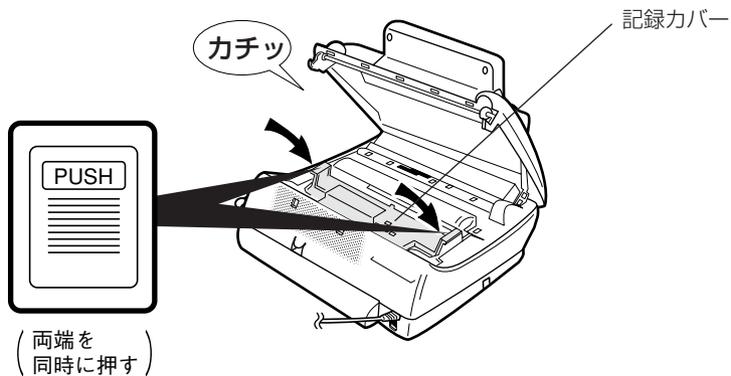
2 青色レバーを回し、インクフィルムのたるみを取ります。

後方の緑色のギヤが回転するまで巻いてください。



3 記録カバーを閉じます。

記録カバーの両端 (PUSH部) をカチッと音がするまでしっかり押し込みます。

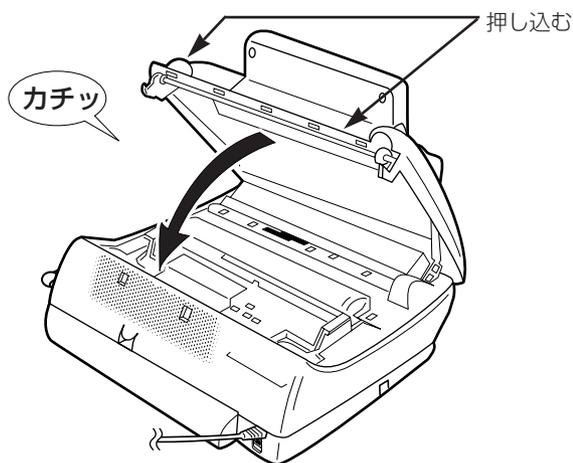


⚠ 注意

- 記録カバーは確実に閉じてください。記録カバーを確実に閉じていないと、電源が入っているときはディスプレイに「記録カバーが開いています」と表示されます。

4 カバーを閉じます。

カバーの両端を、カチッと音がするまで押し込みます。



⚠ 注意

- カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと、本機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに「カバーが開いています」と表示されます。押し込んだときディスプレイに無理な力がかからないようにしてください。

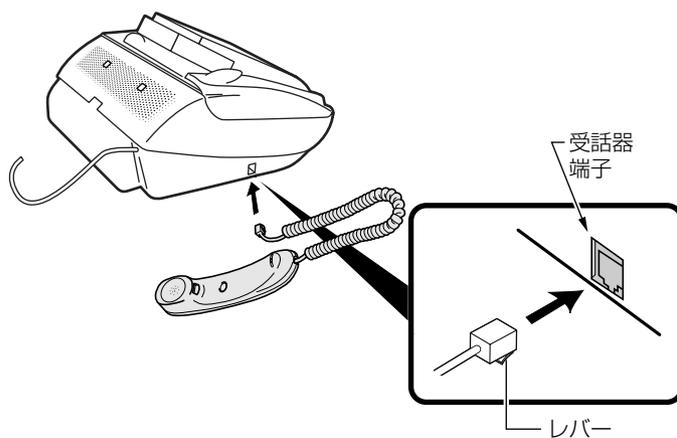
② 受話器を取り付ける

1 親機と受話器を接続します。

受話器端子に受話器用コードをカチッと音がするまで差し込みます。

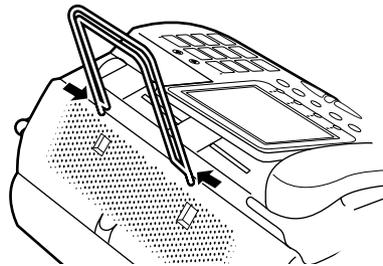


受話器用コードを抜くときは、モジュラプラグのレバーを押さながら引き抜いてください。

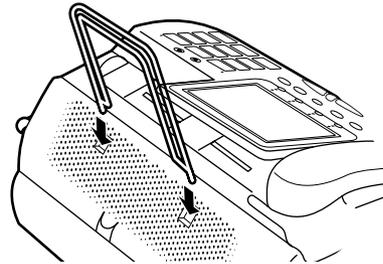


③原稿セット台を取り付ける

1 原稿セット台の下側にある位置決めを、軽くつまんで本機の溝に合わせます。



2 固定されるまで本機に押し込みます。



原稿セット台を外すときは、原稿セット台を強く指でつまんで、外してください。

④ハンドスキャナ用電池パックを取り付ける



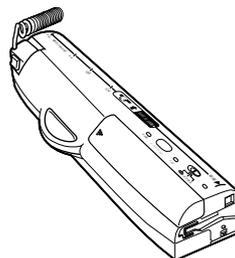
- 必ず親機の電源プラグを、電源コンセントから外した状態で行ってください。
- 電池パックのビニールカバーをはがさないでください。

1 ハンドスキャナを手前に引き抜きます。



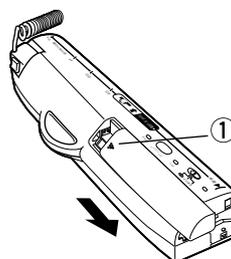
原稿読み取り面
原稿読み取り面に触らないでください

2 ハンドスキャナを裏返します。



3 電池カバーを取り外します。

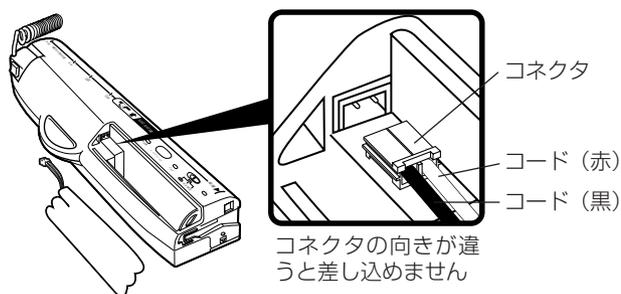
①の部分を押しながら、矢印方向へ引きます。



4 ハンドスキャナ用電池パックを取り付けます。



- コードをはさまないようにしてください。
- 電池パックのコネクタは、奥まで確実に差し込んでください。

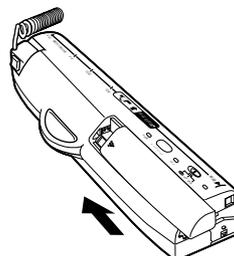


5 電池カバーを取り付けます。

ツメを穴に合わせ、矢印方向に押します。



コードをはさまないようにしてください。



6 ハンドスキャナを元通りに取り付けます。

原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込みます。



■ハンドスキャナの充電

親機の電源を接続した状態でハンドスキャナ用コードを取り付けると充電されます。コードレスで使用する場合は、6時間以上充電してください（お買い求めのときは、充電されていません）。ハンドスキャナ用コードをつないであれば、充電されなくてもハンドスキャナを使用することができます。



ハンドスキャナを使わないときは、必ず親機に取り付けて充電してください。



ハンドスキャナは、本機の内蔵読み取り用としても使えます。

▶ コードレスでの使用可能時間（フル充電時）

約1時間です。

▶ 充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

電池パックの寿命がもたせません（通常の使用で約2年）。

新しい電池をお買い求めください。

「オプション品・消耗品の購入について」⇒ (P.226)

▶ コードレスで長時間使わないときは

ハンドスキャナをコードレスで使用しない、または旅行や引越などで長期間充電しないときは、電池パックのコネクタを抜いて保管してください。そのまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

⑤ 記録紙をセットする

普通紙または感熱紙のうち、どちらをセットするか選択することができます。

普通紙をセットするときは「普通紙モード」、感熱紙をセットするときは「感熱紙モード」に設定します。お買い求めいただいたときは、「普通紙モード」に設定されています。⇒ (P.135)



■必ず推奨の記録紙をお使いください。

「記録紙について」⇒ (P.17)

■普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。

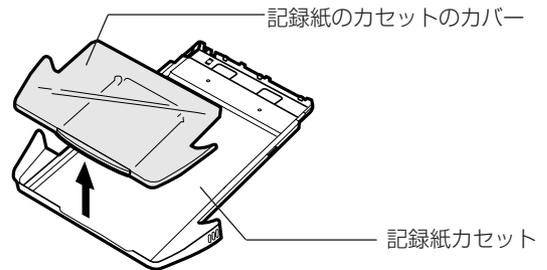
■感熱紙を使用するときはインクフィルムカートリッジを取り外して使用してください。

「インクフィルムを交換する」⇒ (P.204)

1 記録紙カセットのカバーを取り外します。



カバーを取り外さずに記録紙をセットすると、記録紙スタッカに記録紙がはさまり、給紙不良となります。



2 記録紙をさばきます。



記録紙をさばかずにセットすると、1度に複数枚の記録紙が送られることがあります。



3 記録紙を入れます。

感熱紙を使用する際は、印刷する面を「裏向き」にセットしてください。



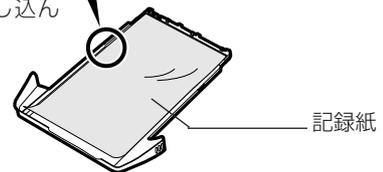
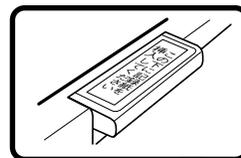
■セットできる枚数は普通紙、感熱紙とも、30枚までです。

■普通紙と感熱紙を混ぜてセットしないでください。

■感熱紙を使用する際に裏表を間違えてセットすると、白紙でプリントされます。また、この場合メモリにも残りません。

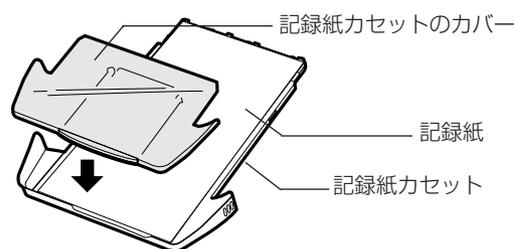
■記録紙がカールして記録紙カセットの壁より高く浮き上がるときは、枚数を減らすか、カールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。

■セット後、記録紙がツメの下を前後にスムーズに動くことを確認してください。動かないときはセット枚数を減らしてください。記録紙づまりの原因となります。



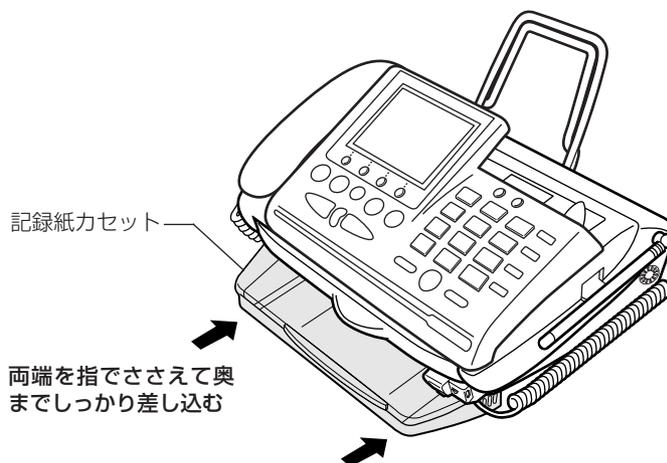
4 記録紙カセットのカバーを取り付けます。

必ず取り付けてください。取り付けないと、記録紙づまりの原因になります。



5 記録紙カセットを取り付けます。

親機の設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分な場合、記録紙づまりの原因になります。また、記録紙カセットを差し込む際は、ハンズキャナのコードをはさまないように注意してください。

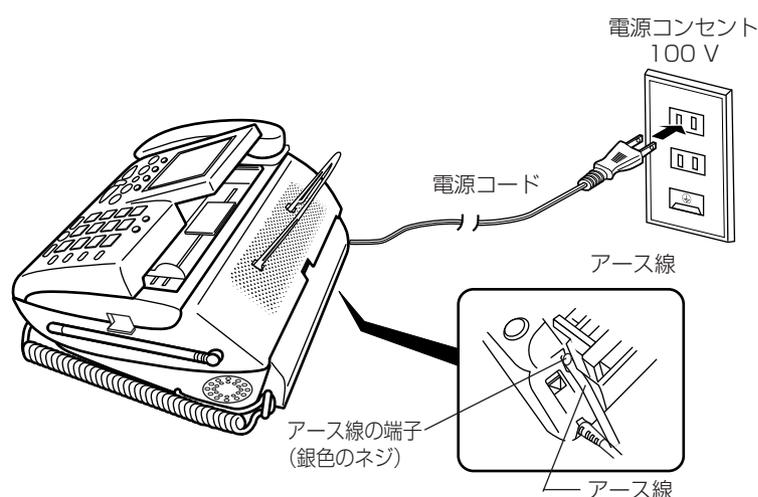


- 記録紙がなくなると、ディスプレイに「普通紙を入れてください」または「感熱紙を入れてください」と表示されます。そのときは、記録紙を補充してください。
- 記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。

⑥電源を接続する

1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されたあと、「時刻を設定します」ボタンを押してください」と表示されます。



電源を接続してから回線接続までに5分以上経過すると、デモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、回線接続（P.34）を行うとデモモードは終了します。

⚠️ 注意

- 特に湿気の多い場所で本機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は付属していませんので、ご用意ください。
- アース接続は、親機を裏返して行います（その際、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように布などを敷いてください）。プラスドライバーとアース線を準備してください。

⑦かんたん時刻セット

2001年01月01日00:00

1 [L] ボタンを押します。

2001年11月09日15:30

2 ダイヤルボタンで年月日、時刻を入力します。

1文字入力するごとにカーソルが移動します。

部分的になおしたいときは、[<] [>] ボタンでカーソルを動かして入力しなおしてください。

・年は、西暦4桁を入力してください。

・時刻は、24時間制で入力してください。

・月日・時刻は、1桁の場合（1～9）は頭に「0」をつけて入力してください。

〈例〉2001年11月9日午後3：30に設定する場合

2 0 0 1 1 1 0 9 1 5 3 0

登録完了

3 [L] ボタンを押します。



■長い間使っていると、時刻がずれてくることがあります。時刻がずれた場合は設定しなおしてください。⇒ (P.126)

■時計表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお誤差が生じた場合は設定しなおしてください。⇒ (P.126)

(時間精度：平均月差±60秒以内)

⑧組み立ての確認

組み立てが正しくできたことを確認するため、コピーを取ってみましょう。



感熱紙を使用する場合は、記録紙モードの設定を行ってください。

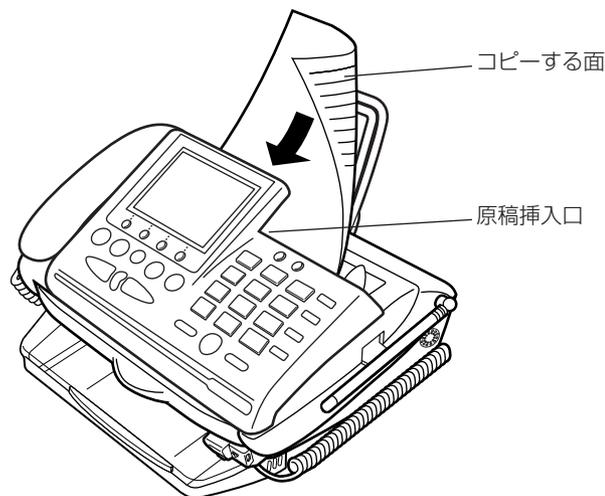
「記録紙モードの設定」⇒ (P.135)

1 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。



2 コピーする面を「裏向き」にし、原稿の上の方から原稿挿入口に差し込みます。

原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。複数枚セットしたときは、下から順に送られます。



3 【スタート／コピー】 ボタンを2回押します。

コピーが終わると、「ピーッ」という音がします。

コピーを途中で止めたいときは、【ストップ】 ボタンを押してください。

▶ 白紙が出てきたとき

- ・原稿の裏・表を、逆にセットしたことが考えられます。コピーする面を必ず「裏向き」にセットし、もう一度コピーしてみてください。
- ・記録紙として感熱紙を使用する際に裏・表を逆にセットしたことが考えられます。印字面を「裏向き」にセットしなおしてください。

▶ 紙がつまったとき

「原稿がつまりました」と表示されたとき⇒ (P.209)

「記録紙がつまりました」と表示されたとき⇒ (P.205)

子機の準備

■ 通話範囲について

- 子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できる範囲は親機と子機の間には障害がない状態で、約100 mです。
- 子機と子機で通話 (SPL-N10は簡易子機間通話) するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください。
- 通話中に圏外になると、「ピーッ、ピーッ」という音 (通話中圏外警告音) が鳴ります。
- 建物内の異なる階層 (上下) や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間には鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。
- 親機と子機の間には何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
 - ・ 金属製の家具など
 - ・ 蛍光灯などの電気製品の近くなど
 - ・ マンションなど鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

■子機使用上のご注意

- 子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機を使用するなど、注意してお使いください。
- 通話中に「ピーッ、ピーッ」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。
通話圏外のまましていると、約5秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。
- 通話中に「ピッピッピッ」という音がしたときは、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約3分後に電話が切れます。
- 近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつながらない、通話の途中で切れたなどの場合は、いったん切ってもう一度かけなおしてください。
- 車のダッシュボードなど、直射日光のあたるところに放置しないでください。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
 - ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
 - ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。
- ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本機の子機には防水機能がありませんので故障の原因となります。

子機を組み立てる

①電池パックの取り付け

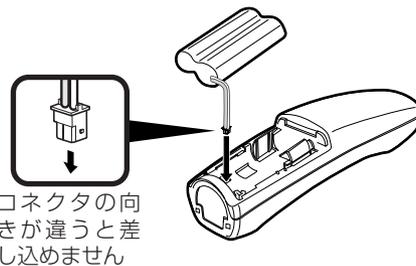


- 充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。
- 電池パックのビニールカバーをはがさないでください。

1 電池パックのコネクタを差し込みます。



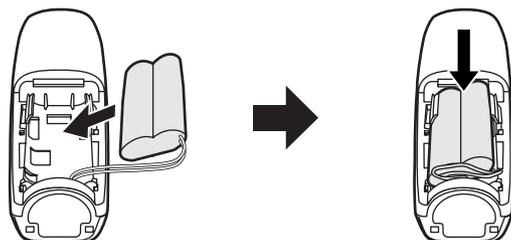
コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。



2 電池パックを取り付けます。



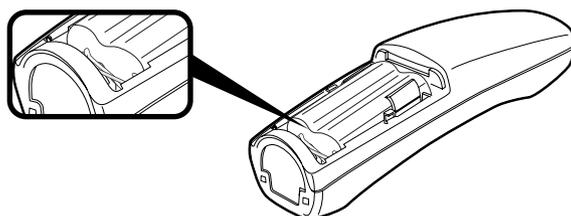
電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。



電池パックを斜めに差し込みます

上から押します

3 コードを収納します。

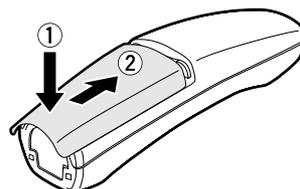


コードを無理に折り曲げないでください

4 電池カバーを取り付けます。



電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

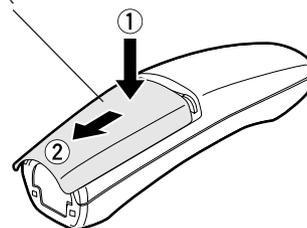


子機の溝に合わせ (①)、奥に押し込んでください (②)

▶ 電池カバーを外すときは

①の部分を押しながら、②の方向へスライドさせると外れます。

電池カバー



■ 電池パックのコードを強く引っばらないでください。故障の原因となることがあります。

■ コードをはさまないように注意してください。

② 充電器の組み立て

⚠ 危険

- 付属の充電器および子機充電器用ACアダプタ以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

⚠ 警告

- 子機充電器用ACアダプタプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、子機充電器用ACアダプタプラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

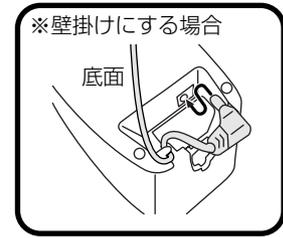
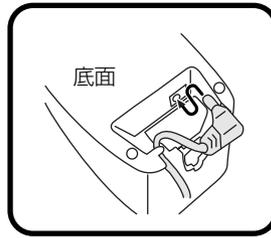
⚠ 注意

- コードを収納する際は、無理に折り曲げないでください。コードが傷つき、断線・故障の原因となります。
- ぬれた手で子機充電器用ACアダプタを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。
- 子機充電器用ACアダプタ、充電器および子機をぬらしたり、水に入れたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



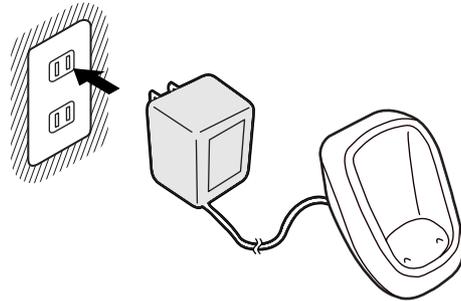
テレビやステレオなどと同じコンセントに子機充電器用ACアダプタをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別のコンセントにつないでください。近くにコンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

1 充電器にACアダプタを接続します。



コードは上図のようにしっかり固定してください

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込みます。



③子機を充電する

お買い求めいただいたときは、子機は充電されていません。9時間以上充電してからご使用ください。子機を使わないときは、できるだけ充電器に戻しておいてください。

⚠ 危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

- 充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ 赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

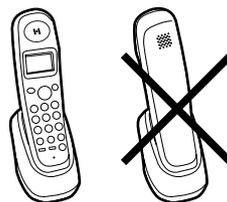
- 充電器の充電部に金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

!

- 子機を使わないときは充電器に置くようにしてください。充電し過ぎにはなりません。
- はじめてお使いになるときなどまったく充電されていない場合は、充電を始めてもしばらくの間（約5分）充電ランプが点灯しないことがあります。故障ではありません。
- 電池パックを交換するときは、「子機の電池パックを交換する」(P.215)をご覧ください。
- 電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。

1 ボタン面が前になるように置きます。

裏返しに置くと、正しく充電されません。



2 [外線] ボタンと [グループ/ドアホン/内線] ボタンが赤く点灯し、充電が始まります。

▶ 充電時間について

初めてご使用のときは、9時間以上充電することをおすすめします。十分に充電されていないと、子機を使おうとしたときも「ピーッ、ピピッ」という音がして電話が切れます。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。

▶ 子機の使用可能時間（フル充電時）

- ・連続通話時：約7時間
- ・連続待受時：約200時間

▶ [外線] ボタンと [グループ/ドアホン/内線] ボタンがずっと赤く点灯している

充電が完了しても、充電器に置いている間は赤く点灯しています。過充電になることはありません。

▶ 子機を長時間使わない、または充電できないときは

旅行や引越しなどで、子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。子機充電器用ACアダプタをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

▶ 充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

電池パックの寿命かもしれません（通常の使用で約2年）。 「電池パックを交換するとき」⇒ (P.214)

▶ 子機を増設するとき⇒ (P.227)

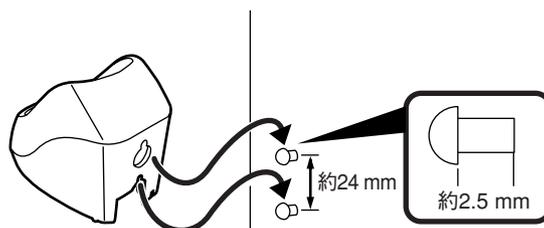
充電器を壁にかけて使うとき

充電器は付属のネジを使うと壁に掛けることができます。



子機が充電されたことを確認したあと、壁かけをしたい場所から内線通話などをして、通話ができるかあらかじめ確認してください。

1 付属のネジ2本を壁などに取り付け、ネジの頭を2.5 mm程度出したままにします（定規として下図をご利用ください）。



充電器が固定されたことを確認してください

2 充電器の壁掛け用穴をネジに引っかけて、少し下に引きます。



アンテナの調整

アンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。



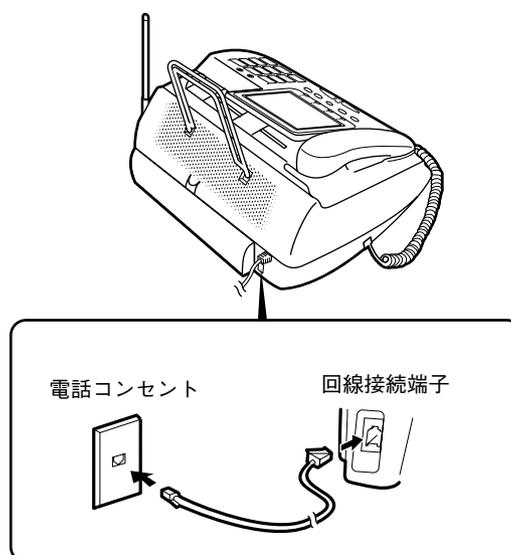
電話回線につなぐ

電話回線接続コードで本機をコンセントにつなぎ、電話がかけられることを確認します。

①電話回線接続コードの接続

1 親機と電話コンセントを電話回線接続コードで接続します。

付属の電話回線接続コードの一方を、親機背面の回線接続端子に接続し、もう一方を電話コンセントに接続します。



②回線種別の設定

電話回線 確認中

電話回線接続コードの接続が終わると、本機が自動的に回線種別を選びます。



ISDNターミナルアダプタに本機を接続している場合は、自動設定できない場合があります。その場合は、手動でプッシュ回線に設定してください。
「回線種別の自動/手動設定」⇒ (P.123)

③電話ができることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

▶電話をかけられない

「困ったときは」⇒(P.218)

▶電話をかけられるが、受けられない

ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

- ・契約している場合……「利用する」(お買い求め時のまま)
- ・契約していない場合…「利用しない」に変更が必要
「ナンバー・ディスプレイの設定」⇒(P.144)

ダイヤルインを契約している場合は、次のことを確認してください。

- ・ダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合
……「利用しない」に変更が必要
「ナンバー・ディスプレイの設定」⇒(P.144)
- ・モデムダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合
……「利用する」(お買い求め時のまま)

契約しているサービスの内容

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。

にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

NTTサービスの契約をしていますか？

ナンバー・ディスプレイ

設定が必要です。「ナンバー・ディスプレイの設定」⇒(P.144)

ダイヤルイン

設定が必要です。「ダイヤルインの設定」⇒(P.157)

Lモード

設定が必要です。「Lモードが使えるように設定する」⇒(P.162)

お買い求め時の状態について

お買い求め時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています。「自動で受ける」⇒(P.82)

また、お買い求め時の本機の設定状態については「機能設定／登録早見表」で示しています。

「機能設定／登録早見表」⇒(P.237)

操作を間違えたときは

親機の場合

[ストップ] ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

子機の場合

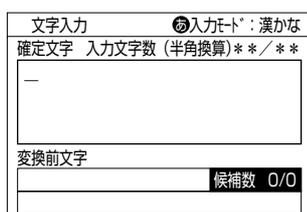
[機能] ボタンを2秒以上押し続けると、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。すべての操作をやりなおすときは、充電器に戻すか[外線] ボタンを押してください。

文字の入力のしかた

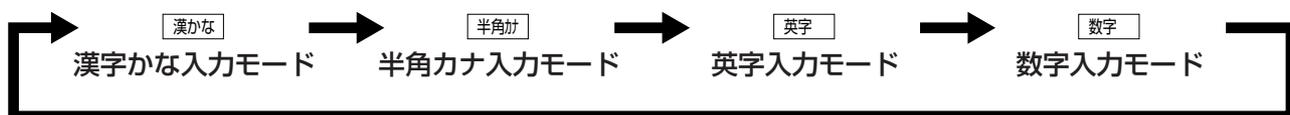
電話帳に相手先の名前を登録するときや、Lモード利用時にメールを作成するときなどに、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、絵文字、記号を入力することができます。
ただし、子機ではメールを作成することはできません。

親機で文字を入力する

文字入力画面について



文字の入力が可能な状態のときに、ファンクションボタン [入力モード] を繰り返し押すと、入力モードが切り替わります。



各ボタンに割り当てられた文字

1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられています。文字が割り当てられたボタンを繰り返し押して、入力したい文字を表示させます。続けて同じダイヤルボタンに割り当てられている文字を入力するときは、[>] ボタンを押してカーソルを右に移動させます。

ダイヤルボタン	漢字かな入力モード (全角) *1	半角カナ入力モード (半角)	英字入力モード (全角/半角) *2	数字入力モード (全角/半角) *3
[1]	あいうえおあいうえお	アイイオアイイオ		1
[2]	かきくけこ	かきくけこ	abcABC	2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
[4]	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI	4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
[7]	まみむめも	マミムメモ	pqrPQRS	7
[8]	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
[9]	らりるれろ	ラリルロ	wxyzWXYZ	9
[0]	わをんー、。「」(「スペース」)	ワヲンー、。「」(「スペース」)	./@~·_!~#\$%& '()*+,-;=<=>? [¥]^`{ }	0
[*]	。、	。、	pipopa.ne.jp biglobe.ne.jp .ne.jp .co.jp .com http:// www. .html	*
[#]				#

*1 全角カナへの変換は、ひらがなを入力したあとくるくるローラを回して行います。
*2 全角英字への変換は、半角英字を入力したあとくるくるローラを回して行います。
*3 全角数字への変換は、半角数字を入力したあとくるくるローラを回して行います。
*4 電話帳およびBookmarkの入力のときは表示されません。

文字の入力方法



入力を間違えたときは、[<]、[>] ボタンを押してカーソルを修正したい文字に移動し、ファンクションボタン [クリア] を押します。

電話帳に「家族」と入力する場合の文字の入力方法について説明します。

文字入力	⑤入力モード：漢かな
確定文字	入力文字数 (半角換算) 0/20
変換前文字	
か	候補数 0/0

1 [2] ボタンを1回押します。
「か」が表示されます。

確定文字	入力文字数 (半角換算) 0/20
変換前文字	
かそ	候補数 0/0

2 [3] ボタンを5回押します。
「そ」が表示されます。

確定文字	入力文字数 (半角換算) 0/20
変換前文字	
かそ	候補数 0/0

3 [*] ボタンを1回押します。
「そ」が「ぞ」になります。

確定文字	入力文字数 (半角換算) 0/20
変換前文字	
かそく	候補数 0/0

4 [2] ボタンを3回押します。
「<」が表示されます。

確定文字	入力文字数 (半角換算) 0/20
変換前文字	変換候補数を表示
かそく	候補数 1/3
1. 家族 2. かそく 3. カソク	

5 くるくるローラを下に回します。
変換候補が表示されます。



変換範囲を変えたいときは、[<]、[>] ボタンを押してカーソルを移動させたあと、くるくるローラを下に回します。

6 くるくるローラを回して漢字を選択します。

確定文字	入力文字数 (半角換算) 4/20
家族	
変換前文字	候補数 0/0

7 [L] ボタンを押します。
漢字が確定されます。

絵文字 (😊など) を入力するときは

ファンクションボタン [サブメニュー] を押し、くるくるローラを回して「絵文字挿入」を選択し、[L] ボタンを押すと絵文字一覧 (P.229) が表示されます。[<] ボタン、くるくるローラ、[>] ボタンを押して絵文字を選択し、[L] ボタンを押すと絵文字が入力されます。

漢字かな入力モードでは、「えもじ」と入力し、くるくるローラを下に回して絵文字一覧を表示させることもできます。

記号を入力するときは

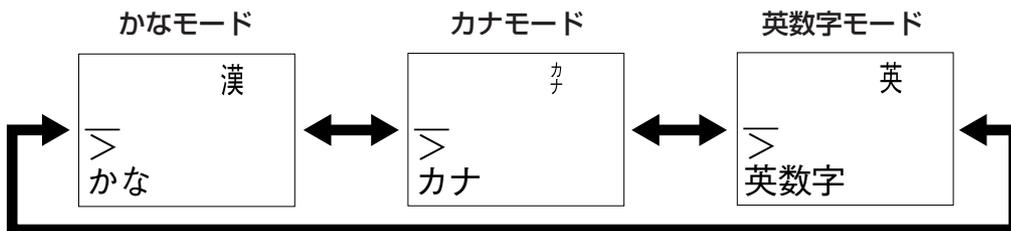
記号一覧 (P.229) から記号を選択して入力することもできます。

ファンクションボタン [サブメニュー] を押し、くるくるローラを回して「記号挿入」を選択し、[L] ボタンを押すと記号一覧が表示されます。[<] ボタン、くるくるローラ、[>] ボタンを押して [L] ボタンを押すと記号が入力されます。漢字かな入力モードでは、「きごう」と入力し、くるくるローラを下に回して記号一覧を表示させることもできます。

子機で文字を入力する

文字入力画面について

文字の入力が可能な状態のとき、[▲]、[▼] ボタンを押すたびに、入力モードが切り替わります。



各ボタンに割り当てられた文字

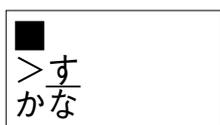
ダイヤルボタン	かなモード	カナモード	英数字モード
[1]	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	1
[2]	かきくけこ	カキクケコ	ABC2
[3]	さしすせそ	サシスセソ	DEF3
[4]	たちつてとっ	タチツテトツ	GHI4
[5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL5
[6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO6
[7]	まみむめも	マミムメモ	PQRS7
[8]	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUV8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ9
[0]	わをん。、 - (スペース)	ワヲン。、 - (スペース)	0-. () ' * # & (スペース)
[キャッチ]	ゝ 。	ゝ 。	

文字の入力方法



入力を間違えたときは、[削除/保留] ボタンを押して入力しなおしてください。[削除/保留] ボタンを2秒以上押すと、1行すべて消えます。

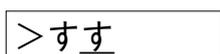
電話帳に「鈴木」と入力する場合の文字の入力方法について説明します。



1 [3] ボタンを3回押します。
「す」が表示されます。



2 [#] ボタンを押します。
カーソルが1つ右に移動します。



3 [3] ボタンを3回押します。
「す」が表示されます。

>すず

4 [キャッチ] ボタンを押します。

「す」が「ず」になります。

>すずき

5 [2] ボタンを2回押します。

「き」が表示されます。

■
>鈴木
かな 001/004

6 [▼] ボタンを押します。

漢字に変換されます。



◎他の候補に変換するときは、[▼] または [▲] ボタンを押して目的の漢字を表示させます。

◎該当する漢字がないときは表示されません。

鈴木_
>
かな

7 [機能] ボタンを押します。

電
話

フ
ァ
ク
ス
/
コ
ピ
ー

ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ

留
守
電

便
利
に
使
う

デ
ィ
ン
バ
ー
・
ブ
レ
ィ

キ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
/
ダ
ィ
ヤ
ル
ィ
ン

シ
モ
ー
ド

こ
ん
な
と
き
は

親機で電話をかける



子機が使われているときは、ディスプレイに「内線2 使用中」と表示され、親機で電話をかけることはできません。また、コピー中や登録・設定中、Lモード画面表示中も電話をかけることはできません。

受話器をとってかける

ダイヤル入力してください

1 受話器をとります。

「ツーン」という音が聞こえます。

0311112222

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

▶ 電話番号を押し間違えたときは

一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

▶ 電話番号を確認してからかけるには

相手先の電話番号をダイヤルしてから受話器をとります。

通話中 通話時間
0:07

3 話をします。

通話時間が表示されます。

4 用件が済んだら、受話器を戻します。

通話時間の表示は約5秒後に消えます。

相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）

話をしている、相手の声が小さくて聞き取りにくいときなどは、[音量] ボタンで受話音量（相手の声）を調節できます。話をしながら、[音量▲ 大] ボタンを押すと音が大きくなります。[音量▼ 小] ボタンを押すと音が小さくなります。受話音量の設定は、電話を切っても元に戻りません。



ワイワイトークでかける（ハンズフリー通話）

親機の受話器を持たずに電話をかけることができます。両手がふさがっているときや、みんなで話したいときに便利です。



- ワイワイトークは、周囲の雑音のない静かな場所でご利用ください。
- マイクに手などを近づけないようにして、マイクから50 cm以内の範囲で話をしてください。
- 周囲の雑音が大きいつきや、話を始めたとき、相手が話している間は、こちらの声が小さいと相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。
- 呼出音や相手の声はモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように、壁などから20 cm以上離して設置してください。
- ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。
 - 受話器をとって、受話器での通話に切り替える
 - [音量▼ 小] ボタンを押してワイワイトーク音量を小さくする ⇒ (P.42)
 また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなりますのでご注意ください。
 - ワイワイトーク中にワイワイトーク音量を大きくしすぎたとき
 - モニタスピーカ、マイクに手などを近づけたとき
 - 反響音大きい所に設置したとき
 - 相手から音声以外の信号（保留音、トーン信号等）が入ってきたとき
- ワイワイトーク中は、内線通話 (P.63)、通話録音 (P.117)、ドアホン通話 (P.119) はできません。

ダイヤル入力してください

1 [ワイワイトーク] ボタンを押します。

[ワイワイトーク] ボタンが点灯します。

0311112222

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

▶ 電話番号を押し間違えたら

[ワイワイトーク] ボタンを押し、もう一度手順1からやりなおしてください。

▶ 電話番号を確認してからかけるには

相手先の電話番号をダイヤルしてから [ワイワイトーク] ボタンを押します。

通話中 通話時間
0:35

3 マイクに向かって話をします。

通話時間が表示されます。

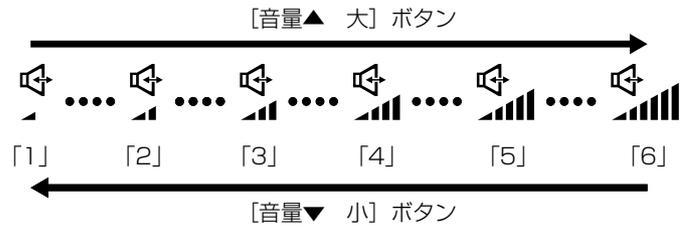
4 用件が済んだら、[ワイワイトーク] ボタンを押します。



- ◎らくらく電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイご契約時には、着信データ (P.145) を使って電話をかけることもできます。
- ◎受話器での通話中にワイワイトークに切り替えたい場合は、[ワイワイトーク] ボタンを押してから受話器を戻してください。
- ◎ワイワイトーク中に受話器での通話に切り替えたいときは、受話器をとってください。

相手の声が聞き取りにくいときは（ワイワイトーク音量の調節）

ワイワイトーク中に「音量」ボタンでモニタスピーカの音量を調節できます。「音量▲ 大」ボタンを押すと音が大きくなり、「音量▼ 小」ボタンを押すと音が小さくなります。



同じ相手にもう一度かける（リダイヤル）

最大10回までダイヤルした相手の電話番号が記憶されており、簡単な操作でダイヤルしなおすことができます。リダイヤルは1件につき最大32桁まで記憶されます。33桁以上ダイヤルした場合は、最初の32桁のみ記憶されます。



- リダイヤルには、電話をかけた相手先だけでなく、ファクスを送信した相手先や話中で通話できなかった相手も含まれています。ご注意ください。
- 子機で電話をかけた相手先には、親機からリダイヤルすることはできません。
- 親機で電話をかけたりファクスを送信した相手先には、子機からリダイヤルすることはできません。

リダイヤルできます
相手先
01. 0311112222
02. 0611112222
...

1 「リダイヤル」ボタンを押します。

最後にダイヤルした相手先の電話番号が一番上に表示されます。

2 電話をかけたい相手先を、くるくるローラを回して選択します。

3 受話器をとります。

相手先を呼び出します。

▶受話器をとってからかけるには

- ① 受話器をとります。
- ② 「リダイヤル」ボタンを押します。
- ③ 電話をかけたい相手先を、くるくるローラを回して選択します。
- ④ 「スタート/コピー」ボタンを押します。
相手先を呼び出します。

ダイヤル中
0311112222

4 話をします。

通話時間が表示されます。

5 用件が済んだら、受話器を戻します。



- ◎らくらく電話帳でかけた相手先にかけなおす場合は、相手先名が表示されます。
- ◎ワイワイトーク（P.41）でリダイヤルすることもできます。

通話中	通話時間
	0:35

▶ **リダイヤルに記憶された電話番号を消去するには**

- ① 手順1~2の操作を行い、消去したい相手先を表示させ、ファンクションボタン [削除] を押します。
- ② ファンクションボタン [はい] を押します。
「〇〇を削除しました」と表示されます。



消去を中止したいときはファンクションボタン [いいえ]、または [ストップ] ボタンを押してください。

らくらく電話帳でかける



- 電話をかける前に電話帳を登録してください。⇒ (P.44) 親機の電話帳には最大100件登録できます。
- 子機で登録した電話帳は、親機では使えません。

電話帳		1/12
電話帳ボタンを押すと登録できます		
名前	電話番号	X-M
鈴木	0311112222	
田中	0611112222	☑

1 【電話帳】 ボタンを押すか、くるくるローラを回します。

登録されている電話帳の一覧が表示されます。

2 電話をかけたい相手先を、くるくるローラを回して選択します。

よみがなが「なし→カナ(50音順)→空白+カナ→記号→数字→アルファベット」の順に表示されます。

▶ **相手先を素早く探してかけるには**

ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
(例： [3 (さ)] ボタンを押すと “佐藤”)



- 該当する行に一人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。
- 親機に登録してある電話帳は子機の電話帳に転送しなければ、子機では使用できません。
「登録した電話帳を子機に転送する」⇒ (P.47)

ダイヤル中
0311112222

3 受話器をとります。

相手先を呼び出します。

▶ **受話器をとってからかけるには**

- ① 受話器をとります。
- ② 【電話帳】 ボタンを押すか、くるくるローラを回します。
- ③ 電話をかけたい相手先を、くるくるローラを回して選択します。
- ④ [スタート/コピー] ボタンを押します。
相手先を呼び出します。

通話中 通話時間
0:35

4 話をします。

通話時間が表示されます。

5 用件が済んだら、受話器を戻します。



ワイワートーク (P.41) で、らくらく電話帳の電話番号にかけることもできます。

電話帳を登録する

親機の電話帳は、最大100件まで登録することができます。1件につき相手先名は全角10文字まで、よみがなは20文字まで、電話番号は32桁まで、メールアドレスは50文字まで登録できます。登録した内容は、電話番号リスト (P.45) で確認できます。



電話帳を登録/変更/削除後、万が一電源を切る場合は、「保存中」の表示が消えて待機画面に戻ってから電源を切ってください。そうしないと、変更されたデータは保存されません。

1 [電話帳] ボタンを押します。

▶ 1件も登録されていないときは

ファンクションボタン [はい] を押すと、手順2の電話帳登録の画面が表示されます。手順3へ進んでください。

電話帳登録	
名前:	<input type="text"/>
よみがな:	<input type="text"/>
電話番号:	<input type="text"/>
メールアドレス:	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

2 もう一度 [電話帳] ボタンを押します。

電話帳登録の画面が表示されます。



電話帳がすでに100件登録されているときは、「電話帳がいっぱいです」と表示されます。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。⇒ (P.46)

3 くるくるローラを回して、登録する項目を選択します。

「名前」「よみがな」「電話番号」「メールアドレス」から選択します。「メールアドレス」は、Lモードのメール送信に使うことができます。

4 [L] ボタンを押します。

5 手順3で選択した項目の内容を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

▶ 入力を間違えたときは

ファンクションボタン [クリア] を押して入力しなおしてください。



- 入力した内容は、一度に削除できません。
- ナンバー・ディスプレイを利用している方は、必ず市外局番から登録してください。また「*」「#」「- (ポーズ)」「(スペース)」は入力しないでください。
- ターミナルアダプタに本機を接続している場合は、ポーズを入れると電話がかけられなくなることがあります。 「INSネット64を利用するには」⇒ (P.140)



- ◎ファンクションボタン [ポーズ] を押して、電話番号に約3秒間のポーズを入力することもできます。ディスプレイには「-」で表示されます。
- ◎途中で登録をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

6 [L] ボタンを押します。

電話帳登録の画面に戻ります。
続けて他の項目を登録するときは、手順3~6を繰り返します。

7 ファンクションボタン [登録] を押します。

「〇〇さんを登録しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。
続けて電話帳を登録するときは、手順2~7を繰り返します。

8 登録を終了するときは [ストップ] ボタンを押します。

「保存中」と表示され、待機画面に戻ります。



ナンバー・ディスプレイをご利用の場合 (P.142) は、着信データに記憶された電話番号を電話帳に登録することもできます。⇒ (P.146)

▶ 登録されている電話帳の一覧をプリントするには (電話番号リスト)

- ① ファンクションボタン [機能] を押します。
- ② [1.リストプリント] を選択し、[L] ボタンを押します。
- ③ [1.電話番号リスト] を選択し、[L] ボタンを押します。

〈電話番号リスト プリント例〉

電話番号 リスト (1)		
2001年 4月 1日 14時03分		
日電太郎		
相手先	電話番号	着信鳴り分け
	メールアドレス	プライベートコール
相田	0312345678	ベル1
		全て
大野	0612345678	
	abcde@fgh.ijk.lmno	全て

リダイヤル表示から電話帳に登録する

リダイヤルできます
相手先
01. 0311112222
02. 0611112222
...

電話帳登録	
名前:	<input type="text"/>
よみがな:	<input type="text"/>
電話番号:	<input type="text" value="0311112222"/>
メールアドレス:	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

1 [リダイヤル] ボタンを押します。

2 電話帳に登録する相手を、くるくるローラを回して選択します。

3 ファンクションボタン [登録] を押します。

4 相手先の名前、よみがな、メールアドレスを入力します。 「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

5 ファンクションボタン [登録] を押します。

登録した電話帳を変更する

電話帳			1/12
電話帳ボタンを押すと登録できます			
名前	電話番号	メ-ル	
鈴木	0311112222		
田中	0611112222	☑	

電話帳登録	
名前:	<input type="text" value="鈴木"/>
よみがな:	<input type="text" value="スズキ"/>
電話番号:	<input type="text" value="0311112222"/>
メールアドレス:	<input type="text" value="abcde@fgh.ijk.lmno"/>
	<input type="text"/>

1 「らくらく電話帳でかける」の手順1～2の操作 (P.43) を行い、変更する電話帳を選択します。

▶ 相手先を素早く探してかけるには ⇨ (P.43)

2 ファンクションボタン [変更/削除] を押します。

3 ファンクションボタン [変更] を押します。

登録内容が表示されます。

4 くるくるローラを回して、変更する項目を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

6 相手先の名前、よみがな、電話番号、メールアドレスを変更します。

「文字の入力のしかた」 ⇨ (P.36)

7 [L] ボタンを押します。

電話帳登録の画面に戻ります。

続けてほかの項目を変更するときは、手順4～7を繰り返します。

8 ファンクションボタン [登録] を押します。

「〇〇さんを登録しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。

登録した電話帳を削除する

1 「らくらく電話帳でかける」の手順1～2の操作 (P.43) を行い、削除する電話帳を選択します。

▶ 相手先を素早く探してかける ⇨ (P.43)

2 ファンクションボタン [変更/削除] を押します。

3 ファンクションボタン [削除] を押します。

4 ファンクションボタン [はい] を押します。

「〇〇さんを削除しました」と表示されたあと、電話帳の一覧が表示されます。



削除を中止したいときはファンクションボタン [いいえ]、または [ストップ] ボタンを押してください。

登録した電話帳を子機に転送する

電話帳の転送のしかたには、次の2つがあります。

- ・電話帳の内容を一度に全部転送する（一斉転送）
- ・1件ずつ転送する（個別転送）

転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。



- 子機から親機には電話帳転送できません。
- 子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
- 子機の電話帳がすでに160件登録されていると、転送できません。
- 子機の電話帳が160件になった時点で転送は終了します。
- 17桁以上の電話番号は転送できません。
- メールアドレスは転送されません。
- 転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
- 転送中、相手の子機は使用できません。ディスプレイに「電話帳転送中」と表示されます。
- 親機の電話帳の「名前」または「よみがな」に以下の文字を登録すると、「名前」「よみがな」が転送されません。子機で入力しなおしてください。
「登録した電話帳を変更する」⇒(P.57)
 - 名前：絵文字、記号の一部、半角文字
 - よみがな：英字の小文字、記号の一部

一度に転送する（一斉転送）

4.登録メニュー

6.電話帳転送

1.一斉
2.個別

転送確認

1 ファンクションボタン【機能】を押します。

2 くるくるローラを回して「4.登録メニュー」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 くるくるローラを回して「6.電話帳転送」を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

6 「1.一斉」を選択し、[L] ボタンを押します。

7 [スタート/コピー] ボタンを押します。

「転送件数/登録件数」が表示されます。

8 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認します。



- ◎子機が2台以上あるときは、手順7のあと、くるくるローラを回して転送したい子機の内線番号を選択し、[L] ボタンを押してください。
- ◎「転送終了しました ××件転送できません」と表示されたときは、子機の電話帳が160件登録されていないか確認し、手順9のあと、転送されなかった電話帳の内容を1件ずつ転送する（個別転送）か、再度一度に転送（一斉転送）しなおしてください。

1件ずつ転送する（個別転送）

4.登録メニュー

6.電話帳転送

1.一斉
2.個別

鈴木 0311112222
田中 0322221111

転送確認

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「4.登録メニュー」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「6.電話帳転送」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「2.個別」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。
- 8 くるくるローラを回して転送したい登録内容を選択します。
- 9 [L] ボタンを押します。
- 10 [スタート/コピー] ボタンを押します。
続けて転送したいときは、手順8から繰り返してください。
- 11 終了するときは [ストップ] ボタンを押します。
- 12 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認します。



- ◎子機が2台以上あるときは、手順7のあと、くるくるローラを回して転送したい子機の内線番号を選択し、[L] ボタンを押してください。
- ◎登録内容が転送できないと「異常終了しました」と表示されます。そのあと待機画面に戻ります。

親機で電話を受ける



- ◎ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。⇒ (P.143)
- ◎ベルは、選択することができます。⇒ (P.129)

1 ベルが鳴ります。

[ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

2 受話器をとって話をします。

受話器を持たずに受けるときは、[ワイワイトーク] ボタンを押して話をします。
通話時間が表示されます。

通話中	通話時間
	0:35

▶相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）⇒ (P.40)

▶受話器をとって「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは

- ・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。
- ・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「受話器をとって無音だったときは」と同じ操作をしてください。

▶受話器をとって無音だったときは

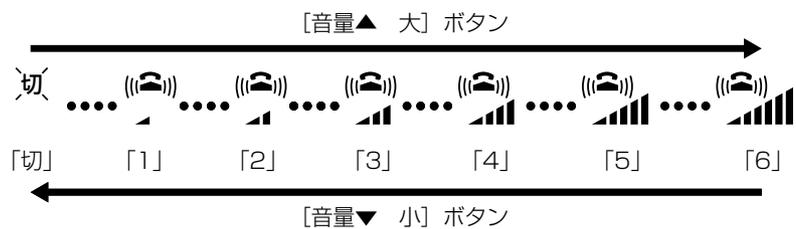
ファクスかも知れません。[スタート/コピー] ボタンを押してみてください。

3 用件が済んだら、受話器を戻します。

ワイワイトークで話をしていたときは、[ワイワイトーク] ボタンを押します。

ベル音量を調節するには

[音量] ボタンでベル音量を調整できます。待機中に、[音量▲ 大] または [音量▼ 小] ボタンを1回押すと、現在のベル音が鳴り、「切」に設定してあるときは鳴りません。もう一度 [音量▲ 大] または [音量▼ 小] ボタンを押すと切り替わります。



親機で保留にする

話をしている途中で、相手に待っていてほしいときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。



- 10分以上保留にしたらまですると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
- 内線通話の保留はできません。
- コピー中や登録・設定中、Lモード画面表示中に電話を受けた場合に保留にするときは、[ストップ] ボタンを押して待機画面に戻ってから [保留] ボタンを押してください。



保留中は受話器を戻しても電話は切れません。

保留中 → 内線番号?

1 通話中に [保留/内線] ボタンを押します。

相手にはメロディ音が流れます。

もう一度話をしたいとき

受話器を戻したときは、受話器をとるとそのまま話ができます。受話器を戻していないときは、もう一度 [保留/内線] ボタンを押してください。

ワイワイトーク中に保留にしたとき

[ワイワイトーク] ボタン、または [保留/内線] ボタンを押すと話ができます。

親機で保留にした電話を子機でとりたいとき

親機の [保留/内線] ボタンを押したあとに、受話器を親機に戻してから、子機の [外線] ボタンまたは [ワイワイトーク] ボタンを押してください。

子機で保留にした電話を親機でとりたいとき

子機の [削除/保留] ボタンを押したあとに、子機を充電器に戻してから、親機の受話器をとってください。充電器が近くにないときは、[削除/保留] ボタンを押したあとに、[外線] ボタンを押してから、親機の受話器をとってください。

保留メロディを変えたいとき

保留メロディは「新世界より『第2楽章』」または「The Sidewalks Of New York」のうち、いずれかを親機で選べます。⇒ (P.129)

子機で電話をかける



- 親機や他の子機が使用中のときや、子機が親機から離れすぎているときは、子機で電話をかけることはできません。
- 親機の登録設定中、Lモード画面表示中やコピー中は、電話をかけることはできません。

クイック通話について

子機を充電器からとると、すぐに通話できる状態になる機能をクイック通話といいます。

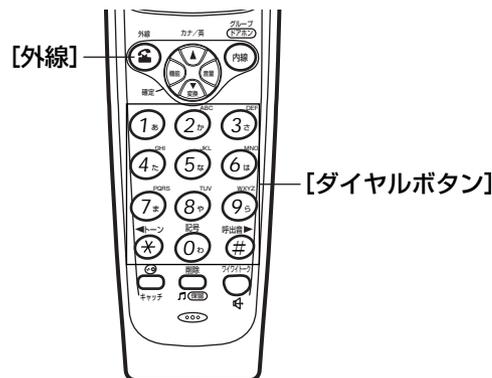
お買い求めいただいたときは、クイック通話の設定 (P.139) は「OFF」です。

- ・クイック通話が「ON」のとき：電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると〔外線〕ボタンまたは〔グループ／ドアホン／内線〕ボタンを押さずに相手と話ができます。
- ・クイック通話が「OFF」のとき：電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は〔外線〕ボタン、内線の場合は〔グループ／ドアホン／内線〕ボタンを押して、相手と話することができます。



クイック通話が「ON」に設定されているとき、子機を充電器からとって約25秒間ダイヤルボタンを押さないと、自動的に電話が切れます。

子機をとってかける



1 待機中 (P.15) に、〔外線〕ボタンを押します。

〔外線〕ボタンを押すと〔外線〕ボタンが点灯し、「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

- ▶ 電話番号を押し間違えたときは
一度充電器に戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。
- ▶ 電話番号を確認してからかけるには
相手先の電話番号をダイヤルしてから〔外線〕ボタンを押します。

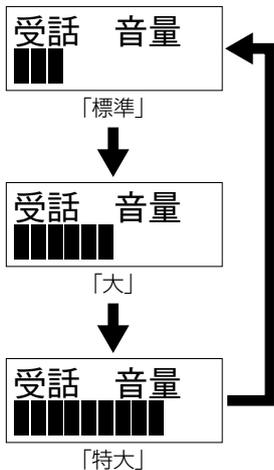
0'08
0311112222

3 話をします。

通話時間が表示されます。

4 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。

相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）



話をしながら [音量] ボタンを押して、受話音量（相手の声）を調節することができます。

ワイワイトークでかける（ハンズフリー通話）

子機を持たずに電話をかけることができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。



- ワイワイトークは、周囲の雑音のない静かな場所をご利用ください。
 - 送話口に手などを近づけないようにして、送話口から50 cm以内の範囲で話をしてください。
 - 周囲の雑音が大きいか、話を始めたとき、相手が話している間は、こちらの声が小さいと相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、送話口に近づいて話をしてください。
 - 呼出音や相手の声はモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないようにしてください。
 - ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。
 - [ワイワイトーク] ボタンを押して、子機をとって話す
 - [音量] ボタンを押して、ワイワイトーク音量を [標準] にする⇒ (P.53)
- また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなりますのでご注意ください。
- ワイワイトーク中にワイワイトーク音量を大きくしすぎたとき
 - モニタスピーカ、送話口に手などを近づけたとき
 - 反響音大きい所に設置したとき
 - 相手から音声以外の信号（保留音、トーン信号等）が入ってきたとき
- ワイワイトーク中は、内線通話 (P.63)、通話録音 (P.117)、ドアホン通話 (P.119) はできません。

1 [ワイワイトーク] ボタンを押します。

[外線] ボタンと [ワイワイトーク] ボタンが点灯し、「ツー」という音が聞こえます。

▶ 子機を充電器に置いているとき

[ワイワイトーク] ボタンの代わりに [外線] ボタンを押してもワイワイトークになります。

0'08
0311112222

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。

▶ 電話番号を押し間違えたときは

一度充電器に戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

▶ 電話番号を確認してからかけるには

相手先の電話番号をダイヤルしてから [ワイワイトーク] ボタンを押します。

0'14

3 話をします。

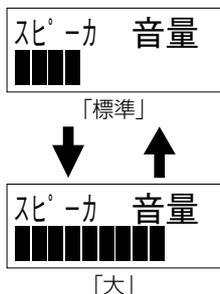
通話時間が表示されます。

4 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。



- ◎ 簡単に電話帳 (P.54)、リダイヤル (P.53) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイご契約時には、着信データ (P.147) を使って電話をかけることもできます。
- ◎ 話の途中でワイワイトークに切り替えたいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。
- ◎ 話の途中でワイワイトークをやめたいときは、充電器に置いている場合は子機をとり、充電器に置いていない場合は [ワイワイトーク] ボタンを押してください。[ワイワイトーク] ボタンが消灯し、相手の声が受話口から聞こえるようになります。

相手の声が聞き取りにくいときは (ワイワイトーク音量の調節)



ワイワイトーク中に [音量] ボタンを押して、モニタスピーカの音量を調節することができます。

同じ相手にもう一度かける (リダイヤル)

最大10件までダイヤルした相手の電話番号が記憶されており、簡単な操作でダイヤルしなおすことができます。リダイヤルは1件につき最大32桁まで記憶されます。33桁以上ダイヤルした場合は、最初の32桁のみ記憶されます。



- 親機で電話をかけたりファックスを送信した相手には、子機からリダイヤルすることはできません。
- 子機で電話をかけた相手先には、親機からリダイヤルすることはできません。

リダイヤル 1
0311112222

1 待機中 (P.15) に、[▲] ボタンを押します。

最後にダイヤルした相手先の電話番号が表示されます。

2 電話をかけたい相手先を、[▲] ボタンを繰り返し押し表示させます。

3 [外線] ボタンを押します。

相手先を呼び出します。

4 話をします。

5 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。



◎らくらく電話帳でかけた相手先にかけなおす場合は、相手先名が表示されます。
◎ワイワイトーク (P.52) でリダイヤルすることもできます。

▶ リダイヤルに記憶された電話番号を消去するには

- ① [機能] ボタンを押します。
- ② [▲]、[▼] ボタンを押して「電話帳 消去」を表示させます。
- ③ [機能] ボタンを押します。
- ④ [▲] ボタンを押して、「リダイヤル 消去」を表示させます。
- ⑤ [機能] ボタンを2回押します。



◎リダイヤル消去の操作を行うと、子機のリダイヤルデータはすべて消去されます。
1件ずつ消去することはできません。
◎途中で操作をやめたいときは、充電器に戻してください。

らくらく電話帳でかける



■電話をかける前に電話帳を登録してください。⇒ (P.56) 子機の電話帳は最大160件まで登録できます。
■親機に登録した電話帳を子機でも使用したいときは、電話帳転送を行ってください。⇒ (P.47)



ワイワイトーク (P.52) で、らくらく電話帳の電話番号にかけることもできます。

50音順で探してかける

日本電気
0311112222

1 待機中 (P.15) に、[▼]、[▲] ボタンを繰り返し押して、電話をかけたい相手先を表示させます。

登録されている電話帳が表示されます。

2 [外線] ボタンを押します。

相手先を呼び出します。

3 話をします。

通話時間が表示されます。

4 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。

グループで探してかける



- 1 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。
- 2 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを繰り返し押し
て、グループを選択します。
- 3 [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押し、電話をかけたい
相手先を表示させます。
選択したグループに登録されている電話帳が表示されます。
- 4 [外線] ボタンを押します。
相手先を呼び出します。
- 5 話をします。
通話時間が表示されます。
- 6 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機
を充電器に戻します。

相手先を素早く探してかける



- 1 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。
- 2 読みカナの行のダイヤルボタンを押します。
ボタンに割り当てられているカナの行の名前が50音順に表示されます。
例：「阿部」を検索するとき [1 (あ)] を押す
- 3 [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押し、電話をかけたい
相手先を表示させます。
- 4 [外線] ボタンを押します。
相手先を呼び出します。
- 5 話をします。
通話時間が表示されます。
- 6 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機
を充電器に戻します。



素早く検索できるのはカナで始まる名前だけです。英数字や記号で始まる名前のときは、
[▼]、[▲] ボタンを押し続け、早送りして探してください。

電話帳を登録する

子機の電話帳には、最大160件まで登録することができます。1件につき相手先名は6文字まで、読みカナは12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

相手先を♥♣♦♠の4種類のグループに分けて登録しておく、電話をかけるときにグループで探してかけることができます。



- ナンバー・ディスプレイを利用している方は、必ず市外局番から登録してください。また「*」、「#」、「-（ポーズ）」は入力しないでください。
- ターミナルアダプタに本機を接続している場合は、ポーズを入れると電話がかけられなくなることがあります。
「INSネット64を利用するには」⇒(P.140)
- 各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやりなおしてください。

電話帳 登録
残り 160件

1 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。



電話帳がすでに160件登録されているときは、「登録不可」と表示されます。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。⇒(P.58)

漢
名前？
>
かな

2 [機能] ボタンを押します。

漢
鈴木正幸_
>
かな

3 相手先の名前 (最大全角6文字) を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒(P.38)

▶ 入力を間違えたときは

[削除/保留] ボタンを押して入力しなおしてください。

カ
読みカナ？
ス キマサユキ
カ

4 [機能] ボタンを押します。

名前のところを入力した読みがカタカナで表示されます。

▶ 修正したいときは

[*] または [#] ボタンで修正したい文字にカーソルを合わせて入力しなおしてください。

鈴木正幸
電話番号？
_

5 読みカナを確認して [機能] ボタンを押します。

6 相手先の電話番号 (最大16桁) を入力します。

12桁を超えて入力したときは末尾から12桁が表示されます。

▶ 入力を間違えたときは

[削除/保留] ボタンを押して入力しなおしてください。



[音量] ボタンを押して「-（ポーズ）」を入力することもできます。

◆
鈴木正幸
電話番号?
0311112222_

鈴木正幸
登録しました
残り 159件

7 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを繰り返し押し てグループを選択します。

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押す
たびに右記の順に切り替わります。



8 [機能] ボタンを押します。

あと何件登録できるか表示されたあと、登録した名前と電話番号が表示されます。



- ◎途中で登録をやめたいときは、充電器に戻してください。
- ◎一つ前の手順に戻るときは、[機能] ボタンを2秒以上押し続けてください。
- ◎通話の途中でも、上記手順で通話中の相手先を登録することができます。
- ◎ナンバー・ディスプレイをご利用の場合 (P.142) は、着信データに記憶された電話番号を電話帳に登録することもできます。⇒ (P.147)

リダイヤル表示から電話帳に登録する

リダイヤル 1
0311112222

漢
名前?
>
かな

1 待機中に、[▲] ボタンを押します。

2 電話帳に登録したい相手先を、[▲] ボタンを繰り返し押し して表示させます。

3 [機能] ボタンを押します。

4 「電話帳に登録する」(P.56) の手順3から手順5を行 います。

5 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを繰り返し押し てグループを選択します。

6 [機能] ボタンを押します。

登録した電話帳を変更する

電話帳 登録
残り 145件

電話帳 変更
現在 15件

♥
阿部太郎
0312345678

1 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。

2 [▼] ボタンを押します。

3 [機能] ボタンを押します。

◆
鈴木正幸
0311112222

◆ 漢
鈴木正幸
>
かな

◆ 英
NEC
>
英数字

◆ カ
読みか？
ｽｽ' キマサユキNEC
か

◆
NEC
電話番号？
0311112222_

NEC
変更しました
現在 15件

電話帳 登録
残り 145件

電話帳 消去
現在 15件

4 [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押しして変更する相手先を表示させます。

「グループで探してかける」⇒ (P.55)

「相手先を素早く探してかける」⇒ (P.55)

5 [機能] ボタンを押します。

名前を変更しないときは、手順7に進んでください。

6 名前を入力しなおします。

[#] ボタンまたは[*] ボタンを押して変更したい文字にカーソルを合わせて名前を入力しなおします。

[削除/保留] ボタンを押すとカーソルの文字が1文字消えます。

[削除/保留] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

7 [機能] ボタンを押します。

読みカナを変更しないときは、手順9に進んでください。

8 読みカナを入力しなおします。

修正のしかたは名前と同じです。

9 [機能] ボタンを押します。

電話番号を変更しないときは、手順11に進んでください。

10 電話番号を入力しなおします。

[削除/保留] ボタンを押して表示されている番号を消し、入力しなおします。

[削除/保留] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

グループを変更しないときは、手順12に進んでください。

11 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してグループを選択します。

12 [機能] ボタンを押します。

登録した電話帳を消去する

1 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。

2 [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押しして「電話帳消去」を表示させます。

♥
阿部太郎
0312345678

◆
鈴木正幸
0311112222

鈴木正幸
消去しますか

消去しました
現在 14件

3 [機能] ボタンを押します。

4 [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押しして消去する相手先を表示させます。

「グループで探してかける」⇒ (P.55)

「相手先を素早く探してかける」⇒ (P.55)

5 [機能] ボタンを押します。

6 [機能] ボタンを押します。



- ◎すべての電話帳を消去したいときは、手順2で「電話帳全消去」を表示させたあと、[機能] ボタンを押してください。確認のメッセージが表示されたら、もう一度[機能] ボタンを押してください。
- ◎消去を中止するときは、手順5で [▼] または [▲] ボタンを押して「中止しますか?」を表示させたあと、[機能] ボタンを押してください。

子機で電話を受ける



◎子機のベルは、親機より少し遅れて鳴ります。
 ◎ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。⇒
 (P.143)

ベル 着信

0'14

1 ベルが鳴ります。

[外線] ボタンと [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

2 子機を充電器からとり、[外線] ボタンを押します。

相手と話ができます。

子機を持たずに電話を受けるときは、[ワイワイトーク] ボタンを押して、話をします。

▶相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）⇒（P.52）

▶子機を充電器からとって「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは

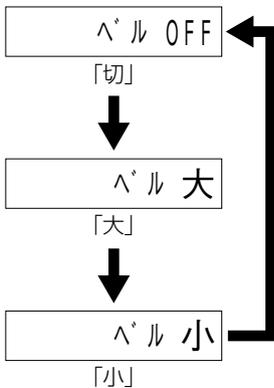
- ・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れたら、[外線] ボタンを押してください。
- ・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「子機を充電器からとって無音だったときは」と同じ操作をしてください。

▶子機を充電器からとって無音だったときは

ファクスかも知れません。[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してから [6] ボタンを押してください。

3 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。

ベル音量を調節するには



待機中 (P.15) に、[#] ボタンを2秒以上繰り返し押すと、「ピッ」または「ピー」(「OFF」のとき) という音がして音量が随時切り替わります。



「OFF」に設定したときも、内線呼出のベルは鳴ります。

子機で保留にする

話をしている途中で、相手に待っていてほしいときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。



- 10分以上保留にしたまましていると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
- 親機の登録設定中、Lモード画面表示中やコピー中に子機で電話を受けて保留にする場合は、親機の「ストップ」ボタンを押し、待機画面に戻ってから「削除／保留」ボタンを押してください。
- 内線通話の保留はできません。



保留中は子機を充電器に戻しても電話は切れません。



1 通話中に「削除／保留」ボタンを押します。

相手にはメロディ音が流れます。
保留中は、「外線」ボタンが点滅します。
ワイワイトーク中に保留にしたときも、「外線」ボタンが点滅します。

もう一度話をしたいとき

〈子機の「削除／保留」ボタンを押して充電器に戻したとき〉
電話は切れません。子機を充電器からとり「外線」ボタンを押してください。
〈子機を充電器に戻していないとき〉
もう一度「削除／保留」ボタンを押してください。

ワイワイトーク中に保留にしたとき

「削除／保留」ボタンを押すと話ができます。

親機で保留にした電話を子機でとりたいとき

親機の「保留／内線」ボタンを押したあとに、受話器を親機に戻してから、子機の「外線」ボタン、または「ワイワイトーク」ボタンを押してください。

子機で保留にした電話を親機でとりたいとき

子機の「削除／保留」ボタンを押したあとに、子機を充電器に戻してから、親機の受話器（または増設した子機）をとってください。充電器が近くにはないときは、「削除／保留」ボタンを押したあとに、「外線」ボタンを押してから、親機の受話器（または増設した子機）をとってください。

保留メロディを変えたいとき ⇒ (P.129)

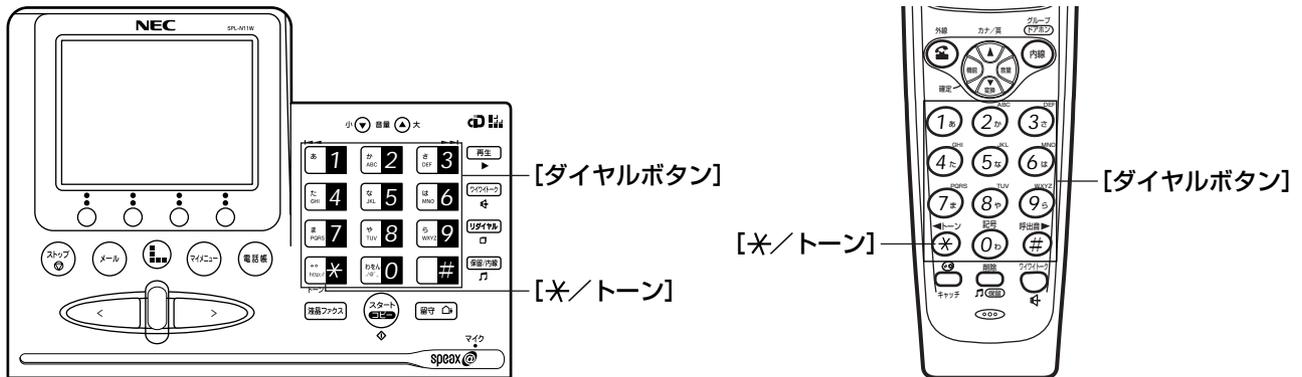
トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご使用の方だけお読みください。

ポケベルにメッセージを送ったり、テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。



この操作は、一時的にトーン（プッシュ）信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。



1 相手に電話をかけます。

2 [* / トーン] ボタンを押します。

[* / トーン] ボタンを押したあとダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送られます。

〈例〉「123」の番号をプッシュ信号で送る場合

[* / トーン] ボタンを押したあと、[1]、[2]、[3] ボタンを続けて押します。

親機と子機で話をする（内線通話）

親機と子機で話をしたり、子機どうして話をしたりすること(内線通話)ができます。
内線通話をかけるときは、親機や子機に割り当てられている内線番号をダイヤルします。
内線番号は次のとおりです。

〈SPL-N10の場合〉

	親機	付属の子機 (1台目)	増設した子機* (2台目)	増設した子機 (3台目)	増設した子機 (4台目)
内線番号	1	2	3	4	5

*SPL-N11Wの場合は、「付属の子機（2台目）」になります。

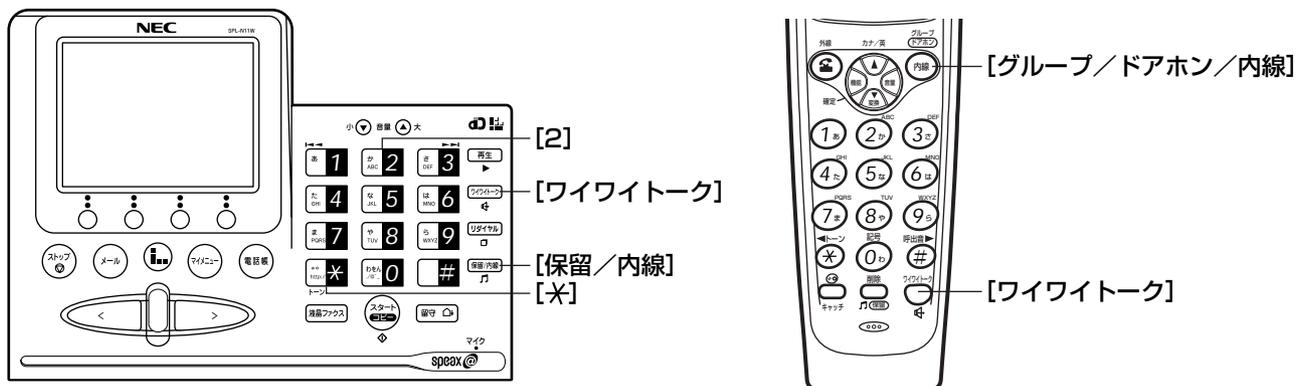


- ◎すべての親機・子機を呼び出すときは、内線番号の代わりに【★】ボタンを押します。
- ◎増設できる子機については「子機の増設」(P.227)をご覧ください。



- 内線通話は保留できません。
- どちらかが外線で通話中のときは、内線通話はできません。
- 内線の呼出中や、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。外線に出るときは、親機の場合はいったん受話器を戻して再度とってください。子機の場合は【外線】ボタンを押すと外線に出られます。
- 三者通話はできません。
- ワイワイトークの注意事項は、P.41、52をご覧ください。

親機から子機にかける



親機

子機

- 1** [保留/内線] ボタンを押してから [2] ボタンを押します。
[ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

内線2 を呼出中

▶ 子機が2台以上ある場合

[保留/内線] ボタンを押してから、子機の内線番号 (P.63) を押してください。
[保留/内線] ボタンを押してから、[*] ボタンを押すと、すべての子機を一斉に呼び出します。

- 2** 相手が出たらマイクに向かって話をします。

[ワイワイトーク] ボタンが点灯します。
受話器をとって話をすることもできます。

内線2 と通話中

- 3** 用件が済んだら、[ワイワイトーク] ボタンを押す、または受話器を戻します。

- 1** ベルが鳴ります。

内線 着信

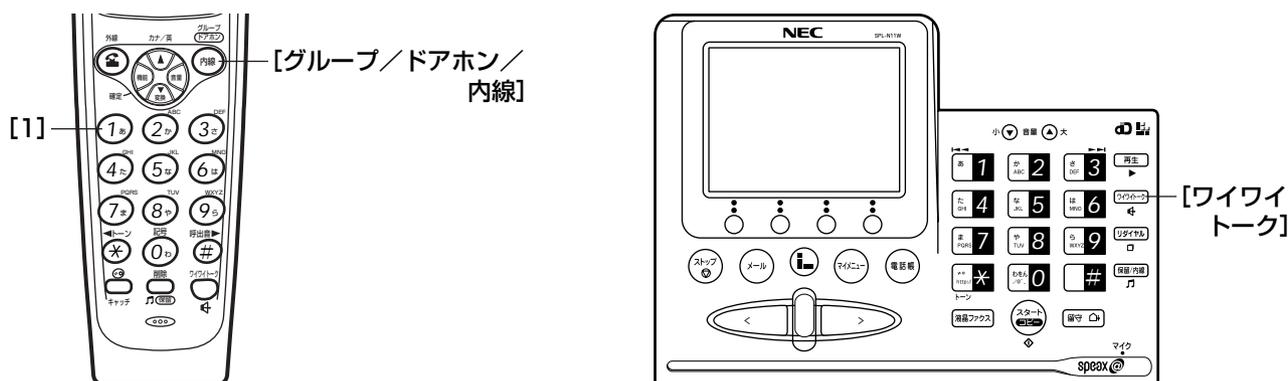
- 2** 充電器からとり、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して話をします。

[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線

- 3** 用件が済んだら、充電器に戻す、または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。

子機から親機にかける



子機

親機

- 1 待機中 (P.15) に、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してから [1] ボタンを押します。

充電器に置いたまま [グループ/ドアホン/内線] ボタン、[1] ボタンを押すとワイワイトークで話ができます。

内線 呼出

- 2 相手が出たら、話をします。

内線

- 3 用件が済んだら、充電器に戻す、または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。

- 1 ベルが鳴ります。

内線2 から着信中

- 2 受話器をとって話をします。
[ワイワイトーク] ボタンを押して出することもできます。

内線2 と通話中

- 3 用件が済んだら、受話器を戻す、または [ワイワイトーク] ボタンを押します。

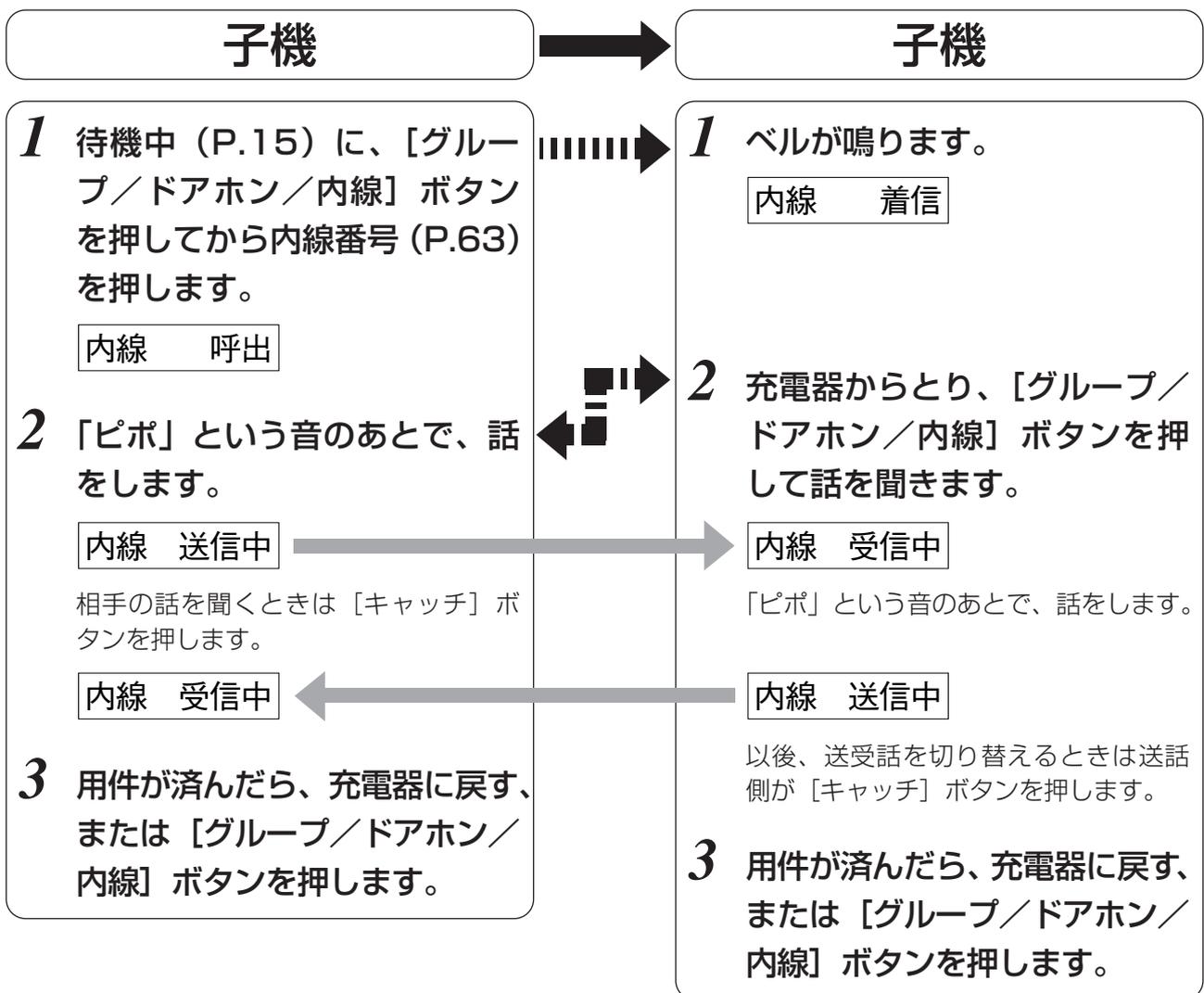
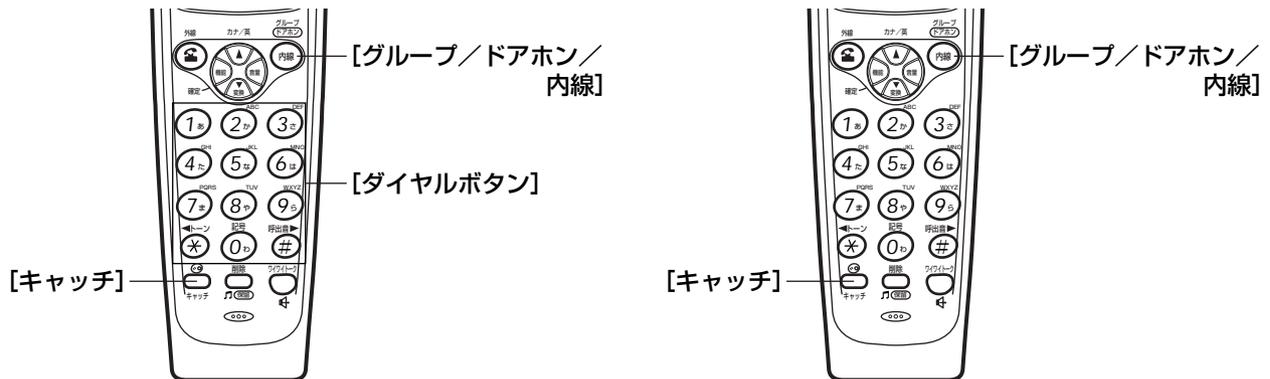
子機から子機にかける

SPL-N10で子機を増設した場合（簡易子機間通話：トランシーバー方式）

SPL-N10で子機を増設した場合は、トランシーバー方式の内線通話をすることができます。



- 相手の子機と同時に話すことはできません。送話側が話したあと [キャッチ] ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- 送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話が自動で終了します。

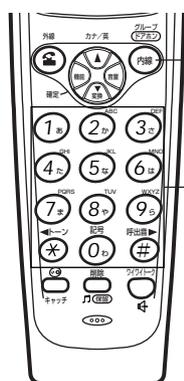


SPL-N11Wの場合（子機間通話：双方向）

SPL-N11Wの場合は、子機と子機で双方向の内線通話ができます。

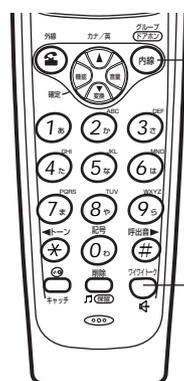


- 子機2台と親機を近くに設置している場合、子機から子機への呼び出しができないことがあります。
- 一方がワイワイトークで話していると、もう一方の子機はワイワイトークで話せません。



[グループ/ドアホン/内線]

[ダイヤルボタン]



[グループ/ドアホン/内線]

[ワイワイトーク]

子機

子機

- 1 待機中 (P.15) に、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してから内線番号 (P.63) を押します。

充電器に置いたまま [グループ/ドアホン/内線] ボタン、内線番号を押すとワイワイトークで話ができます。

内線 呼出

- 2 話をします。

内線

- 3 用件が済んだら、充電器に戻す、または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。

- 1 ベルが鳴ります。

内線 着信

- 2 充電器からとり、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して話をします。

[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線

- 3 用件が済んだら、充電器に戻す、または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。

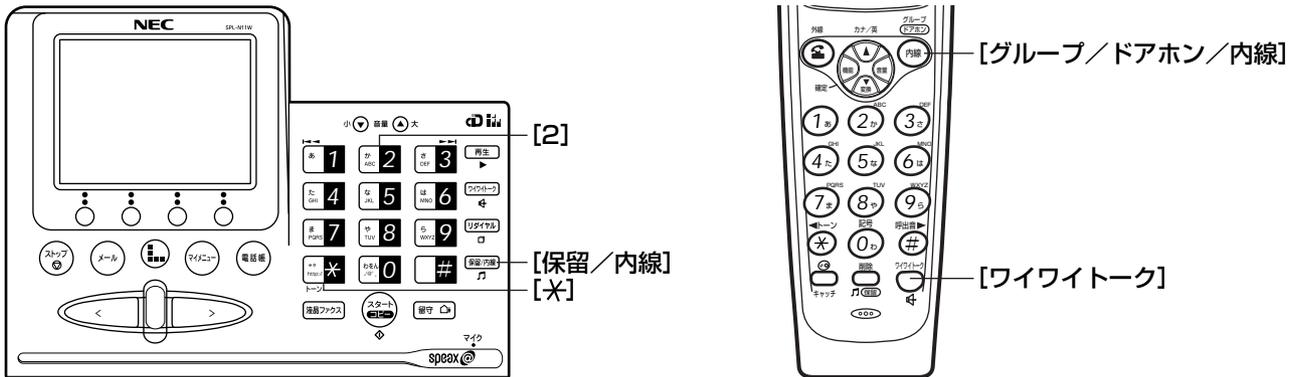
外線電話を他の電話機に転送する（外線転送）

外線電話を、親機から子機に転送したり、子機から親機や他の電話機に転送したりすることもできます。



ワイワイトークの注意事項は、P.41、52をご覧ください。

親機から子機に転送する



親機

子機

1 外線通話中に、[保留/内線] ボタンを押してから [2] ボタンを押します。

外線は保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

内線2 を呼出中

▶ **子機が2台以上ある場合**

[保留/内線] ボタンを押してから、子機の内線番号 (P.63) を押してください。
[保留/内線] ボタンを押してから、[*] ボタンを押すと、すべての子機を一斉に呼び出します。

2 用件を伝えます。

内線2 と通話中♪♪

3 受話器を戻します。

1 ベルが鳴ります。

内線 着信

2 充電器からとり、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して話をします。

[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線

3 外線とつながります。

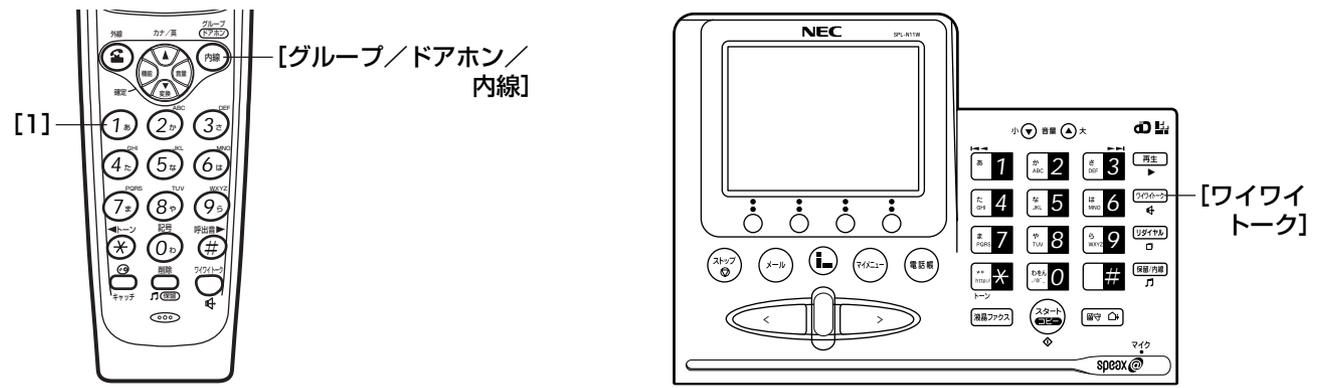
▶ **子機が出ない**

[保留/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

▶ **子機に切り替えたい（1人で転送したい）**

手順1で [保留/内線] ボタンを押し、受話器を戻し、子機を充電器からとり、子機の [外線] ボタンを押すと、子機で外線と通話ができます。

子機から親機に転送する



- 1 外線通話中に、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してから [1] ボタンを押します。

内線	0'15
呼出	
- 2 用件を伝えます。

内線	0'20
----	------
- 3 充電器に戻す、または [外線] ボタンを押します。

- 1 ベルが鳴ります。

内線2 から着信中

- 2 受話器をとって話をします。
 [ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線2 と通話中♪♪

- 3 外線とつながります。

- ▶ 親機が出ない
 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。
- ▶ 親機に切り替えたい (1人で転送したい)
 手順1で [削除/保留] ボタンを押し、充電器に戻すまたは [外線] ボタンを押したあと、親機の受話器をとると外線と通話ができます。

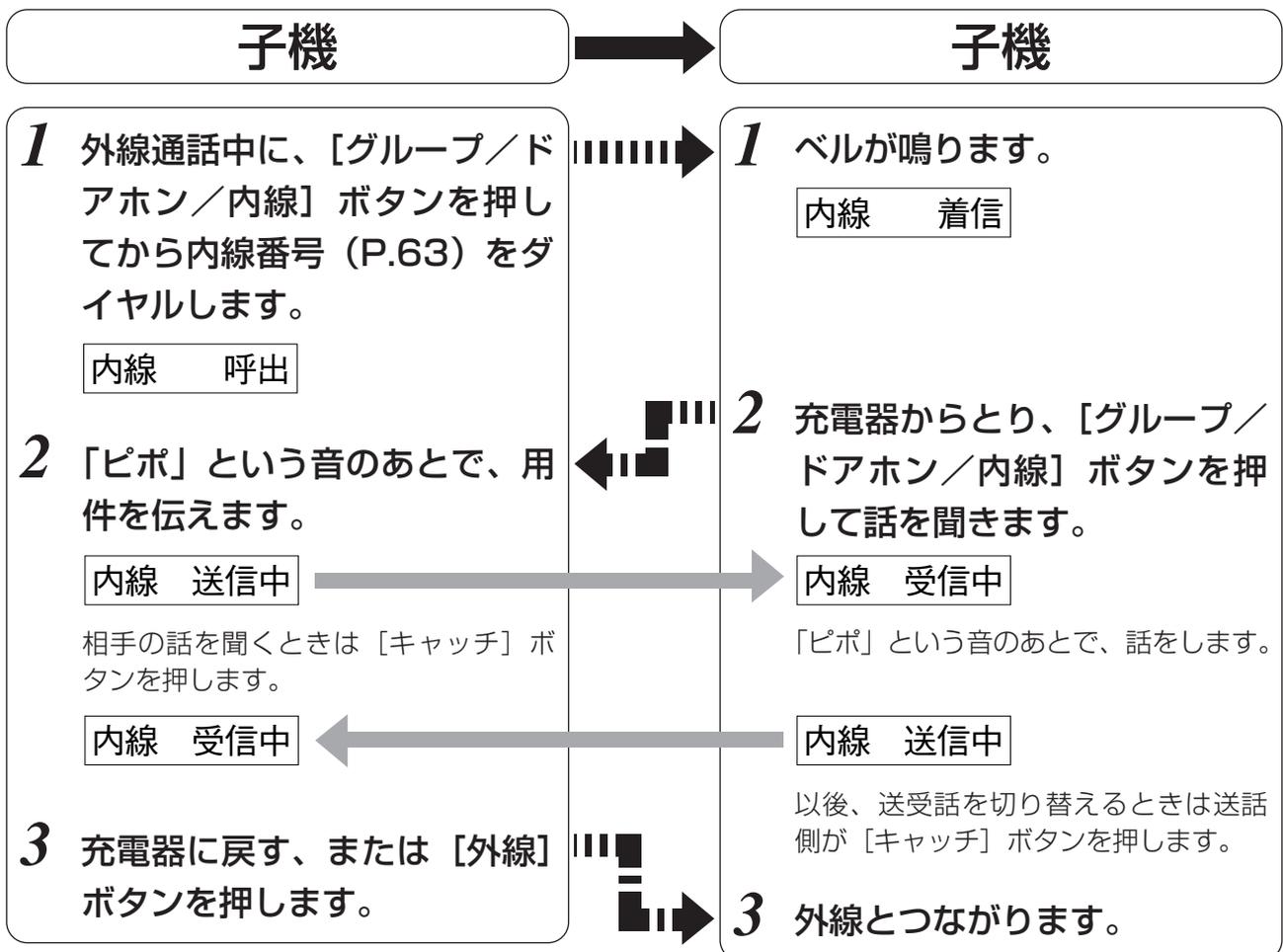
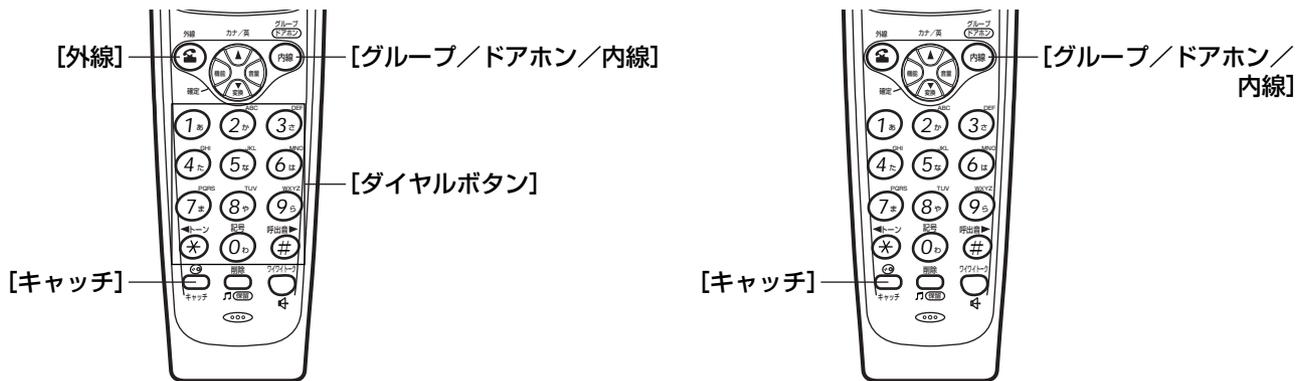
子機から子機に転送する

SPL-N10で子機を増設した場合

SPL-N10で子機を増設した場合は、以下の方法で外線転送することができます。



- 相手の子機と同時に話すことはできません。送話側が話したあと [キャッチ] ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- 送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話は自動的に外線との通話に戻ります。



▶ 他の子機が出ない

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

▶ 他の子機に切り替えたい (1人で転送したい)

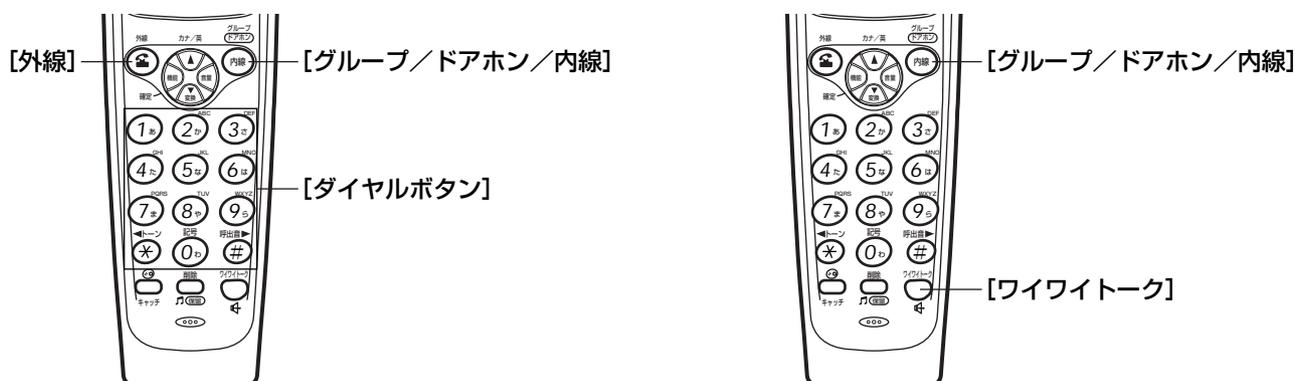
手順1で [削除/保留] ボタンを押し、充電器に戻すまたは [外線] ボタンを押したあと、他の子機の [外線] ボタンを押すと、外線と通話ができます。

SPL-N11Wの場合

SPL-N11Wの場合は、次の方法で外線転送ができます。



- 子機2台と親機を近くに設置している場合、子機から子機への呼び出しができないことがあります。
- 一方の子機がワイワイトークで話していると、もう一方の子機はワイワイトークで話せません。



子機

子機

1 外線通話中に、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押してから内線番号 (P.63) をダイヤルします。

内線 呼出

2 用件を伝えます。

内線

3 充電器に戻す、または [外線] ボタンを押します。

1 ベルが鳴ります。

内線 着信

2 充電器からとり、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して話をします。
[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。

内線

3 外線とつながります。

▶ 他の子機が出ない

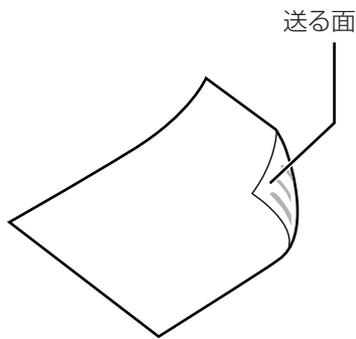
[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

▶ 他の子機に切り替えたい (1人で転送したい)

手順1で [削除/保留] ボタンを押し、充電器に戻すまたは [外線] ボタンを押したあと、他の子機の [外線] ボタンを押すと、外線と通話ができます。

原稿について

原稿のセット方法、送信/コピーできる原稿の制限について、以下の点を守って操作してください。



原稿は、送信/コピーする面を裏にしてセットします。

▶ **原稿は一度に10枚以内**

一度に10枚までの原稿をセットして、1回の操作で連続して送信/コピーできません（同じ紙質、同じ大きさの場合）。11枚以上送ったり、コピーするときは、何回かに分けて送信またはコピーしてください。

▶ **原稿の先端をそろえてからセット**

複数枚の原稿をセットするときは、先端をそろえてください。

▶ **用紙の幅や厚さをそろえる**

紙の厚さが異なる原稿を重ねてセットすると、送信/コピーもれが発生することがあります。また、幅の異なる原稿は同時にセットしないでください。原稿がつまる原因となることがあります。このような場合は、1枚ずつ送信またはコピーをしてください。

原稿のサイズおよび厚さ

原稿のサイズおよび厚さには以下の制限があります。

	1枚だけ送る場合	複数枚の原稿をセットして送る場合
最大	257×1000 mm	257×364 mm (B4サイズ)
最小	128×128 mm	128×128 mm
厚さ	0.05~0.15 mm	0.065~0.10 mm

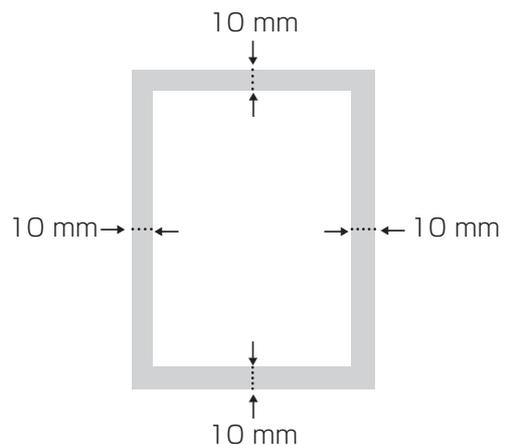


◎ 相手がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。

◎ 取扱説明書の本ページの厚さが0.08 mmですので、原稿の厚さの目安としてください。

読み取り可能範囲

原稿の縁から10 mm以内の範囲は、読み取れない場合があります。右記のグレーの部分に文字や図がかかっていると、その部分は消えた状態で送信されたりコピーされたりすることがあります。



そのままでは送れない原稿

次のような原稿は、複写機でコピーするか、ハンドスキャナを使って送信してください。ハンドスキャナの使いかたは、「ハンドスキャナを使う」(P.90)をご覧ください。

	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○*
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○
感圧紙、裏カーボン紙など、化学処理した紙	○
小さすぎる紙 (128×128 mm未満)	○*
薄すぎる紙 (0.05 mm未満)	○*
厚すぎる紙 (0.15 mmを超える)	○
のりやテープで貼り合わせた紙	× (複写機でコピーしてください)

* 白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。



- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。つけたまま送信/コピーをすると、故障の原因となることがあります。
- インクや修正液、のりなどがついた原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿の色にご注意

-  青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります(ブルーブラックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません)。薄い鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。
-  赤は、黒と同様に鮮明に読み取ることができます。ただし、赤などの濃い地色の紙に黒で書かれた原稿は、地色と文字色がいずれも黒くなってしまうため、鮮明に送信できません。
-  文字の小さな原稿や写真の入った原稿は、画質モードを設定することで鮮明なファックスを送信したり、コピーすることができます。
「写真や小さい文字の原稿のとき」⇒ (P.74)

送信／コピーの準備

ファクスを送る／コピーする前に知っておいていただきたい、原稿を鮮明に送ったり、コピーするための設定と原稿のセットのしかたについて説明します。

写真や小さい文字の原稿のとき

文字の小さい原稿や写真のように濃淡のある原稿でも鮮明に送ったり、コピーをとったりすることができます。送信やコピーをする前に原稿の文字の大きさに合わせてファンクションボタン「画質」で調節してください。

画質：ふつう

1 ファンクションボタン「画質」を押します。

現在の画質の設定が表示され、ファンクションボタン「画質」を押すごとにディスプレイの表示が変わります。お買い求めいただいたときは「ふつう」に設定されています。



このくらいの文字の大きさのとき

ふつう：文字の大きさ

小さい：文字の大きさ

細かい：文字の大きさ

写真：（右図参照）



〈例〉写真原稿



- ◎「細かい」に設定した場合、相手機によっては「小さい」で送信することがあります。
- ◎コピーのときは、「小さい」、「細かい」、「写真」の中から選んでください。「ふつう」に設定した場合は「小さい」でコピーします。
- ◎写真や濃淡のある原稿を送信／コピーするときは、「写真」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。
- ◎「写真」に設定した場合に、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を薄くしてみてください。⇒ (P.75)
- ◎「細かい」、「写真」に設定すると、「ふつう」や「小さい」にくらべ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。
- ◎色地の原稿を「細かい」、「写真」で送ると、送信時間が極端に長くなる場合があります。色地の原稿を送るときは、「ふつう」または「小さい」に設定してください。

基本的なご注意



原稿の読み取りは、ハンドスキャナの原稿読み取り面で行います。読み取り面が汚れていると、その汚れは黒い縦線となって送信／コピーされてしまいます。読み取り面は月に一度くらい定期的に清掃をして常にきれいな状態にしておきましょう。
「ハンドスキャナの清掃」⇒ (P.210)



ファクスは、同じ大きさの原稿でも、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。

色のついた原稿や薄い文字の原稿のとき

用紙に色がついているときや、原稿の文字が薄いときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調節することができます。送信やコピーをする前に調節してください。

▶ 読み取り濃度の目安

コピーや黒ペン書きの原稿	「■■□□」
カラー紙などの色地原稿や新聞紙などの濃い原稿	「□□□□」
鉛筆書きなどの薄い原稿	「■■■■」

3.設定メニュー

3.読み取り濃度

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「3.設定メニュー」を選択します。

- 3 [L] ボタンを押します。

- 4 くるくるローラを回して「3.読み取り濃度」を選択します。

- 5 [L] ボタンを押します。

現在の読み取り濃度が表示されます。

- 6 読み取り濃度を [<]、[>] ボタンで選択します。

5段階の調節ができます。[>] ボタンを押すごとに濃くなり（薄い原稿を読み取る時）、[<] ボタンを押すごとに薄くなります（濃い原稿を読み取る時）。くるくるローラでも調節できます。

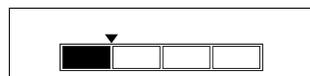
- 7 [L] ボタンを押します。



- ◎ 設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「レベル 2（ふつう）」に設定を戻してください。
- ◎ 読み取りの具合を確認したいときは、コピーをとって確認してください。
- ◎ 途中で設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。



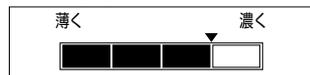
「より薄く」



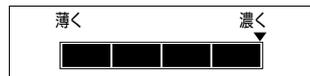
「薄く」



「ふつう」



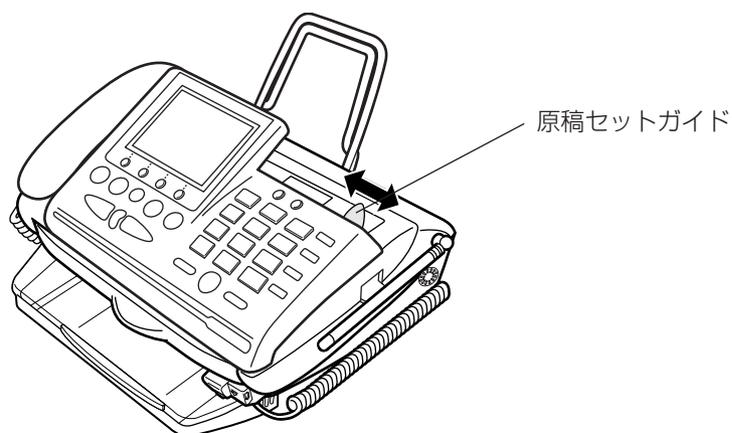
「濃く」



「より濃く」

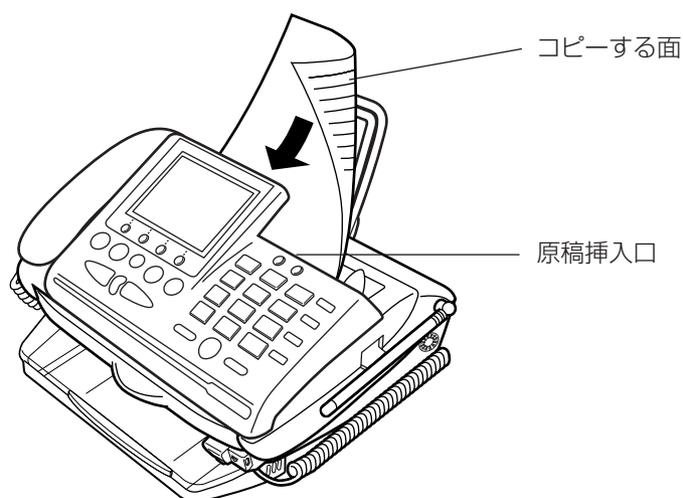
原稿セットのしかた

- 1** 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。

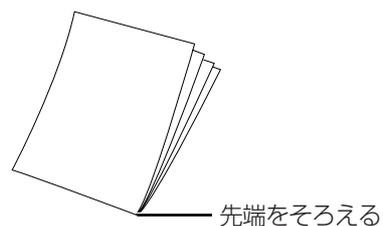


- 2** 送信／コピーする面を「裏向き」にし、原稿の上の方から原稿挿入口に差し込みます。

原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。複数枚セットしたときは、下から順に送られます。



- ◎原稿は一度に10枚までセットできます。複数枚セットするときは、先端をそろえてください。
- ◎11枚以上の原稿を送ったり、コピーをするときは、何回かに分けて送信またはコピーをしてください。途中で原稿を追加することはできません。
- ◎幅や厚さの異なる原稿を同時にセットしないでください。
- ◎差し込んだ原稿を取り除きたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。



送信のしかた

受話器をとらずに送ったり、電話で話をしてから送ったりできます。

ファクスを自動で送る（自動送信）

原稿をセットしました
画質：ふつう

電話番号
0311112222

ダイヤル中
0311112222

送信中 01ページ目
0311112222

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇒ (P.76)
現在の画質の設定 (P.74) が表示されます。

2 相手先の電話（ファクス）番号をダイヤルします。

受話器を置いたまま親機のダイヤルボタンでダイヤルします。
番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。



らくらく電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイで契約時には、着信データ (P.145) を使うこともできます。

▶ 番号を押し間違えたときは

ファンクションボタン [クリア] を押して、入力しなおしてください。

3 [スタート/コピー]ボタンを押します。

送信が始まります。



原稿は、自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがありますが、無理に引き抜かないでください。



- ◎「リダイヤル待ち1回目」と表示されたときは、オートリダイヤルがはたらき、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします。
- ◎ディスプレイに相手先の名前（電話帳に登録した場合）や電話番号が表示されます。
- ◎自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせたいときは、「発信元記録」に登録してください。⇒ (P.124)
- ◎途中で送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。送信終了後、残った原稿を排出するときは、もう一度 [ストップ] ボタンを押すと、「原稿排出中」と表示し、原稿が排出されます。

送信できなかったとき

相手が話中だったときなど、ファクスが正常に送れなかったときは、不達レポートがプリントされます。

〈プリント例〉

不達 レポート					
2001年 4月 1日 15時30分					
日本電気					
以下の文書が送信できませんでした。					
通信開始日時	通信時間	相手先	モード*	枚数	通信結果
4月 1日 15時29分	16秒	0312345678	G3	0	通信異常

〈「通信結果」欄の見かた〉

通信結果欄には、送信できなかった理由を次のように表示します。

「無応答」 ……次のいずれかの場合に表示します。

- ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。
- ・相手先が電話に出ません。
- ・電話回線が正しく接続されていないか、断線しているおそれがあります。

「話し中」 ……次のいずれかの場合に表示します。

- ・相手先が話中です。
- ・回線が混み合っています。

「呼び出し」 ……相手先から通話予約などで呼び出しを受けています。

「通信異常」 ……相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。

「中断」 ……通信中に（自分が）中断操作をしたおそれがあります。

海外へ送るときは

海外へファクスを送るときは、海外通信の設定をしてください。⇒ (P.134)

通信管理レポートのプリント

ファクスの送信結果、受信結果の一覧をプリントすることができます。

- ① ファンクションボタン [機能] を押します。
- ② [1.リストプリント] を選択し、[L] ボタンを押します。
- ③ くるくるローラを回して [4.通信管理レポート] を選択し、[L] ボタンを押します。



プリントを中止したいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

〈プリント例〉

通信 管理 レポート					
2001年 4月 1日 13時51分					
(送信)					
日本電気					
通信開始日時	通信時間	相手先	モード*	枚数	通信結果
4月 1日 0時05分	17秒	25	G3	0	中断
4月 1日 0時08分	01分59秒	相川	ECM	7	O.K.
4月 1日 0時15分	01分00秒	佐々木	ECM	1	O.K.

相手と話をしてから送る（手動送信）

相手先に電話をかけて、話をしてからそのままファクスを送ることができます。



相手から電話がかかってきた場合でも、話をしたあとにそのままこちらからファクスを送ることもできます。

原稿をセットしました
画質：ふつう

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇒ (P.76)
現在の画質の設定 (P.74) が表示されます。

2 受話器をとります。

「ツー」という音が聞こえます。

ダイヤル入力してください
0311112222

3 相手先の電話（ファクス）番号をダイヤルします。

相手先を呼び出します。電話番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶ 電話番号を押し間違えたときは

一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

通話中 通話時間
0:35

4 話をします。

▶ 「ピーヒョロヒョロ」という音がしたときや何も音がしなくなったときは相手先が自動受信（ファクスだけを受信する状態）になっています。[スタート/コピー] ボタンを押してください。

5 相手に受信の操作をしてもらいます。



こちらが先に [スタート/コピー] ボタンを押してから、相手に受信の操作をしてもらっても送信できます。

送信中 01ページ目
0311112222

6 [スタート/コピー] ボタンを押し、受話器を戻します。

送信が始まります。
受話器を戻しても、ファクスを送り終わるまで電話は切れません。

▶ 子機で話をしていたときは

親機に原稿をセットし、[スタート/コピー] ボタンを押します。



原稿は自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがあります。無理に引き抜かないでください。



- ◎ ちらちら電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイご契約時には、着信データ (P.145) を使うこともできます。
- ◎ 途中で送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- ◎ こちらと相手先の両方で受話器を上げたまましていると、ファクスを送信したあとにもう一度話をすることができます。
- ◎ ワイワイトーク (P.41) で、手動送信することもできます。

複数の相手先へ送る（みんなに送信）

同じ原稿を複数の相手先（最大10件まで）へ送信することができます。



- 電話帳に登録している相手先のみ指定することができます。
- ハンズキャナで読み取った原稿は、「みんなに送信」はできません。

原稿をセットしました
画質：ふつう

電話帳	1/12
電話帳ボタンを押すと登録できます	
名前	電話番号 M-L
鈴木	0311112222
田中	0611112222 ☑

電話帳（みんなに送信： 1ヶ所）	
複数の宛先を選択することができます	
名前	電話番号 M-L
*鈴木	0311112222
田中	0611112222 ☑

電話帳（みんなに送信： 3ヶ所）	
スタートボタンを押すと送信します	
01.鈴木	0311112222
02.田中	0611112222
03.中村	0311113333

原稿読み取り中 01ページ目



ダイヤル待ち 1/3

1 原稿をセットします。

「原稿のセットのしかた」⇒（P.76）
現在の画質の設定（P.74）が表示されます。

2 [電話帳] ボタンを押すか、くるくるローラを回します。

3 くるくるローラを回して、相手先を選択します。

4 ファンクションボタン [宛先選択] を押します。

手順3で選択した相手先の先頭に「*」がつきます。

5 手順3、4を繰り返し、相手先を選択します。

6 ファンクションボタン [選択終了] を押します。

選択した複数の相手先が表示されます。

▶ 選択した相手先を削除するときは

くるくるローラを回して削除したい相手先を選択し、ファンクションボタン [宛先削除] を押します。

7 [スタート/コピー] ボタンを押します。

原稿の読み取りが始まります。
原稿の読み取りが終わると、送信が始まります。



- ◎メモリには「小さい」モード（P.74）で、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿を最大10枚程度記憶することができます。
- ◎途中で原稿の読み取りや送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- ◎送信できなかったときは、不達しポートがプリントされます。⇒（P.78）
- ◎「通信できませんでした」と表示されたときは、相手への送信をやめて次の相手先へ送信を開始します。

「メモリフル」と表示されたとき

メモリフル



04ページ送信します

「ピーピーピーピー」 という音がして、「メモリフル」とディスプレイに表示されます。

メモリに読み取った原稿のみを送信するかどうかの選択画面が表示されます。

▶読み取った原稿のみを送信するとき

[スタート/コピー] ボタンを押すと、メモリに読み取ったページまでが送信されます。メモリフルが発生したページ（左記のディスプレイ表示例では5ページ目）は送信されません。

約60秒間何も操作せずにいると、自動的に送信が始まります。

▶読み取った原稿も含めて送信をやめるとき

[ストップ] ボタンを押します。

もう一度 [ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。



- ◎1枚目の原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、「原稿を取ってください」とディスプレイに表示されます。[ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。
- ◎1枚目の原稿を読み取り中に「メモリフル」と表示された場合は、みんなに送信できません。自動 (P.77) または手動 (P.79) で送信してください。

みんなに送信レポート

- ・送信後、みんなに送信レポートが出力されます。
- ・送信できなかったときは、みんなに送信レポートが通信結果としてプリントされます。不達レポートは出力されません。

「不達レポート」⇒ (P.78)

〈プリント例〉

みんなに送信 レポート																													
2001年 4月 1日 13時52分																													
日本電気																													
受付日時	相手先数	枚数																											
4月 1日 13時43分	10	03																											
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 2px;">ファックス送達先</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[伊藤] O.K.</td> <td>[佐藤] O.K.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[加藤] O.K.</td> <td>[田中] O.K.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[菊尾] O.K.</td> <td>[山本] O.K.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[30] O.K.</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 2px;">ファックス不達先</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[和田] 話し中</td> <td>[小林] 中断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[西村] 通信異常</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			ファックス送達先			[伊藤] O.K.	[佐藤] O.K.		[加藤] O.K.	[田中] O.K.		[菊尾] O.K.	[山本] O.K.		[30] O.K.			<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 2px;">ファックス不達先</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[和田] 話し中</td> <td>[小林] 中断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[西村] 通信異常</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			ファックス不達先			[和田] 話し中	[小林] 中断		[西村] 通信異常		
ファックス送達先																													
[伊藤] O.K.	[佐藤] O.K.																												
[加藤] O.K.	[田中] O.K.																												
[菊尾] O.K.	[山本] O.K.																												
[30] O.K.																													
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 2px;">ファックス不達先</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[和田] 話し中</td> <td>[小林] 中断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[西村] 通信異常</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			ファックス不達先			[和田] 話し中	[小林] 中断		[西村] 通信異常																				
ファックス不達先																													
[和田] 話し中	[小林] 中断																												
[西村] 通信異常																													

受信のしかた

ファクスは、設定によって自動で受けたり、通話のあとに手で受けたりすることができます。

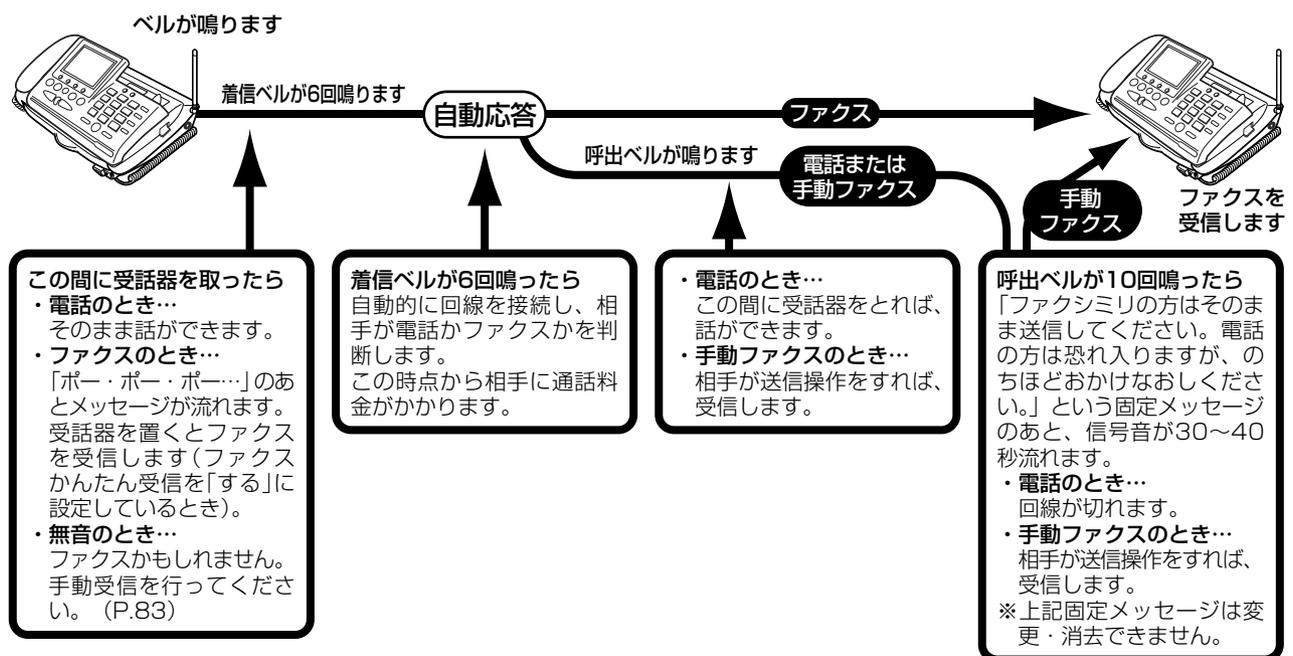


受信した文書は、記録紙スタックに10枚以上ためないでください。⇒ (P.12) また、記録紙カセットのカバーに、シールなどを貼り付けしないでください。記録紙づまりの原因になります。

自動で受ける

本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信します。電話のときは呼出ベルが鳴ります。

電話／ファクス自動切替のしくみ



- 留守をセットしたときは、電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります。⇒ (P.104)
- 自動応答すると、相手の受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手に通話料金が掛かります。また、つながった時点でメッセージを流すことができます。 「電話をかけてきた相手にメッセージを流す」⇒ (P.130)
- 本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。
 - 不要な用件を消す⇒ (P.108)
 - メモリ受信を「しない」に設定する⇒ (P.135)
- ファクスが入ったときにすぐ受信できるようにしたいときは、着信ベルの鳴る回数を少なく設定してください。 「着信ベル回数を変える」⇒ (P.128)

▶ベルの回数を変えたい

着信ベル回数は、0~19回に設定できます。⇒ (P.128) お買い求めいただいたときは「6回」に設定されています。

呼出ベル回数は、1~19回まで設定できます。⇒ (P.128) お買い求めいただいたときは、「10回」に設定されています。

▶ベルを鳴らさないで受信したい

着信ベル回数を0回にしてください。⇒ (P.128)

▶自動切替をやめたい

いつでも電話を受けたい方や、いつでもファクスで受けたい方は、着信モードを設定してください。⇒ (P.127)

ファクスかんたん受信とは

電話に出たとき、相手がファクスだった場合は「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れます。メッセージにしたがい親機は受話器を置く、子機は充電器に戻すまたは[外線] ボタンを押すと、自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を置くと、回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を置いてください。

ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信できません。手動で受信してください。

- ・相手が無音のとき
- ・こちらから電話をかけたとき
- ・通話中

また、コピー中、登録設定中やLモード画面表示中の場合も、ファクスかんたん受信できません。コピー、登録設定、Lモードの操作を中断すると受信します。

通信管理レポートのプリント ⇒ (P.78)

手動でファクスを受ける (手動受信)

電話で話をしたあとに、そのまま電話を切らずにファクスの受信をすることができます。

お問い合わせいただいたときは、ファクスかんたん受信を「する」に設定されているので「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえれば、[スタート/コピー] ボタンを押さずに受話器を戻すだけで受信することができます。⇒ (上記)

通話中	通話時間
	0:35

1 相手と話をします。



どちらから電話をかけた場合でも、ファクスを受けることができます。

▶ 受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音がしたときは

相手が自動送信のファクスです。[スタート/コピー] ボタンを押してください。

2 相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます。

▶ 何も音が聞こえないときは

相手機によっては何も音が聞こえないことがあります。呼びかけて応答がないことを確認してから、[スタート/コピー] ボタンを押してください。

3 [スタート/コピー] ボタンを押します。

受信を開始し、受信した文書がプリントされます。

▶ 子機で話をしていたときは

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押したあと、[6] ボタンを押します。



◎先にこちらで [スタート/コピー] ボタンを押してから相手に送信の操作をしてもらっても、受信することができます。

◎親機で受信の操作をした場合、こちらと相手先の両方で受話器をあげたまましていると、ファクスを受信したあとにもう一度話をすることができます。子機では、もう一度話をすることはできません。



相手が話をしないで送ろうとしているファクス(自動送信)の場合は、受話器をとらなくても、着信音が着信音回数分鳴ると自動的にファクスの受信を始めます。

「自動で受ける」 ⇒ (P.82)

受信中	01ページ目
0312345678	

ファクス情報サービスを利用する

いろいろな情報をファクスで取り寄せることができます。



ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

提供元がポーリング方式のとき

ポーリング方式とは、相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する機能です。

9.ファクス情報サービス

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「9.ファクス情報サービス」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 相手先の電話番号を入力します。



らくらく電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。

- 5 [スタート/コピー] ボタンを押します。
受信を開始し、受信した文書がプリントされます。

提供元がガイダンス方式のとき

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。

- ・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
 - ・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを利用する方法
- 利用するファクス情報サービスの利用方法に合わせて入力してください。

- 1 受話器を取ります。
「ツー」という音が聞こえます。
- 2 相手先の電話番号をダイヤルします。
相手先を呼び出します。電話番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。
▶ 電話番号を押し間違えたときは
一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。
- 3 ガイダンスにしたがって操作します。
- 4 [スタート/コピー] ボタンを押し、受話器を戻します。
受信を開始し、受信した文書がプリントされます。
▶ ダイヤル回線を使っているときは
情報番号などをトーン (プッシュ) 信号で入力する必要があります。トーン信号に切り替えてください。 「トーン信号に切り替える」 ⇨ (P.62)

メモリに受信したファクスをディスプレイに表示する（液晶ファクス）

ファクスをメモリに受信し、プリントする前にディスプレイで受信した内容を確認することができます。



- お買い求めいただいたときは、「液晶ファクス」が設定されていません。ファクスを受信する前に、液晶ファクスを設定してください。
- メモリに記憶できるファクスは、相手が画質モードを「ふつう」で送信したとき、A4（700文字程度）を約20枚（最大10件）です。
- 受信したファクスを記憶するメモリと、留守番電話の用件などを録音するためのメモリは同じものです。そのためメモリ内に用件などが残っていると記憶できる受信が少なくなってしまう可能性があります。不要な用件をこまめに消したり、メモリ内の受信ファクスをプリントしてください。
- 受信したファクスをディスプレイに表示しているときや受信ファクスの印刷中に外線がかかってくると、表示や印刷を中断します。
- A4サイズより大きいファクスの場合、A4を超えた部分は表示されません。

液晶ファクスを設定する

液晶ファクスの設定／解除は、[液晶ファクス] ボタンで切り替えます。液晶ファクスを設定すると、受信したファクスは記録紙にプリントされずに、メモリに記憶されます。

1 [液晶ファクス] ボタンを押します。

[液晶ファクス] ボタンが点灯します。



- 液晶ファクスを解除するときは、もう一度 [液晶ファクス] ボタンを押してください。
- 液晶ファクスを解除しても、メモリに受信した内容は消えません。

[液晶ファクス] ボタンについて

液晶ファクス	未読ファクス	ボタン
設定	なし	点灯
	あり	はやい点滅
解除	なし	消灯
	あり	おそい点滅

メモリに受信したファクスを表示する

ファクス一覧					
未読(☑): 03件 合計: 03件					
No.	日付	時刻	枚数	相手先	
☑ 01	12/17	22:04	03	0388001234	
☑ 02	12/17	22:14	01	0388001234	
☑ 03	12/18	11:14	02	鈴木	

戻る 印刷 消去 表示

1 ファンクションボタン [ファクス一覧] を押します。

メモリに記憶されているファクスの一覧が表示されます。

- ▶「受信ファクスなし」と表示されたときは記憶されているファクスがありません。

▶ ファクス一覧の見かた

表示や印刷をしていないファクスには、未読を表す「」が表示されます。ファクスを受信した日付、時刻、枚数とナンバー・ディスプレイを契約 (P.142) されている場合や、相手が自分の電話番号を登録しているときは相手先の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている相手先の場合は、名前が表示されます。

▶ 内容をディスプレイ表示しないですぐにプリントするには

選択したファクスのすべてのページを印刷します。

- ① ファクス一覧画面で、くるくるローラを回して、プリントするファクスを選択します。
- ② ファンクションボタン [印刷] を押します。
- ③ 印刷が終了すると、メモリからファクスを消去するかをたずねるメッセージが表示されます。
- ④ ファンクションボタン [はい] または [いいえ] を押します。



一度消去したファクスは、元に戻りません。



ページごとの印刷もできます。

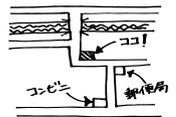
「表示しているページを印刷する」⇒

▶ メモリからファクスを消去するには

- ① ファクス一覧画面で、消去するファクスを選択し、ファンクションボタン [消去] を押します。
- ② ファンクションボタン [はい] を押します。

ファクス一覧				
未読(): 03件 合計: 03件				
No.	日付	時刻	枚数	相手先
	01	12/17	22:04	03 0388001234
	02	12/17	22:14	01 0388001234
	03	12/18	11:14	02 鈴木

戻る 印刷 消去 表示

No.03 相手先: 鈴木		01/02	
			
戻る	表示切替	次ページ	他のメニュー

2 くるくるローラを回して、表示するファクスを選択します。

3 ファンクションボタン [表示] を押します。

ファクスの内容が表示されます。

▶ 画面をスクロールするには

くるくるローラを回します。

画面を左右に動かしたいときは [<]、[>] ボタンを押してください。

▶ 次のページを表示するには

ファンクションボタン [次ページ] を押します。

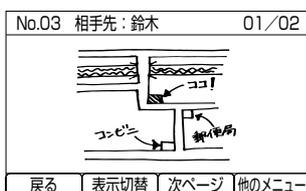
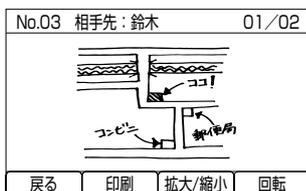
最終ページでファンクションボタン [次ページ] を押すと、先頭ページに戻ります。



- ◎表示された内容は、拡大/縮小、回転させて確認することができます。⇒ (P.87、88)
- ◎ファンクションボタン [表示切替] を押すと、画面が全画面表示になります。全画面表示から元に戻すときは、ファンクションボタンの一つを押します。

4 ファンクションボタン [戻る] を押すと、ファクス一覧画面に戻ります。

表示しているページを印刷する

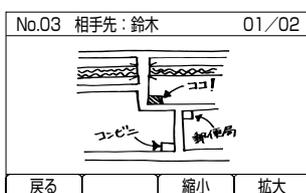
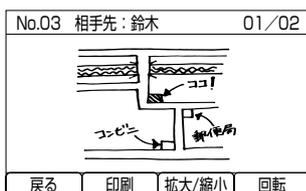


1 表示画面で、ファンクションボタン [他のメニュー] を押します。

2 ファンクションボタン [印刷] を押します。
印刷が開始されます。

3 印刷が終了すると、ページの表示画面に戻ります。

拡大／縮小する



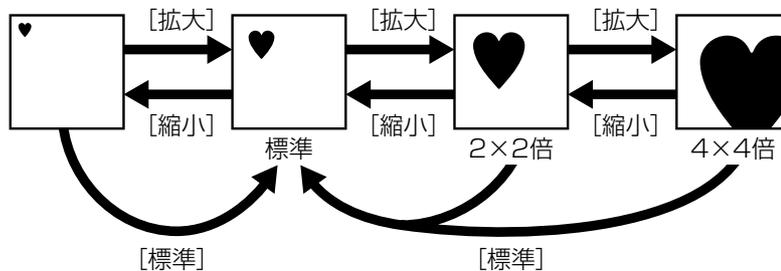
1 表示画面で、ファンクションボタン [他のメニュー] を押します。

2 ファンクションボタン [拡大／縮小] を押します。

3 ファンクションボタン [拡大] または [縮小] を押します。

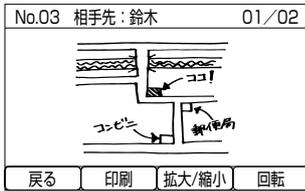
ファンクションボタン [拡大] または [縮小] を押すたびに、表示倍率が変わります。

元の表示に戻すときは、ファンクションボタン [標準] を押します。

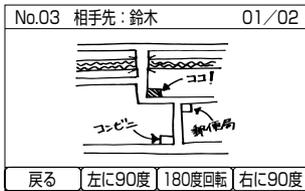


4 拡大／縮小を終了するときは、ファンクションボタン [戻る] を押します。

回転する

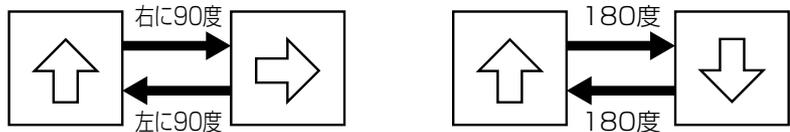


1 表示画面で、ファンクションボタン [他のメニュー] を押します。



2 ファンクションボタン [回転] を押します。

3 ファンクションボタン [左に90度] [180度回転] [右に90度] のいずれかを押します。



4 回転を終了するときには、ファンクションボタン [戻る] を押します。

メモリ代行受信

液晶ファクスを解除している場合でも、こんなときはメモリが代わって受信します。

- ・記録紙がセットされていない
- ・記録紙がつまっている
- ・インクフィルムがない
- ・カバーが開いている



メモリ代行受信したファクスも、ディスプレイに表示して内容を確認することができます。

▶ 印刷したいときは

液晶ファクスの印刷の手順と同じです。

「メモリに受信したファクスを表示する」⇒ (P.85)

「表示しているページを印刷する」⇒ (P.87)

コピーのしかた

本機を使って、簡単にコピーをとることができます。本機でとったコピーで、相手に送るファクスの状態を確認することができます。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- ・貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- ・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

1 記録紙スタッカ (P.12) を引き出します。

2 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇒ (P.76)

3 [スタート/コピー] ボタンを押します。

4 もう一度 [スタート/コピー] ボタンを押します。

コピーを開始します。

1~30部で設定してください

部



- ◎途中でコピーをやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- ◎コピー中に電話がかかってきた場合には、親機の手話器で受けるようにしてください。子機で電話をとると雑音聞こえる場合があります。そのような場合は、[ストップ] ボタンを押して、途中でコピーを中断させてください。
- ◎B4サイズの原稿をコピーするとA4サイズに縮小されます。
- ◎A4/B4の定型を超える長さの原稿はプリントされません。ハンドスキャナを使い、コピーしてください。⇒ (P.90)



- 原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
- 記録紙スタッカに、コピーした記録紙をためすぎないようにしてください。10枚以上ためると記録紙づまりの原因となることがあります。⇒ (P.12)
- 白紙が出たときは、記録紙の向きを確認してください。⇒ (P.26)
- コピー中は、電話をかけたり、受話音量調節はできません。
- コピー中は、かかってきた電話を保留にすることはできません。
- 拡大/縮小コピーするときは、ハンドスキャナをお使いください。⇒ (P.90) 拡大/縮小の設定はハンドスキャナ使用時のみ可能となります。
- 写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などをコピーする場合は、画質 (P.74) や読み取り濃度 (P.75) を設定してください。

ハンドスキャナを使う

本などのとじられた原稿や厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーや送信をすることができます。

原稿の読み取りは、コピー（送信）したい部分をなぞるようにハンドスキャナを手で移動して行います。原稿のサイズに合わせて読み取り幅を変更したり、コピー（送信）の倍率を変更したりすることができます。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- 貨幣、紙幣、公債証券、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

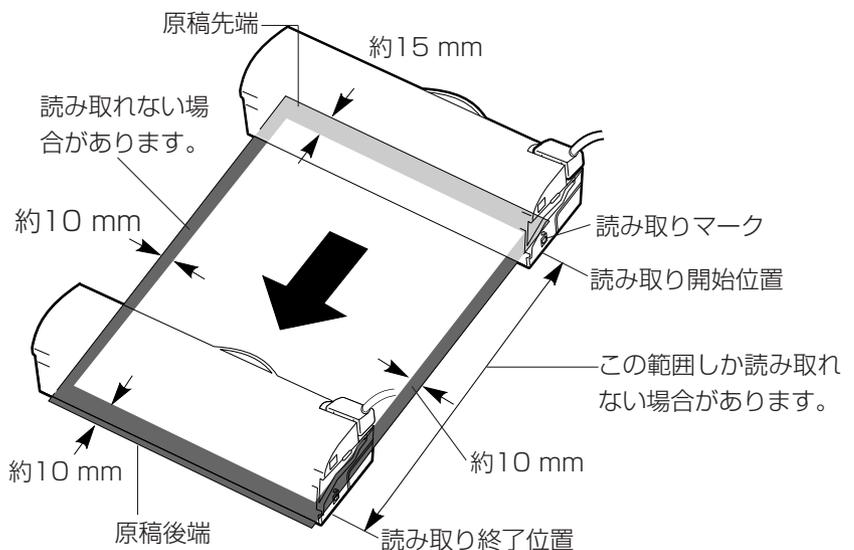
ハンドスキャナでの原稿の読み取りについて

▶ ハンドスキャナで読み取れる原稿のサイズ

幅	250 mm (B4サイズ)	
長さ	コピー（コード付）	記録紙がなくなるまで
	コピー（コードレス）	メモリがいっぱいになるまで
	ファクス	メモリがいっぱいになるまで

▶ 原稿の読み取り

原稿の先端から後端までハンドスキャナを動かした場合、原稿の読み取り開始約15 mmと、読み取り終了および原稿の左右約10 mmは読み取れない場合があります。

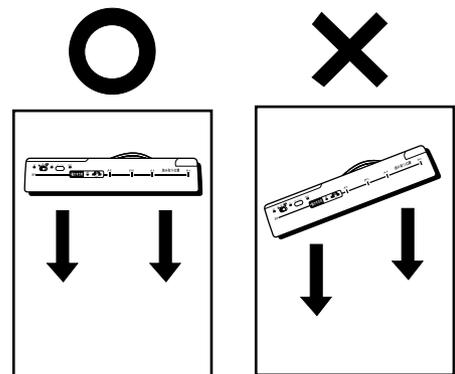


▶ 読み取り方向（ハンドスキャナを動かす方向）

ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。



ハンドスキャナを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に写したときのように左右が逆になったものがコピーされます。



▶読み取りをおすすめできない原稿

ハンドスキャナを使うと色々なものをコピーしたり送信したりできますが、次のような原稿には使わないようにしてください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

- ・表面に凹凸のある原稿
- ・コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
- ・インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- ・表面が汚れている原稿

▶読み取りに注意が必要な原稿

フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置いてから読み取るようにしてください。

▶読み取り濃度の調節

色がついた原稿や文字が薄い原稿などの場合は、ハンドスキャナを外す前に読み取り濃度を調節してください。 「色のついた原稿や薄い文字の原稿のとき」⇒ (P.75)

ハンドスキャナを外す、戻す

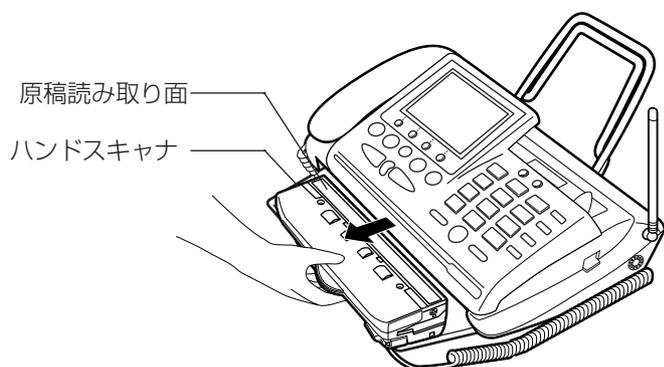
ハンドスキャナは、本機から外して使います。使用後は必ず本機に戻してください。



- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないように注意してください。
- ハンドスキャナは、本機に装着されているときは、本機の原稿読み取り面としてはたきません。使用しないときはハンドスキャナを必ず本機に戻してください。本機のファックスやコピーなどの機能が使用できなくなります。
- ハンドスキャナの裏側には原稿読み取り面があります。原稿読み取り面には手を触れないようにしてください。
- 原稿読み取り面はいつもきれいにしておいてください。 「ハンドスキャナの清掃」⇒ (P.210)

ハンドスキャナを本機から外す

1 ハンドスキャナを本機から外して裏返します。



矢印の方向に引き抜きます。

離れた場所で使うときは、引っ掛け部からコードを外して、コードをのばしてください。



ハンドスキャナを裏返します。

ハンズキャナを本機に戻す



- ハンズキャナを本機に戻すときは、ハンズキャナ用コードをはさまないように注意してください。断線の原因になることがあります。
- ハンズキャナ使用後は、必ず本機に戻してください。他の機能が使えない場合があります。

1 ハンズキャナを本機に戻します。

原稿読み取り面を上に向けて、本機に押し込みます。矢印の方向にカチッと音がするまで押し込んでください。



コードレスで使うとき



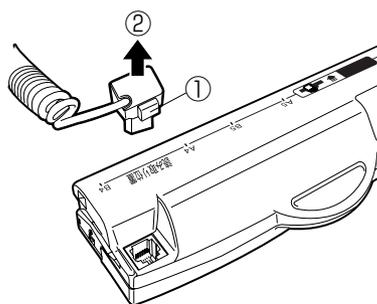
- お買い求めのときは充電されていません。まず充電してからご使用ください。 「ハンズキャナの充電」⇨ (P.25)
- 使用したあとは、動作中ランプが消灯していることを確認し、ハンズキャナ用コードを接続してから本機に取り付けてください。⇨ (下記) ハンズキャナ用コードを接続しないと、ファクスやコピーなどの機能が使えなくなるほか、ハンズキャナの充電もされません。

ハンズキャナ用コードの取り外しかた

1 ハンズキャナを取り外します。⇨ (P.91)

2 ハンズキャナ用コードを取り外します。

①のボタンを押しながら、②の方向へ引き抜きます。

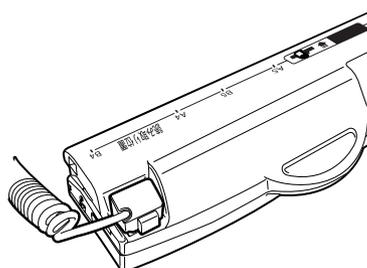


ハンズキャナ用コードの取り付けかた

1 動作中ランプが消灯していることを確認します。

2 ハンズキャナ用コードを取り付けます。

「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



コードをつけたままで使う

ハンドスキャナのコードをつけたまま、コピーしたりファクスを送ることができます。



ハンドスキャナの電池が十分充電されていないときなどは、コードをつけたままご使用ください。

コードをつけたままコピーする

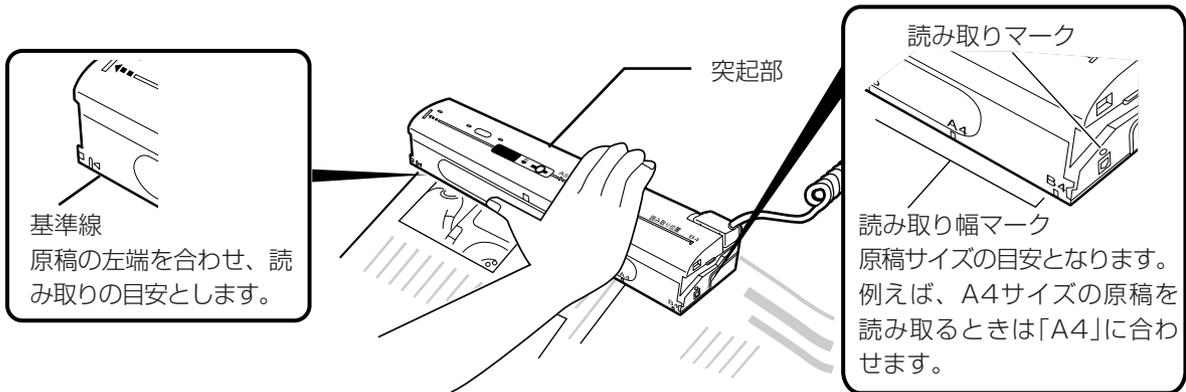
スキャナ A4→A4

1 ハンドスキャナを外して裏返します。

「ハンドスキャナを外す、戻す」⇒ (P.91)
読み取り幅の変更や、拡大／縮小もできます。⇒ (P.102)

2 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、ハンドスキャナの突起部のある面を後ろにして、読み取る部分の上端にハンドスキャナの読み取りマークを合わせます。端から約10～15 mmは読み取れないことがあります。その分外側に合わせてください。



3 ハンドスキャナの【文字／写真／消去】スイッチで、画質（文字または写真）を選択します。

文字：文字原稿のとき
写真：写真原稿のとき

コピー中 A4→A4

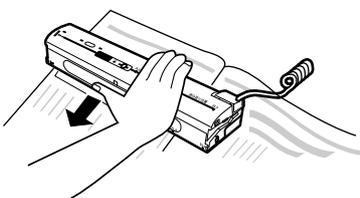
4 ハンドスキャナの【スタート／ストップ】ボタン、または親機の【スタート／コピー】ボタンを押します。



光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの原稿読み取り面を顔に向けしないでください。

5 ハンドスキャナを矢印の方向にゆっくり動かして原稿を読み取ります。

動かすとスピードを表すメロディが流れます。
「読み取り時のメロディを流す／止める」⇒ (P.103)
コピーした原稿がプリントされます。





- 動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ…」という音がして、正常に読み取れません。そのまま読み取りを続けると、コピーに線が入ったり、画像が欠落することがあります。ゆっくりと動かしてください。コピーをしないときは、[ストップ/コピー] ボタンを押して、手順2から操作をやりなおしてください。
- 「ピー」という音が鳴り、「メモリアル」と表示されたときは読み取りができません。しばらくすると、コピーが可能となります。
- A4/B4の定型を超える長さの原稿の場合、記録紙がなくなるまで読み取り、プリントされます。コードをつけたままファクスを送るときも同様です。



Handsキャナを20秒以上動かさないと、読み取りを中断します。

スキャナ A4→A4

6 読み取りを終了する位置にきたら [スタート/ストップ] ボタンを押し、プリントが終わるまで待ちます。

[スタート/ストップ] ボタンを押したあとも、読み取った原稿をプリントし終わるまでプリントを続けます。



親機の [ストップ] ボタン、または Handsキャナの [スタート/ストップ] ボタンを押さずに Handsキャナを戻すと、Handsキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。

7 Handsキャナを本機に戻します。

コードをつけたままファクスを送る



HandsキャナでB4サイズの原稿を等倍で送ることはできません。A4サイズに縮小してください。「原稿を拡大/縮小する」⇒ (P.102)

スキャナ A4→A4

1 Handsキャナを外して裏返します。

「Handsキャナを外す、戻す」⇒ (P.91)
 読み取り幅の変更や、拡大/縮小もできます。⇒ (P.102)

2 Handsキャナを原稿の上に置きます。⇒ (P.93)

3 Handsキャナの [文字/写真/消去] スイッチで、画質 (文字または写真) を選択します。

文字：文字原稿のとき
 写真：写真原稿のとき

電話番号
 0311112222

4 相手先の電話 (ファクス) 番号をダイヤルします。

受話器を置いたまま親機のダイヤルボタンでダイヤルします。
 番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。

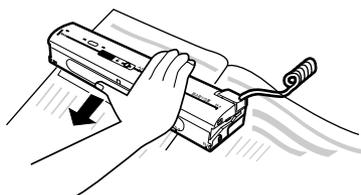


らくらく電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイで契約時には、着信データ (P.145) を使うこともできます。



複数の相手先へ送信 (みんなに送信) (P.80) することはできません。

コピー中 A4→A4



1:送信 2:消去 3:継続



ハンズキャナを使う場合、電話で話をしてから送ることはできません。受話器を置いたままダイヤルしてください。

5 親機の [スタート/コピー] ボタンを押します。

6 ハンズキャナを矢印の方向にゆっくり動かして原稿を読み取ります。

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。



■動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ…」という音がして、正常に読み取れません。
■読み取りの途中でメモリがいっぱいになると「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り、「メモリがいっぱいです」と表示されます。その場合、読み取りを中断し、読み取ったところまでをプリントします。そのまま読み取ったところまでを送信することもできます。



ハンズキャナを20秒以上動かさないと、読み取りを中断します。

7 読み取りを終了する位置にきたら、[スタート/ストップ] ボタンを押し、プリントが終わるまで待ちます。

または親機の [ストップ] ボタンを押します。

8 [1] ボタンを押します。

送信を開始します。



◎送信が終わるとメモリの内容は消去されます。
◎[1] ボタンを押したあと、送信を中断したいときは [ストップ] ボタンを押してください。

▶ もう一度読み取りなおしたいときは

[2] ボタンを押します。「消去完了」→「読み取り待ち A4→A4」と表示されたら、手順5からやりなおしてください。

▶ 複数枚の原稿を送信したいときは

[3] ボタンを押す、「読み取り待ち A4→A4」と表示されたら、手順5からやりなおしてください。

▶ 送信をやめたいときは

[ストップ] ボタンを押します。

▶ 「リダイヤル待ち1回目」と表示されたときは

オートリダイヤルがはたらき、1分間隔で5回まで自動的にかねおします。それでも送信できなかったときは、不達レポートがプリントされます。⇒ (P.78)



送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

9 ハンズキャナを本機に戻します。

ハンズキャナを戻しても送信は中断されません。

コードレスで使う

ハンドスキャナをコードレスで使って、コピーしたりファクスを送る場合は、はじめに原稿を読み取り、メモリに記憶します。



- コードレスで使用可能な時間は、フル充電時で約1時間です。
- 電池ランプが点滅したら、電池の残量が少なくなっています。作業を終了し、ハンドスキャナ用コードを接続してください。
- 電池ランプが点灯していないときは、コードレスで使用できません。
- コードレスで読み取った原稿は、消去を行わない限りメモリに記憶されています。⇒ (P.97、100)

コードレスで読み取る(メモリに記憶する)

スキャナ A4→A4

1 ハンドスキャナを取り外します。

原稿を拡大／縮小したい場合は、ハンドスキャナ用コードを取り外す前に設定してください。⇒ (P.102)

コードレス スキャナ

2 ハンドスキャナを裏返し、ハンドスキャナ用コードを取り外します。

「ハンドスキャナ用コードの取り外しかた」⇒ (P.92)

3 ハンドスキャナの原稿読み取り面を下に向けて原稿の上に置きます。⇒ (P.93)

4 ハンドスキャナの【文字／写真／消去】スイッチで、画質(文字または写真)を選択します。

文字：文字原稿のとき

写真：写真原稿のとき

5 ハンドスキャナの【スタート／ストップ】ボタンを押します。

動作中ランプが点灯します。

6 ハンドスキャナを動かします。

コードレスで使用しているときは、メロディは流れません。



「ピッピッ…」と音がするときは、正常に読み取れていません。

7 読み取りが終わったら【スタート／ストップ】ボタンを押します。

続けて原稿を読み取るときは、手順3に戻ってください。

8 動作中ランプが消灯したことを確認します。

しばらくお待ちください

1.新規読み取りページ xx枚
2.全読み取りページ xx枚

9 ハンドスキャナ用コードを取り付けます。



動作中ランプが点灯しているときにハンドスキャナ用コードを取り付けると、最後に読み取った原稿がメモリに記憶されず、コピーできません。

10 ハンドスキャナを本機に戻します。

▶ すぐに印刷したいときは

「メモリに記憶されている原稿を印刷する」⇒ (P.99)

▶ あとで印刷するときは

ファンクションボタン [戻る] または [ストップ] ボタンを押してください。待機画面に戻ります。

「メモリに記憶されている原稿を印刷する」⇒ (P.99)

▶ メモリに記憶されているすべての原稿を消去するときは

- ① ファンクションボタン [消去] を押します。
- ② メモリに記憶されている全文書を消去するかをたずねるメッセージが表示されます。
- ③ ファンクションボタン [はい] を押します。
消去を中止する場合は、[いいえ] を押します。



- 全文書の消去を行うと、メモリに記憶されているすべての原稿データが消去されます。ページごとの消去はできません。
- 一度消去した原稿データは元に戻りません。



メモリランプについて⇒ (P.14)

メモリに記憶されている原稿を送る

コードレスでコピーした原稿は、ハンドスキャナのメモリに記憶されています。このメモリに記憶された原稿はファクス送信できます。以前に読み取った原稿も、消去しない限り残っているので、送信することができます。



ハンドスキャナでB4サイズの原稿を等倍で送ることはできません。A4サイズに縮小してください。

「原稿を拡大／縮小する」⇒ (P.102)

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して「7.ハンドスキャナ」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 「1.メモリ送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

▶ 「読み取りページなし」と表示されたときは

メモリに記憶されている原稿はありません。

7.ハンドスキャナ

1.メモリ送信

1.全ページ
2.指定ページ
3.新規ページ

5 くるくるローラを回して送信するページを選択し、[L] ボタンを押します。

- 1.全ページ…メモリに記憶されている原稿をすべて送信します。
- 2.指定ページ…メモリに記憶されている原稿を1ページだけ送信します。
- 3.新規ページ…直前に読み込んだ原稿を送信します。

▶「2.指定ページ」を選択して [L] ボタンを押したときは
送信するページの番号を押して [L] ボタンを押してください。

6 相手先の電話（ファクス）番号をダイヤルします。

受話器を置いたまま親機のダイヤルボタンでダイヤルします。
番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。



らくらく電話帳 (P.43)、リダイヤル (P.42) も使えます。また、ナンバー・ディスプレイご契約時には、着信データ (P.145) を使うこともできます。



複数の相手先へ送信（みんなに送信）(P.80) することはできません。

メモリ送信中	01ページ目
0388001234	

7 親機の [スタート/コピー] ボタンを押します。

送信を開始します。



送信が終了したら、メモリを消去することをおすすめします。⇒ (P.100)
そのままハンドスキャナのメモリに記憶が残っていると、読み取れる容量が少なくなります。

▶送信をやめたいときは
親機の [ストップ] ボタンを押します。

メモリに記憶されている原稿をディスプレイに表示する

ハンドスキャナのメモリに記憶されている原稿の内容をプリントする前に、ディスプレイに表示させて確認することができます。

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

7.ハンドスキャナ

2 くるくるローラを回して「7.ハンドスキャナ」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

2.メモリ表示

4 くるくるローラを回して「2.メモリ表示」を選択します。

1.新規読み取りページ xx枚
2.全読み取りページ xx枚

5 [L] ボタンを押します。

▶「読み取りページなし」と表示されたときは
メモリに記憶されている原稿はありません。

6 くるくるローラを回して表示するページを選択し、 ファンクションボタン [表示] を押します。

新規読み取りページ…直前に読み込んだ原稿を表示します。
全読み取りページ…メモリに記憶されている原稿をすべて表示します。

▶次のページを表示するには

ファンクションボタン [次ページ] を押します。最終ページまでいくと、次は先頭ページに戻ります。

▶画面をスクロールするには

くるくるローラを回します。
画面を左右に動かしたいときは [<]、[>] ボタンを押してください。



◎表示された内容は、拡大／縮小したり、回転させて確認することができます。拡大／縮小、回転の操作は、液晶ファクスと同じです。⇒ (P.87、88)
◎ファンクションボタン [表示切替] を押すと、画面が全画面表示に切り替わります。



■ディスプレイに表示しているときに外線がかかってくると、表示を中断します。
■A4サイズより大きい原稿の場合、A4を超えた部分は表示されません。

▶印刷したいときは

「メモリに記憶されている原稿を印刷する」⇒ (下記)

▶メモリに記憶されているすべての原稿を消去するときは

- ① ファンクションボタン [消去] を押します。
- ② メモリに記憶されている全文書を消去するかをたずねるメッセージが表示されます。
- ③ ファンクションボタン [はい] を押します。
消去を中止する場合は、[いいえ] を押します。



■全文書の消去を行うと、メモリに記憶されているすべての原稿データが消去されます。
ページごとの消去はできません。
■一度消去した原稿データは元に戻りません。

メモリに記憶されている原稿を印刷する



メモリに記憶されている文書枚数を表示している画面のときは、手順6から操作してください。

7.ハンドスキャナ

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して「7.ハンドスキャナ」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 くるくるローラを回して「2.メモリ表示」を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

▶「読み取りページなし」と表示されたときは
メモリに記憶されている原稿はありません。

6 くるくるローラを回して印刷するページを選択し、ファンクションボタン [印刷] を押します。

印刷が開始されます。
印刷が終了すると、メモリに記憶されている全文書を消去するかたずねるメッセージが表示されます。

7 ファンクションボタン [はい] または [いいえ] を押します。



- 全文書の消去を行うと、メモリに記憶されているすべての原稿データが消去されます。ページごとの消去はできません。
- 一度消去した原稿データは元に戻りません。
- 印刷中に外線がかかってくると、印刷を中断します。

メモリに記憶されている原稿を消す

ファンクションボタン [消去] を押して消去する方法 (P.97、99) 以外に、次の方法で消去することができます。



- ページごとの消去はできません。消去すると読み取ったすべての原稿データが消去されます。
- 一度消去した原稿データは、元に戻りません。

ハンズキャナで消去する

ハンズキャナ用コードは、接続していても接続していなくても、どちらでも消去することができます。コードを接続しているときは、親機で電話やファクスを使用していないときに操作してください。

1 [文字／写真／消去] スイッチを [消去] に合わせます。

2 ハンズキャナの [スタート／ストップ] ボタンを「ピッ、ピー」という音がするまで押し続けます。

[スタート／ストップ] ボタンを押すと、「ピッ」という音がし、そのまま押し続けると「ピー」という音がして消去が完了します。動作中ランプとメモリランプが消灯します。

親機で消去する

ハンズキャナ用コードを接続し、親機に取り付けた状態で操作してください。

7.ハンズキャナ

3.メモリ消去

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「7.ハンズキャナ」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「3.メモリ消去」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 ファンクションボタン [はい] を押します。



消去を中止するときは、手順6でファンクションボタン [いいえ] を押すか、[ストップ] ボタンを押します。

ハンドスキャナの設定

ご利用に合わせて、ハンドスキャナ読み取り時の原稿の拡大／縮小や、メロディの設定を変更することができます。

原稿を拡大／縮小する

読み取り幅とプリント（記録）幅を設定すると自動的に拡大や縮小して送信やコピーができます。



コードレスのときに拡大／縮小したい場合は、コードを外す前に本設定を行ってください。

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

7.ハンドスキャナ

2 くるくるローラを回して「7.ハンドスキャナ」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

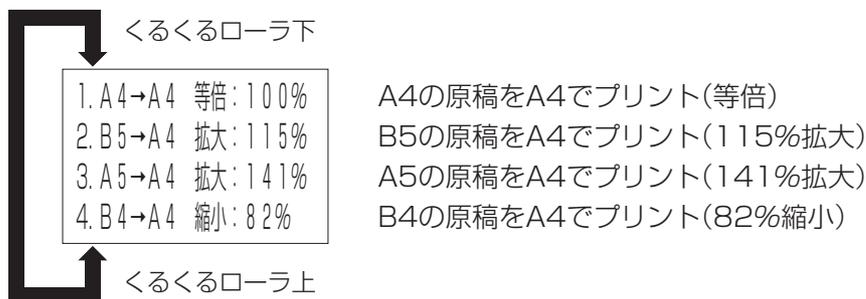
4.読み取り記録幅

4 くるくるローラを回して「4.読み取り記録幅」を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

6 読み取り幅と記録幅の組み合わせをくるくるローラを回して選択します。

ディスプレイのサイズ表示は次のように変わります。矢印の左側が読み取り幅、右側が記録幅です。



〈例〉 B5サイズ of 原稿をA4サイズに拡大する場合
「B5→A4 拡大:115%」に設定します。

7 [L] ボタンを押します。

親機からハンドスキャナを取り外しているときは

ファンクションボタン [機能] を押すと、手順2が省略されます。「1.読み取り記録幅」を選択し、[L] ボタンを押してください。



- ◎設定した状態は次に変更するまでそのままです。
- ◎途中で設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

読み取り時のメロディを流す／止める

コードを接続した状態で原稿を読み取るときに、スピードを表すメロディを流したり、止めたりすることができます。



- モニタスピーカ音量 (P.105) を「切」に設定しているとメロディは鳴りません。
- コードレスのときは、メロディは流れません。

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「7. Handsキャナ」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「5. メロディ Handsキャナ」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「1. する」または「2. しない」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。

7. Handsキャナ

5. メロディ Handsキャナ

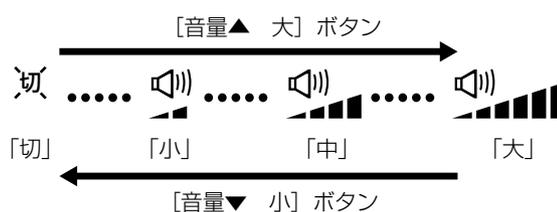
1. する
2. しない

親機から Handsキャナを取り外しているときは

Handsキャナを外します。ファンクションボタン [機能] を押すと手順1が省略されます。くるくるローラを回して「2. メロディ Handsキャナ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

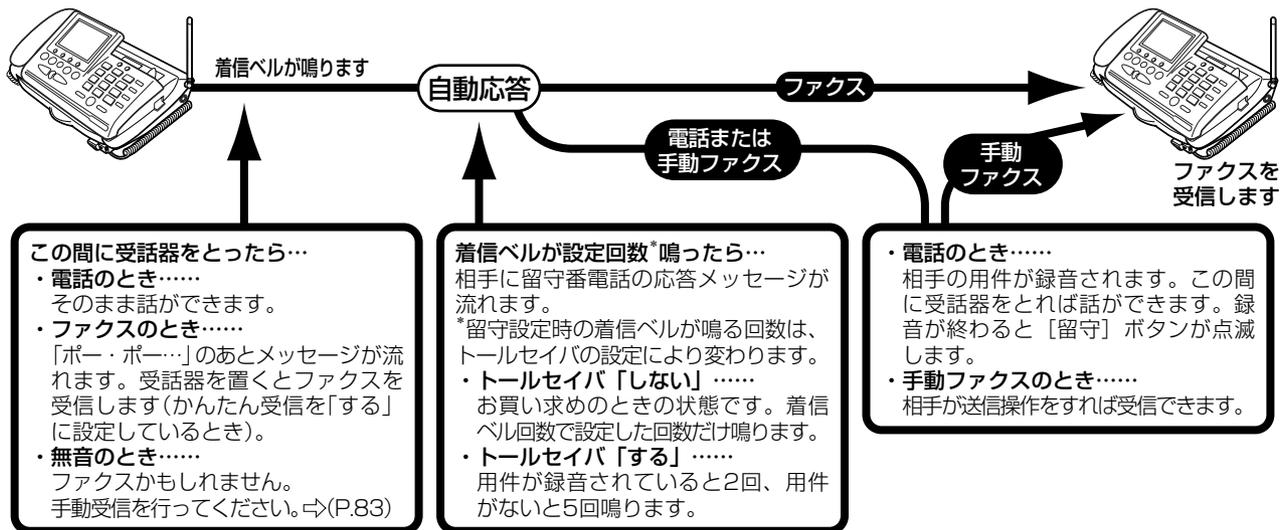
メロディの音量を調節したいときは

メロディが流れているときに [音量▲ 大] または [音量▼ 小] ボタンで調整します。



留守番電話を使う

外出していて電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動で受信できます。



▶ 着信ベルの鳴る回数が違うのは

トールセイバを「する」(P.126)にしているときは、すでに録音された用件があるとベルが2回鳴り留守機能がはたらきます(用件がないときは5回)。

トールセイバを「しない」(P.126)にしているときは、用件の有無にかかわらず、着信ベルが設定されている回数だけ鳴ります。

ただし着信モードを「電話専用」(P.127)でお使いのときにトールセイバを「しない」(P.126)にしていると、着信ベルが5回鳴って留守機能がはたらきます。

▶ 外出先から操作したいときは

外線リモート操作を行います。⇒(P.112)

▶ 用件が録音されたらすぐに知りたい

用件転送を設定します。⇒(P.114)

▶ 録音できる時間

1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます(合計15分を超えない限り最大30件)。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

▶ 留守を設定すると

着信ベル回数を0回以上に設定していたり、着信モードを「ファクス専用」に設定していても、留守設定中は留守番電話の動作になり、着信ベルが鳴ります。

▶ 本機の固定応答メッセージの種類

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。通常以外の応答メッセージは選択できません。

・通常

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。」

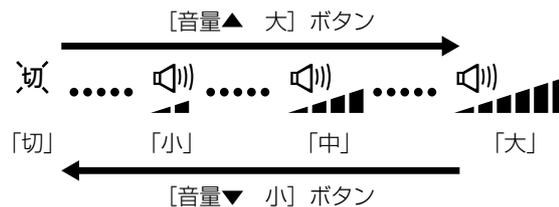
通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。⇒(P.109)

以下の応答メッセージは固定応答メッセージのため、変更・消去できません。

- ・用件は録音できないが、ファックスは受信できる時（用件がいっぱいのとき）
「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、おそれ入りますが、のちほどおかけなおしてください。」
- ・用件は録音できるが、ファックスは受信できないとき
「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。」
- ・用件も録音もファックスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）
「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。」

モニタスピーカ音量の調節

モニタスピーカから聞こえる音は [音量] ボタンで調節できます。[音量▲ 大] ボタンを押すと音が大きくなります。[音量▼ 小] ボタンを押すと音が小さくなります。さらに [音量▼ 小] ボタンを押すと音を鳴らさない設定（「切」）にすることもできます。



留守番電話の設定／解除

留守番電話を設定すると、留守にしている間にかかってきた電話の用件を録音することができます。

!

- 留守番電話には、最大で30件あるいは合計で約15分間（自分で録音した応答メッセージも含む）用件を録音できます。録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイを利用している方は、電話帳に登録している相手にだけ、自作応答メッセージで応答できます。⇒ (P.149)

?

お好みの応答メッセージ（電話がかかってきたときに相手に流すメッセージ）を録音することができます。
「留守番電話の自作応答メッセージを録音する」⇒ (P.109)

留守を設定するとき

応答メッセージ固定再生中

1 [留守] ボタンを押します。

留守番電話が設定されます。応答メッセージが流れ [留守] ボタンが点灯します。留守番電話に用件が残っているときは、[留守] ボタンが点滅します。

▶ 応答メッセージを選択するとき

応答メッセージ1再生中

固定または自分で録音した2種類の応答メッセージのいずれかを選びたいときは、応答メッセージが流れている間に [<] または [>] ボタンを押し、応答メッセージを選択します。

応答メッセージ2再生中

?

- ◎すでに用件が30件入っているときは「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」というメッセージが流れ、[留守] ボタンを押しても留守番電話の設定ができません。不要な用件を消去してから留守設定してください。⇒ (P.108)
- ◎応答メッセージに続いて「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と流れたときは、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。⇒ (P.108)
- ◎着信モード (P.127) を「ファックス専用」に設定していても、留守設定が優先されます。

▶留守中に電話やファクスがあったとき

留守中に電話がかかってくると、相手に「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。」というメッセージを流します。ご自分で応答メッセージを録音した場合は、録音されている応答メッセージを流します。電話のときはメッセージが終わると相手の用件を録音します。ファクスのときは自動的に受信します。



- ◎相手の用件は1件につき約3分間録音できます。
- ◎留守設定中に電話がかかってくると、相手の声がモニタスピーカから聞こえます（居留守モニタ）。相手を確認してから電話に出ることもできます。

▶用件がいっぱいになったとき

用件が30件になったとき、または録音時間の合計が15分以上になったときは、「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、おそれ入りますが、のちほどおかけなおしてください。」というメッセージを流します（ご自分で応答メッセージを録音している場合でも、録音された応答メッセージではなく、このメッセージを流します）。この場合、用件の録音はできません。ファクスは受信できます。



- ◎録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くても、用件の録音ができなくなることがあります。
- ◎用件を録音するためのメモリと、受信した文書などを記憶するメモリは同じものです。そのためメモリ内に受信文書などが残っていると録音できる用件が少なくなってしまうます。不要な用件をこまめに消去したり、メモリ内の受信文書をプリントしてください。

▶子機で留守を設定するには

- ① 待機中（P.15）に、[機能] ボタンを押します。
- ② [▲]、[▼] ボタンを押して「リモコン操作」を表示させます。
- ③ [機能] ボタンを押し、20秒以内に [7] ボタンを押します。
- ④ 充電器に戻します。または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。



手順③で [7] ボタンを押す前に「ピッピッピッ」と音がして操作が取り消された場合は、親機を使用中です。しばらくしてから最初から操作しなおしてください。

留守を解除するとき

留守中に用件が録音されたときは、[留守] ボタンが点滅し、用件件数がディスプレイに表示されます。

1 [留守] ボタンを押します。

留守番電話が解除されます。[留守] ボタンが消灯します。

▶留守中に電話がなかったとき

「用件はありません。」というメッセージが流れます。

▶留守中に電話があったとき

[留守] ボタンを押すと「用件は〇〇件です。」というメッセージが流れ、かかってきた順に用件が再生されます。

1件再生するごとに、用件を録音した（電話がかかってきた）月日および時間が流れます（この機能をタイムスタンプといいます）。

用件を全部再生し終わると、「用件は以上です。」というメッセージが流れます。

用件再生中 1/3件
0311112222



再生終了*.....



ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件再生時に相手先の電話番号が表示されます。⇒ (P.142) 電話帳に登録されている相手先の場合は、相手先名が表示されます。



タイムスタンプ機能で正確な時間を記録するために、時刻を正しくセットしておいてください。 「時計を合わせる」 ⇒

▶ 子機で留守を解除するには

- ① 待機中 (P.15) に、[機能] ボタンを押します。
- ② [▲]、[▼] ボタンを押して「リモコン操作」を表示させます。
- ③ [機能] ボタンを押し、20秒以内に [9] ボタンを押します。
- ④ 充電器に戻します。または [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。



手順③で [9] ボタンを押す前に「ピッピッピッ」と音がして操作が取り消された場合は、親機を使用中です。しばらくしてから最初から操作しなおしてください。

用件の再生

録音した用件は、留守番電話を解除したあとも繰り返し聞くことができます。通話録音した内容も、同時に再生されます。また、留守設定中でも用件を聞くことができます。

親機で用件を再生する

用件再生中 1/3件

⋮

再生終了*.....

1 [再生] ボタンを押します。

1件目から再生が始まります。

用件の再生が終わると、「用件は以上です。」というメッセージが流れたあと、「再生終了***」と約6秒間表示されます (1秒ごとに*の表示が増えていきます)。

▶ 用件が録音されていないときは

「用件はありません。」というメッセージが流れます。

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞きなおしたりできます。

ボタン	留守番電話の動き
再生	高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度になります。
▶▶ (送り)	再生中に1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
◀◀ (戻し)	再生中に1回押すと、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。[ストップ] ボタンを押してから、もう一度 [再生] ボタンを押すと、1件目から再生します。

子機で用件を再生する

リモコン 操作

リモコン 中
用件再生 2

- 1 [機能] ボタンを押します。
- 2 [▲]、[▼] ボタンを押して「リモコン 操作」を表示させます。
- 3 [機能] ボタンを押します。
- 4 20秒以内に [2] ボタンまたは [機能] ボタンを押します。
1件目から再生が始まります。
- 5 再生が終了したら、[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押す、または子機を充電器に戻します。

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞きなおしたりできます。

ボタン	留守番電話の動き
[1]	1回押すと、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
[2]	高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
[3]	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
[8]	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました。」というメッセージが流れます。
[#]	再生を止めます（そのあとに [2] ボタンを押すと、1件目から再生します）。

用件の消去

録音した用件は消去しない限り残っています。不要になった用件は消去してください。用件は一度にすべて消すことも、特定の用件だけを選んで消すこともできます。

一度消去した用件は再生できません。

用件をすべて聞いてから消去する

用件再生中 1/3件

⋮

再生終了*.....

- 1 用件を再生します。
用件の再生が終わると、「用件は以上です。」というメッセージが流れたあと、「再生終了***…」と約6秒間表示されます（1秒ごとに*の表示が増えていきます）。
- 2 ファンクションボタン [消去] を押します。
「再生終了***…」と表示されている間にファンクションボタン [消去] を押します。再生済みの用件がすべて消去されます。「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージが流れます。

▶子機で用件を消去するには

再生終了後「ピッピッピッ…」と聞こえている間（6秒間）に [8] ボタンを押します。



一度も再生されなかった用件は消去されません（最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます）。すべての用件を聞いてから消去してください。

特定の用件を消去する

用件再生中 1/3件

1 消したい用件を再生中に、ファンクションボタン [消去] を押します。

その用件を再生し終わると、「消去しました。」というメッセージが流れ、その用件だけが消去されます。

▶子機で用件を消去するには

用件再生中に [8] ボタンを押します。

すべての用件を一度に消去する

5.留守電機能

1.全用件消去

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して「5.留守電機能」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 「1.全用件消去」を選択し、[L] ボタンを押します。

5 ファンクションボタン [はい] を押します。

留守番電話の自作応答メッセージを録音する

電話をかけてきた相手に自分の声で応答メッセージを流したいときは応答メッセージを録音します。自作応答メッセージは2種類まで録音でき、何度でも録音しなおすことができます。



- ◎留守設定中でも応答メッセージの録音、消去ができます。
- ◎録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます。
- ◎ナンバー・ディスプレイを利用している方は、相手に応じて応答メッセージを変えることができます。⇒ (P.149)

5.留守電機能

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して「5.留守電機能」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

受話器を上げてください

録音を開始します
スタートボタンを押してください

4 くるくるローラを回して「2.応答メッセージ録音」を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

6 応答メッセージ1、2をくるくるローラを回して選択します。

7 [L] ボタンを押します。

8 受話器をとります。

9 [スタート/コピー] ボタンを押して、応答メッセージを録音します。

最大20秒まで録音できます。残りの録音可能時間(20秒、19秒 …0秒)が表示されます。

〈例〉 応答メッセージの例

「はい〇〇です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。約3分間録音できます。ファクシミリの方は送信してください。」



◎メモリの残量が少なく20秒まで録音できないときは、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示され、録音できません。不要な用件を消去してから録音してください。⇒ (P.108)

◎ナンバーディスプレイを利用している方は、相手に応じてメッセージを変えることができます。「電話帳に登録されている相手にだけ自作応答メッセージを流す」⇒ (P.149)



「ファクシミリの方は送信してください。」など、ファクスを受信できることを知らせるメッセージも録音しておいてください。

受話器を置いてください

10 応答メッセージを録音し終わったら [ストップ] ボタンを押します。

応答メッセージ再生中

11 受話器を戻します。

「ピー」という音がして録音が止まります。録音した応答メッセージが再生されます。



録音中に電話がかかってきたときは録音を中断します。この場合やりかけの録音は無効になりますので、もう一度はじめてからやりなおしてください。



◎[ストップ] ボタンを押さなくても、約20秒経過すると録音が止まります。メッセージを短くしてはじめてから録音しなおしてください。

◎再生の途中で [ストップ] ボタンを押すと再生が止まります。

◎録音しなおすときはもう一度はじめてからやりなおしてください。録音しなおすと、前に録音した応答メッセージは消去されます。

◎本機にはじめてから用意されている応答メッセージ⇒ (P.104) を消すことはできません。

▶ 応答メッセージを消去するには

- ① ファンクションボタン [機能] を押します。
- ② くるくるローラを回して「5.留守電機能」を選択し、[L] ボタンを押します。
- ③ くるくるローラを回して「3.応答メッセージ消去」を選択し、[L] ボタンを押します。
- ④ くるくるローラを回して消去する応答メッセージ（応答メッセージ1または2）を選択し、[L] ボタンを押します。

外出先から留守番電話を操作する（外線リモート）

リモート操作の設定とリモートパスワード（4桁の数字）を登録しておくこと、留守設定中に録音された用件を外出先から聞くことができます。



リモートパスワードは大切な番号です。他の人に知られないようにしてください。

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い求めのときは、リモート操作は「しない」に設定されています。

5.留守電機能

1 ファンクションボタン【機能】を押します。

2 くるくるローラを回して「5.留守電機能」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

5.リモート操作

4 くるくるローラを回して「5.リモート操作」を選択します。

1.する
2.しない

5 [L] ボタンを押します。

6 くるくるローラを回して「1.する」を選択します。

7 [L] ボタンを押します。

ダイヤルボタンで入力してください

8 リモートパスワード（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

▶ パスワードを間違えて入力したときは
ファンクションボタン【クリア】を押して、入力しなおしてください。

9 [L] ボタンを押します。

外線リモートが設定されます。

10 [ストップ] ボタンを押します。



すでにリモートパスワードが登録されているとき、新しいリモートパスワードを登録すると、前のリモートパスワードは消去されます。

外出先から留守を設定する



- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 着信モードを「電話専用」(P.127) に設定しているときは、外出先から留守を設定することはできません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、外出先から親機用の番号に電話をかけて留守を設定してください。

- 1 外出先から本機に電話をかけます。
- 2 呼出音が変わったら、[#] ボタンを押します。
- 3 リモートパスワード (4桁の数字) をダイヤルします。
- 4 [#] ボタンを押します。
「パスワードが一致しました。」 → 「留守設定をしました。」 というメッセージが流れます。



「パスワードを入れなおしてください。」というメッセージが流れたときは、もう一度、[#] → [パスワード] → [#] の順で入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。もう一度電話をかけなおしてください。

- 5 電話を切ります。

外出先から用件を聞く



- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 用件再生終了後、操作しないと約20秒後に電話が自動的に切れます。
- 外出前に留守を設定しておいてください。
- 携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
- リモート操作で用件を聞いても、用件は消去されません。

- 1 外出先から本機に電話をかけます。



「トールセイバ」(P.126) を設定すると、外出先から用件の有無を簡単に知ることができます。

- 2 応答メッセージが聞こえたら、[#] ボタンを押します。
応答メッセージが止まります。



[#] ボタンを押しても応答メッセージが止まらないときは、リモートパスワードをダイヤルする前に、もう一度 [#] ボタンを押してください。

- 3 リモートパスワード (4桁の数字) をダイヤルします。

4 [#] ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。用件は○件です。」というメッセージが流れ、用件が再生されます。



- ◎「パスワードを入れなおしてください。」というメッセージが流れたときは、もう一度 [#] → [パスワード] → [#] と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。もう一度、電話をかけなおしてください。
- ◎ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件が再生されたあと相手の番号が音声で聞こえます。

5 電話を切ります。

外線リモート操作コード

リモートパスワード→ [#] ボタンを押したあと、次の操作を行うことができます。

巻き戻し	#1#	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中にこの操作を行うと、先頭の用件をもう一度再生します。
用件再生	#2#	用件を先頭から再生します。再生中に押すと、高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
早送り	#3#	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	#61#	用件転送を設定します。⇒ (下記)
用件転送解除	#62#	用件転送を解除します。⇒ (P.116)
留守設定	#7#	留守を設定します。
用件消去	#8#	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間 (約6秒間) に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守解除	#9#	留守を解除します。



「外出先からの操作 (外線リモート)」(P.236) をハンドスキャナでコピー (P.93) したものを持ち歩くと便利です。

用件が録音されたら外出先に通知する (用件転送)

用件転送を設定すると、留守セット中に用件が録音されたとき、携帯電話や外出先の電話機に通知することができます。通知先は1カ所だけ登録できます。通知先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を指定できます (最大10回まで)。お買い求めのときは「しない」に設定してあります。

通知先を登録する



- 用件を転送するときは、リモート操作の設定とパスワードの登録を必ず行ってください。⇒ (P.112)
- ブッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。
- 転送先が携帯電話またはPHSのときは、電源が入っていない場合や電波が届かない場合等、転送されないことがあります。
- 録音された用件が6秒未満のときは転送されません。

5.留守電機能

6.用件転送

1.する
2.しない

ダイヤルボタンで入力してください

1~10回で設定してください
□回

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「5.留守電機能」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「6.用件転送」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「1.する」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。
- 8 通知先の電話番号を入力します。

通知先の電話番号は最大40桁まで登録することができます。ファンクションボタン [ポーズ] でポーズを入力することもできます。

▶ 電話番号を押し間違えたときは

ファンクションボタン [クリア] を押して、入力しなおしてください。

▶ ポケベルにメッセージを表示させるには

- ・ダイヤル回線のと
き
ポケベル番号 → [ポーズ] → [*] → メッセージ番号 → [#] [#]
の順に押します。
- ・プッシュ回線のと
き
ポケベル番号 → [ポーズ] → メッセージ番号 → [#] [#] の順に押
します。
メッセージ番号については、ポケベルの説明書を参照してください。
[ポーズ] や [#] も1桁と数えます。

- 9 [L] ボタンを押します。
- 10 転送回数をダイヤルボタンで入力します。
- 11 [L] ボタンを押します。
通知先が登録されます。
- 12 ファンクションボタン [戻る] を押します。



◎登録した電話番号や転送回数を変えたいときは、最初から登録しなおしてください。
◎ポーズは、ポケベルのサービス会社につながったとき、音声案内が終わるまでの待ち
時間を作るために必要です。音声案内の長さは、各サービス会社にお問い合わせくだ
さい。ファンクションボタン [ポーズ] 1回で約3秒間のポーズが入ります。
・NTT DoCoMo…ファンクションボタン [ポーズ] 4~5回
・テレメッセージ…ファンクションボタン [ポーズ] 3回
メッセージ番号：ポケベルの説明書を参照してください。
登録できる桁数：ポケベル番号から最後の [#] までの合計が40桁までです。ポー
ズはファンクションボタン [ポーズ] 1回で1桁に数えます。

用件転送をセット／解除する

通知先の登録を行うと、以降は留守をセットするたびに用件転送が設定されます。用件転送をやめたいときは、もう一度通知先の登録操作を行い、用件転送を「しない」に設定してください。⇒ (P.114)

▶ 用件転送を設定しているのに用件が転送されないのは

次のようなことが考えられます。

- ・ 録音した用件が6秒未満だった
- ・ 用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電などで親機の電源が切れた
- ・ 転送先の携帯電話／PHSの電源が入っていない、または電波が届かない場所にいた

▶ 外出先から用件転送だけを解除するには

外線リモート操作コードの [#62#] を押してください。⇒ (P.114)

用件転送先での受けかた



あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録を行う必要があります。⇒ (P.112)

1 転送先に本機から電話がかかります。

2 電話に出て、「用件転送をします。パスワードを入れてください。」というメッセージが流れたら、[#] ボタンを押します。

応答メッセージが止まります。



[#] ボタンを押しても応答メッセージが止まらないときは、リモートパスワードをダイヤルする前に、もう一度[#] ボタンを押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）をダイヤルします。



リモートパスワードを押さないと、メッセージが5回流れて、自動的に電話が切れます。

4 [#] ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。用件は○件です。」というメッセージが流れ、用件が再生されます。



◎「パスワードを入れなおしてください。」というメッセージが流れたときは、もう一度、[#] → [パスワード] → [#] の順に入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。

◎リモートパスワード→[#] を押したあと、外線リモート操作コード (P.114) で再生以外の操作を行うことができます。

5 電話を切ります。

通話中の会話を録音する（通話録音）

通話中の会話を録音することができます。通話中にちょっとメモをとりたいときなどにご利用ください。



- ◎録音できる時間は最大約15分です。メモリがいっぱいになるまで、または30件まで録音できます。
- ◎留守番電話の用件が30件録音されているとき、または残りの録音可能時間が20秒以下のときは、通話録音できません。



- ワイワイトーク中（P.41、52）は、通話録音をすることはできません。
- 通話録音中は、保留にすることはできません。保留にするときは、通話録音を終了させてください。
- 内線通話は、通話録音できません。
- 録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

通話録音する

親機で録音するとき

通話録音中

1 相手と話をしている途中でファンクションボタン〔録音〕を押します。

「ピー」という音がして、録音を開始します。



相手にも「ピー」という音が聞こえます。

2 録音を終了するときは、〔ストップ〕ボタンを押します。

子機で録音するとき

リモコン 操作

1 相手と話をしている途中で〔機能〕ボタンを押します。

2 [▲]、[▼] ボタンを繰り返し押して、「リモコン 操作」を表示させます。

リモコン 中
通話録音 5

3 [機能] ボタンを押します。

リモコン 中
用件停止 #

4 [5] ボタンを押します。

「ピー」という音がして、録音を開始します。

5 録音を終了するときは、[#] ボタンを押します。

6 [グループ／ドアホン／内線] ボタンを押します。

▶ **録音の途中でメモリがいっぱいになったとき**

録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです。」というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されます。メモリがいっぱいになると録音を中断します。

▶ **通話録音した会話の再生と消去**

通話録音した内容は、留守番電話に録音した用件と同じように何度でも繰り返し聞きなおしたり消去したりすることができます。再生や消去のしかたは留守番電話の用件のときと同じです。

「用件の再生」⇒ (P.107)

「用件の消去」⇒ (P.108)

通話中の相手に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手に聞かせることができます。このとき、留守電に録音されている用件があると、その内容も再生されます。

親機で再生するときは

用件再生中 1/1件

1 相手と話をしている途中で【再生】ボタンを押します。
用件が再生されます。

2 再生を終了するときは、【ストップ】ボタンを押します。

▶ 再生中の操作⇒ (P.107)

子機で再生するときは

リモコン 操作

1 相手と話をしている途中で【機能】ボタンを押します。

2 【▲】、【▼】ボタンを押して「リモコン 操作」を表示させます。

リモコン 中
通話録音 5

3 【機能】ボタンを押します。

リモコン 中
用件再生 2

4 20秒以内に【2】ボタンを押します。
用件が再生されます。

リモコン 中
用件停止 #

5 再生を終了するときは、【#】ボタンを押します。

6 【グループ／ドアホン／内線】ボタンを押します。

▶ 再生中の操作⇒ (P.108)

ドアホン通話をする

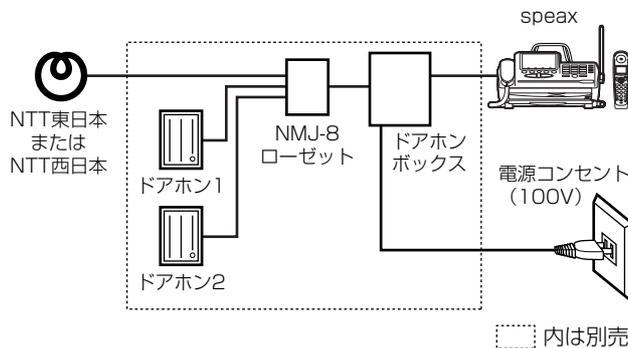
ドアホンと接続して、ドアホンと親機を受話器または子機で通話することができます。



- ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事が必要です。
接続工事には、工事担当者資格が必要です。
- ドアホンと接続するには専用のドアホンボックスと電源アダプタおよびドアホン制御ユニットが必要です。
NTT東日本またはNTT西日本、あるいは販売店にてご購入ください。
- 接続をする前に、接続する機器の取扱説明書をお読みのうえ、接続してください。
- ドアホンは2台まで接続できます。
- 接続できるドアホンの種類と接続工事については、お近くのNEC保守サービス受付拠点（P.230）にご相談ください。

ドアホン接続について

ドアホンを接続するには、下記 部分の工事が必要です（工事担当者資格が必要）。



接続できるドアホン・ドアホンボックス

価格には消費税は含まれておりません。サイズは、概略寸法（幅×奥行×高さ）です。

● ドアホン

下記の中から好きなものをお選びいただけます。

型名	サイズ (mm)	標準価格
E-ドアホン-S (H) (露出型)	98×28×130	4,600円
E-ドアホン-PL (H) (露出型)	96×35×128	4,800円
E-ドアホンD (C) (埋込型)	100×48×140	8,500円
E-ドアホン-S (C) (露出型)	98×28×130	4,600円
E-VXドアホンA (露出型)	85×40×130	6,800円
E-VXドアホンB (埋込型)	85×39×130	6,800円

● ドアホンボックスなど

ドアホンとの接続には、下記の2点が必要です。

型名	サイズ (mm)	標準価格
E-ドアホンボックス (H)	100×145×32	15,000円
NMJ-8ローゼット		1,000円

ドアホン接続の設定

接続工事終了後、ドアホンを利用するための設定をします。

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

3.設定メニュー

2 くるくるローラを回して「3.設定メニュー」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

8.ドアホン接続

4 くるくるローラを回して「8.ドアホン接続」を選択します。

1.ドアホン1接続
2.ドアホン2接続
3.ドアホン1&2接続
4.ドアホン接続なし

5 [L] ボタンを押します。

6 くるくるローラを回して接続状態を選択します。

ドアホン1接続 : ドアホン1接続のとき

ドアホン2接続 : ドアホン2接続のとき

ドアホン1&2接続 : ドアホン1、2接続のとき

ドアホン接続なし : ドアホン未接続のとき

設定完了

7 [L] ボタンを押します。

8 [ストップ] ボタンを押します。

▶ ドアホンの呼出音について

- ・親機 ドアホン1 : 「ピンポーン、ピンポーン」
ドアホン2 : 「ピンポンピンポーン、ピンポンピンポーン」
- ・子機 ドアホン1 : 「ピポピポピポピ」3回
ドアホン2 : 「ピポピポピポピポピポピポピ」3回

ドアホンと通話する



- ドアホン通話中は内線通話はできません。
- ドアホン通話中でも外線を受けることができます。ただし、ダイヤルインサービスを利用している場合には、ドアホンと通話中に外線を受けることはできません。
- ワイワイトークでドアホン通話はできません。
- ファクスの送受信中は、親機から呼出音が鳴りますが、ドアホン通話はできません（子機は鳴りません）。
- 留守設定中でもドアホン通話することができます。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 親機と子機間でドアホン通話の転送はできません。
- ドアホンの呼出音が鳴ってから約20秒たつと、呼び出しに応答できません。
- メッセージ到着お知らせサービス (P.141) をご利用の場合、ドアホン通話中にメッセージセンタからのメッセージ有り通知を受信すると、「受信エラー」となり、「メッセージ有り」の表示はされません。
- ドアホン通話中にメッセージセンタからメッセージ消去情報を受信すると、「受信エラー」となり、「メッセージ有り」の表示は消えません。



- ◎ ドアホンの呼出音量は待ち受け中に親機の [音量] ボタンまたは子機の [音量] ボタンで調節することができます。⇨ (P.49、60) ただし、音量を「切」に設定しても「小」で呼出音が鳴ります。
- ◎ ドアホン通話中は、親機の [音量] ボタンまたは子機の [音量] ボタンで受話音量を調節することができます。⇨ (P.40、52)

親機でドアホンと通話するとき

ドアホン1着信中

▼ (受話器をとる)

ドアホン1と通話中

(ドアホン1から着信した場合の例)

呼出音が鳴ります。受話器をとって話をしてください。



ドアホン1とドアホン2で呼出音が異なります。
ドアホン1の呼出音……「ピーンポーン、ピーンポーン」
ドアホン2の呼出音……「ピンポンピンポーン、ピンポンピンポーン」

子機でドアホンと通話するとき

ドアホン着信

▼ [グループ/ドアホン/
内線] ボタンを押す

ドアホン

(ドアホン1から着信した場合の例)

呼出音が鳴り、[グループ/ドアホン/内線] ボタンが点滅します。[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押します。



ドアホン1とドアホン2で呼出音が異なります。
ドアホン1の呼出音……「ピポピポピポピ」3回
ドアホン2の呼出音……「ピポピポピポピポピポピポピ」3回

外線通話中にドアホンが鳴ったとき

ドアホン1と通話中

(ドアホン1から着信した場合の例)

▶ 親機で通話する場合

[内線/保留] ボタンを押すと、ドアホンと通話できます。このとき外線は保留になります。
もう一度 [内線/保留] ボタンを押すと、外線通話ができます。



子機で外線通話しているときは、親機でドアホン通話はできません。

ドアホン

▶ 子機で通話する場合

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、ドアホンと通話できます。このとき外線は保留になります。
もう一度 [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押すと、外線通話ができます。



親機で外線通話しているときは、子機の呼出音は鳴りません。

内線通話中にドアホンが鳴ったとき

内線通話を保留にして、ドアホンに応答することはできません。内線通話を終了してから、ドアホン通話してください。

▶ 親機で通話する場合

いったん受話器を戻したあと、もう一度受話器をとります。内線通話は切れます。

▶ 子機で通話する場合

[グループ/ドアホン/内線] ボタンを2回押します。内線通話は切れます。

ドアホンでモニタする

ドアホン周辺の音を聞いたり、外の人と話したりできます。
子機では、モニタすることはできません。

ドアホンと通話中

(ドアホン1をモニタした場合)

- 1** [保留／内線] ボタンを押します。
- 2** ドアホン1でモニタする場合は [8] ボタン、ドアホン2でモニタする場合は [9] ボタンを押します。
- 3** 受話器をとります。
- 4** 周囲の音を聞く、または話をします。
- 5** 受話器を戻します。

いろいろな設定

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明します。

! 設定や登録を行う途中で、約90秒以上何も操作しなかったときは、待機状態に戻ります。

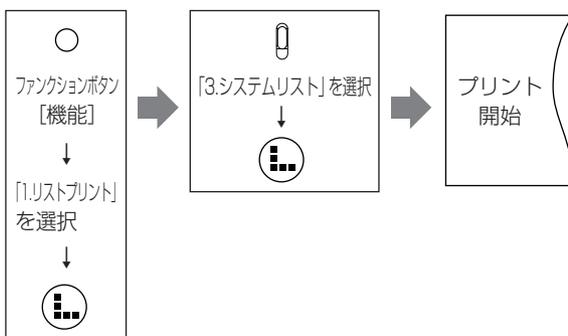
? 設定を途中でやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

表記の説明

- : ファンクションボタンを押します。
- 📎 : くるくるローラを回します。
- ⋮ : [L] ボタンを押します。

現在の設定内容（システムリスト）をプリントする

現在の設定内容をプリントして確認することができます。



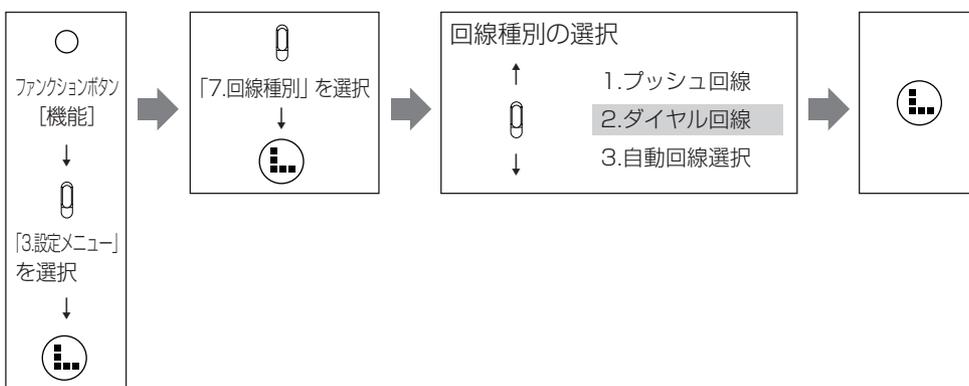
! プリントを中止したいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

回線種別の自動／手動設定（お買い求めのとき：ダイヤル回線）

使用している電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を自動または手動で設定します。INSネット64を利用して、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線に設定してください。

! 以下の場合は、本機が自動で「自動回線選択」を行います。

- お買い求め後、最初に回線に接続したとき
- 36時間以上の停電後に回線を接続したとき



▶ 「接続確認」と表示されたときは
電話回線の接続を確認してください。

▶ 「自動選択失敗」と表示されたときは
自動回線選択できませんでした。上記手順で、プッシュ回線かダイヤル回線を手動で設定してください。

基準
備知&
識

電
話

フ
ァ
ク
ス
／
コ
ピ
ー

ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ

留
守
電

便
利
に
使
う

デ
ィ
ス
バ
ー
・
ブ
レ
ィ

キ
ャ
ッ
チ
ホ
ン
／
ダ
ィ
ヤ
ル
イ
ン

レ
モ
ー
ド

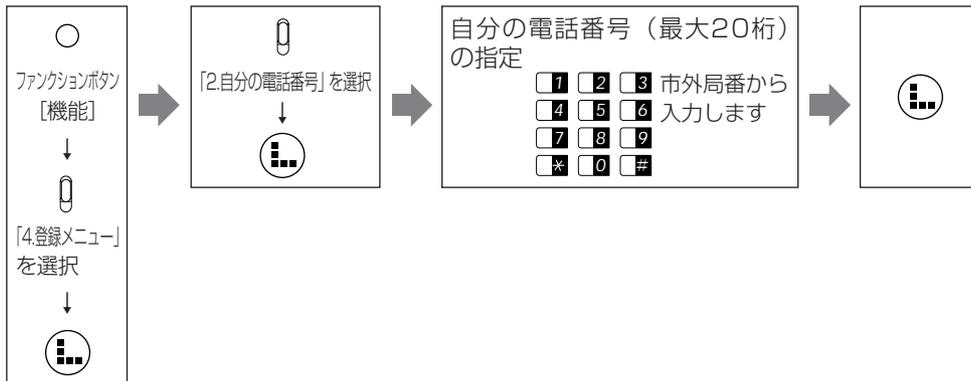
こ
ん
な
と
き
は

自分の電話番号の登録

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされます。



- ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。
「自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる」⇒（下記）
- 相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- 引越などで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやりなおしてください。



▶ 自分の電話番号を削除または修正したいときは

削除するときは、上記手順の「自分の電話番号の指定」で、登録した内容をファンクションボタン [クリア] を押してすべて消してから、[L] ボタンを押してください。

変更するときは、同じ手順で [<]、[>] ボタンを押して変更したい箇所にカーソルを移動させ、ファンクションボタン [クリア] を押して消し、修正してから [L] ボタンを押してください。



登録されている内容は、一度に削除できません。

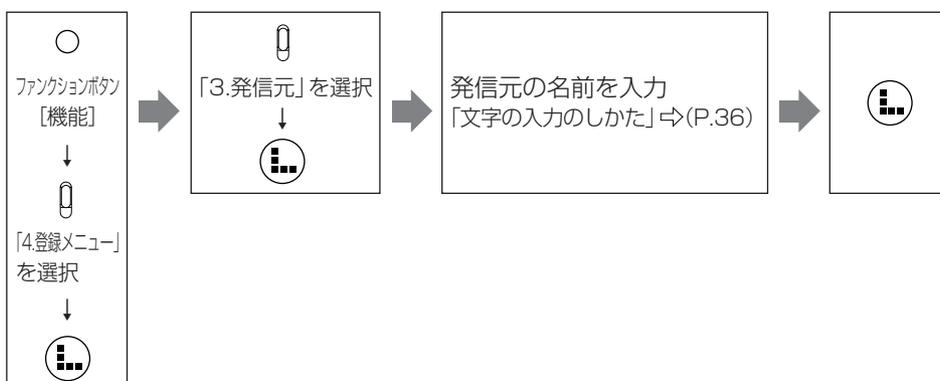
自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる（発信元記録）

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。



- 発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元を相手の記録紙にプリント「する」の設定が必要です。
- 発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。最大40文字（空白を含む）まで入力できます。

発信元を登録する（お買い求めのとき：発信元未登録）



▶ 発信元を削除または変更したいときは

削除するときは、前記手順の「発信元の名前を入力」で、登録した内容をファンクションボタン [クリア] を押してすべて消してから、[L] ボタンを押してください。

変更するときは、同じ手順で [<]、[>] ボタンを押して変更したい箇所にカーソルを移動させ、ファンクションボタン [クリア] を押して消し、修正してから [L] ボタンを押してください。



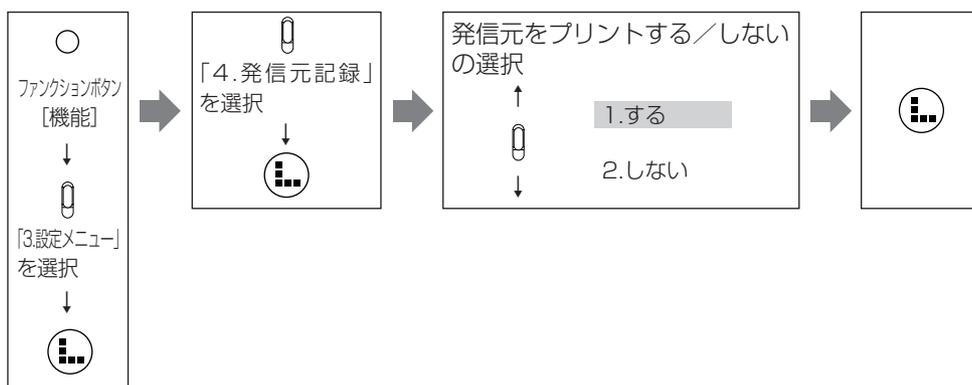
登録されている内容は、一度に削除できません。

▶ 登録できたか確認したいとき

システムリスト (P.123) をプリントしてください。

発信元をプリントする／しないを設定する (お買い求めのとき：する)

「しない」に設定すると、日付・時刻やページもプリントされません。

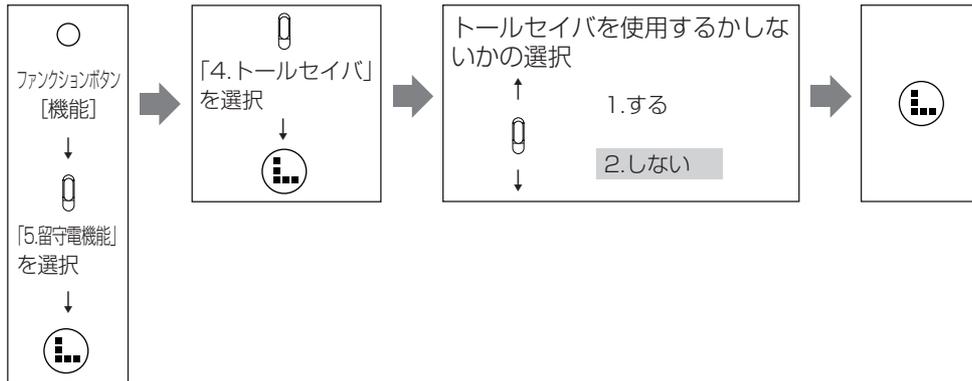


▶ 相手先でのプリント例



■ 用件の有無を外出先から簡単に確かめる(トールセイバ)(お買い求めのとき:しない) ■

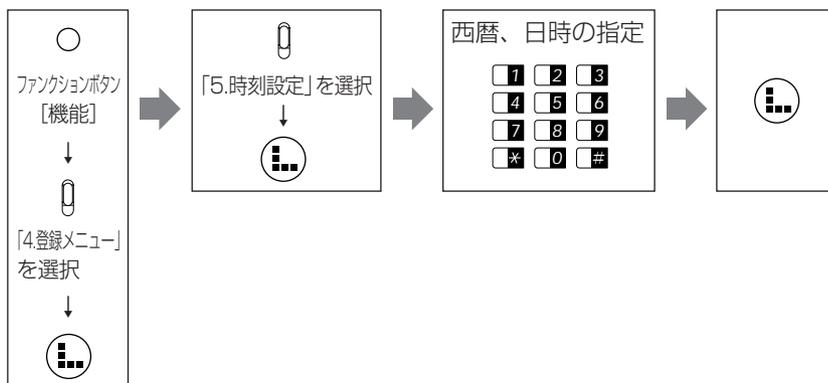
トールセイバとは留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守セット時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金がかかりません。



- 一度聞いた用件でも、残っていると（消去しないかぎり）トールセイバがはたらきます。
- 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、「する」に設定して留守番電話の用件が録音されているときは、子機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。

■ 時計を合わせる(時刻セット) ■

時刻がずれてきたときや「かんたん時刻セット」をしなかったときに行ってください（時計の精度は平均月差±60秒以内）。時刻は24時間制で、年は西暦（4桁）を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0をつけてください。（例：2001年1月6日6時5分→200101060605と入力）

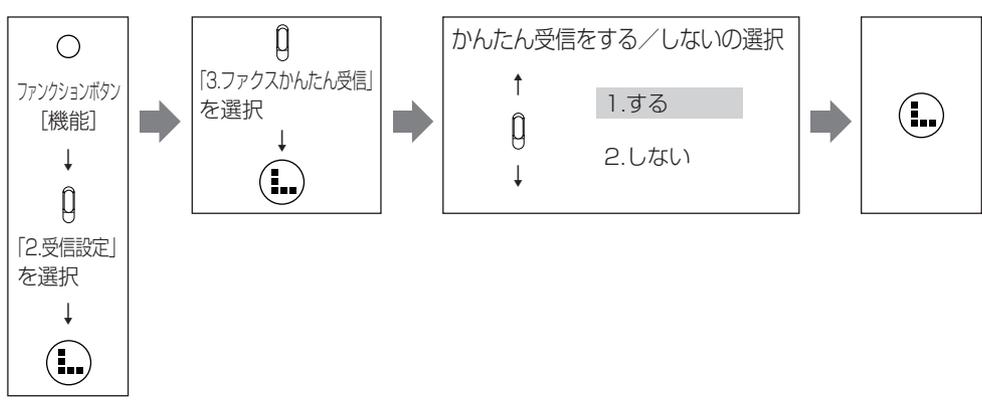


▶ 西暦、日時の入力を間違えたときは

[<]、[>] ボタンを押して修正したい個所にカーソルを移動し、入力しなおしてください。

電話に出て相手がファクスだったとき簡単に受信する(ファクスかんたん受信)(お買い求めのとき:する)

電話に出て相手がファクスのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」とメッセージが聞こえます。このときは、受話器を戻すだけでファクスを受信できます。



❗

- 相手が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合はファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手がファクスだったら親機では[スタート/コピー]ボタン、子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6]ボタンを押すと受信できます。

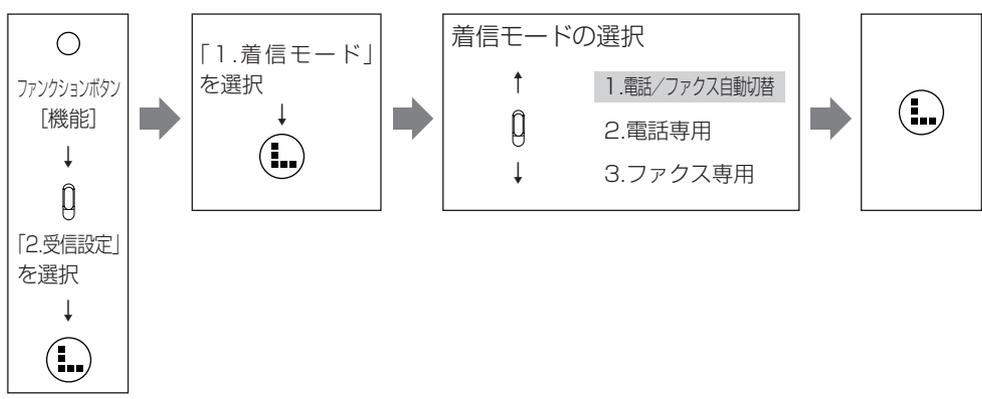
▶ いたずらファクスでお困りのときは

ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。

いつも電話で受ける、またはファクスで受ける(着信モード)(お買い求めのとき:電話/ファクス自動切替)

着信モードを設定すると、いつも電話で受けたり、ファクスで受けたりできます。

- ・電話/ファクス自動切替……………設定回数着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。
- ・電話専用……………ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料金が相手にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動で行ってください。
- ・ファクス専用……………設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。相手からかかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手が電話ならば話ができます。

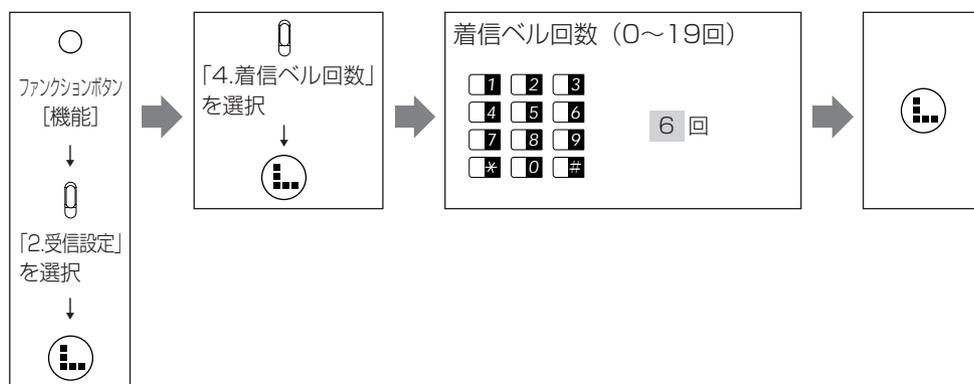


❗

- 「電話専用」に設定し、トールセイバを「しない」に設定 (P.126) している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたります。
- 「ファクス専用」で着信ベルを0回に設定すると、相手がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話が受けられません。
- 留守設定中は、「ファクス専用」を設定しても留守設定が優先されます。⇒ (P.104)

着信ベル回数を変える（お買い求めのとき：6回）

電話／ファクス自動切替、またはファクス専用を設定されている場合、自動的に回線が接続されるまでに鳴る着信ベルの回数（0～19回）を設定できます。



▶ 着信ベル回数の入力を間違えたときは

ファンクションボタン [クリア] を押し、入力しなおしてください。

▶ ベルを鳴らさずにファクスを受けたいときは（無鳴動着信）

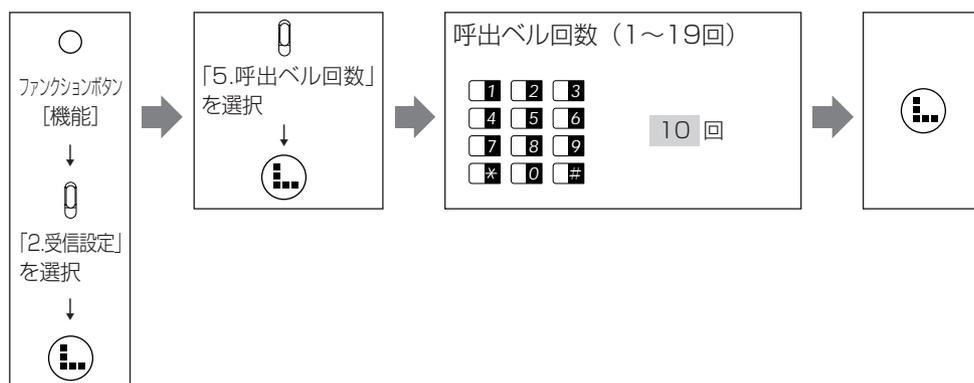
着信ベルの回数を0回に設定してください。相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。相手がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。⇒ (P.83)



- 着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手側に料金がかかります。
- 着信ベルの回数は、なるべく9回以下で設定してください。10回以上に設定すると相手がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
- トールセイバを「する」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定に関わらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときはトールセイバを「しない」に設定してください。⇒ (P.126)
- 子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。

呼出ベル回数を変える（お買い求めのとき：10回）

電話／ファクス自動切替で、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルの回数（1～19回）を設定できます。



▶ 呼出ベル回数の入力を間違えたときは

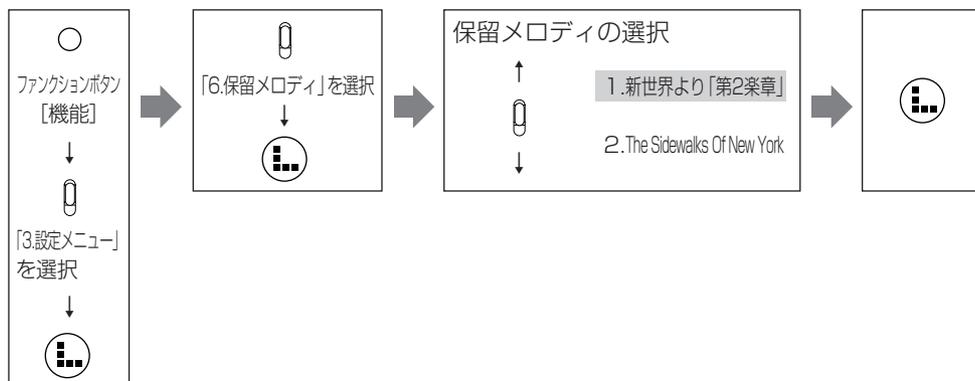
ファンクションボタン [クリア] を押し、入力しなおしてください。



回線が接続された時点から相手側に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。

■ 保留メロディを変える (お買い求めのとき:「新世界より『第2楽章』」) ■

電話を保留にしたときに相手に流すメロディ音を「新世界より『第2楽章』」または「The Sidewalks Of New York」から選べます。



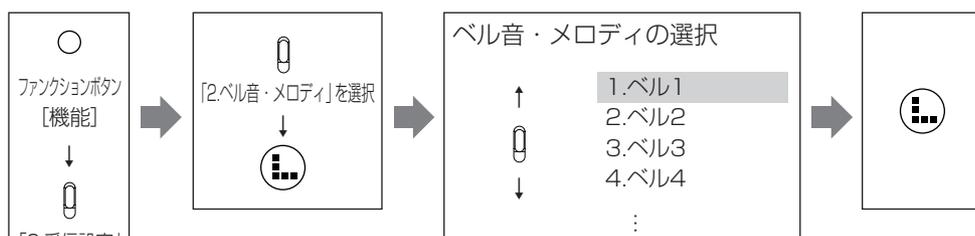
▶ 設定した保留メロディを確認したいときは

保留メロディを選択しているとき、ファンクションボタン [演奏] を押すと、選んだメロディが鳴ります。

■ ベルの音色／メロディを変える (お買い求めのとき:ベル1) ■

ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も親機と同じ音に変わります。

自分の好きなメロディ (オリジナル着信メロディ) を入力して鳴らしたり、Lモードでダウンロードしたメロディを取り込んで鳴らすこともできます。



ベル音・メロディは、以下の18種類から選択できます。

- 1.ベル1 2.ベル2 3.ベル3 4.ベル4
- 5.ベル5 6.チャイム1 7.チャイム2
- 8.鉄琴 9.チャルメラ 10.SL
- 11.ひいらぎかざろう 12.メサイヤ「ハレルヤコーラス」
- 13.カルメン「前奏曲」
- 14.四季「春」第1楽章 15.禿山の一夜 16.～18.ダウンロードした着信メロディ、オリジナルメロディ



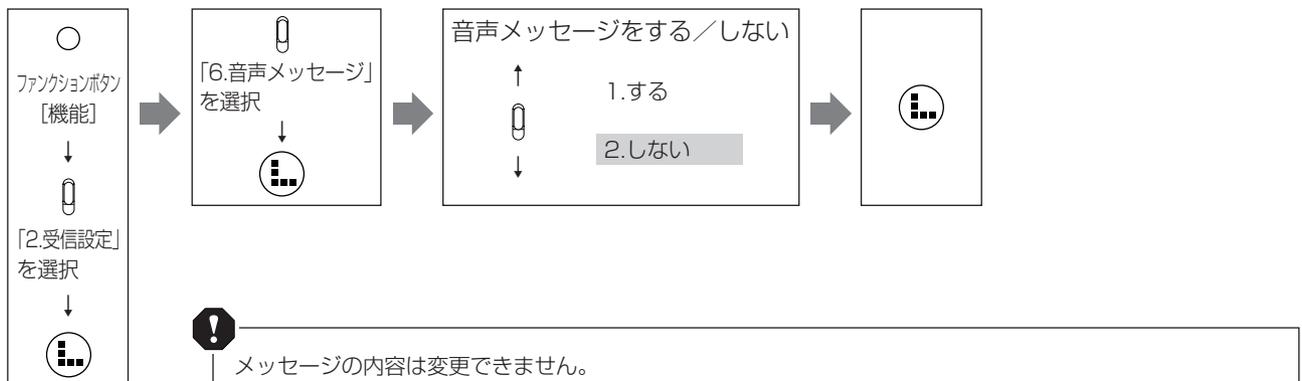
ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手からの電話は、着信鳴り分けで設定したベルが鳴ります。

▶ 現在のベルを確認したいときは

ベルの音色／メロディを選択しているときは、ファンクションボタン [演奏] を押すと、選んだメロディが鳴ります。このとき音量の調節もできます。⇒ (P.49) 子機の [音量] ボタンでは確認できません。

■ 電話をかけてきた相手にメッセージを流す（お買い求めのとき：しない） ■

電話／ファクス自動切替で自動的に回線が接続されたときに、相手が電話だった場合「お呼び出しいたしますので、しばらくお待ちください。」というメッセージを流すことができます。



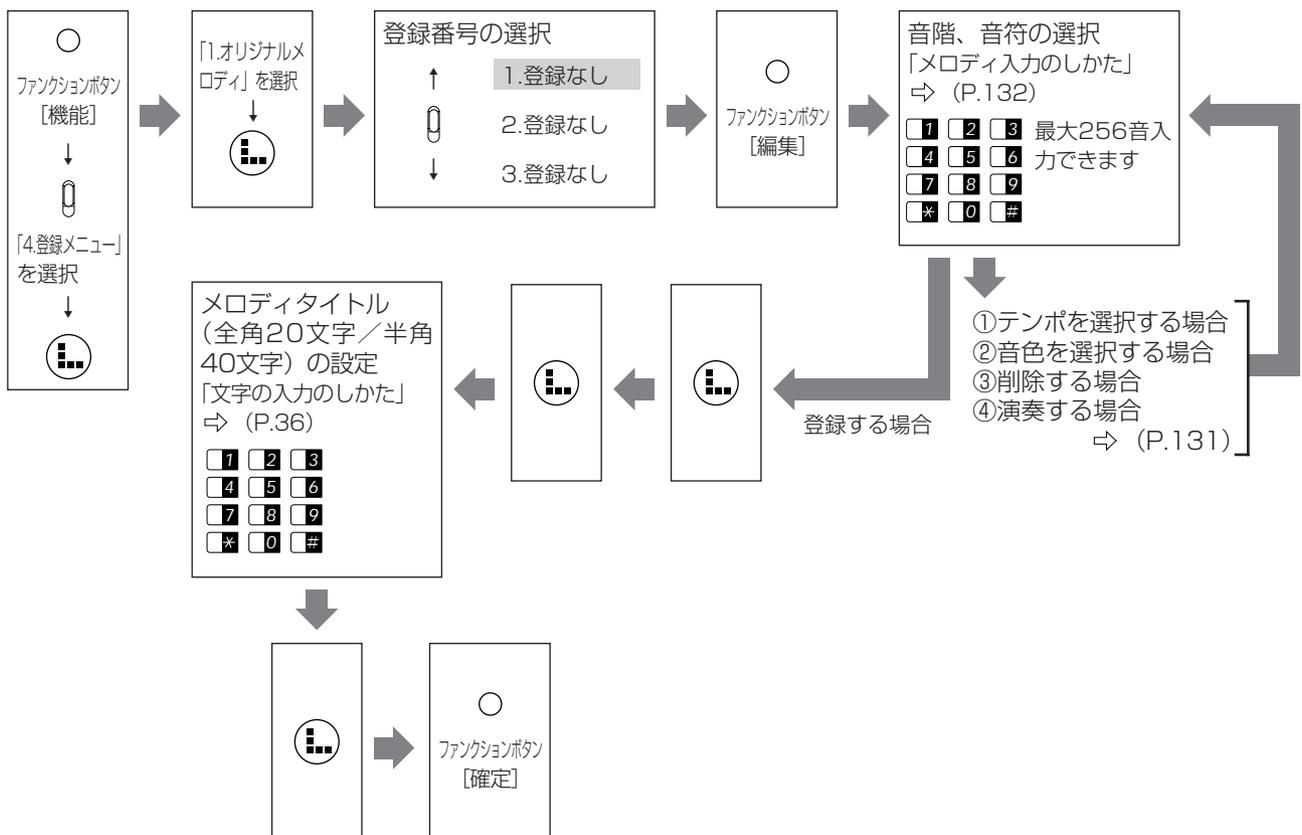
■ 着信メロディを自分で作る（オリジナル着信メロディ） ■

オリジナルのメロディを作曲し、着信メロディとして利用できます。それぞれのメロディにタイトルをつけることができます。



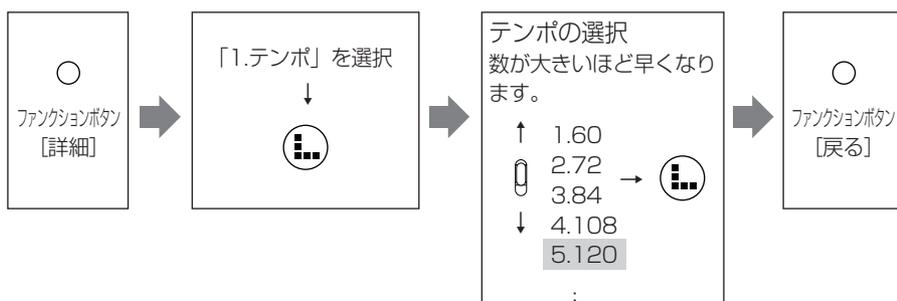
- ◎オリジナル着信メロディとLモードサイトからダウンロードしたメロディ、合わせて3曲まで登録できます。
- ◎オリジナル着信メロディを登録すると、着信メロディとして利用できます。「ベルの音色／メロディを変える」⇒ (P.129)
「かけてくる相手によって着信ベルを変える（着信鳴り分けとプライベートコール）」⇒ (P.150)
- ◎オリジナル着信メロディは単音です。

オリジナル着信メロディを登録する



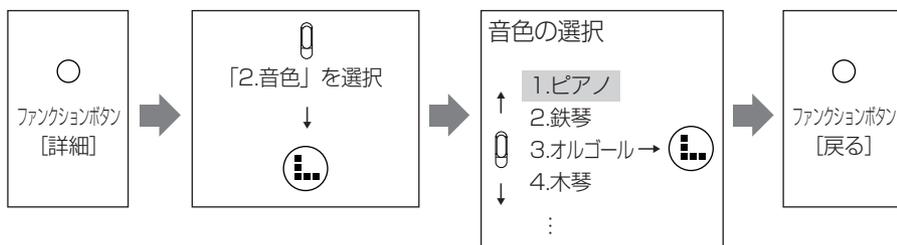
ここで登録操作は終わりです

①テンポを選択する場合



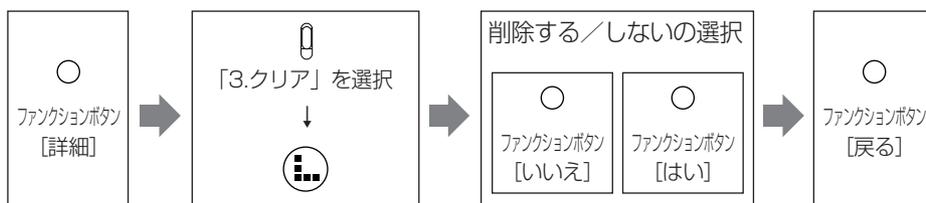
テンポは、以下の9種類から選択できます。
1.60 2.72 3.84 4.108 5.120
6.132 7.152 8.168 9.184

②音色を選択する場合

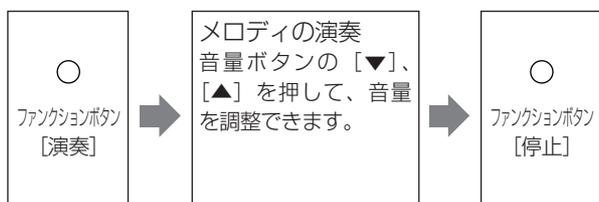


音色は、以下の16種類から選択できます。
1.ピアノ 2.鉄琴 3.オルゴール 4.木琴
5.オルガン 6.アコーディオン 7.ギター
8.ベース 9.バイオリン 10.ハーブ
11.トランペット 12.アルトサクソ
13.クラリネット 14.フルート
15.クリスタル 16.琴

③削除する場合



④演奏する場合



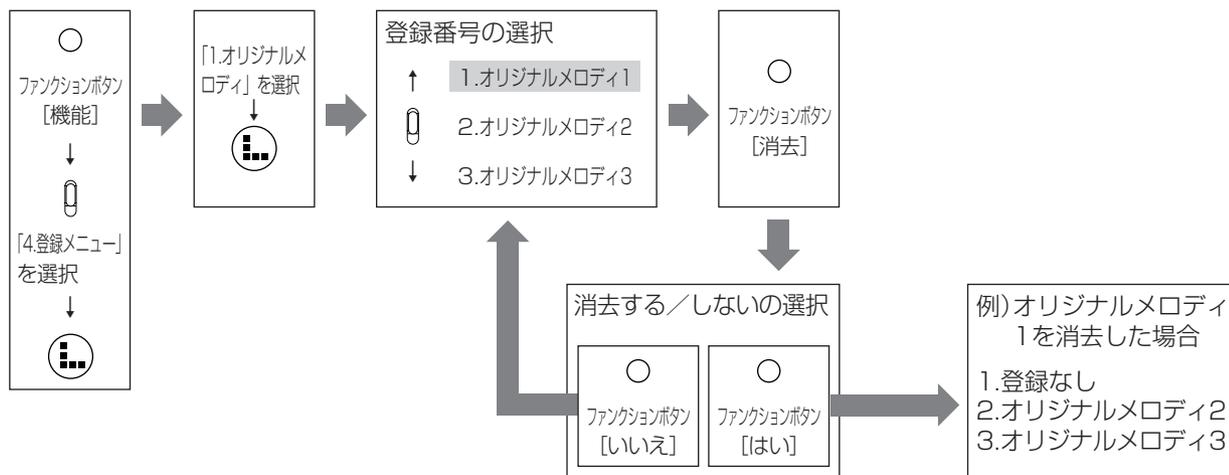
▶登録されているメロディを修正したいとき

- ①前記手順の「登録番号の選択」(P.130)でメロディが登録されている番号を選択します。
- ②ファンクションボタン [編集] を押します。
登録されているメロディが表示されます。
- ③[<]、[>] ボタンを押して修正したい音を反転させます。
- ④ファンクションボタン [削除] を押します。
反転位置の音が削除されます。
- ⑤新しい音を入力します。
「メロディ入力のしかた」⇒ (P.132)
- ⑥修正が完了したら、[L] ボタンを押します。

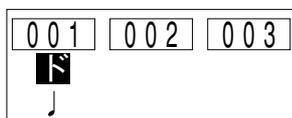
▶新しいメロディを登録したいとき

すでに登録されているメロディを消去してから、登録しなおしてください。

オリジナル着信メロディを消去する



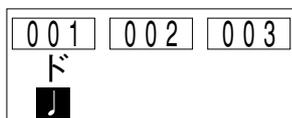
メロディ入力のかた



1 音階を入力します。

「使用できる音階」(P.133)を参考にして、音階や休符、タイの入力をします。

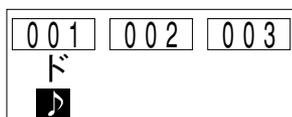
音符の位置には ♪ (4分音符) が表示されます。



2 くるくるローラを回して、音符を反転させます。

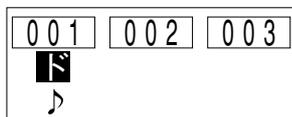
▶音符の入力を行わないときは

くるくるローラを回して音階を反転させ、手順5へ進みます。

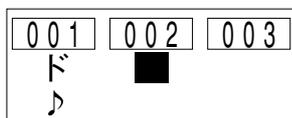


3 音符を入力します。

「使用できる音符」(P.133)を参考にして、音符の入力をします。



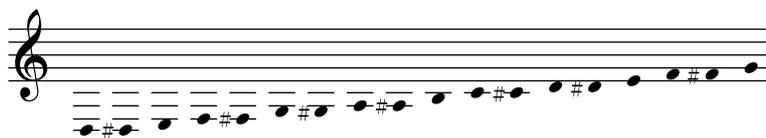
4 くるくるローラを回して、音階を反転させます。



5 [>] ボタンを押して、手順1~4を繰り返し行います。

使用できる音階

以下の表を参照して、音階を入力してください。



画面表示	.レ	.レ#	.ミ	.ファ	.ファ#	.ソ	.ソ#	.ラ	.ラ#	.シ	ド	ド#	レ	レ#	ミ	ファ	ファ#	ソ
入力ボタン	[2] +[2] +[2]	[2] +[2] +[2]	[3] +[3] +[3]	[4] +[4] +[4]	[4] +[4] +[4]	[5] +[5] +[5]	[5] +[5] +[5]	[6] +[6] +[6]	[6] +[6] +[6]	[7] +[7] +[7]	[1] +[1]	[1] +[1]	[2] +[2]	[2] +[2]	[3] +[3]	[4] +[4]	[4] +[4]	[5] +[5]



画面表示	ソ#	ラ	ラ#	シ	ド	ド#	レ	レ#	ミ	ファ	ファ#	ソ	ソ#	ラ	ラ#	シ	ド
入力ボタン	[5] +[5]	[6] +[6]	[6] +[6]	[7] +[7]	[1] +[1]	[1] +[1]	[2] +[2]	[2] +[2]	[3] +[3]	[4] +[4]	[4] +[4]	[5] +[5]	[5] +[5]	[6] +[6]	[6] +[6]	[7] +[7]	[1] +[1]

※「ミ」「シ」には「#」をつけることができません。

※[9] ボタンを押すと休符 (休)、[0] ボタンを押すとタイ (タイ) が入力されます。
音階の先頭でタイを入力することはできません。

使用できる音符

以下の表を参照して、音符を入力してください。

入力ボタン	画面表示	実際の音符
[1]	●	● (全音符)
[2]	♪	♪ (2分音符)
[2] + [2]	♪	♪ (付点2分音符)
[3]	♪*	♪ (8分3連符)
[3] + [3]	♪*	♪ (4分3連符)
[4]	♪	♪ (4分音符)
[4] + [4]	♪	♪ (付点4分音符)
[6]	♪	♪ (16分音符)
[8]	♪	♪ (8分音符)
[8] + [8]	♪	♪ (付点8分音符)

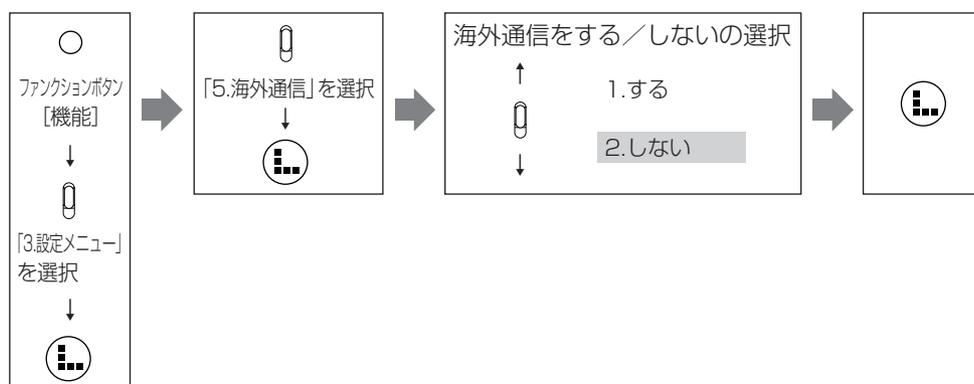
※「♪」または「♪」の音符を設定する場合は、「♪」または「♪」を3つ続けて入力します (3つ続けて入力しないと実際の音符と同様の表現になりません)。

スタッカート

スタッカートを設定する音符にカーソルを移動して[*] ボタンを押します。

海外にファクスを送るとき（お買い求めのとき：しない）

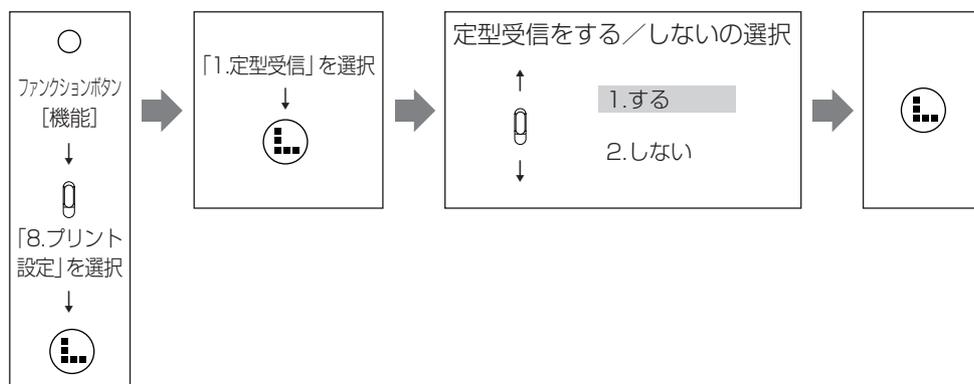
海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に設定してください。



海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。

受信したファクスを縮小する（定型受信）（お買い求めのとき：する）

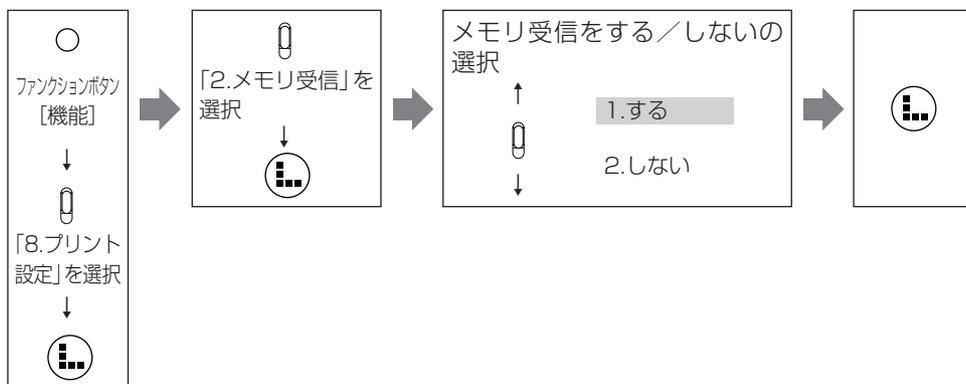
定型受信を「する」に設定すると、送信される文書が発信元記録の付加などで縦方向にA4サイズをわずかに超える場合でも縦方向に約93%縮小してプリントします（縮小率約93%は固定です）。



- 「する」に設定すると、縮小（約93%）することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、定型受信を「しない」に設定してください。
- 「しない」に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。
- 「する」「しない」いずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。

■ ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する (メモリ受信) (お買い求めのとき: する) ■

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。



- 「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消す (P.108) か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- 「しない」に設定すると、電送速度は最高で9600 bpsとなり、「する」に設定したときより受信に時間がかかることがあります。
- 「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下がおこると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません (メモリ代行受信も行いません)。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。
記録紙がなくなったとき (P.26) / カバーが開いたとき (P.208) / サーマルヘッドが過熱したとき / インクフィルムがなくなったとき (P.204) / 記録紙がつまった (P.205)
- 「しない」に設定しても、液晶ファクスが設定されているとき、または記録紙がセットされていないなど、プリントできない状態のときはメモリに受信します。
「液晶ファクスを設定する」 ⇨ (P.85)
「メモリ代行受信」 ⇨ (P.88)

■ 記録紙モードの設定 (お買い求めのとき: 普通紙) ■

本機にセットする記録紙は、普通紙または感熱紙のうち、いずれかを選べます。

セットする記録紙	インクフィルム	記録紙モード
普通紙	必要	普通紙
感熱紙	不要	感熱紙



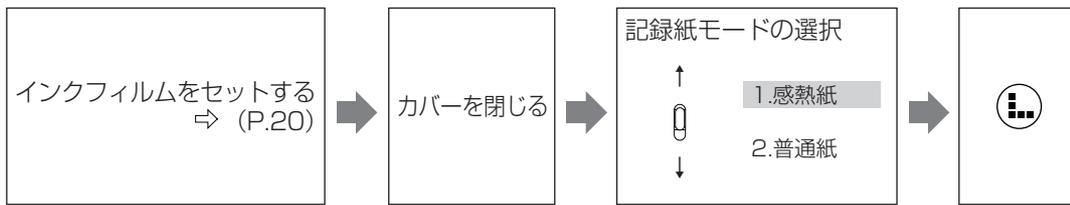
記録紙モードの設定を間違えた場合 (感熱紙を使用するのに「普通紙」を設定してしまったときなど) は、いったんカバーを開け、閉じると記録紙モード設定の手順になりますので選択しなおしてください。

普通紙モードから感熱紙モードに変更する



- 感熱紙モードで使用するとき、必ず感熱紙をセットしてください。普通紙をセットすると、白紙となります。
- 感熱紙の印字面を必ず「裏向き」にして記録紙カセットにセットしてください。裏・表を間違えると、白紙となります。⇨ (P.26)
- 感熱紙モードのときに普通紙をセットしたり、感熱紙の裏・表を間違えて白紙となった場合、受信したファクスの内容は再プリントできませんので注意してください。
- 取り外したカートリッジ (インクフィルムが取り付けられた状態) は、直接日光の当たらない場所に保管してください。

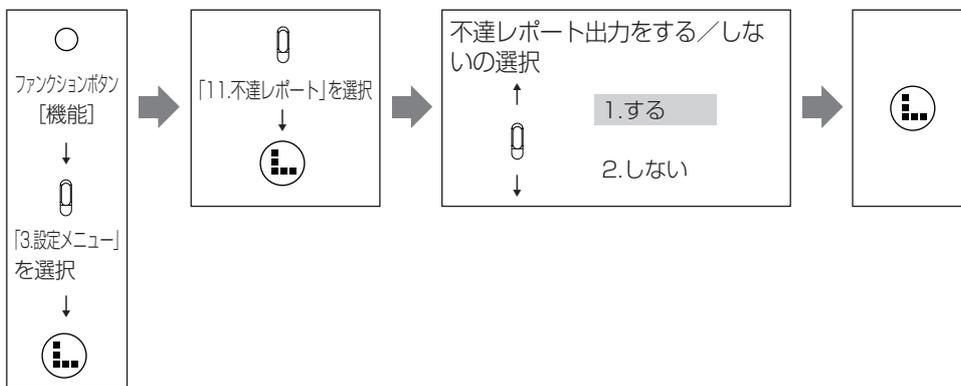
感熱紙モードから普通紙モードに変更する



普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因となることがあります。

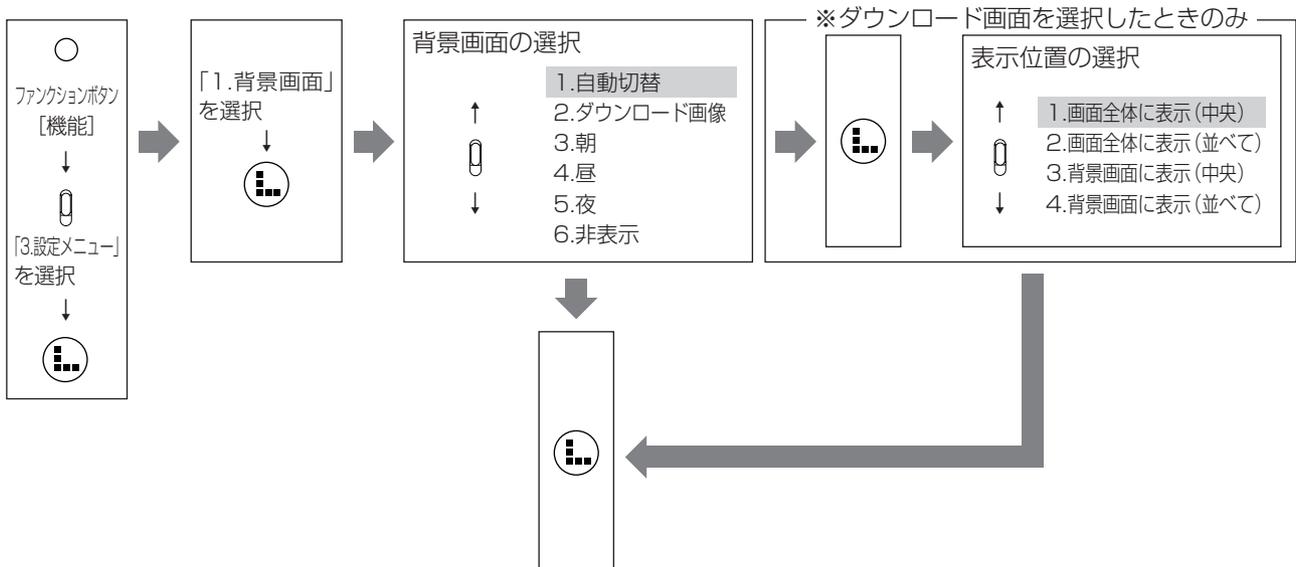
不達レポートを出力する (お買い求めのとき：する)

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポート (P.78) を出力することができます。



背景画面の設定 (お買い求めのとき：「自動切替」)

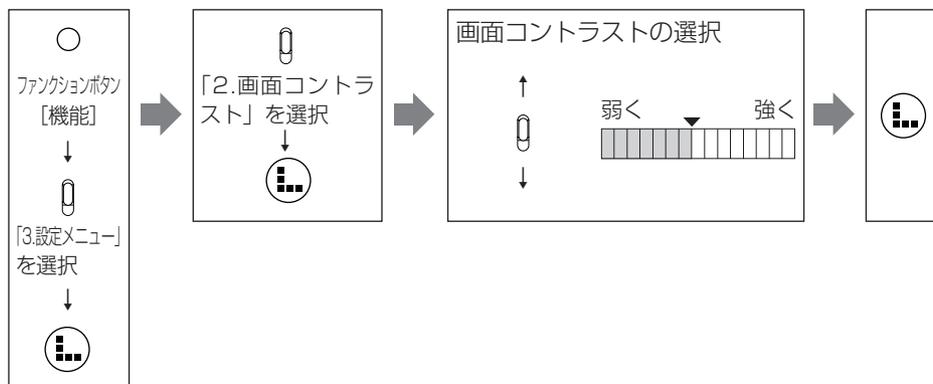
親機のディスプレイの背景画面をLモードでダウンロードした画像にしたり、朝、昼、夜で切り替えることができます。



「自動切替」に設定すると、親機の時計の表示に応じて「朝」「昼」「夜」を切り替えます。

画面コントラストを調整する (お買い求めのとき：レベル7)

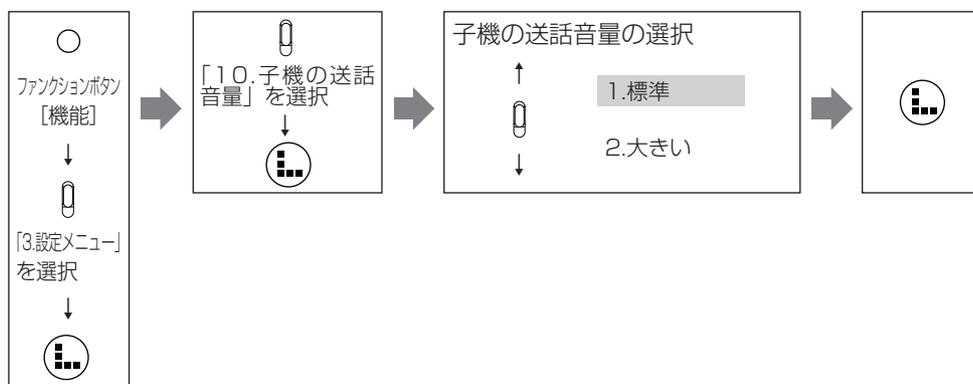
親機にディスプレイのコントラストを16段階で調整することができます。



室温により、コントラストは変化します。状況に応じて調整をしてください。

子機の送話音量を大きくする (お買い求めのとき：標準)

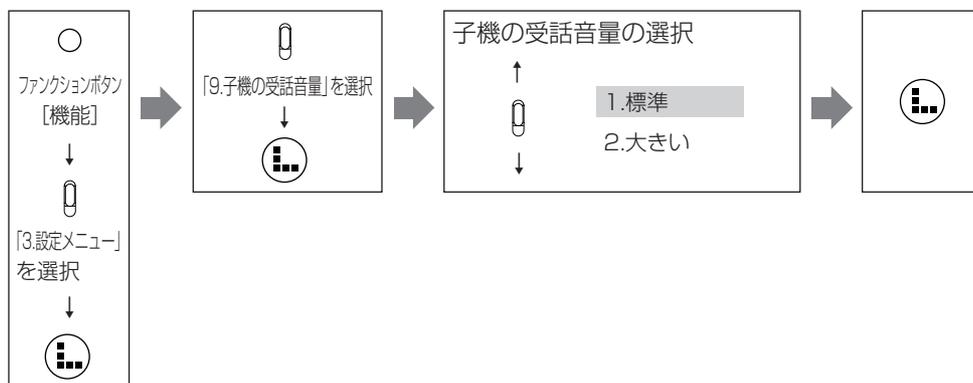
相手側でこちら側の子機の声が聞こえにくいときは、送話音量を「大きい」に設定してください。相手側で声が聞き取りやすくなります (親機で操作します)。



ワイワイトーク時または内線通話時の送話音量は変更されません。

子機の受話音量を大きくする (お買い求めのとき：標準)

相手側の声が聞こえにくいときは、受話音量を「大きい」に設定してください (親機で操作します)。



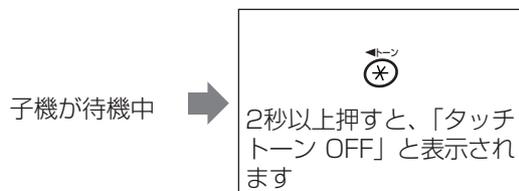
ワイワイトーク時または内線通話時の受話音量は変更されません。

子機のキータッチトーンを設定する（お買い求めのとき：鳴る）

子機のボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を「キータッチトーン」といいます。ボタン操作が確実に行えていることをこの音で確認できます。このキータッチトーンは鳴らさないようにすることができます。



- 子機で設定してください。
- キータッチトーンを鳴らさないようにすると、エラーを知らせる音が鳴らなくなります。ただしベル音量を切り替えたときの音は鳴ります。



▶ もう一度キータッチトーンを鳴らしたいときは

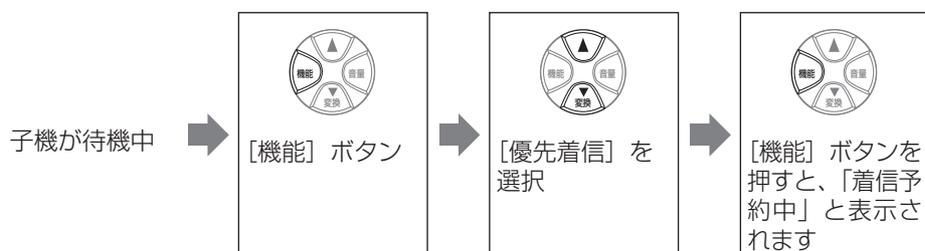
鳴らさないようにするときと同じ操作をもう一度行うと鳴るようになります。

子機のベルを優先して鳴らす（子機優先着信）

電話がかかってくると、親機より先に子機だけベルを5回鳴らします。ベルが5回鳴ってもだれも出ないときは、あらかじめ設定してある動作をします。



- 子機で設定してください。
- 次の場合、優先着信の設定は解除されます。
 - 内線または外線から電話がかかってきた場合（電話に出なくても解除されます）
 - 子機で電話をかけた場合（内線やリモコン操作を含む）
 - 親機の電話帳を子機に転送した場合
- 子機のベル音量を「OFF」に設定していると、ベルは鳴りません。
- 増設子機（別売）を使用している場合でも、設定できる子機は1台だけです。
- 優先着信を設定している子機のベルだけ鳴っているときでも、ベルの鳴っていない親機や他の子機で電話に出ることができます。



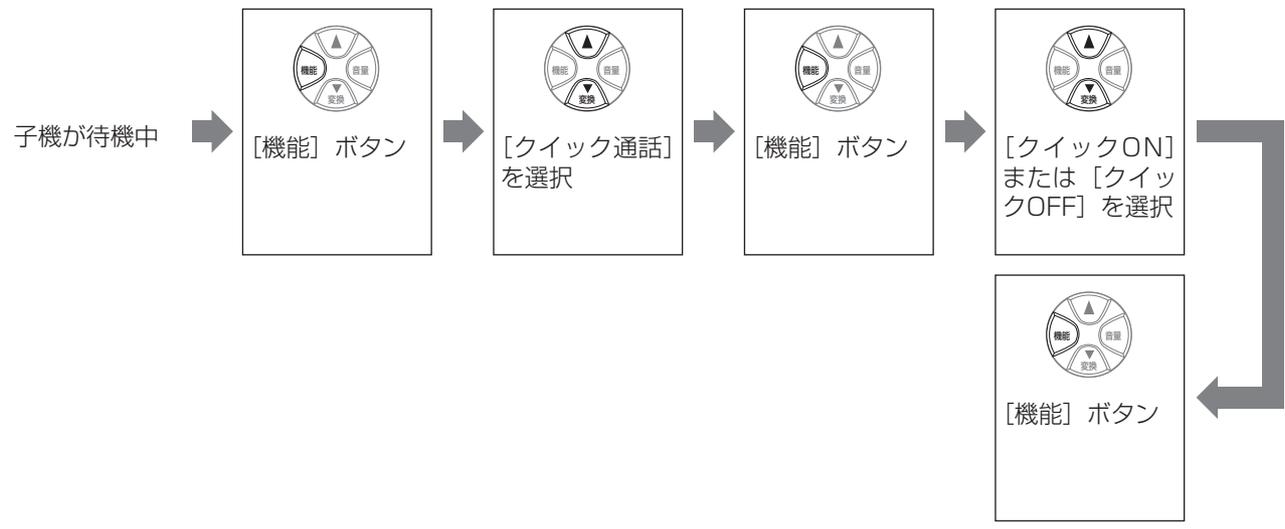
▶ 優先着信の設定を解除するには

設定と同じ操作をもう一度行ってください。「着信予約中」の表示が消え、優先着信が解除されます。

子機のクイック通話を設定する (お買い求めのとき: OFF)

クイック通話は、子機を充電器からとるだけですぐに話ができるようにする機能です。

- 子機で設定してください。
- クイック通話が「ON」のとき、充電器から子機をとったあと、何もしないで約25秒経つと、待機中に戻ります。

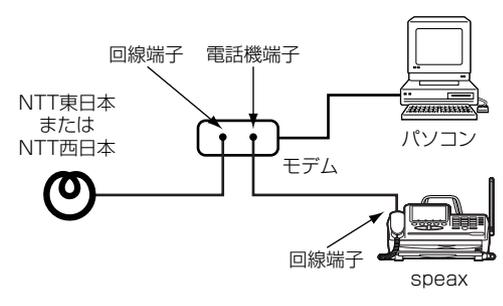


パソコンやモデムをつなぐには

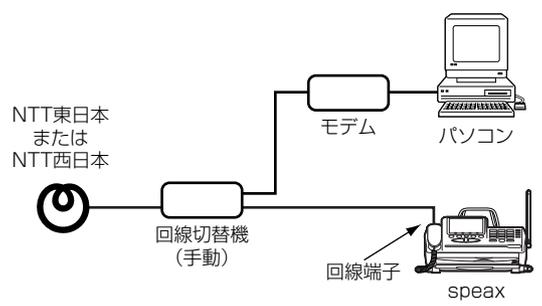
INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信をする場合は、モデム内蔵パソコンやモデムに本機をつなぎます。

- モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けようとするときは、本機の「電話/ファクス自動切替」がはたらく前に着信するようにしてください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
- 本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。
- モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください。
「回線種別の自動/手動設定」⇒ (P.123)

モデムに本機を接続するとき



回線切替器を使うとき



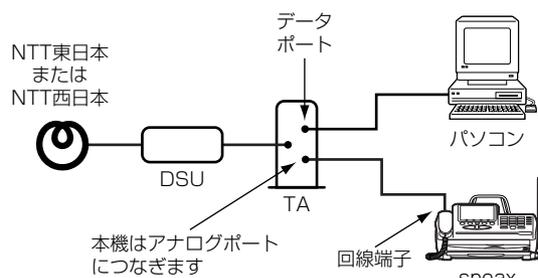
INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信をしながら電話が使えます。INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。また、本機の他に、次の機器が必要となります。

- ・ ISDNターミナルアダプタ（TA）
- ・ デジタルサービスユニット（DSU）



TAの機種によっては、DSUが内蔵されています。詳しくはTAの取扱説明書をご覧ください。



▶ 本機の回線種別の設定

回線種別はプッシュ回線に設定してください。
「回線種別の自動／手動設定」⇒（P.123）

▶ ナンバー・ディスプレイを利用したいときは

INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

▶ ダイヤルインサービスを利用したいときは

TAの取扱説明書にしたがい、ダイヤルインサービスの設定を行ってください。TAの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は、本機のダイヤルインの設定を「しない」にしてください。⇒（P.157）

▶ 電話帳の登録でポーズを入力するときの注意

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、電話をかけられないことがあります。

その他のサービスを利用する

メッセージ到着お知らせサービスを利用する

メッセージ到着お知らせサービスとは、NTT東日本またはNTT西日本のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたときや、Lモードゲートウェイでお客様宛のメールを保管しているときなどに、メッセージがあることを親機のディスプレイ表示でお客様にお知らせするサービスです。

5つのメッセージセンタがご利用できます。センタ1はマジックボックスやキャッチホンⅡ、センタ2はLモードサービスのLメールで利用します。マジックボックスやキャッチホンⅡ、Lモードサービスの詳細についてはNTT東日本またはNTT西日本へお問い合わせください。

このサービスをご利用になるためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

また、契約したあとナンバー・ディスプレイ利用を「する」に設定する必要があります（お買い求め時は「する」に設定されています）。⇒（P.144）なお、ナンバー・ディスプレイをご利用されている場合には、この設定は必要ありません。

メッセージの表示例

メッセージセンタにメッセージがあるとき、親機のディスプレイにメッセージのあるメッセージセンタ番号が次のように表示されます。

〈例〉メッセージセンタ1と2にメッセージがある場合

メッセージ 12

またファンクションボタン〔着信データ〕を押すとメッセージセンタ番号とメディア種別が次のように表示されます。

〈例〉メッセージセンタ1にメディア1とメディア3のメッセージがある場合

センタ1 M1 M3



- 停電時は「メッセージ有り」表示機能はご利用できません。また、「メッセージ有り」の表示中に停電になった場合は、その後復電しても表示は戻りません。
- メッセージは通話中、操作中およびアラーム表示中には、「メッセージ有り」表示は表示されません。
- 録音メッセージを聞いたあとで削除したり、Lメールの受信を行っても、すぐには「メッセージ有り」の表示が消えない場合があります。「メッセージ有り」表示は、メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信すると自動的に消えます。
- ドアホン通話中にメッセージセンタからメッセージ有り通知を受信すると、「受信エラー」となり、「メッセージ有り」の表示はされません。
- ドアホン通話中にメッセージセンタからメッセージ消去情報を受信すると、「受信エラー」となり、「メッセージ有り」の表示は消えません。
- 内線呼び出し中にメッセージセンタからメッセージ有り通知およびメッセージ消去情報を受信すると、内線呼び出しを中止します。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話（ファクス）番号などが、受信側のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

また、キャッチホン・ディスプレイ（有料）をご契約になると、お話し中に別の人から電話がかかってきたときに電話番号などが表示されます。⇒（P.152）



次の場合は電話番号が表示されません。

- 国際電話
- オペレーター扱いの通話（100番・106番）
- 相手が番号非通知のとき
- 相手が公衆電話からかけてきたとき
- 相手が圏外からかけてきたとき
- 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。



■本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。

- 転送電話（ボイスワープを除く）
- ダイヤルQ2（情報提供側）
- テレドーム（情報提供側）
- ノーリング情報サービス（センター回線）

■ブランチ接続では使えません。⇒（P.19）

■構内交換機やホームテレホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。

■停電時は、ナンバー・ディスプレイはご利用できません。

▶ お問い合わせ先

NTT東日本、NTT西日本

ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンター

フリーダイヤル : 0120-848521

受付時間 : 9:00~17:00（月曜~土曜）

ダイヤルインサービスを同時に利用するとき

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。ナンバー・ディスプレイ カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタをご利用ください。



ご使用になるターミナルアダプタの取扱説明書をよくお読みになり、ターミナルアダプタ側のナンバー・ディスプレイの設定を正しく行ってください。

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。



電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごとの非通知	回線ごとの非通知
相手に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1] [8] [6] のあと相手の番号をダイヤル
相手に電話番号を通知しない	[1] [8] [4] のあと相手の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

▶自分がどちらで契約しているかわからない

NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

表示の見かた

電話がかかってくると、相手の番号が次のように表示されます。

(親機)

着信中
0311112222

(子機)

ベル 着信
0311112222

●電話帳に登録されている場合

(親機)

着信中
パパ

(子機)

ベル 着信
パパ
0311112222



親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録しているときは、親機と子機それぞれに登録した名前が表示されます。

▶電話をかけてきた／ファクスを送ってきた方のダイヤル操作によって、次のような内容が表示されます。

電話をかける／ファクスを送る方のダイヤル操作	ディスプレイ表示例
相手が公衆電話のとき	公衆電話
相手が番号非通知のとき	非通知
相手が海外など、圏外からかけてきたとき	表示圏外
一時的な電話回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったとき、またはドアホン通話中に電話がかかってきたとき	受信エラー

ナンバー・ディスプレイの設定

ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」に必ず設定してください。
お買い求めいただいたときは、ナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定されています。

- 1 ファンクションボタン【機能】を押します。
- 2 くるくるローラを回して「6.ナンバーディスプレイ」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 [1.ナンバーディスプレイ利用] を選択し、[L] ボタンを押します。
- 5 くるくるローラを回して、ナンバー・ディスプレイを「利用する」または「利用しない」を選択します。
- 6 [L] ボタンを押します。

6.ナンバーディスプレイ

1.ナンバーディスプレイ利用

1.する
2.しない

サービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

着信データ

かけてきた相手の方の電話番号を記憶する

電話をかけてきた／ファクスを送ってきた相手の方の電話番号は、親機では最大20件まで、子機では最大10件まで記憶されます。記憶された電話番号は、最新のものから表示して確認することができます。⇒ (P.145)

「公衆電話」「非通知」「表示圏外」「受信エラー」として受信されたものも記憶されます。かけてきた相手の方の電話番号が20件(子機では10件)を超えたときは、最も古い電話番号から自動的に消去されます。

着信データリスト

親機に記憶した電話番号などをプリントして確認する着信データに記憶された電話番号や名前をプリントすることができます(着信データリスト)。⇒ (P.146) リストで、電話をかけてきた／ファクスを送ってきた相手の方の電話番号や名前を確認してからかけなおすのに便利です。

コールバック

かけてきた方にこちらからかけなおす

記憶された電話番号をディスプレイに表示させて、こちらから電話をかけなおしたり、ファクスを送りなおしたりすることができます。⇒ (P.145)

着信拒否

電話に出たくない相手先には着信拒否のメッセージを流す
電話に出たくない相手先からかかってきたときに、ベルを鳴らさずに着信して「申し訳ありませんが、お取りつぎできません。」というメッセージを流し、自動的に電話を切ることができます。⇒ (P.148)

その他

- 電話帳に登録されている相手だけ特別な受けかたをする
- かんたん登録
- 留守録着信データ



■ ナンバー・ディスプレイを利用した機能は、番号(全桁)が完全に一致した場合のみ動作します。電話帳に電話番号を登録する際に、「- (ポーズ)」、「*」、「#」を使用すると、番号が一致したと見なされなくなります。また、電話番号は同一市内の場合でも、必ず市外局番から登録してください。

■ 着信拒否を「する」に設定している場合でも、親機の登録設定中／コピー中／内線通話中／Lモード操作中は、対象となっている相手先からの電話には、メッセージは流れません。そのとき、ベルは鳴りません。

着信データを使って電話をかける（コールバック）



- あらかじめナンバー・ディスプレイの設定が必要です。⇒（P.144）
- ドアホン通話中に電話がかかってきた／ファクスが送られてきた場合は、「受信エラー」として記憶されます。

親機で電話をかけなおす



記憶された電話番号は、停電時あるいは電源を切ると消去されます。

着信データ	1/2
受話器をとるかワイワイトークで電話できます	
相手先	着信日時
01.友達	1/18 15:30
02.0311112222	1/17 18:00

1 ファンクションボタン [着信データ] を押します。

記憶された電話番号（最大20件）のうち最新のものから順に、着信日時と相手先が表示されます。



- ◎着信データが1件も記憶されていないときは「着信データはありません」と表示されます。
- ◎着信データリストで確認することもできます。⇒（P.146）



電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

着信データ	2/2
受話器をとるかワイワイトークで電話できます	
相手先	着信日時
01.友達	1/18 15:30
02.0311112222	1/17 18:00

2 電話をかけたい相手先をくるくるローラを回して選択します。

最大20件まで順に表示されます。



- ◎電話帳に登録されている相手先のときは、登録されている相手先名が表示されます。
- ◎「非通知」「公衆電話」などとして記憶された相手先へは、電話をかけなおすことはできません。

ダイヤル中
0311112222

3 受話器をとります。

ワイワイトークで電話をかけたいときは、受話器をとらずに [ワイワイトーク] ボタンを押します。

通話中 通話時間
0:35

4 話をします。

5 用件が済んだら、受話器を戻します。

ワイワイトークで話をしていたときは、[ワイワイトーク] ボタンを押します。

0322221111を電話帳／着信拒否のどちらに登録しますか？

電話帳登録	
名前：	<input type="text"/>
よみがな：	<input type="text"/>
電話番号：	<input type="text"/>
	0311112222
メールアドレス：	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

▶ 着信データに記憶された電話番号を電話帳に登録するには（かんたん登録）

- ① 手順1～2の操作を行い、電話帳に登録したい電話番号を選択し、ファンクションボタン [登録] を押します。
- ② ファンクションボタン [電話帳] を押します。
- ③ 相手先名、よみがな、メールアドレスなどを入力します。
「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)
- ④ ファンクションボタン [登録] を押すと登録が完了します。



- ◎登録を中止したいときは [ストップ] ボタンを押してください。
- ◎「全て登録済みです」と表示されたときは、電話帳から不要な相手先を消去してください。⇒ (P.46)
- ◎「着信データはありません」と表示されたときは、着信データが記憶されていないので登録できません。

0322221111を電話帳／着信拒否のどちらに登録しますか？

0322221111
を着信拒否に登録しました

▶ 着信データに記憶された電話番号を着信拒否リストに登録するには

- ① 手順1～2の操作を行い、着信拒否リストに登録したい電話番号を選択し、ファンクションボタン [登録] を押します。
- ② ファンクションボタン [着信拒否] を押します。



- 登録を中止したいときは [ストップ] ボタンを押してください。

0322221111
を削除しますか？

0322221111
を削除しました

▶ 着信データに記憶された電話番号を消去するには

- ① 手順1～2の操作を行い、消去したい電話番号を選択し、ファンクションボタン [削除] を押します。
- ② ファンクションボタン [はい] を押します。



- 消去を中止したいときはファンクションボタン [いいえ]、または [ストップ] ボタンを押してください。

▶ 着信データの一覧をプリントするには（着信データリスト）

- ① ファンクションボタン [機能] を押します。
- ② [1.リストプリント] を選択し、[L] ボタンを押します。
- ③ くるくるローラを回して [2.着信データリスト] を選択し、[L] ボタンを押します。



- プリントを中止したいときは、[ストップ] ボタンを押してください。
- 子機の着信データの一覧はプリントすることはできません。

〈着信データリスト プリント例〉

着信データ リスト			
2001年 4月 1日 12時24分			
日本電気			
NO.	着信日時	着信データ	相手先
1	1月 1日 12時23分	非通知	
2	1月 1日 12時21分	0890111123	
3	1月 1日 12時20分	公衆電話	

子機で電話をかけなおす



電池パックを抜いたり、電池がなくなったりすると、自動的にすべて消去されます。

着信データ 1

0322221111

0322221111

0'35

1 待機中 (P.15) に、電話をかけたい相手先を「▲」、
「▼」 ボタンを繰り返し押し表示させます。

2 [外線] ボタンを押します。

ワイワイトークで電話をかけたいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押します。

3 話をします。

4 用件が済んだら、[外線] ボタンを押す、または子機
を充電器に戻します。

▶ 着信データに記憶された電話番号を電話帳に登録するには (かんたん登録)

- ① 手順1の操作を行い、電話帳に登録したい電話番号を表示させ、[機能] ボタンを押します。
- ② 相手先名と読みカナを入力し、グループを選択します。
「電話帳に登録する」⇒ (P.56)
「文字の入力のしかた」⇒ (P.38)
- ③ [機能] ボタンを押すと、電話帳に登録され、登録した着信データ情報の表示に戻ります。



電話帳がすでに160件登録されているときは、「登録不可」と表示されます。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。⇒ (P.58)

▶ 着信データに記憶された電話番号を消去するには

この操作は、子機の着信データがすべて消去されます。1件ずつ消去することはできません。

- ① [機能] ボタンを押します。
- ② [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押し「電話帳消去」を表示させます。
- ③ [機能] ボタンを押します。
- ④ [▼]、[▲] ボタンを繰り返し押し「着信データ消去」を表示させます。
- ⑤ [機能] ボタンを押します。
- ⑥ 「消去しますか」と表示されたら、[機能] ボタンを押します。



消去を中止したいときは「消去しますか」と表示されたところで [▲]、[▼] ボタンを押し、「中止しますか」と表示させて [機能] ボタンを押してください。

ファックスを送るには

原稿をセットしました

画質：ふつう

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇒ (P.76)

現在の画質の設定 (P.74) が表示されます。

着信データ	1/2
受話器をとるかワイワイトークで通話できます	
相手先	着信日時
01.友達	1/18 15:30
02.0311112222	1/17 18:00

着信データ	2/2
受話器をとるかワイワイトークで通話できます	
相手先	着信日時
01.友達	1/18 15:30
02.0311112222	1/17 18:00

2 ファンクションボタン [着信データ] を押します。

3 ファクスを送りたい相手先をくるくるローラを回して選択します。

最大20件まで順に表示されます。

4 [スタート/コピー] ボタンを押します。

送信を開始します。送信が終わると、「ピーッ」という音がします。



原稿は、自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがあります。無理に引き抜かないでください。

電話に出たくない相手先には着信拒否のメッセージを流す (着信拒否)

電話に出たくない相手先を着信拒否に登録しておく、その方からかかってきたときに、ベルを鳴らさずに着信して、「申し訳ありませんが、お取りつぎできません。」というメッセージを流し、自動的に電話を切ることができます。

着信拒否リストは、10件まで登録することができます。電話番号を着信拒否に登録したあとは、着信拒否を「する」に設定してください。⇒ (P.149)

着信拒否の電話番号の登録

6.ナンバーディスプレイ

7.着信拒否リスト編集

着信拒否リスト編集	1/2
1. 0534448888	
2. 0312345678	
戻る	追加
	消去

着信拒否リスト編集	Lで確定
ダイヤルボタンで入力してください	
<input type="text"/>	

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して [6.ナンバーディスプレイ] を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 くるくるローラを回して [7.着信拒否リスト編集] を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

1件も登録されていないときは、「1.未登録」と表示されます。

6 ファンクションボタン [追加] を押します。

7 相手先の電話番号を市外局番から入力します。



■必ず市外局番から登録してください。また「*」「#」「- (ポーズ)」は入力しないでください。
■すでに着信拒否に10件登録されているときは、「着信拒否リストがいっぱいです」と表示されます。不要な電話番号を削除してください。



途中で登録をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

8 [L] ボタンを押します。



着信データに記憶された電話番号を着信拒否に登録することもできます。⇒ (P.146)

▶ 着信拒否に登録した電話番号を削除するときは

- ① 手順1～4の操作をします。
- ② 削除する電話番号をくるくるローラを回して選択します。
- ③ ファンクションボタン [消去] を押します。



途中で削除をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

着信拒否の設定

6.ナンバーディスプレイ

4.着信拒否

1.する
2.しない

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

2 くるくるローラを回して [6.ナンバーディスプレイ] を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

4 くるくるローラを回して [4.着信拒否] を選択します。

5 [L] ボタンを押します。

6 くるくるローラを回して「1.する」または「2.しない」を選択します。

7 [L] ボタンを押します。

電話帳に登録されている相手にだけ自作応答メッセージを流す (応答メッセージ選択)

留守セット中に電話がかかってきたとき、電話帳に登録してある相手にだけ自分の声で、登録していない相手には機械の声で応答メッセージを流すことができます。



◎相手に流す自作応答メッセージは、留守設定で選択したものと同一メッセージです。⇒ (P.104)

◎自作応答メッセージを録音していない、または留守設定の応答メッセージを固定応答メッセージにしている場合は、すべて固定応答メッセージになります。

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

6.ナンバーディスプレイ

2 くるくるローラを回して「6.ナンバーディスプレイ」を選択します。

5.応答メッセージ選択

1.する
2.しない

- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「5.応答メッセージ選択」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「1.する」または「2.しない」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。

■ かけてくる相手によって着信ベルを変える（着信鳴り分けとプライベートコール） ■

電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えたり（着信鳴り分け）、親機だけのベルまたは子機だけのベルを鳴らすことができます（プライベートコール）。ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「6.ナンバーディスプレイ」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「2.プライベートコール指定」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
電話帳に登録されている相手先の一覧が表示されます。

6.ナンバーディスプレイ

2.プライベートコール指定

電話帳一覧	📍で確定	1/2
鈴木	0311112222	
田中	0611112222	



- 電話帳に何も登録されていないときは、「電話番号が登録されていません」と表示されます。
- メールアドレスのみ登録してある相手先は表示されません。

- 6 くるくるローラを回して鳴り分けしたい相手先を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。
電話機の一覧が表示されます。
- 8 くるくるローラを回してベルを鳴らす電話機を選択します。
- 9 [L] ボタンを押します。
ベルの音色／メロディの一覧が表示されます。

1.全て
2.内線1（親機）
3.内線2（子機）
4.内線3（子機）

1.指定なし
2.ベル1
3.ベル2

10 くるくるローラを回してベルの音色／メロディを選択します。

11 [L] ボタンを押します。

電話帳の一覧に戻ります。

12 続けて別の相手先をプライベートコールに設定するときは、手順6～11を繰り返します。

13 設定を終了するときは、ファンクションボタン [戻る] を押します。

▶ 選択できるベルの音色／メロディの種類は

指定なし／ベル1／ベル2／ベル3／ベル4／ベル5／チャイム1／チャイム2／鉄琴／チャルメラ／SL／ひいらぎかざろう／メサイヤ「ハレルヤコーラス」／カルメン「前奏曲」／四季「春」第1楽章／禿山の一夜／自作（ダウンロード1）／自作（ダウンロード2）／自作（ダウンロード3）



電話帳に登録されている番号に「*」「#」「-（ポーズ）」が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常にはたらかません。電話帳に登録するときはご注意ください。

■ 電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す（番号リクエスト） ■

非通知の相手からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

・非通知の相手に流すメッセージ

「番号を通知しておかけなおしてください。また回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけなおしてください。」（固定）

1 ファンクションボタン [機能] を押します。

6.ナンバーディスプレイ

2 くるくるローラを回して「6.ナンバーディスプレイ」を選択します。

3 [L] ボタンを押します。

3.番号リクエスト

4 くるくるローラを回して「3.番号リクエスト」を選択します。

1.する
2.しない

5 [L] ボタンを押します。

6 くるくるローラを回して「1.する」または「2.しない」を選択します。

7 [L] ボタンを押します。



- 番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も非通知の相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
- 公衆電話や表示圏外からの電話は通常どおり着信します。

留守中にかけてきた相手を確認する（留守録着信データ）

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートで用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手であれば、応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても記憶されます。



留守録着信データには次のような制限があります。

- 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
- 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
- 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。電話帳に登録している相手の場合は相手の名前が、登録していない相手は電話番号が表示されます。

子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと時間と相手の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手が用件を録音していないと、用件のかわりに話中音が聞こえ、そのあと時間と相手の電話番号が聞こえます。
- 相手の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

お話し中に電話がかかってきたとき（キャッチホン・ディスプレイ）

電話で話をしているときに、別の方からかかってきた電話番号などをディスプレイで確認してから、電話に出ることができます。相手の方の名称が電話帳に登録されている場合は、登録されている名称がディスプレイに表示されます。キャッチホン・ディスプレイ（キャッチホン割り込み電話番号表示サービス）を利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。サービスを契約したあと、ナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定し（P.144）、キャッチホン・ディスプレイを「利用する」に設定する（P.153）ことで、このサービスを利用できます。お買い求めいただいたときは、ナンバー・ディスプレイは「利用する」、キャッチホン・ディスプレイは「利用しない」に設定されています。



キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。

- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承ください。
- 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（P.83）ははたらきません。手動受信の操作によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方のお話に戻ることができません。親機のファンクションボタン [キャッチ] または子機の [キャッチ] ボタンをもう一度押して先に通話していた方とお話してください。
なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話を終わらせることをお勧めします。

キャッチホン・ディスプレイの設定

6.ナンバーディスプレイ

6.キャッチホン

1.する
2.しない

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して [6.ナンバーディスプレイ] を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「6.キャッチホン」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「1.する」または「2.しない」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。

お話し中に電話がかかってきたときの表示例

通話中の相手の方との通話時間が表示されています。

(親機)

着信中
0311112222

(子機)

0311112222

「ブルルー・プップ」というキャッチホンの着信表示音が鳴り、通話中にかけてきた相手の方の電話番号が表示されます。

●電話帳に登録されている場合

(親機)

着信中
友達

(子機)

友達
0311112222

親機のファンクションボタン [キャッチ] または子機の [キャッチ] ボタンを押して電話に出ると、通話時間の表示に戻ります。



- キャッチホン着信時には、1秒程度通話が途切れます。また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なると、電話番号などが表示されないことがあります。
- 通話中の声により、通話が途切れる場合があります。
- 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信時、ワイワイトーク中、登録操作中、外線転送中、Lモード操作中などは、電話番号などがディスプレイに表示されません。
- 留守録音中にキャッチホンが入ったときは、「ピポッ・ビュッ」という音が録音されます。
- あとからかけてきた方の電話番号などは約30秒間表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイで表示された相手の方の電話番号も着信データとして記憶されます。
- キャッチホン着信時は、着信拒否は動作しません。
- 番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手もキャッチホン着信して「非通知」と表示されます。

キャッチホンサービスを利用する

キャッチホンサービスは、電話で話をしているときでも、別の方からかかってきた電話をとることができるサービスのことで、

また、キャッチホン・ディスプレイをご契約になると、お話し中にかかってきた別の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。⇒ (P.152)



- キャッチホンを利用するにはNTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
- 通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信 (P.83) ははたらきません。手動受信の操作によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話に戻ることができません。ファンクションボタン [キャッチ] (子機では [キャッチ] ボタン) をもう一度押して先に通話していた方とお話してください。
なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話を終わらせることをお勧めします。
- Lモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンが入っても、電話を受けることはできません。
- Lモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの着信音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

1 通話中にキャッチホンの着信音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、ファンクションボタン [キャッチ] を押します。

話をしているときに、別の人からの電話が入ると「プルルー・プップ」というキャッチホンの着信音が聞こえます。ファンクションボタン [キャッチ] を押すと、あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は、保留になります (親機からはメロディ音は流れません)。

▶ 子機で通話をしていたときは

[キャッチ] ボタンを押してください。

▶ もう一度はじめの人と話したいときは

もう一度ファンクションボタン [キャッチ] (子機では [キャッチ] ボタン) を押すと、はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人の電話は保留になります。



キャッチホンが入っていないときに [キャッチ] ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

2 両方の用件が済んだら、受話器を戻します。

▶ 子機で話をしていたときは

子機を充電器に戻すか、[外線] ボタンを押してください。

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

利用申し込み

ダイヤルインサービスを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
窓口：116（無料） 受付時間：9：00～17：00

契約の際、次の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

- ・電話番号（送出番号）は「下4桁」
下4桁を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ・ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認



- 本機ではダイヤルインサービスを利用すると、次のサービスは利用できません。
キャッチホン/転送電話/トーキー案内/トリオホン/電話会議/ボイスワープ
- いままで使っていた電話番号が変わることがあります。また一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくはNTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。
- ブランチ（並列）接続はできません。⇒（P.19）
- 電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は、電話もファクスも使えません。
- ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ナンバー・ディスプレイと同時に利用するとき

通常のダイヤルインサービスは、ナンバー・ディスプレイと同時にご利用になれません。ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」に設定してください。⇒（P.144）

ナンバー・ディスプレイと同時にご利用になるときは、モデムダイヤルインサービスを契約してください。またその場合はナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」（お買い求め時の設定）にしてください。⇒（P.144）



ダイヤルインサービスの設定よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコール（P.150）が優先されます。このため、電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い求め時の設定）にしてください。



ご使用になるターミナルアダプタの取扱説明書をよくお読みになり、ターミナルアダプタ側のダイヤルイン設定を正しく行ってください。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。さらに電話用の番号が複数ある場合は、各内線ごと（親機用／子機用）に設定することができます。

- ・電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス自動切替がはたります。自動切替にしたくないときは、着信モードを「電話専用」に設定してください。⇒（P.127）
- ・ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスの手動受信の操作をしてください。⇒（P.83）

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守をセットしているとき

電話用（親機用／子機用）の番号にかかってくると、留守電の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。

ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけです。用件の録音はできません。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

- ・Aさんの場合
電話用とファクス用の番号を分けたい
電話がかかってくたら、親機も子機も鳴らしたい
- ・Bさんの場合
親機と子機2台とで3つの電話番号を使い分けたい
ファクス専用の番号は必要ない

1) NTT東日本またはNTT西日本と契約します

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	×××-AAAA（電話用）	×××-CCCC（親機用）
ダイヤルイン追加番号	×××-BBBB（ファクス用）	1.×××-DDDD（付属子機用） 2.×××-EEEE（増設子機用）

2) ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行います

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	BBBB	登録なし
内線1	AAAA	CCCC
共通鳴動	○*	×
内線2	登録なし	DDDD
内線3	登録なし	EEEE

*親機に電話がかかってくるときに、子機のベルも鳴らします。

3) 次のような利用ができるようになります



- Aさんに電話するときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の電話番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。
- ベルが鳴らない親機や子機でも、鳴っているときと同じように電話に出ることができます。

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	×××-AAAA	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	×××-BBBB	ベルが鳴らずに自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	×××-CCCC	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	×××-DDDD	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bさんの増設子機に電話	×××-EEEE	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bさんにファクス	×××-CCCC	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

ダイヤルインの設定



ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行くと、電話が繋がらなくなる場合があります。

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「4.登録メニュー」を選択します。
- 3 [L] ボタンを押します。
- 4 くるくるローラを回して「4.ダイヤルイン」を選択します。
- 5 [L] ボタンを押します。
- 6 くるくるローラを回して「1.する」を選択します。
- 7 [L] ボタンを押します。
- 8 くるくるローラを回してファクス専用番号を設定するかどうかを選択します。
- 9 [L] ボタンを押します。
手順8で「2.しない」を選択した場合は、手順12に進みます。
- 10 ファクス専用番号を入力します。
ファクス用番号の下4桁を入力します。
- 11 [L] ボタンを押します。

4.登録メニュー

4.ダイヤルイン

1.する
2.しない

1.する
2.しない

ダイヤルボタンで入力してください

□

ダイヤルボタンで入力してください

□

(共通鳴動)

1.する
2.しない

(内線2番号)

ダイヤルボタンで入力してください
<input type="text"/>

12 内線1の電話機（親機）の電話番号を入力します。

親機用電話番号の下4桁を入力します。

13 [L] ボタンを押します。

14 くるくるローラを回して親機に電話がかかってきたとき子機も鳴らすかどうかを選択します（共通鳴動）。

15 [L] ボタンを押します。

16 内線2の電話機（1台目の子機）の電話番号を入力します。

子機用電話番号の下4桁を入力します。

17 [L] ボタンを押します。

子機が2台以上あるときは、子機の台数だけ手順16～17を繰り返します。

18 ファンクションボタン [戻る] を押します。

電話番号を変更したいとき

同じ手順で最初から登録しなおしてください。

ダイヤルインの利用を解除したいとき

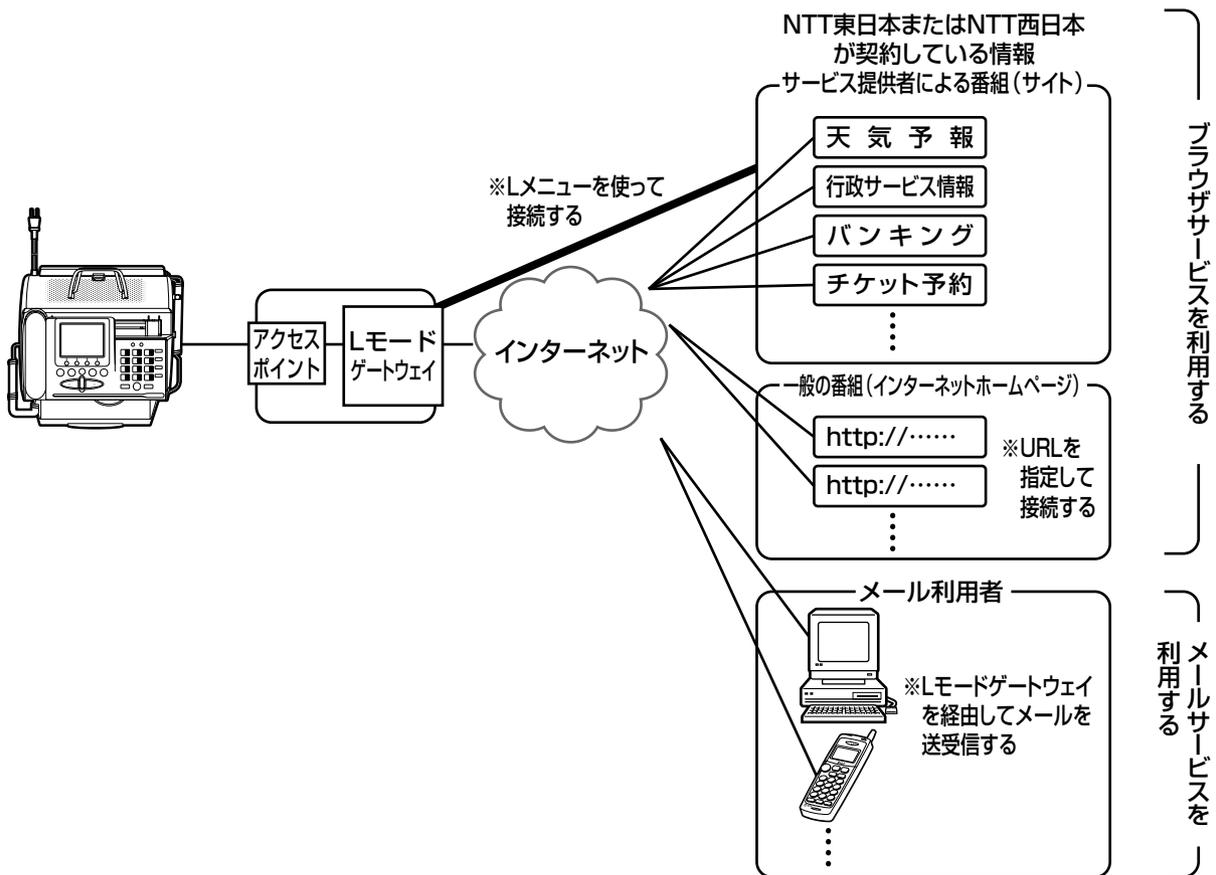
手順6で「2.しない」を選択し、[L] ボタンを押します。

Lモードをご利用になる前に必ずお読みください

Lモードとは、ブラウザ（情報閲覧）サービスの利用やメールのやりとりといったインターネットの活用が、電話機を使って手軽にお楽しみいただけるサービスです。Lモードサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との利用契約と同時に月額使用料が必要です。また、NTT東日本またはNTT西日本と契約したあと、Lモードサービスの利用を開始するための操作（P.162）を行う必要があります。

- Lモードサービスをご利用になるときは、発番号（お客様の電話番号）が通知されます。
- Lモードゲートウェイとの接続中（[L] ボタンとディスプレイの「」が点灯しているとき）は、通話料金がかかります。また、接続中は電話やファクシミリとしてご利用になることができません。
- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど、発信元の電話番号の他にダイヤルの先頭に「0」をつける必要がある通信機器に本機を接続した場合は、Lモードをご利用いただけません。
- Lモード画面表示中は、回線が接続されていなくても電話をかけることができません。Lモードの操作を終了し、待機画面に戻ってから電話をかけてください。
- Lモード画面表示中に電話を受けた場合は、他の電話機への転送や保留、ダイヤル送付は行えません。Lモードの操作を終了し、待機画面に戻ってから操作してください。

こんなことができます



ブラウザ（情報閲覧）サービスを利用する (⇒ 基本操作P.163~165、⇒ 応用操作P.173~185)

Lメニューの例

Lメニュー	
1	今日のおすすめ
2	メニューリスト
3	天気予報
4	タウンページ
5	お好みマガジン

[L] ボタンを押し、くるくるローラを回して「2Lメニュー」を選択したあと、もう一度 [L] ボタンを押しLモードゲートウェイへ接続します。Lメニューからお好きなメニューを選択することによってさまざまなサイト（情報サービス提供者が提供する番組）を利用することができます。Lモード対応ページ以外は、正しく表示されないことがあります。

メールサービスを利用する (⇒ 基本操作P.166~172、⇒ 応用操作P.186~200)

[メール] ボタンを押すと、Lメールメニュー (P.166) が表示されます。Lモードゲートウェイへ接続し、メールの送受信をすることができます。Lモード対応の電話機どうしはもちろんのこと、インターネットを経由してパソコンや携帯電話とEメール (電子メール) のやりとりができます。

Lモードゲートウェイに新着メールが蓄積されると、メッセージがあることをディスプレイに表示すると同時に [メール] ボタンが点灯します。

Lモードゲートウェイでのメールの保存期間は14日間、保存件数は最大200件です。

Lメールメニューからは、次のような操作が行えます。

	操 作	参照ページ
1受信メール一覧	受信メールを読みなおす	P.172
	特定の受信メールを保護/解除する	P.194
	受信メールを返信する	P.195
	受信メールを他の宛先に転送する	P.196
	送信者のアドレスを電話帳に登録する	P.197
	特定の受信メールを削除する	P.198
	受信メールをまとめて削除する	P.198
	受信メールを印刷する	P.199
2送信済メール一覧	送信済みのメールを読みなおす	P.191
	送信済みのメールを編集して送る	P.191
	特定の送信済メールを削除する	P.192
	送信済メールをまとめて削除する	P.193
	送信済メールを印刷する	P.193
3未送信メール一覧	保存していた未送信メールを送る	P.186
	未送信メールをまとめて送る	P.188
	未送信メールを編集して送る	P.188
	特定の未送信メールを削除する	P.189
	未送信メールをまとめて削除する	P.190
	未送信メールを印刷する	P.190
4新規メール作成	新規メールを作成して送る	P.166
	作成したメールを保存する	P.169
5受信メール読出	Lモードゲートウェイに保管されているお客様宛のメールを読み出す	P.170
6定型文編集	文字入力に便利な独自の定型文を編集する	P.200

スピークスあっとらんど for Lモード のご案内

「スピークスあっとらんど」は、スピークス@ (アットマーク) をご購入いただいたお客様をサポートするLモードのサイトです。

〈サイトへのアクセス方法〉

[L] ボタンを押したあとのLトップメニューの中に「スピークスあっとらんど」がありますので、くるくるローラで選択し、[L] ボタンを押してください。

また、URL指定によるアクセスもできます。

<http://speax.biglobe.ne.jp/lmode/>

- 1Lメール
- 2Lメニュー
- 3マイメニュー
- 4インターネット
- 5画面メモ
- 6Bookmark
- 7スピークスあっとらんど
- 8Nメロディタウン
- 9BIGLOBE for L

〈コンテンツのご案内〉

右のコンテンツサービスを予定します。

また、今後随時新しいコンテンツも用意する予定ですので時々アクセスしてみてください。

注：・Lトップメニュー、コンテンツ等の内容は、予告なしに変更される場合があります。

・接続中は通話料金がかかります。

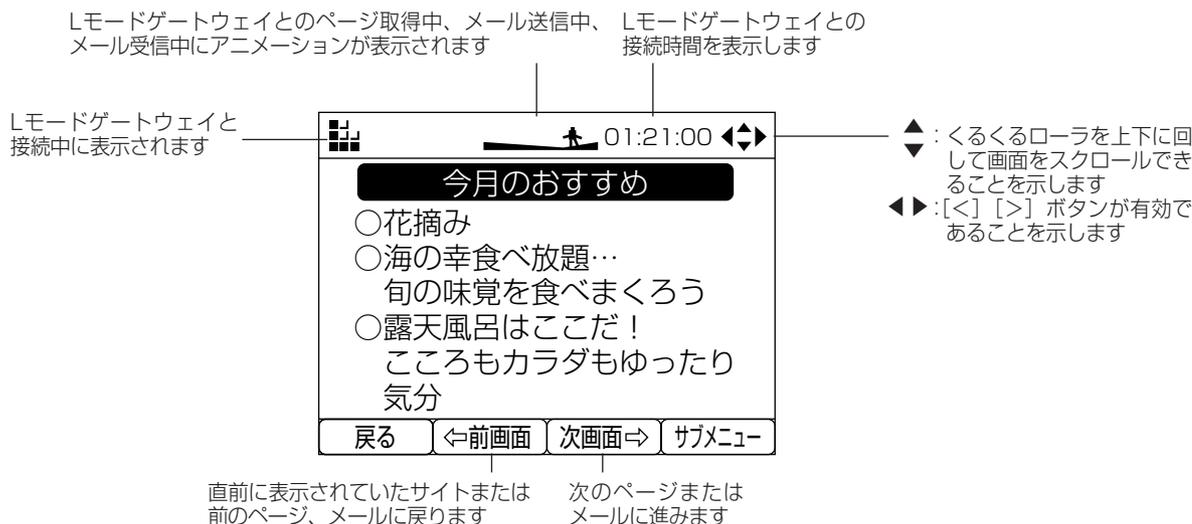
スピークスあっとらんど MENU

- ・最新情報
- ・困ったときのQ&A
- ・修理受付
- ・消耗品販売

おぼえておいてください

サイトやインターネットホームページを見るときにも、メールの送受信をするときにも共通のLモードサービス全般の基礎知識です。

〈Lモード中のディスプレイ表示〉



Lモードの操作をしているのに「」が表示されないことがあるが？

Lモードの操作には、Lモードゲートウェイと接続して行う操作と、接続しないで行う操作があります。ディスプレイの「」は、Lモードゲートウェイとの接続中にのみ表示されます。またLモードゲートウェイとの接続中は、[L] ボタンが点灯します。

Lモードゲートウェイに接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

回線の状態によっては、まれにLモードゲートウェイを接続できない場合があります。

Lモードの操作中は通話料金がかかる？

Lモードゲートウェイと接続している間（[L] ボタンとディスプレイの「」点灯中）のみ、通話料金がかかります。

パソコンとメールのやりとりはできる？

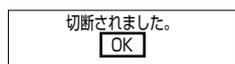
Lメールアドレスを使ってLモード対応の電話機だけでなく、パソコンや携帯電話とメールのやりとりができます。

ブラウザまたはメール使用中に電話がかかってきたりファクスが送られてきたときは？

[L] ボタンが点灯し、ディスプレイに「」が表示されているときは「お話し中」となり、電話やファクスとしては使えません。[L] ボタンが消灯し、「」が消えているときには電話が受けられます。

ファクスを受けたいときは、[ストップ] ボタンを押してブラウザ、またはメールを終了してください。

何もしていないのに「切断されました。」と表示されたら？



「切断されました。」と表示されたら、回線が切断され [L] ボタンと「」が消えますので、[L] ボタンを押してください。この場合でも、画面が表示された状態は保たれます。操作中接続が必要になったときは、もう一度接続が行われます。

Lモードゲートウェイと接続中、一定の時間画面操作を何もしないでいると自動的に接続が切断されるのは、切断のし忘れを防止する「無通信監視タイマ」機能のはたらきです。切断までの時間を変更したり、自動的に切断されないように設定することもできます。 [無通信監視タイマ] ⇨ (P.202)

Lモードゲートウェイに接続しているときに、キャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。

回線の状態によっては、まれにLモードゲートウェイとの接続が中断することがあります。その場合は、もう一度接続の操作から始めてください。

Lモードゲートウェイとの接続を切断したいときは？

[L] ボタンと「

Lモードの操作をやめるときは？

[ストップ] ボタンを押す、またはファンクションボタン [戻る] を押して「ブラウザを終了しますか」と表示されたら「はい」を選択すると、Lモードの画面から待機画面に戻ります。[L] ボタンと「

画面に正しく表示されないことがある？

Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されない場合があります。GIF形式以外の画像は表示されず、画像の位置に☒マークが表示されます。またGIF形式で表示できない場合があります。

「保存中」完了前に電源を切ると？

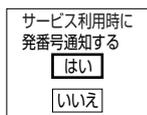
メール、Bookmark、画面メモの新規登録／変更や、データをダウンロードしてから万一電源を切るときには、画面の「保存中」の表示が消え、待機画面に戻ってから電源を切ってください。そうしないと、これらのデータは保存されていません。

Lモードが使えるように設定する

本機をお買い求めになり、Lモードサービスを契約された場合には、次の操作を行ってください。この設定を行わないと、Lモードサービスはご利用になれません。Lモードサービスをはじめてご使用になる場合、[L] ボタンを押すと自動的にLモードゲートウェイアクセス番号を取得するための設定を行います。



- 電源コードを抜いたり停電があった場合には、この操作で行った設定が消去されてしまいます。再度以下の操作を行ってください。
- 「接続中です。」または「設定中」と表示されている間は、電話やファクスとしてご利用になることができません。
- Lモードゲートウェイ接続中は、通信料金がかかります。



1 [L] ボタンを押します。



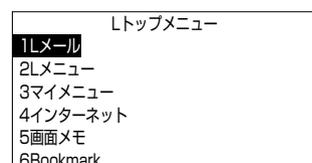
2 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

「接続中です。」、「設定中」の画面が表示され、自動的に設定が完了します。



3 「設定完了」と表示されたら、[L] ボタンを押します。

Lトップメニューが表示されます。



4 Lモードを終了するときには、[ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

Lモードゲートウェイと接続して各種サービスを利用する

Lモードゲートウェイと接続し、情報サービス提供者が提供するサイトを使った各種サービスを利用することができます。画面を見ながら、銀行の残高照会やチケット予約などが行えます。また、よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、そのサイトへの接続がさらに簡単になります。



- GIF形式以外の画像は表示されず、画像の位置に凶マークが表示されます。またGIF形式でも表示できない場合があります。
- サイトによっては、ご利用の前に別途申し込みが必要な場合があります。
- Lモードゲートウェイと接続中は、電話やファクシミリとして使用できません。
- Lモードゲートウェイと接続中は、通信料金がかかります。
- Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されないことがあります。

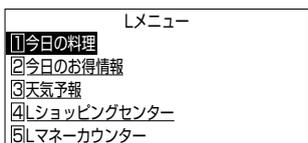
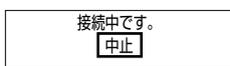
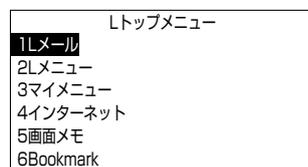


サイトを表示するときに、画像データを表示するかどうかの設定が変更されます。

「画像表示設定」⇒

サイトに接続する

Lモードゲートウェイからサイトに接続する基本的な操作方法です。画面上の操作についての詳細は、「画面上での基本操作」(P.164)を参照してください。



1 [L] ボタンを押します。

Lトップメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「2Lメニュー」を選択し、[L] ボタンを押します。

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、[L] ボタンが点灯します。接続が完了すると、「■」とLメニューが表示されます。



「接続中です。」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、Lモードゲートウェイへの接続を中止します。

3 くるくるローラを回してコンテンツを選択し、[L] ボタンを押します。

4 手順2の操作を繰り返して、目的のサイトに接続します。

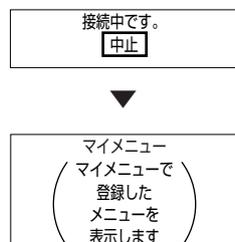
5 Lモードゲートウェイとの回線を切断するときは、[再生] ボタンを押します。

[L] ボタンと「■」が消えます。

6 Lモードを終了するときは、[ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

マイメニューに登録したサイトに接続する

あらかじめマイメニューに登録が必要です。⇒ (P.165)



1 [マイメニュー] ボタンを押します。

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、[L] ボタンと「」が点灯します。接続が完了するとマイメニューに登録したメニューが表示されます。



「接続中です。」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、Lモードゲートウェイへの接続を中止します。

2 くるくるローラを回してコンテンツを選択し、[L] ボタンを押します。

3 手順2の操作を繰り返して、目的のサイトに接続します。

4 Lモードゲートウェイとの回線を切断するときは、[再生] ボタンを押します。

[L] ボタンと「」が消灯します。

5 Lモードの利用を終了するときは、[ストップ] ボタンを押します。

画面上での基本操作

● 画面をスクロールする

画面が1画面に表示しきれないときは、くるくるローラを下に回して画面をスクロールさせます。上方向に戻るときはくるくるローラを上に戻します。

● リンク先に接続する

下線がついている項目をくるくるローラを回して選択し、[L] ボタンを押すと、別のサイト（リンク先）に接続できます。

● 前のサイト／ページへ戻る

ファンクションボタン [◀前画面] を押すと、直前に表示されていたサイト／ページに戻ります。

● 先のサイト／ページへ進む

ファンクションボタン [次画面⇒] を押すと、先に表示されていたサイト／ページに進みます。

● サブメニューを使う

サイトを表示しているときに、ファンクションボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。

くるくるローラを回して項目を選択し、[L] ボタンを押すか、項目番号（1～6）を入力すると、次の操作に進めます。

1Bookmark登録
2再読込
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷

	操 作	参照ページ
1Bookmark登録	表示中のサイトをBookmarkに登録する	P.175
2再読込	表示中のサイトを、新しい情報に更新する	P.180
3URL参照	表示中のサイトのURLを確認する	P.174
4Bookmark	Bookmarkに登録してあるサイトに接続する	P.175
5画面メモ登録	表示中のサイトを画面メモに登録する	P.178
6印刷	表示中のサイトを印刷する	P.184

メールを作成して送信する

メールを送る最も基本的な方法は、新規メールを作成してすぐに送信する方法です。送信したメールは送信済メール一覧に保存（送信済、未送信合わせて最大10件まで）され、読みなおすこともできます。またメールを送るには、以下のような方法もあります。

- ・作成したメールを保存しておき、あとで送信する⇒（P.169、186、188）
- ・未送信メールを編集して送る⇒（P.188）
- ・送信済みのメールを編集して送る⇒（P.191）
- ・受信したメールに対する返事を書いて送信する⇒（P.195）
- ・受信したメールを他の宛先に転送する⇒（P.196）



- ◎保存しておきたいメールは、送信済メール一覧から削除できます。⇒（P.192）
- ◎本文は全角500文字、半角1000文字まで送信できます。



Lメールでは、添付ファイルの送信はできません。

新規メールを作成して送信する

メールを送る最も基本的な方法として、宛先、題名、本文を入力した新規メールを作成し、すぐに送信する手順を説明します。宛先は、電話帳を使って入力することもできます。⇒（P.168）また、定型文を使って文字を入力することもできます。⇒（P.168）



- 半角カタカナ、絵文字は相手側に表示されない場合があります。
- 未送信メールと送信済メールが合わせて10件保存されていると、新規メールが作成できません。不要なメールを削除してください。
- メール作成中に停電が発生したメールは保存されません。



電話帳にメールアドレスが登録されている宛先に新規メールを送信する場合、「電話帳」ボタンを押して宛先を選択し、ファンクションボタン「メール送信」を押すと自動的に宛先が入力されます。続けて手順6へ進んでください。

1受信メール一覧

2送信済メール一覧

3未送信メール一覧

4新規メール作成

5受信メール読出

6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「4新規メール作成」を選択し、[L] ボタンを押します。

「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

3 [L] ボタンを押します。

文字入力画面が表示されます。

4 宛先（最大半角50文字）を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒（P.36）

「電話帳を使って宛先を入力するには」⇒（P.168）

宛先
題名
本文

文字入力	入力モード：英字
確定文字	入力文字数（半角換算） 22/50
tuki@abodef.ghijk.lmno	
変換前文字	候補数0/0

宛先
tuki@abcdefg.hijk.lmno
題名
本文

5 [L] ボタンを押します。

6 くるくるローラを回して「題名」テキストボックスを選択し、[L] ボタンを押します。

文字入力画面が表示されます。

文字入力 ⑤入力モード：漢かな
確定文字 入力文字数 (半角換算) 18/60
おいしいお店発見！
変換前文字 候補数0/0

7 題名 (最大全角30文字／半角60文字) を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

8 [L] ボタンを押します。

宛先
tuki@abcdefg.hijk.lmno
題名
おいしいお店発見！
本文

9 くるくるローラを回して「本文」テキストボックスを選択し、[L] ボタンを押します。

本文入力画面が表示されます。

文字入力 ⑤入力モード：漢かな
確定文字 入力文字数 (半角換算) 30/1000
この間話したお店を
教えるね。_
変換前文字 候補数0/0

10 本文 (最大全角500文字／半角1000文字) を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

▶改行したいときは

改行したい位置にカーソルを移動して、くるくるローラを下に回すか、ファンクションボタン [サブメニュー] を押して、くるくるローラを回して「2.改行挿入」を選択し、[L] ボタンを押してください。

宛先
tuki@abcdefg.hijk.lmno
題名
おいしいお店発見！
本文
この間話したお店を
教えるね。
戻る サブメニュー

11 [L] ボタンを押します。

メール作成フォームに戻ります。

1送信
2保存

12 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

接続中です。
中止

13 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、[L] ボタンと「」が点灯します。接続が完了するとメールが送信されます。

メール送信中
中断

「接続中です。」または「メール送信中」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、送信が中止されます。送信が中断されたメールは、未送信メール一覧に保存されます。

送信完了
切断しますか？
はい
いいえ

14 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

回線が切断されます。
そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

▶ 自分宛にメールを送ってみましょう

メールが送れるかどうかを試すために、自分宛にメールを送ってみましょう。

「新規メールを作成して送信する」の手順で新規メールを作成します。宛先には、お客様のLモードのアドレスを入力してください。

送信が終了したら、「メールを受信して読む」(P.170)の操作を行ってみましょう。

1.電話帳呼出
2.定型文挿入
3.絵文字挿入
4.記号挿入

電話帳		
Lボタンを押すと選択できます		
名前	電話番号	メール
友達	031112222	<input checked="" type="checkbox"/>

電話帳を使って宛先を入力するには

1 「新規メールを作成して送信する」の手順3 (P.166)のあとで、ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

2 「1.電話帳呼出」を選択し、[L] ボタンを押します。

電話帳の一覧が表示されます。メールアドレスが登録されている宛先には「」が表示されます。

3 くるくるローラを回して目的の宛先を選択し、[L] ボタンを押します。

定型文を使って文字を入力するには

あらかじめ登録されている定型文を利用し、文字を入力することもできます。



定型文挿入時、入力文字制限数を超えた場合は、入力可能文字数のみが入力されます。



あらかじめ登録されている定型文は、独自の定型文に変更できます。⇒ (P.200)

1.定型文挿入
2.改行挿入
3.絵文字挿入
4.記号挿入

文字入力
連絡ください
遅れます
ありがとう
電話ください
中止です
時間です
OKです

1 宛先、題名、本文などの入力画面で、ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

サブメニューの項目は、入力する項目によって異なります。

2 くるくるローラを回して「定型文挿入」を選択し、[L] ボタンを押します。

定型文一覧が表示されます。

3 くるくるローラを回して目的の定型文を選択し、[L] ボタンを押します。

選択した定型文が文字入力画面のカーソルの位置に挿入されます。

作成したメールを保存する

メールを作成したあと、すぐに送信しないで保存しておくことができます。保存しておいたメールは、未送信メール一覧から送信します。⇒ (P.186、188)

1送信
2保存

未送信メール一覧
おいしいお店発見!
お待ちしています
お久しぶりです

- 1 「新規メールを作成して送信する」の手順1～11の操作 (P.166) を行います。
- 2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。
- 3 くるくるローラを回して「2保存」を選択し、[L] ボタンを押します。
作成したメールが未送信メール一覧に保存されます。
- 4 Lモードの利用を終了するときは、[ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

メールを受信する

お客様宛のメールは、Lモードゲートウェイに保管されています。新しいメールをお預りしたことをお知らせする「メッセージ2」という文字がディスプレイに表示され（P.141）、[メール] ボタンが点灯したら、メール受信の操作を行ってください。受信したメールは受信メール一覧に保存され、すぐに読むことができます。

また、受信メールは受信メール一覧に最大30件まで保存され、すでに30件保存されている場合には、保護されていない古い既読メールが削除されます。

受信メールを利用して、以下のような操作が行えます。

- ・自動的に削除されないように保護する⇒（P.194）
- ・受信したメールに対する返事を書いて送信する⇒（P.195）
- ・受信したメールを他の宛先に転送する⇒（P.196）
- ・メールの送信元のアドレスを電話帳に登録する⇒（P.197）

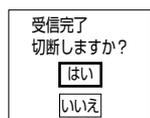
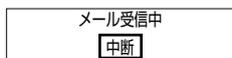
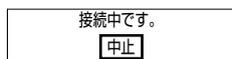


- お客様に読み出しされたメールは、Lモードゲートウェイ内から削除され、再度読み出しを行うことはできません。
- お客様宛のメールをLモードゲートウェイで保管されている期間は14日間です。また、お預かりできるメールは、最大200件です。
- Lモードゲートウェイとの接続中（[L] ボタンとディスプレイの「」が点灯しているとき）は、電話やファクシミリとしてご利用になることができません。
- 宛先は半角50文字、題名は全角30文字／半角60文字、本文は全角500文字／半角1000文字まで送受信できます。超過分は削除されます。
- Lモードメールでは、添付ファイルの送受信はできません。
- Lモードゲートウェイとの接続が必要なのは、読み出しを行うときだけです。受信したメールを読んだり、受信メール一覧に保存されているメールを読むときは、Lモードゲートウェイと接続している必要はありません。

メールを受信して読む

新しく受信したメールを読む最も基本的な方法として、Lモードゲートウェイへの読み出しを行い、メール受信後すぐに内容を読む手順を説明します。内容画面についての詳細は、「画面の見かた」（P.171）を参照してください。また、すでに受信済みのメールを読む操作については、「メールを読みなおす」（P.172）を参照してください。

- 1 受信メール一覧
- 2 送信済メール一覧
- 3 未送信メール一覧
- 4 新規メール作成
- 5 受信メール読出
- 6 定型文編集



1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「5受信メール読出」を選択し、[L] ボタンを押します。

Lモードゲートウェイとの接続が開始され、[L] ボタンと「」が点灯します。接続が完了するとメールを受信します。



「接続中です。」または「メール受信中」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、メール受信が中止されます。

▶ 新しい受信メールがないときは

「受信メールがありません」と表示されます。[L] ボタンを押すと受信メール一覧が表示されます。Lモードを終了するときには [ストップ] ボタンを押します。

▶ 「メール限界」と表示されたときは

受信メール一覧がすでにいっぱいです。保護メールと未読メールが合わせて30件あると、新しいメールを受信できません。保護メールの保護を解除したり (P.194)、不要なメールの削除を行ってください (P.198)。

3 「受信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

回線が切断され、[L] ボタンと「■」が消灯して受信メール一覧が表示されます。最新の受信メールが選択されています。
そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。



まだ読んでいないメールのタイトルには「✉」、保護されているメールには「🔒」がついています。

4 [L] ボタンを押します。

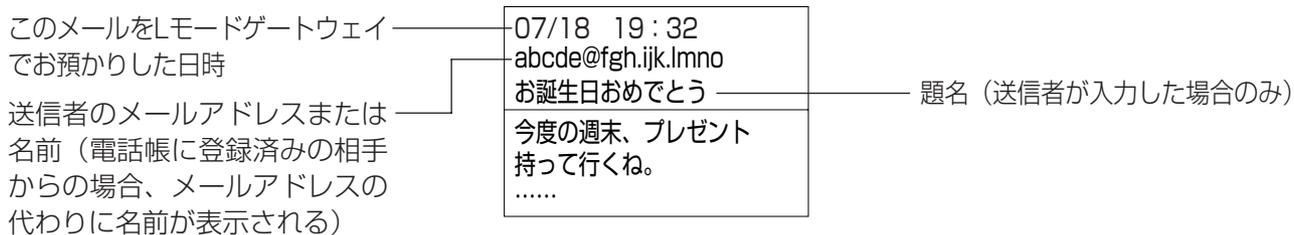
受信メールの内容が表示されます。
次のメールまたは前のメールを読むときは、ファンクションボタン [◀ 前画面]、[次画面 ▶] を押します。

5 内容の確認が終わったら、ファンクションボタン [戻る] を押します。

受信メール一覧に戻ります。他の受信メールを読むときは、くるくるローラを回して目的の受信メールを選択し、手順4~5を繰り返します。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

画面の見かた



● 画面をスクロールする

メールの内容が1画面に表示しきれないときは、くるくるローラを回して上下方向に画面をスクロールします。

● 受信メール一覧画面に戻る

ファンクションボタン [戻る] を押すと、受信メール一覧の画面に戻ります。

● サブメニューを使う

メール内容の表示中にファンクションボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。

くるくるローラを回して項目を選択し [L] ボタンを押すか、項目番号 (1~6) を入力すると、次の操作に進めます。

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷

	操 作	参照ページ
1保護/解除	削除してはいけないメールとして保護する	P.194
2削除	表示中のメールを削除する	P.198
3返信	返事のメールを送る	P.195
4転送	表示中のメールを別の相手に転送する、メールを作成する	P.196
5電話帳登録	表示中のメールの送信元を、電話帳に登録する	P.197
6印刷	受信メールの内容を印刷する	P.199

● 電話番号やメールアドレスを選択する

6 / 2 3 にバーベキューパーティを開催します。
問い合わせ先は
tel : 0312345678
です。
ふるってご参加ください。

PHONE TO機能、MAIL TO機能を使用して、簡単に電話をかけたりメールを送信したりすることができます。目的の内容を選択するには、くるくるローラを回します。「表示されている情報を使って親機を操作する」⇒ (P.181)

メールを読みなおす

受信メール一覧から読みたいメールを選択し、内容を見ます。Lモードゲートウェイへは接続しません。画面についての詳細は、「画面の見かた」(P.171)を参照してください。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

受信メール一覧
パーティ開催のお知らせ
遅れます
了解!

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。最新の受信メールが選択されています。

3 くるくるローラを回して読みたいメールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。

4 「メールを受信して読む」の手順5~6の操作 (P.171)を行います。

インターネットホームページを見る (URL入力)

見たいホームページのアドレス (URL) を指定してインターネットに接続し、ホームページを見ることができます。また、簡単な操作で表示中のページのURLを確認することができます。

「画面上での基本操作」⇒ (P.164)



- データ量の大きいホームページに接続すると、すべての内容が表示できない場合があります。
- GIF形式以外の画像は表示されず、画像の位置に☒マークが表示されます。またGIF形式でも表示できない場合があります。
- Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されないことがあります。

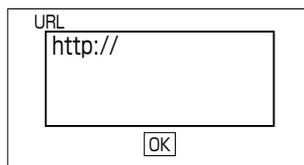


- ◎気に入ったホームページをBookmarkに登録しておくと、いつでも簡単にそのホームページに接続することができます。⇒ (P.175)
- ◎気に入ったホームページを画面メモに保存しておくと、Lモードゲートウェイに接続しなくてもそのホームページを繰り返し見ることができます。⇒ (P.178)
- ◎再読みを行うと、ページが更新され、最新の情報を見ることができます。⇒ (P.180)

URLを入力してホームページを見る



- 1 [L] ボタンを押します。**
Lトップメニューが表示されます。

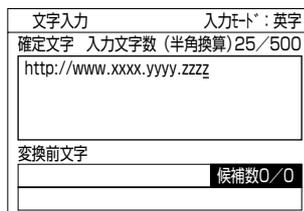


- 2 くるくるローラを回して「4インターネット」を選択し、[L] ボタンを押します。**

URLフォームが表示されます。

- 3 [L] ボタンを押します。**

URL入力画面が表示されます。

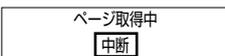


- 4 URL (半角で最大500文字) を入力します。**

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

- 5 [L] ボタンを押します。**

URLフォームに戻ります。

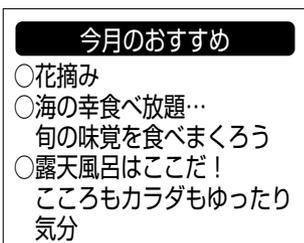


- 6 くるくるローラを回して「OK」を選択し、[L] ボタンを押します。**

接続が完了すると、目的のインターネットホームページが表示されます。



「ページ取得中」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、そのページへの接続を中断することができます。中断したときは、直前に表示していたページに戻ります。



- 7 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。**

回線を切断して引き続きLモードの操作を続ける場合は、[再生] ボタンを押します。

表示中のページのURLを確認する

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷



1 ページを表示中にファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

2 くるくるローラを回して「3URL参照」を選択し、[L] ボタンを押します。

URLが表示されます。



全桁表示されていないときは、[L] ボタンを押してからくるくるローラを回すと確認できます。URL表示画面に戻るときは、再度 [L] ボタンを押します。

3 ページの表示に戻るときは、くるくるローラを回して「OK」を選択し、[L] ボタンを押します。

お気に入りのサイト/ホームページを登録する (Bookmark)

Bookmarkとは、本に挟むしおりのようなものです。お気に入りのサイトやホームページをBookmark (最大10件) に登録しておけば、そのサイト/ホームページへの接続や、他のサイト/ホームページからの移動などが簡単に行えます。それぞれのBookmarkにわかりやすいタイトルをつけたり、不要になったBookmarkを削除することもできます。



サイトやホームページによってはBookmarkに登録できない場合があります。

■ お気に入りのサイト/ホームページをBookmarkに登録する ■

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷

- 1 登録したいサイト/ホームページを表示させます。
- 2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。
- 3 「1Bookmark登録」を選択し、[L] ボタンを押します。



- ◎登録されたサイト/ホームページは、Bookmark一覧にはタイトルまたはURLで表示されます。
- ◎URLは先頭の500文字まで登録されます。
- ◎すでに10件分登録されている場合は「これ以上登録できません」と表示されます。不要なBookmarkを削除してください。

■ Bookmarkを使ってサイト/ホームページを見る ■

Lトップメニュー	
1Lメール	
2Lメニュー	
3マイメニュー	
4インターネット	
5画面メモ	
6Bookmark	

Bookmark	
1お天気	
2料理	
3交通	
4旅行	
5エンターテイメント	

- 1 [L] ボタンを押します。
Lトップメニューが表示されます。
- 2 くるくるローラを回して「6Bookmark」を選択し、[L] ボタンを押します。
Bookmarkの一覧が表示されます。
- 3 くるくるローラを回して表示させたいサイト/ホームページを選択し、[L] ボタンを押します。
目的のサイト/ホームページが表示されます。

別のサイト/ホームページを表示中にBookmarkを使うときは

1Bookmark登録
2再読み込み
3URL参照
4Bookmark
5画面メモ登録
6印刷

- 1 サイト/ホームページ表示中にファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

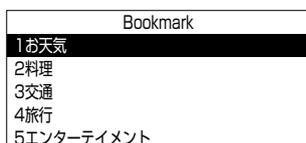
- くるくるローラを回して「4Bookmark」を選択し、[L] ボタンを押します。

Bookmarkの一覧が表示されます。

- くるくるローラを回して表示させたいサイト／ホームページを選択し、[L] ボタンを押します。

目的のサイト／ホームページが表示されます。

不要になったBookmarkを削除する



- 「Bookmarkを使ってサイト／ホームページを見る」の手順1～2の操作 (P.175) を行います。

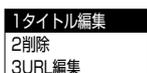
Bookmarkの一覧が表示されます。

- くるくるローラを回して削除したいBookmarkを選択します。

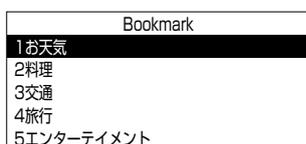
- ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

- くるくるローラを回して「2削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

Bookmarkが削除され、Bookmarkの一覧に戻ります。



Bookmarkにタイトルをつける



- 「Bookmarkを使ってサイト／ホームページを見る」の手順1～2の操作 (P.175) を行います。

Bookmarkの一覧が表示されます。

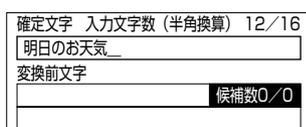
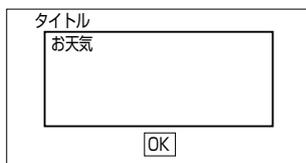
- くるくるローラを回してタイトルを編集したいサイト／ホームページを選択します。

- ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

- 「1タイトル編集」を選択し、[L] ボタンを押します。

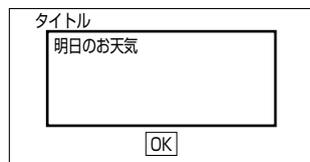
- [L] ボタンを押します。

タイトル編集画面が表示されます。



- タイトル (全角で最大8文字、半角で最大16文字) を編集します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)



7 [L] ボタンを押します。



8 くるくるローラを回して「OK」を選択し、[L] ボタンを押します。

Bookmarkの一覧に戻ります。

表示中のページの内容を保存しておく（画面メモ）

表示中のサイトのページ／ホームページを画面メモ（最大3件）に登録し、そのまま画面データとして保存しておくことができます。画面メモは親機に保存されるので、Lモードゲートウェイに接続しなくても、いつでも繰り返し見ることができます。また、気に入った画面メモの画像を待機中の画面としていつもディスプレイに表示させておくことができます。

気に入ったページを画面メモに登録する

今月のおすすめ

- 花摘み
- 海の幸食べ放題…
旬の味覚を食べまろう
- 露天風呂はここだ！
こころもカラダもゆったり気分

1Bookmark登録

- 2再読み込み
- 3URL参照
- 4Bookmark
- 5画面メモ登録
- 6印刷

1 登録したいページを表示させます。

2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

3 くるくるローラを回して「5画面メモ登録」を選択し、[L] ボタンを押します。

画面メモに登録され、手順1の画面に戻ります。



すでに3件分登録されている場合は「満杯です」と表示されます。不要な画面メモを削除してからもう一度登録してください。

保存した画面メモを見る

Lトップメニュー

- 1Lメール
- 2Lメニュー
- 3マイメニュー
- 4インターネット
- 5画面メモ
- 6Bookmark

今月のおすすめ

- 花摘み
- 海の幸食べ放題…
旬の味覚を食べまろう
- 露天風呂はここだ！
こころもカラダもゆったり気分

1 [L] ボタンを押します。

Lトップメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「5画面メモ」を選択し、[L] ボタンを押します。

画面メモが表示されます。

3 画面を切り替えるときは、ファンクションボタン [← 前画面]、[次画面 →] を押します。

不要になった画面メモを削除する

1 「保存した画面メモを見る」の手順1～2の操作 (P.178) を行います。

画面メモが表示されます。

2 ファンクションボタン [◀ 前画面]、[次画面 ▶] を押して削除したい画面メモを表示させます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

4 「1削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

表示させていた画面メモが削除されます。



画面メモが残っているときは保存されている画面が表示されます。「画面メモなし」と表示されたときは、[L] ボタンを押すとLトップメニューに戻ります。

1削除
2待機画面登録

画面メモを待機画面に表示させる



■この登録を行うと、背景画面の設定 (P.136) に関わらず、待機画面にはここで登録した画面メモが表示されます。

■画像によっては、待機画面に表示できない場合があり、「画像データがありません」と表示されます。

1 「保存した画面メモを見る」の手順1～2の操作 (P.178) を行います。

画面メモが表示されます。

2 ファンクションボタン [◀ 前画面]、[次画面 ▶] を押して待機画面に表示させたい画面メモを表示させます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

4 くるくるローラを回して「2待機画面登録」を選択し、[L] ボタンを押します。

5 [L] ボタンを押します。

登録が完了すると、画面メモに戻ります。

1削除
2待機画面登録

ページを更新して最新の情報を見る（再読込）

ページを表示中に再読込を行うと、ページが更新され、最新の情報が表示されます。たびたび情報が更新されるニュース速報などを見るときに便利です。

1Bookmark登録

2再読込

3URL参照

4Bookmark

5画面メモ登録

6印刷

1 サイト／ホームページを表示中に、ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

2 くるくるローラを回して「2再読込」を選択し、[L] ボタンを押します。

再読込が行われます。



Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されないことがあります。

表示されている情報を使って親機を操作する

(PHONE TO機能、MAIL TO機能、WEB TO機能、FAX TO機能)

ページやメールの中に表示されている電話番号やメールアドレス、URLなどを利用して、簡単に電話をかけたり、メール送信、インターネット接続などが行えます。また、ページに表示されたファクス番号を利用して、ファクスデータを受信することができます。



Lモードゲートウェイやインターネットとの接続中（[L] ボタンとディスプレイの「」が点灯しているとき）は、電話やファクスとしてご利用になることができません。

■ 表示されている電話番号に電話をかける（PHONE TO機能） ■

ページやメールに表示された電話番号へ電話をかけることができます。



- 「tel:」から始まる電話番号がある場合、反転表示されます。
- ページやメールによっては電話番号が反転表示されない場合があります。この場合は、以下の操作で電話をかけることはできません。
- 発信後の通話には、通話料金がかかります。

イタリア料理
「ミラノ」
春のスペシャルメニュー
ランチ：2000円～
ディナー：6000円～
お問い合わせ：
tel: 0312345678

0312345678
に発信します。

ダイヤル中
0312345678

1 サイトまたはメールを表示中に、くるくるローラを回して電話番号を反転表示させます。

2 [L] ボタンを押します。

電話番号の確認画面が表示されます。



電話番号は必ず確認してください。

3 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

相手先を呼び出します。
通話を終了すると、待機画面に戻ります。



- Lモードゲートウェイに接続された状態でサイトやメールを表示させていた場合は、相手先にダイヤルする前に、自動的にLモードゲートウェイとの接続を切断します。
- 「ダイヤル待ち」表示中に外線着信あるいはドアホン着信があると、PHONE TO機能は取り消されますので、外線通話あるいはドアホン通話後あらためて操作してください。

■ 表示されているメールアドレス宛にメールを送る (MAIL TO機能) ■

サイトのページやメールに下線のついたメールアドレスがあるときは、簡単な操作でそのメールアドレス宛にメールを送ることができます。

回線が接続された状態でサイトやメールを表示させている場合は、メール作成フォームが表示される前に、回線をいったん切断するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



- 「mailto:」から始まるメールアドレスがある場合、反転表示されます。
- サイトやメールによってはメールアドレスが反転表示されない場合があります。この場合は、以下の操作で送信メールを作成・送信することはできません。
- Lモードゲートウェイと接続したままにしていると、メール作成中も通話料金がかかりますのでご注意ください。

.....
問い合わせ
tel : 0312345678
<u>mailto : abcde@fgh.ijk.lmno</u>

送信メールを作成 しますか？
<input type="button" value="はい"/>
<input type="button" value="いいえ"/>

宛先
<input type="text" value="abcde@fgh.ijk.lmno"/>
題名
<input type="text"/>
本文
<input type="text"/>

1 サイトまたはメールを表示中に、くるくるローラを回してメールアドレスを反転表示させます。

2 [L] ボタンを押します。

3 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

宛先が入力された状態のメール作成フォームが表示されます。



- ◎Lモードゲートウェイと接続された状態でサイトやメールを表示させていた場合は、「センタとの接続を切断しますか？」というメッセージが表示されます。くるくるローラを回して「はい」または「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押すと、メール作成フォームが表示されます。「はい」を選択した場合は回線を切断します。
- ◎未送信メールと送信済メールが合わせて10件保存されていると、「メール限界」と表示され、送信メールを作成することができません。不要なメールを削除してください。

4 くるくるローラを回して「題名」または「本文」テキストボックスを選択します。

5 題名や本文を入力し、送信します。

「新規メールを作成して送信する」の手順7以下の操作 (P.167) を行います。

■ 表示されているURLに接続する (WEB TO機能) ■



- 「http://」から始まるURLがある場合、反転表示されます。
- ページやメールによってはURLが反転表示されない場合があります。この場合は、以下の操作でインターネットに接続することはできません。
- Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツでは、正しく表示されないことがあります。

06/09 09:30
友達
パーティのお知らせ
会場レストランの案内が <u>http</u>
<u>://www.xxxx.abcdefghijkl.m</u>
<u>no</u> にありますのでご覧ください

1 メールを表示中に、くるくるローラを回してURLを反転表示させます。

2 [L] ボタンを押します。

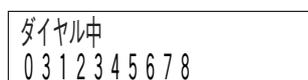
接続が完了すると目的のサイト／ホームページが表示されます。

ファクスデータを受信する (FAX TO機能)

サイトのページやメールに下線のついたファクス番号があるときは、簡単な操作でその番号へ発信し、ファクス受信ができます。



- 「fax:」から始まるファクス番号がある場合、反転表示されます。
- ページやメールによってはファクス番号が反転表示されない場合があります。この場合は、以下の操作でファクスデータを受信することはできません。
- 電話番号を必ず確認して発信してください。
- 発信後のファクス受信には、通話料金がかかります。



1 ページまたはメールを表示中に、くるくるローラを回してファクス番号を反転表示させます。

2 [L] ボタンを押します。
発信を確認する画面が表示されます。

3 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。
相手先を呼び出し、回線が接続されるとモニタスピーカからガイダンスが流れます。



「ダイヤル待ち」表示中に外線着信あるいはドアホン着信があると、FAX TO機能は取り消されますので、外線通話あるいはドアホン通話後あらためて操作してください。

4 ガイダンスの内容に応じてダイヤルボタンを押します。

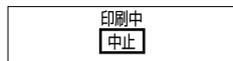
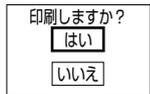


ガイダンスがない場合もあります。

5 ガイダンスに従って [スタート] ボタンを押します。
ファクス受信が開始され、自動的にプリントされます。
受信を終了すると、待機画面に戻ります。

ページを印刷する

表示中のページやメールの内容を記録紙に印刷することができます。ページの内容とともに、そのページのURLやメールの内容が印刷されます。



1 ページやメールを表示中に、ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

2 くるくるローラを回して「6印刷」を選択し、[L] ボタンを押します。

3 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

印刷が開始されます。

印刷を終了すると、サイトの画面に戻ります。



- ◎途中で印刷をやめたいときは、印刷中画面で [L] ボタンを押してください。
- ◎印刷中に電話がかかってきた場合には、親機の手話器で受けるようにしてください。子機で電話をとると雑音が聞こえる場合があります。そのような場合は、印刷を中断してください。
- ◎画像など表示内容により印刷に時間がかかる場合があります。
- ◎ページ印刷中に外線着信があった場合、親機の着信ベルをメロディなどに設定していても (P.129)、自動的に「ベル1」のベル音が鳴ります。また、このときには親機の [ワイワイトーク] ボタンは点滅しません。
- ◎ページ印刷中に回線を切断すると [L] ボタンの消灯が遅れることがあります。

〈印刷例〉

●ページの印刷

液晶ディスプレイ



記録紙



- ・文字および文字とGIF形式混在の場合は縦2倍×横2倍に印刷されます。
- ・文字を含まないGIF形式の場合のみ縦4倍×横4倍に印刷されます。

サイトから新しい着信メロディをダウンロードする

サイトからお好みのメロディのデータを受信（これを「ダウンロード」といいます）し、オリジナルの着信メロディとして使うことができます。ダウンロードしたメロディは、自動的にベル音・メロディに設定されます。着信メロディを設定する操作については、P.129を参照してください。

着信メロディをダウンロードする

着信メロディのダウンロード完了後、演奏を聴いてから保存するかどうかを判断します。保存できるのは3曲までです。



- ダウンロードしたメロディと自作のメロディが、すでに合わせて3曲保存されている場合、新しい着信メロディを保存すると、保存されていたメロディが上書きされ、新たに保存したメロディに置き換えられます。
- Lモードゲートウェイとの接続中（「」が点灯しているとき）は、電話やファクスとしてご利用になることができません。
- 試聴を目的としたサイトからのダウンロードの場合、著作権で保護されているために保存できないことがあります。
- Lモードのメニューコンテンツ以外のコンテンツでは、正しく表示されないことがあります。

着信メロディー一覧
1メロディA
2メロディB
3メロディC
4メロディD

ページ取得中


演奏する
保存する
保存しない

メロディ演奏中

1.登録なし
2.登録なし
3.登録なし

1 メロディがダウンロードできるサイト／ホームページを表示させます。

2 くるくるローラを回してダウンロードしたいメロディを選択し、[L] ボタンを押します。

3 「演奏する」を選択し、[L] ボタンを押します。

演奏が開始されます。

4 演奏を止めるときはファンクションボタン [停止] を押します。

5 くるくるローラを回して「保存する」を選択し、[L] ボタンを押します。

「保存しない」を選択して [L] ボタンを押すと、直前の画面に戻ります。

6 くるくるローラを回して保存先を選択し、[L] ボタンを押します。

7 Lモードを終了するときには [ストップ] ボタンを押します。

回線を切断して引き続きLモードの操作を続ける場合は、[再生] ボタンを押します。

未送信メール／送信済メール一覧を利用する

未送信メールと送信済メールは、それぞれ未送信メール一覧、送信済メール一覧に保存されます。未送信メールと送信済メールは、合わせて10件まで保存することができ、10件を超えると「メール限界」と表示されます。未送信メール一覧からは1件ずつまたは一括で送信することができ、送信済メール一覧からは、手なおしして送信したり、別の相手に送信することができます。一覧に保存されているメールを削除するときは、1件ずつまたはまとめて行います。メールの画面についての詳細は、「画面の見かた」(P.187)を参照してください。

保存していた未送信メールを送る

未送信メール一覧から送信したいメールを選択し、内容を確認してから送信します。手なおししてから送信する手順については「未送信メールを編集して送る」(P.188)を参照してください。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

未送信メール一覧
おいしいお店発見！
お待ちしております
お久しぶりです

tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見！
この間話したお店を
教えるね。
.....

1送信
2編集
3削除
4印刷

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「3未送信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メール一覧が表示されます。最新の未送信メールが選択されています。

3 くるくるローラを回して送信したい未送信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メールの内容が表示されます。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

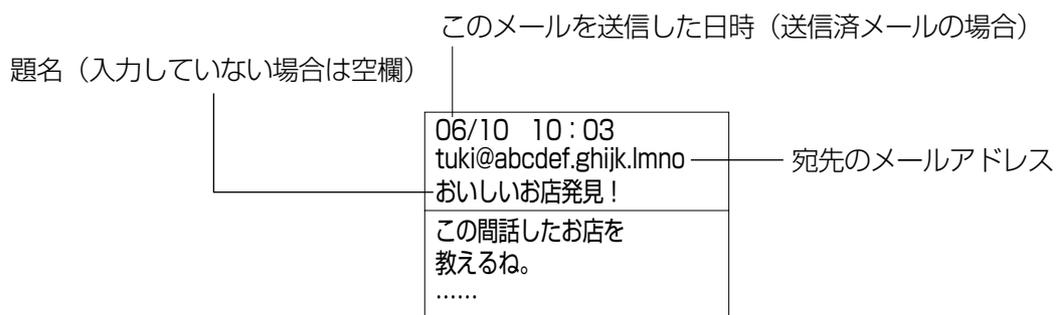
5 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

接続が完了するとメールが送信されます。

6 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

画面の見かた



●画面をスクロールする

メールの内容が1画面に表示しきれないときは、くるくるローラを回して上下方向にスクロールします。

●未送信/送信済メール一覧画面に戻る

ファンクションボタン [戻る] を押すと、一覧の画面に戻ります。

●サブメニューを使う

ファンクションボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。くるくるローラを回して項目を選択して [L] ボタンを押すか、項目番号を入力すると、次の操作に進めます。

〈未送信メールの場合〉

1送信
2編集
3削除
4印刷

	操 作	参照ページ
1送信	表示中のメールを送信する	P.186
2編集	宛先、題名、本文を編集する	P.188
3削除	表示中のメールを削除する	P.189
4印刷	表示中のメールを印刷する	P.190

〈送信済メールの場合〉

1編集
2削除
3印刷

	操 作	参照ページ
1編集	宛先、題名、本文を編集する	P.191
2削除	表示中のメールを削除する	P.192
3印刷	表示中のメールを印刷する	P.193

●他の未送信/送信済メールを見る

ファンクションボタン [←前画面]、[次画面⇒] を押すと前のメール、次のメールに切り替わります。

未送信メールをまとめて送る（一括送信）

未送信メール一覧のメールを、まとめて一度に送信することができます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「3未送信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メール一覧が表示されます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

4 くるくるローラを回して「2一括送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

接続が完了するとメールが送信されます。



「接続中です。」または「メール送信中」が表示されているときに [L] ボタンを押すと、送信が中断されます。送信が中断された場合、その時点で送信されていないメールのみが未送信メール一覧に残り、送信されたメールは送信済メール一覧に移動します。

5 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

1一括削除
2一括送信

未送信メールを編集して送る

未送信メールの題名や本文などを手なおしてから送ることができます。



未送信メールと送信済メールが合わせて10件保存されていると、「メール限界」と表示され、メールの編集が行えません。不要なメールを削除してください。

tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見！
この間話したお店を
教えるね。
.....

1送信
2編集
3削除
4印刷

1 「保存していた未送信メールを送る」の手順1～3の操作（P.186）を行い、編集するメールの内容を表示させます。

2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

3 くるくるローラを回して「2編集」を選択し、[L] ボタンを押します。

「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

宛先
tuki@abcdef.ghijk.lmno
題名
おいしいお店発見！
本文

4 くるくるローラを回して編集したい項目のテキストボックスを選択し、[L] ボタンを押します。

編集画面が表示されます。

5 内容を編集します。

文字を消去するときは、ファンクションボタン [クリア] を押します。
「新規メールを作成して送信する」⇒ (P.166)
「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

6 [L] ボタンを押します。

メール作成フォームに戻ります。

7 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

8 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

接続が完了するとメールが送信されます。

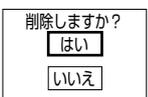
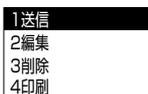
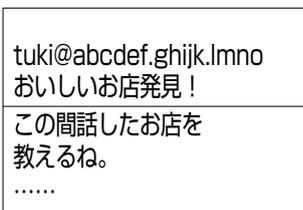
9 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メール一覧に戻ります。
そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。



特定の未送信メールを削除する

特定の未送信メールを削除することができます。



1 「保存していた未送信メールを送る」の手順1～3の操作 (P.186) を行い、削除するメールの内容を表示させます。

2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

3 くるくるローラを回して「3削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

4 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

メールが一件削除され、未送信メール一覧に戻ります。他の未送信メールを削除するときは、くるくるローラを回して目的のメールを選択し、同様の操作を繰り返します。

5 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

未送信メールをまとめて削除する（未送信メール一括削除）

未送信メール一覧のメールを、一度にすべて削除することができます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

1一括削除
2一括送信

一括削除
しますか？
はい
いいえ

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「3未送信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メール一覧が表示されます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

4 「1一括削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

5 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

メールが一括削除され、空になった未送信メール一覧に戻ります。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

未送信メールを印刷する

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

未送信メール一覧

おいしいお店発見！
お待ちしています
お久しぶりです

tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見！
この間話したお店を
教えるね。
.....

1送信
2編集
3削除
4印刷

印刷しますか？
はい
いいえ

印刷中
中断

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「3未送信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

未送信メール一覧が表示されます。

3 印刷したい未送信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

5 くるくるローラを回して「4印刷」を選択し、[L] ボタンを押します。

6 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

印刷を開始します。印刷を中止したいときは [中止] を選択し、[L] ボタンを押します。

7 「ストップ」 ボタンを押すと待機画面に戻ります。

送信済みのメールを読みなおす

送信済メール一覧から読みたいメールを選択し、内容を見ます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

送信済メール一覧
おいしいお店発見!
誕生日おめでとう!
会議開催通知

06/10 10:03
tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見!
この間話したお店を
教えるね。
.....

- 1 [メール] ボタンを押します。
Lメールメニューが表示されます。

- 2 くるくるローラを回して「2送信済メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

送信済メール一覧が表示されます。最新の送信済メールが選択されています。

- 3 くるくるローラを回して、内容を確認したい送信済メールを選択し、[L] ボタンを押します。

送信済メールの内容が表示されます。

- 4 内容の確認が終わったら、ファンクションボタン [戻る] を押します。

送信済メール一覧に戻ります。他の送信済メールを読むときは、手順3~4を繰り返します。

- 5 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

送信済みのメールを編集して送る

送信済メール一覧からメールを選択し、宛名を変えて別の相手に送ったり、本文を手なおして同じ相手に送ったりすることができます。

06/10 10:03
tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見!
この間話したお店を
教えるね。
.....

1編集
2削除
3印刷

宛先
tuki@abcdefg.hijk.lmno
題名
おいしいお店発見!
本文

- 1 「送信済みのメールを読みなおす」の手順1~3の操作(上記)を行い、編集するメールの内容を表示させます。

- 2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

- 3 「1編集」を選択し、[L] ボタンを押します。

「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。

- 4 くるくるローラを回して、編集したい項目のテキストボックスを選択し、[L] ボタンを押します。

編集画面が表示されます。

5 内容を編集します。

ファンクションボタン [クリア] を押すと、1文字消去されます。
「新規メールを作成して送信する」⇒ (P.166)
「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

6 [L] ボタンを押します。

メール作成フォームに戻ります。



7 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

8 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

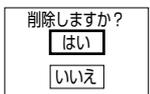
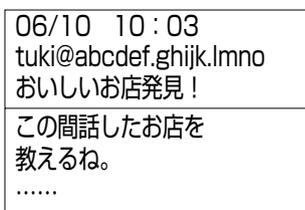
Lモードセンタとの接続が開始され、接続が完了するとメールが送信されます。

9 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

送信済メール一覧に戻ります。
そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

特定の送信済メールを削除する

特定の送信済メールを削除することができます。



1 「送信済みのメールを読みなおす」の手順1~3の操作 (P.191) を行い、削除するメールの内容を表示させます。

送信済メールの内容が表示されます。

2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

3 くるくるローラを回して「2削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

4 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

メールが一件削除され、送信済メール一覧に戻ります。他の送信済メールを削除するときは、くるくるローラを回して目的のメールを選択し、同様の操作を繰り返します。

5 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

送信済メールをまとめて削除する（送信済メール一括削除）

送信済メール一覧のメールを、一度にすべて削除することができます。

- 1受信メール一覧
- 2送信済メール一覧
- 3未送信メール一覧
- 4新規メール作成
- 5受信メール読出
- 6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 くるくるローラを回して「2送信済メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

送信済メール一覧が表示されます。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

4 [L] ボタンを押します。

5 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

メールが一括削除され、空になった送信済メール一覧に戻ります。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

1一括削除

一括削除
しますか？

送信済メールを印刷する

06/10 10:03
tuki@abcdef.ghijk.lmno
おいしいお店発見！
この間話したお店を
教えるね。
.....

- 1編集
- 2削除
- 3印刷

印刷しますか？

印刷中

1 「送信済みのメールを読みなおす」の手順1～3の操作（P.191）を行い、削除するメールの内容を表示させます。

送信済みメールの内容が表示されます。

2 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

3 くるくるローラを回して「3印刷」を選択し、[L] ボタンを押します。

4 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

印刷を開始します。印刷を中止したいときは [中止] を選択し、[L] ボタンを押します。

5 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

受信メール一覧を利用する

受信したメールは受信メール一覧に最大30件まで保存されます。未読と保護メールが合わせて30件を超えると保護されていない古いメールから自動的に削除されます（未読メールは削除されません）。

受信メール一覧を利用して、以下のような操作が行えます。

- ・受信メールを読みなおす⇒（P.172）
- ・自動的に削除されないように、特定の受信メールを保護する⇒（下記）
- ・受信メールに対する返事を書いて送信する⇒（P.195）
- ・受信メールを他の宛先に転送する⇒（P.196）
- ・メールの送り主のアドレスを電話帳に登録する⇒（P.197）
- ・特定の受信メールを削除する⇒（P.198）
- ・受信メールをすべて削除する⇒（P.198）

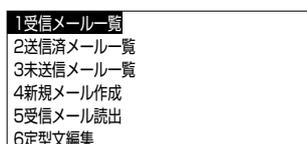
受信メールの画面についての詳細は、「画面の見かた」（P.171）を参照してください。

特定の受信メールを保護／解除する

大切な受信メールを、自動的に削除されてしまわないように保護します。保護できるメールは最大15件です。

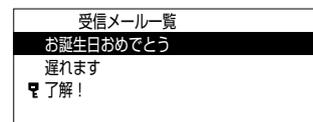


すでに15件保護されていると保護メールの設定が行えません。保護を解除するか、不要になった保護メールを削除してください。



1 【メール】 ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

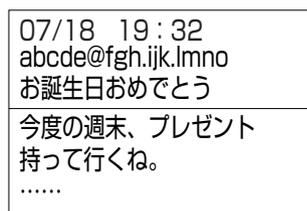


2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。最新の受信メールが選択されています。



まだ読んでいないメールのタイトルには「✉」、保護されているメールには「🔒」が
ついています。

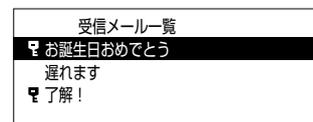


3 くるくるローラを回して、保護したい受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。



4 ファンクションボタン【サブメニュー】を押します。



5 「1保護／解除」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧画面に戻ります。保護された受信メールには「🔒」が
つきます。

他の受信メールを保護／解除するときは、くるくるローラを回して目的のメールを選択し、同様の操作を繰り返します。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

保護を解除するときは

手順3で保護を解除したい受信メールを選択し、同様の操作を行うと、保護が解除されます。

受信メールを返信する（返信メール）

受信したメールを返信することができます。



- 未送信メールと送信済メールが合わせて10件保存されていると、「メール限界」と表示され、返信メールが作成できません。不要なメールを削除してください。
- 送信完了した返信メールは、送信済メールとして保存されます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

受信メール一覧
お誕生日おめでとう
遅れます
了解!

07/18 19:32
abcde@fgh.ijk.lmno
お誕生日おめでとう
今度の週末、プレゼント
持って行くね。
.....

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷

宛先
abcde@fgh.ijk.lmno
題名
Re>お誕生日おめでとう
本文

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。

3 くるくるローラを回して、返信したい受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

5 くるくるローラを回して「3返信」を選択し、[L] ボタンを押します。

宛先がすでに入力され、「題名」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。



題名は「Re>×××」と表示されます。「Re>」は、「×××」というメールへの返信メールであることを表します。

6 必要に応じて題名を編集したあと、本文を入力します。

「新規メールを作成して送信する」⇒ (P.166)

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

1送信
2保存

7 「[L] ボタンを押します。

メール作成フォームに戻ります。

8 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

9 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

接続が完了するとメールが送信されます。

10 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

受信メールを他の宛先に転送する（フォワードメール）

受信したメールをそのまま他の宛先に送るフォワードメールは、転送の機能を利用すると簡単に作成、送信できます。



- 未送信メールと送信済メールが合わせて10件保存されていると、「メール限界」と表示され、フォワードメールが作成できません。不要なメールを削除してください。
- 送信完了したフォワードメールは、送信済メールとして保存されます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

受信メール一覧
お誕生日おめでとう
遅れます
了解！

07/18 19:32
abcde@fgh.ijk.lmno
お誕生日おめでとう
今度の週末、プレゼント
持って行くね。
.....

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷

宛先

題名
[Fw]>お誕生日おめでとう

本文
今度の週末、プレゼント
持って行くね。

1 「[メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。

3 くるくるローラを回して転送したい受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

5 くるくるローラを回して「4転送」を選択し、[L] ボタンを押します。

題名と本文がすでに入力され、「宛先」テキストボックスが選択された状態のメール作成フォームが表示されます。



題名は「Fw>×××」と表示されます。「Fw>」は、「×××」というメールのフォワードメールであることを表します。

6 [L] ボタンを押します。

宛先入力画面が表示されます。

7 宛先（半角で最大50文字）を入力します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)
「電話帳を使って宛先を入力するには」⇒ (P.168)

8 [L] ボタンを押します。

メール作成フォームに戻ります。

9 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

10 「1送信」を選択し、[L] ボタンを押します。

接続が完了するとメールが送信されます。

11 「送信完了 切断しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

そのままLモードを続けたいときは、くるくるローラを回して「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。

文字入力	入力モード：英字
確定文字	入力文字数（半角換算） 22 / 50
tuki@abcdef.ghijk.lmng	
変換前文字	候補数 0 / 0

1送信
2保存

送信者のアドレスを電話帳に登録する

メールの送信元のメールアドレスを、簡単な方法で電話帳に登録することができます。

! 電話帳がすでに100件登録されていると、登録できません。不要な電話帳を削除してください。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

受信メール一覧
お誕生日おめでとう
遅れます
了解!

07/18 19:32
abcde@fgh.ijk.lmno
お誕生日おめでとう
今度の週末、プレゼント
持って行くね。
.....

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。

3 くるくるローラを回して電話帳に登録したい受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

5 くるくるローラを回して「5電話帳登録」を選択し、[L] ボタンを押します。

電話帳登録フォームが表示され、メールアドレスは自動的に入力されます。

電話帳登録	
名前:	<input type="text" value="友達"/>
よみがな:	<input type="text" value="トビ"/>
電話番号:	<input type="text"/>
メールアドレス:	<input type="text" value="abcde@fgh.ijk.lmno"/>
	<input type="text"/>

6 各項目を入力し、電話帳登録を行います。

「電話帳を登録する」(P.44)の手順3以下の操作を行います。メールアドレスの入力は省略できます。

特定の受信メールを削除する

受信メールは、保護メール、未読メールを除き古い順に自動的に削除されますが、すぐに削除したいメールは、保護メールも含め削除することができます。受信メール一覧のメールを、一度にすべて削除することもできます。⇒(下記)

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

受信メール一覧	
お誕生日おめでとう	
遅れます	
▼了解!	

2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。

受信メール一覧が表示されます。
保護メールには「▼」がついています。

3 くるくるローラを回して削除したい受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。

受信メールの内容が表示されます。

1保護/解除
2削除
3返信
4転送
5電話帳登録
6印刷

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

削除しますか?
<input type="button" value="はい"/>
<input type="button" value="いいえ"/>

5 くるくるローラを回して「2削除」を選択し、[L] ボタンを押します。

6 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。

メールが一件削除され、受信メール一覧に戻ります。他の受信メールを削除するときは、手順3~6の操作を繰り返します。

7 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

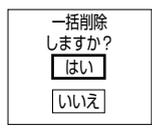
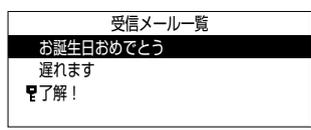
受信メールをまとめて削除する

受信メール一覧のメールを、一度にすべて削除することができます。保護メールだけ残しておくこともできます。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。



2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。
 受信メール一覧が表示されます。
 保護メールには「」がついています。

3 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。

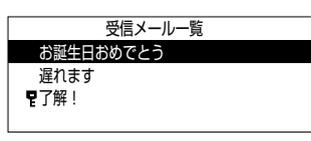
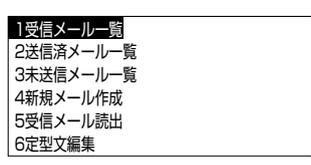
4 [L] ボタンを押します。

5 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。
 メールが一括削除され、空になった受信メール一覧に戻ります。

? 受信メール一覧に保護メールが含まれていた場合は、「保護メールも削除しますか?」というメッセージが表示されます。くるくるローラを回して「はい」または「いいえ」を選択し、[L] ボタンを押してください。「いいえ」を選択すると、保護メールは削除されずに残ります。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

受信メールを印刷する



1 [メール] ボタンを押します。
 Lメールメニューが表示されます。

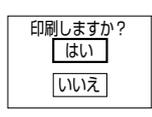
2 「1受信メール一覧」を選択し、[L] ボタンを押します。
 受信メール一覧が表示されます。
 保護メールには「」がついています。

3 くるくるローラを回して、印刷する受信メールを選択し、[L] ボタンを押します。
 受信メールの内容が表示されます。

4 ファンクションボタン [サブメニュー] を押します。



5 くるくるローラを回して「6印刷」を選択し、[L] ボタンを押します。



6 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。
 印刷を開始します。
 印刷を中止したいときは「中止」を選択し、[L] ボタンを押します。



7 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

独自の定型文を編集する

メールを作成するときに便利な定型文は、あらかじめ次の10種類が登録されています。

連絡ください	時間です
遅れます	OKです
ありがとう	行きます
電話ください	NGです
中止です	ごめんなさい

定型文を編集する

あまり利用しない定型文を他の文に変えたり、部分的に編集したりして、より使いやすい定型文を作ることができます。

ここでは例として、「中止です」という定型文を「こんにちは」に変える手順を説明します。

同様の方法で、「連絡ください」を「至急連絡ください」にしたり、「電話ください」を「0312345678に電話ください」に変えるなど、部分的に編集することもできます。使い勝手に合わせて、独自の定型文を作ってください。

1受信メール一覧
2送信済メール一覧
3未送信メール一覧
4新規メール作成
5受信メール読出
6定型文編集

1 [メール] ボタンを押します。

Lメールメニューが表示されます。

連絡ください
遅れます
ありがとう
電話ください
中止です
時間です
OKです
行きます

2 くるくるローラを回して「6定型文編集」を選択し、[L] ボタンを押します。

定型文一覧が表示されます。

文字入力	⑤入力モード：漢かな
確定文字	入力文字数 (半角換算) 8/50
中止です	
変換前文字	候補数0/0

3 くるくるローラを回して、編集したい定型文を選択し、[L] ボタンを押します。

定型文編集画面が表示されます。

文字入力	⑤入力モード：漢かな
確定文字	入力文字数 (半角換算) 10/50
こんにちは_	
変換前文字	候補数0/0

4 定型文（全角で最大25文字、半角で最大50文字）を編集します。

「文字の入力のしかた」⇒ (P.36)

連絡ください
遅れます
ありがとう
電話ください
こんにちは
時間です
OKです
行きます

5 [L] ボタンを押します。

編集した定型文が登録されます。

6 [ストップ] ボタンを押すと待機画面に戻ります。

Lモードの設定変更機能／機種変更時に便利な機能（Lモード設定）

1 画像表示設定

- 2 端末機器自動設定
- 3 センタ番号確認
- 4 電話帳データ送信
- 5 Bookmarkデータ送信
- 6 無通信監視タイマ

Lモードの利用に関する設定を確認したり、変更したりすることができます。また、機種変更をされる場合に、本機に登録されている電話帳やBookmarkのデータが引き続きご利用になれるようにするための便利な機能が用意されています。



設定や登録を行う途中で、約90秒以上何も操作しなかったときは、待機状態に戻ります。



設定を途中でやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

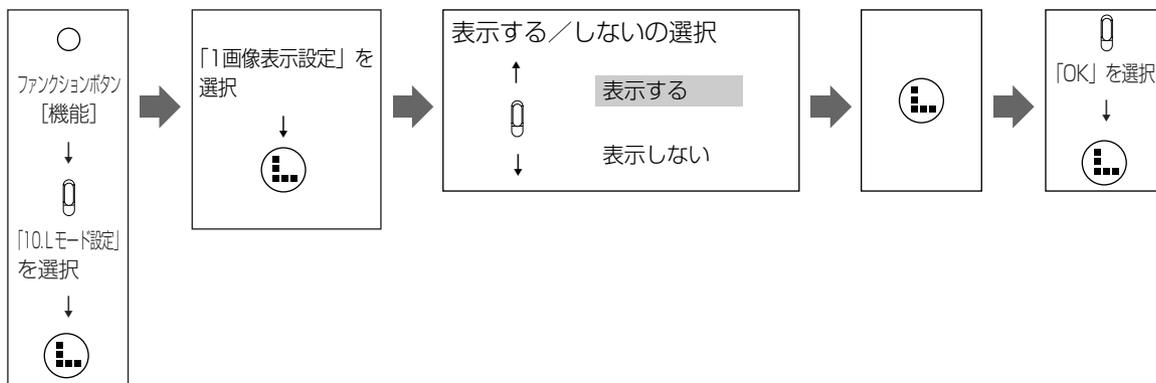
表記の説明

- ：ファンクションボタンを押します。
- ⌂：くるくるローラを回します。
- ⋮：[L] ボタンを押します。

画像表示設定

ページを表示するときに、画像データも表示するかどうかの設定が変えられます。

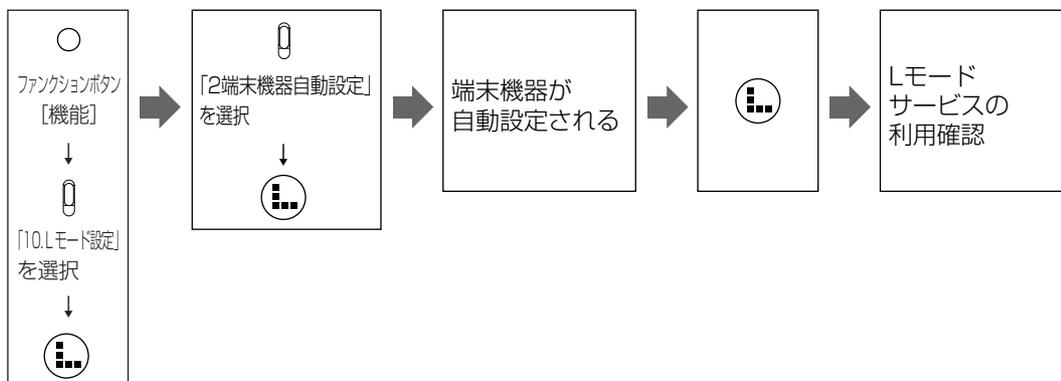
「しない」に設定すると、画像表示の部分に⊗が表示されます。また、「する」に設定しても、画像の種類によっては表示できない場合があります。



画像表示設定を「する」に設定しても、GIF形式以外の画像データは表示できません。またGIF形式であっても表示できない場合があります。

端末機器自動設定

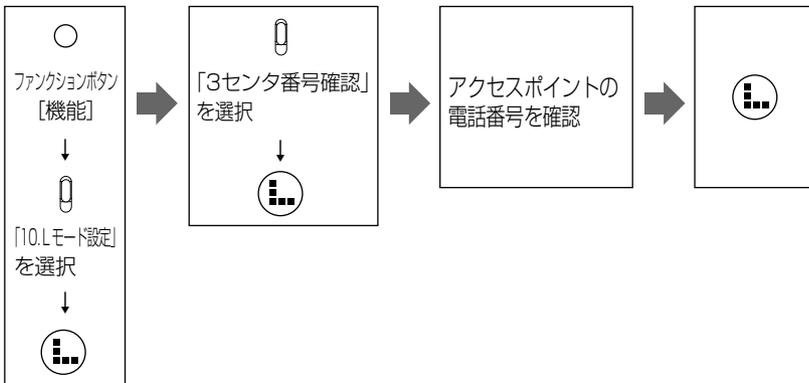
Lモードを開始する操作（P.162）と同様の、アクセスポイントの電話番号を自動的に登録するための設定です。P.162の操作を行い、すでにLモードをご利用になっている場合、この操作は不要です。



センタ番号確認

アクセスポイントの電話番号が確認できます。

アクセスポイントの電話番号が登録されていないときは表示されません。



電話帳データ送信

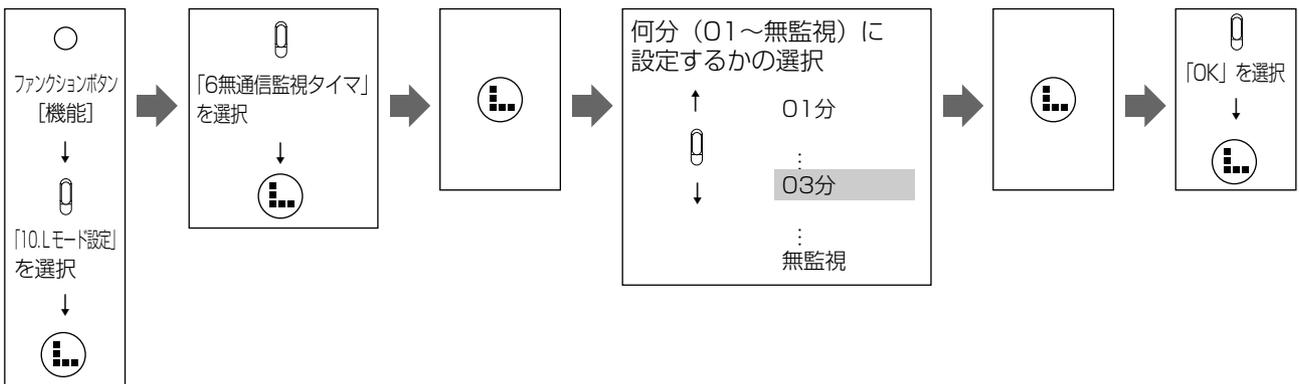
電話帳の登録内容を一時的にLモードゲートウェイに保管し、機種変更後にダウンロードして使用することができます。⇒ (P.203)

Bookmarkデータ送信

Bookmarkの登録内容を一時的にLモードゲートウェイに保管し、機種変更後にダウンロードして使用することができます。⇒ (P.203)

無通信監視タイマ

Lモードゲートウェイと接続しているときに、一定の時間Lモードゲートウェイと通信（メール送信、受信、ページ取得中）が行われないと自動的に回線が切断されるようになっています。この切断までの時間を1分から10分まで、または「無監視」に設定することができます。お買い求め時は3分に設定されています。「無監視」に設定すると自動的に回線の切断はされません。



無通信監視タイマを「無監視」に設定する場合は、Lモードのご利用が終了したあと、回線を切断するのを忘れないようにご注意ください（回線が切断されないと、通話料金がかかります）。 「Lモードゲートウェイとの接続を切断したいときは？」⇒ (P.162)

■ 電話帳／Bookmarkデータを送信する（データアップロード） ■

電話帳データ／Bookmarkデータは、お客様自身宛の送信メールとしてLモードゲートウェイに送信され、保管されます。

機種変更後の電話機で、保管されていたデータの受信（ダウンロード）操作を行うと、電話帳やBookmarkの登録内容が引き続きご使用になれます。

ここでは例として電話帳データを送信（アップロード）する手順を説明します。



- Lモードゲートウェイに送信された電話帳データ／Bookmarkデータは、送信済メール一覧には保存されません。
- 電話帳データ送信時にデータがない場合は、「データがありません。」と表示されます。

1 画像表示設定

- 2 端末機器自動設定
- 3 センタ番号確認
- 4 電話帳データ送信
- 5 Bookmarkデータ送信
- 6 無通信監視タイマ

データを送信しますか？

送信先メールアドレスを入力して下さい。

送信完了

- 1 ファンクションボタン [機能] を押します。
- 2 くるくるローラを回して「10.Lモード設定」を選択し、[L] ボタンを押します。
- 3 くるくるローラを回して「4電話帳データ送信」を選択し、[L] ボタンを押します。
Bookmarkデータを送信する場合は「5Bookmarkデータ送信」を選択し、[L] ボタンを押します。
- 4 「はい」を選択し、[L] ボタンを押します。
- 5 [L] ボタンを押します。
送信先入力画面が表示されます。
- 6 お客様のLモードのメールアドレスを入力し、[L] ボタンを押します。
- 7 くるくるローラを回して「OK」を選択し、[L] ボタンを押します。
接続が完了するとメールが送信されます。
- 8 「送信完了」と表示されたら、[L] ボタンを押します。

電話帳／Bookmarkデータをダウンロードするには

機種変更後、Lモードが使えるように電話機を設定してから通常のメール受信の操作を行います。

受信操作中に「…から転送された電話帳データをコピーしますか？」と表示されたら [L] ボタンを押し、その後「コピー元アドレスを入力して下さい。」と表示されたらお客様のLモードのメールアドレスを入力してください。自動的に電話帳／Bookmarkが登録されます。



- すでに電話帳やBookmarkが登録されている電話機でデータダウンロードを行うと、登録されているデータにダウンロードしたデータが追加されます。
- 機種によってはLモードゲートウェイに保管した電話帳、Bookmarkが正常にダウンロードされない場合があります。
- データアップロードを行った電話機とデータダウンロードを行うメールアドレスが一致しないと、ダウンロードできません。
- 電話帳／Bookmarkデータは受信メールとして受信されますが、受信メール一覧には保存されません。

インクフィルムを交換する

⚠ 注意



●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

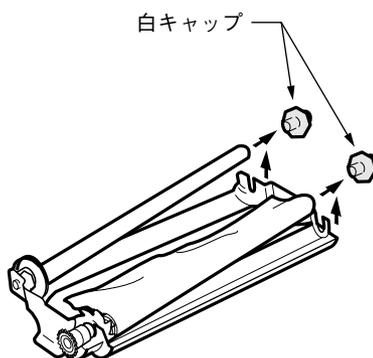


- 必ず、指定（形名：SIF-A4040（A4/40m））のインクフィルムを使用してください。
- 指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字かすれなどの原因になることがあります。
- 一度印刷に使用したインクフィルムの使用は、故障の原因になることがあります。
- 作業中に指をはさまないように注意してください。

1 カートリッジを取り外します。

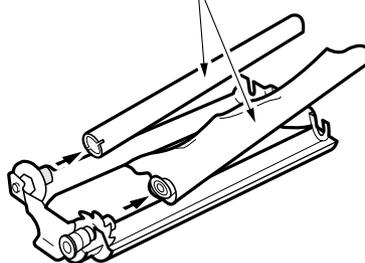
「インクフィルムカートリッジの取り外し」⇒（P.20）

2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外します。



3 使用済みインクフィルムの軸2本を取り外します。

使用済みインクフィルムの軸



4 新しいインクフィルムをカートリッジに取り付けます。

「インクフィルムの取り付け」⇒（P.21）

5 カートリッジを取り付けます。

「カートリッジの取り付け」⇒（P.22）

インクフィルムの処分方法について

- ・使用済みのインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- ・インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエチレン、カーボンパラフィンなどでできています。使用済みのインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により廃棄してください。

紙づまりのとき

⚠ 注意



●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



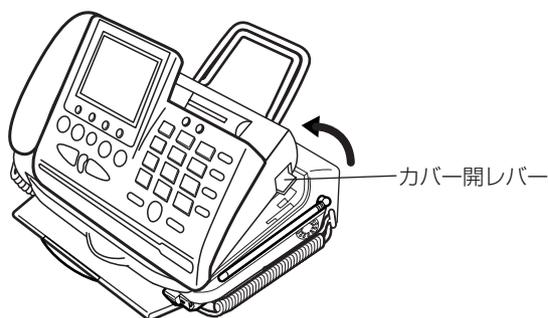
●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

「記録紙が詰まりました」と表示されたとき

「記録紙が詰まりました」と「カバーを開けてください」が交互に表示される場合は、記録紙が詰まったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。

カバーを開け、記録紙が詰まっているかどうかを確認してください。

- 1 親機右側面のカバー開レバーを矢印の方向に引き上げてカバーを開けてください。



■受話器が親機についている場合は、手で支えた状態でカバーを開けてください。そのまま勢いよくカバーを開けると、受話器が落ちる場合がありますのでご注意ください。

■作業中に指をはさまないようにご注意ください。

記録紙がつまっていなかった場合

給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。

記録紙カセットの清掃 ⇒ (P.211)

記録紙送り用ローラの清掃 ⇒ (P.212)

記録紙が詰まっていた場合



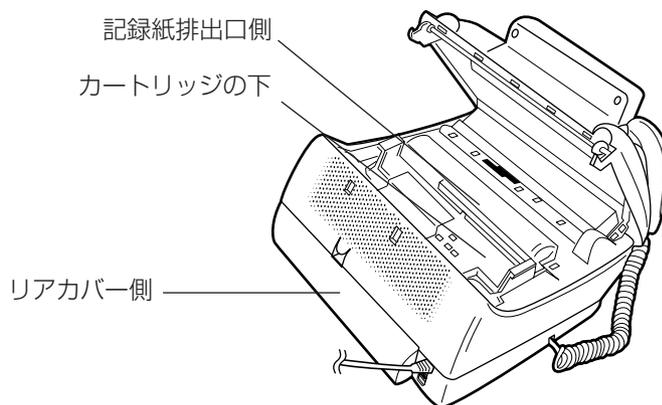
記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を親機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

- 1 記録紙カセットを取り外します。



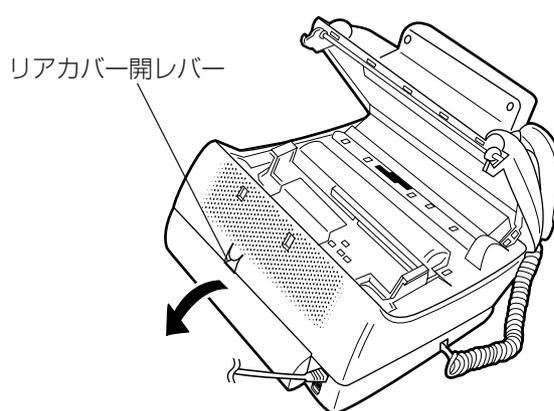
2 記録紙がどこにつまっているかを確認します。

- リアカバー側でつまっているとき
⇒ (下記)
記録紙排出口側でつまっているとき
⇒ (P.207)
カートリッジの下でつまっているとき
⇒ (P.208)

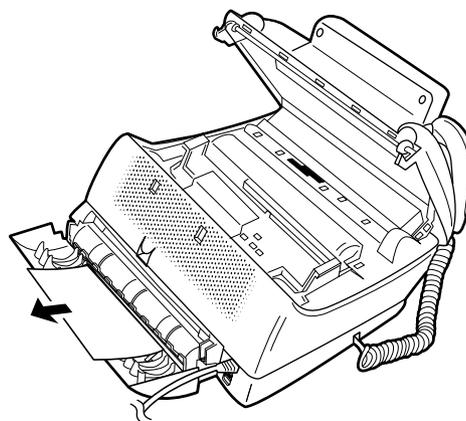


リアカバー側でつまっているとき

1 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開けます。



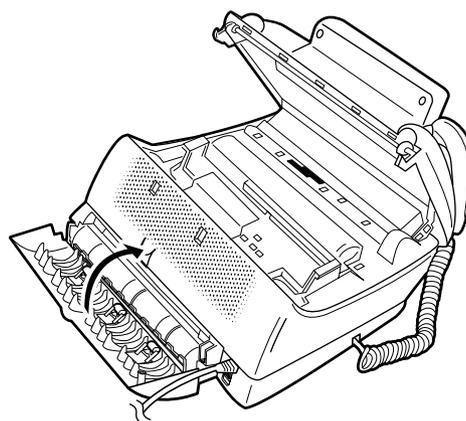
2 記録紙を取り除きます。



3 リアカバーを閉めます。



リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。

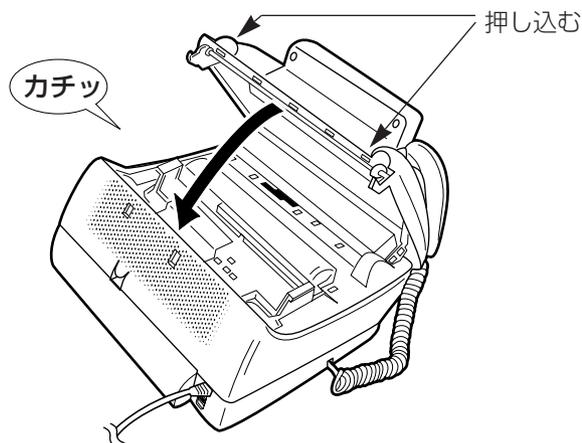


4 カバーを閉じます。

カバーの両端を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

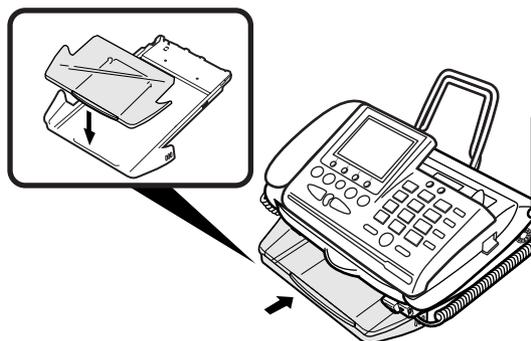


カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉めていないと本機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに「カバーが開いています」と表示されます。押し込んだとき、ディスプレイに無理な力がかからないようにしてください。



5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れなおします。⇒ (P.26)

6 記録紙カセットのカバーを取り付け、親機に取り付けます。



記録紙排出口側でつまっているとき

1 カートリッジを取り外します。

「インクフィルムカートリッジの取り外し」⇒ (P.20)



感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取り外す必要はありません。緑色の解除レバーを手前に引いて記録カバーを開け、記録紙を取り除いたあと記録カバーを閉め (P.23)、手順4へ進んでください。

2 記録紙を取り除きます。



3 カートリッジを取り付けます。

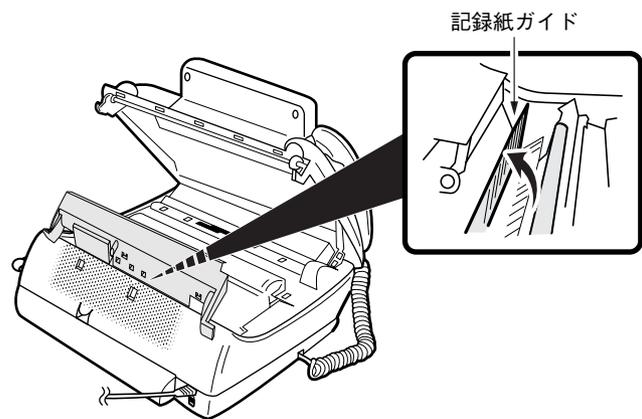
「カートリッジの取り付け」⇒ (P.22)

4 カバーを閉じます。

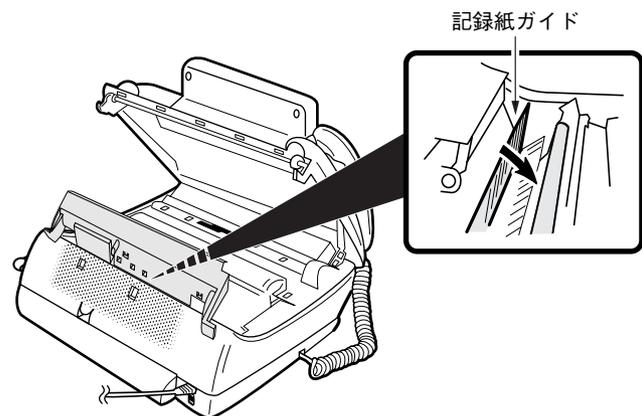
- 5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れなおします。⇒ (P.26)
- 6 記録紙カセットのカバーを取り付け、親機に取り付けます。⇒ (P.27)

カートリッジの下でつまっているとき

- 1 カートリッジを取り外します。
「インクフィルムカートリッジの取り外し」⇒ (P.20)
- 2 記録紙ガイドを矢印の方向に起こし、記録紙を取り除きます。



- 3 記録紙ガイドを元に戻します。



- 4 カートリッジを取り付けます。
「カートリッジの取り付け」⇒ (P.22)
- 5 記録カバーとカバーを閉じます。⇒ (P.23)
- 6 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れなおします。⇒ (P.26)
- 7 記録紙カセットのカバーを取り付け、親機に取り付けます。⇒ (P.27)

「XXXXが開いています」と表示されたときは

次のうちのいずれかが表示されたときは、そのカバーが浮いています。確実に閉めてください。

- ・「カバーが開いています」
- ・「リアカバーが開いています」
- ・「記録カバーが開いています」

「記録紙がつまりました」と繰り返し表示されたときは

記録紙カセットの奥側斜面と、記録紙給紙用ローラを清掃してください。

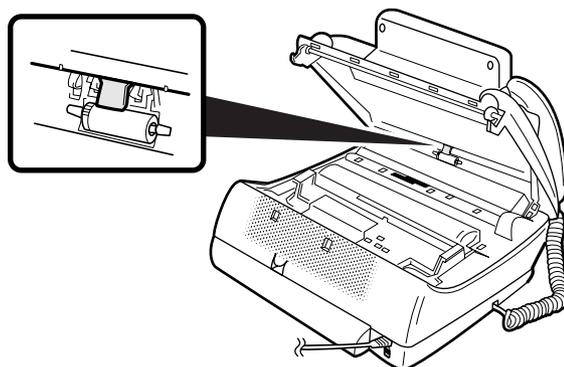
「記録紙カセットの清掃」 ⇒ (P.211)

「記録紙送り用ローラの清掃」 ⇒ (P.212)

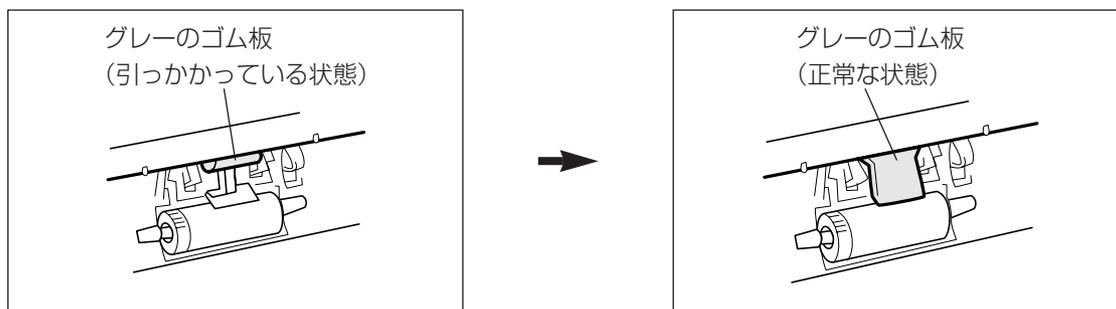
「原稿がつまりました」と表示されたとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまっています。

- 1 カバーを開けます。
- 2 原稿を取り除きます。
- 3 内部のグレーのゴム板の状態を確認します。



グレーのゴム板が引っかかっていたら、ゴム板に指をかけて右下の図のように元に戻してください。



- 4 カバーを閉じます。



- カバーは確実に閉じてください。カバーが確実に閉じていないと原稿づまりの原因となります。
- 原稿セットガイドを合わせていない場合、原稿が小さい場合にも「原稿がつまりました」が表示されることがあります。
「原稿セットのしかた」 ⇒ (P.76)

「原稿がつまりました」と「ローラを清掃してください」が交互に表示されたときは

原稿送り用ローラを清掃してください。

「原稿送り用ローラの清掃」 ⇒ (P.211)

日頃のお手入れ

快適にお使いいただくために、本機をいつもきれいにしておいてください。

⚠ 注意



●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。
- 作業中に指をはさまないように注意してください。

親機・子機の外装の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きする場合は、布を固く絞ってから拭いてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーしたときや、相手先のファクスの記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は定期的に（月に1回程度）清掃し、いつもきれいにしておきましょう。

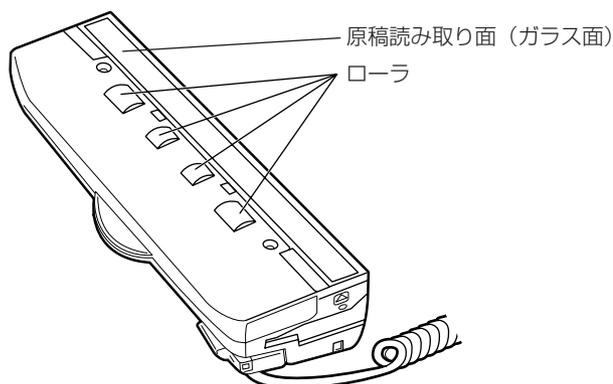
- 1 ハンドスキャナを手前に引き抜きます。



- 2 原稿読み取り面（ガラス面）を柔らかい布で拭きます。

- 3 水に浸した布を固く絞り、ローラを拭きます。

- 4 ハンドスキャナを親機に戻します。



「ハンドスキャナを外す、戻す」⇒ (P.91)



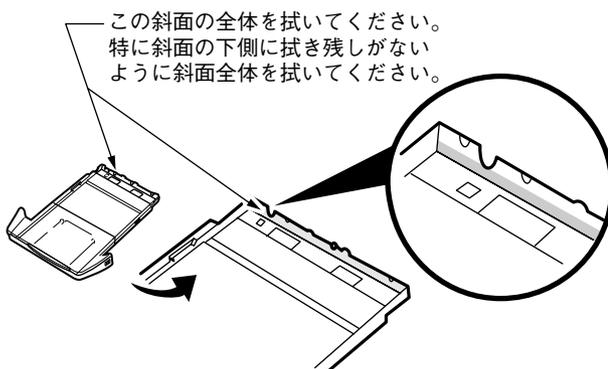
ハンドスキャナを親機に戻すときは、ハンドスキャナ用コードをはさまないように注意してください。断線の原因になることがあります。

記録紙カセットの清掃

記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは、月に1回くらいの周期で清掃してください。

- 1 記録紙カセットを引き抜き、カセットのカバーを外します。
- 2 記録紙を取り出します。
- 3 記録紙カセットの右図の部分
を拭きます。

水に浸した布を固く絞って拭いてください。斜面に傷をつけないように、柔らかい布を使用してください。



- 4 記録紙を入れて、記録紙カセットのカバーを取り付けます。
- 5 記録紙カセットを取り付けます。

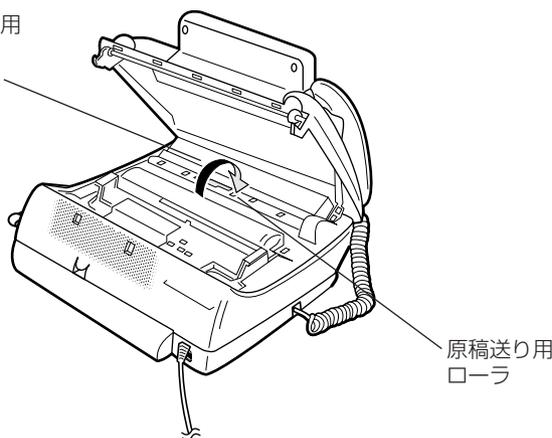
原稿送り用ローラの清掃

原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因となります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

- 1 電源プラグを抜きます。
- 2 カバーを開けます。
- 3 原稿送り用ローラを拭きます。

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます。

原稿送り用
ローラ
回転方向



- 4 カバーを閉じます。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源プラグを抜くと、Lモードの端末設定情報は消去されます。Lモードをご利用になる場合には再度「Lモードが使えるように設定する」(P.162)の操作を行ってください。

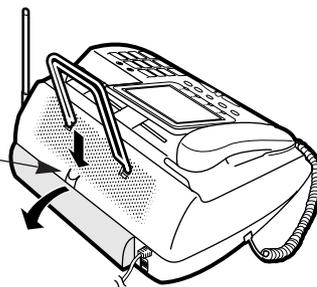
記録紙送り用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙送り用ローラに紙の粉などがついて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

2 リアカバー開レバーを下に押し、
リアカバーを開けます。

リアカバー開レバー



3 記録紙送り用ローラを拭きます。

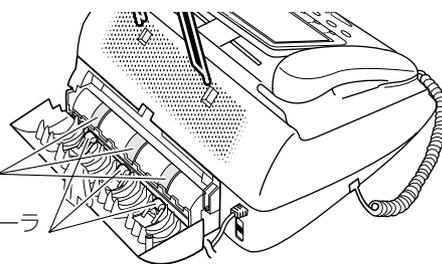
水に浸した布を固く絞り、記録紙送り用ローラを手で回しながらローラ表面全体を拭きます。



清掃の際、リアカバーの白いローラに触れないようにしてください。

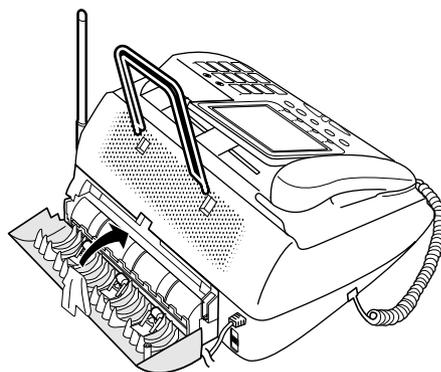
記録紙
送り用ローラ

白いローラ
3カ所



4 リアカバーを閉じます。

リアカバー開レバーがロックされるまで
確実に押し込んでください。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。

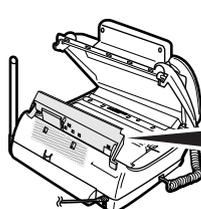


電源プラグを抜くと、Lモードの端末設定情報は消去されます。Lモードをご利用になる場合には再度「Lモードが使えるように設定する」(P.162)の操作を行ってください。

記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。

水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

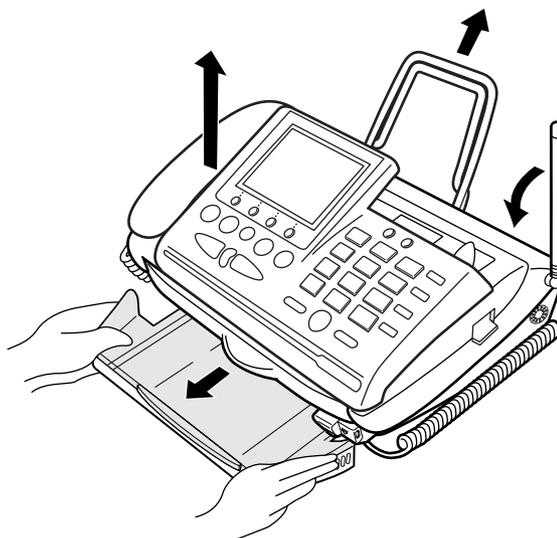


記録ローラ

記録紙給紙用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などがついて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

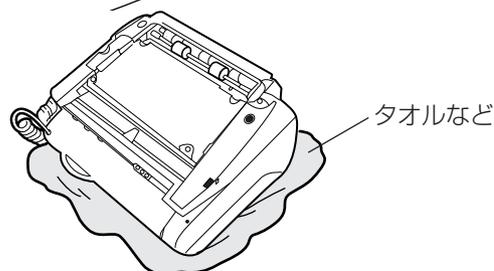
- 1 電源プラグを抜きます。
- 2 記録紙カセット、原稿セット台と受話器を取り外し、アンテナを倒します。



- 3 タオルなどを数枚重ねた上に、本機を裏返して置きます。

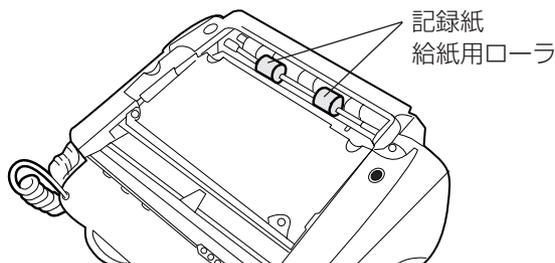


裏返しにしたとき、ディスプレイが破損することがあるので、親機に無理な力をかけないでください。

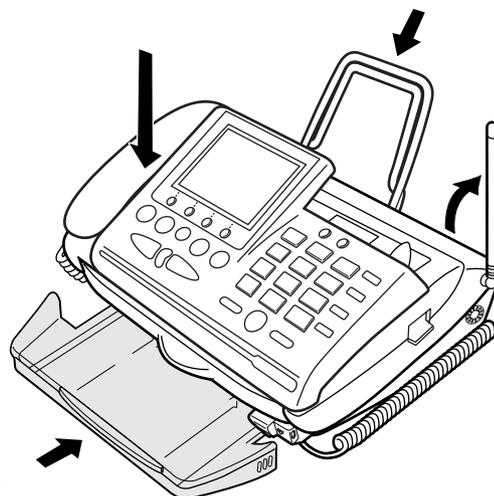


- 4 記録紙給紙用ローラを拭きます。

水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。



- 5 本機を表に戻し、記録紙カセット、原稿セット台と受話器を取り付け、アンテナをまっすぐ立てます。



- 6 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源プラグを抜くと、Lモードの端末設定情報は消去されます。Lモードをご利用になる場合には再度「Lモードが使えるように設定する」(P.162)の操作を行ってください。

電池パックを交換するとき

電池パックについて

- 電池パックは必ず本機専用のものをお使いください。

〈子機電池パック〉

電池仕様：SP-N1, 2.4V, 600mAh, NEC

型名	標準価格
SP-N1 ニカド電池	1,600円

〈ハンドスキャナ電池パック〉

電池仕様：NB-R72G, 7.2V, 300mAh, NEC

型名	標準価格
NB-R72G	2,400円

価格には消費税は含まれておりません。

- 新しい電池パックは、充電されていません。電池パックを交換したときは、子機の場合は充電器に置いて9時間以上、ハンドスキャナをコードレスで使用する場合はハンドスキャナ用コードに取り付け、親機に取り付けた状態で6時間以上充電してください。
- 子機の電池パックにはニカド電池を使用しています。



Ni-Cd

ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い求めいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。

⚠ 危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ 赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

子機の電池パックを交換する

充電しても、通話中にすぐに電池がなくなり、通話ができなくなったら、新しい電池パックと交換してください。電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。電池パックの購入については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



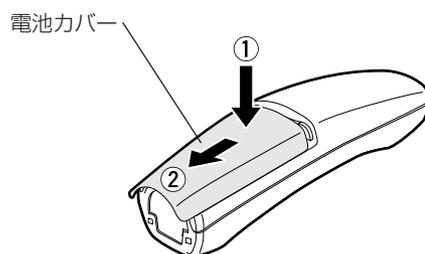
電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。



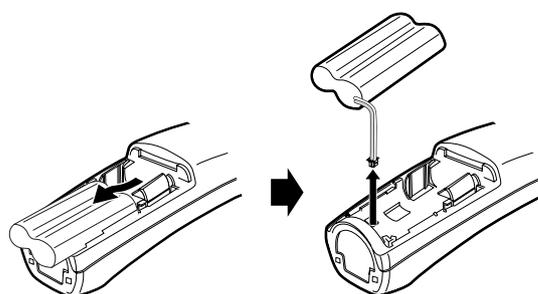
- 電池接続用のコードを強く引っばらないでください。故障の原因となることがあります。
- コードをはさまないように注意してください。
- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。
- 電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。

1 電池カバーを外します。

①の部分を押しながら、②の方向へスライドさせると外れます。



2 古い電池パックを取り出します。



3 新しい電池パックを取り付けます。

「電池パックの取り付け」⇒ (P.30)

4 充電器に置いて充電します。

新しい電池パックは充電されていません。9時間以上、充電してください。

■ ハンドスキャナの電池パックを交換する ■

コードを外してハンドスキャナを使用するとき、電池パックが充電されていてもすぐに電池がなくなるようになったら、新しい電池パックと交換してください。電池パックを交換しても、読み取った原稿は消去されません。

電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。電池パックの購入については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

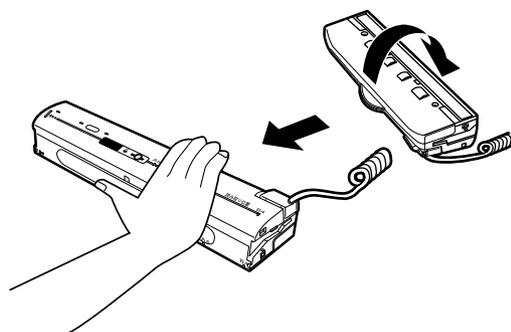
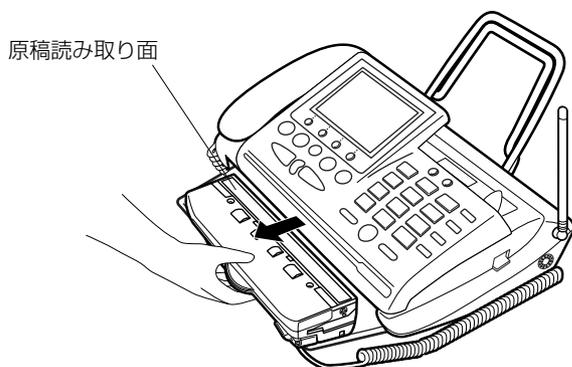


- 電池パック接続用のコードを強く引っばらないでください。故障の原因となります。
- 必ず親機の電源プラグを外した状態で行ってください。
- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。

1 電源プラグを抜きます。

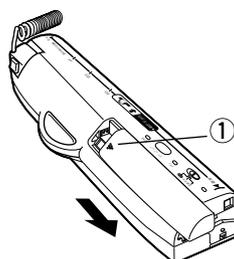
2 ハンドスキャナを本体から外して裏返します。

原稿読み取り面には触らないでください。

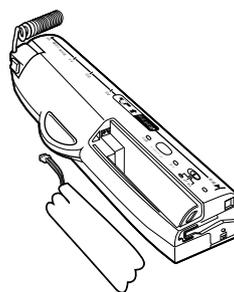


3 電池カバーを取り外します。

①の部分を押しながら、矢印方向へ引きます。



4 古い電池パックを外します。



5 新しいハンドスキャナ用電池パックを取り付けます。

「ハンドスキャナ用電池パックを取り付ける」⇒ (P.24)

6 ハンドスキャナを親機に戻します。

「ハンドスキャナを外す、戻す」⇒ (P.91)



電源プラグを抜くと、Lモードの端末設定情報は消去されます。Lモードをご利用になる場合には再度「Lモードが使えるように設定する」(P.162) の操作を行ってください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	<ul style="list-style-type: none"> ・Lモード端末設定情報（アクセスポイント情報等） ⇨ (P.162) ・複数の相手先へ送る（みんなに送信）ときのメモリに記憶されている文書 ⇨ (P.80) ・コードをつけたままのハンズキャナ送信時のメモリに記憶されている文書 ⇨ (P.94) ・親機に記憶されているリダイヤルの電話番号 ⇨ (P.42) ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき） ⇨ (P.126) ・着信データに記憶された電話番号 ⇨ (P.144)
消えない情報	<ul style="list-style-type: none"> ・時計のデータ（36時間を超えない停電のとき） ⇨ (P.126) ・メモリ代行受信文書 ⇨ (P.88) ・液晶ファクス ⇨ (P.85) ・留守番電話に録音した自作応答メッセージ ⇨ (P.109) ・留守番電話に録音された用件 ⇨ (P.107) ・通話録音した内容 ⇨ (P.117) ・登録した電話番号や各種の設定値 ⇨ (P.123) ・通信管理レポート ⇨ (P.78、83) ・ハンズキャナをコードレスで使用している場合の、ハンズキャナのメモリに記憶されている文書 ⇨ (P.96) ・子機に記憶されているリダイヤルの電話番号 ⇨ (P.53) ・ダウンロードした着信メロディ ⇨ (P.185) ・オリジナルメロディ ⇨ (P.130) ・画面メモ（Lモード） ⇨ (P.178) ・Bookmark（Lモード） ⇨ (P.175) ・Lメール各文書（Lモード） ⇨ (P.166、170)

停電が復旧したとき

- ・停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
 - －消えてしまった情報があるときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。
 - －みんなに送信中に停電したときは、みんなに送信レポートが自動的に出力されます。
- ・停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化され、2001年1月1日0時0分になります。この場合は、時刻を合わせてください。 「時計を合わせる」 ⇨ (P.126)

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア レポート

日本電気

以下の内容が、停電により クリアされました。

メモリ 送信文書

受け付け日時	通信時間	相手先	モード*	枚数	通信結果
4月1日 15時30分	00秒	0612345679	ECM	1	停電

困ったときは (Q&A)

待機中

こんなときは	対処方法
ディスプレイに何も表示されない。	・電源プラグを確認してください。(P.27)
「カバーが開いています」と表示が出た。	・カバーが開いています。(P.208)
「リアカバーが開いています」と表示が出た。	・リアカバーが開いています。(P.208)
「記録カバーが開いています」と表示が出た。	・記録カバーが開いています。(P.208)
「記録紙がつまりました」「カバーを開けてください」と交互に表示が出た。	・記録紙がつまっていませんか？ ・記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。(P.211、213) ・記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください。(P.205)
「普通紙を入れてください」(普通紙モード) 「感熱紙を入れてください」(感熱紙モード) と表示が出た。	・記録紙がなくなっています。(P.26) ・記録紙カセットが外れていませんか？
「インクフィルムがなくなりました」と表示が出た。(普通紙モード)	・インクフィルムがなくなっています。(P.204)
「インクフィルムを取ってください」と表示が出た。(感熱紙モード)	・(感熱紙モードでは不要の)インクフィルムがセットされています。(インクフィルムが取り付けられた状態で)カートリッジを取り外してください。(P.20)

電話 (親機／子機)

こんなときは	対処方法
電話がかけれない。	・回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください。(P.34)
受話器から何も聞こえない。	・受話器のコードが接続されているか確認してください。(P.23) ・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・回線が接続されているか確認してください。(P.34) ・子機を使用中ではありませんか？
ベルの音が小さい(大きい)。	・ベル音量を調整してください。(P.49)
ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない。	・相手がファクスである可能性があります。親機では[スタート/コピー]ボタン、子機では[グループ/ドアホン/内線]ボタンを押したあと[6]ボタンを押してください。(P.83)
相手の声が聞き取りにくい。 ダイヤルしても呼出音が受話口から聞こえない。	・受話音量を調節してください。(P.40、52)
ダイヤルしても呼出音がモニタスピーカから聞こえない。 ワイワイトークのとき、相手の声が聞き取りにくい。	・ワイワイトーク音量を調節してください。(P.42、53)
ベルが鳴らない。	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？(P.49)
ダイヤルしてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる。	・相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、接続されるまでに時間がかかることがあります。(P.142)
電話をかけることはできるが、受けることができない。	・ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ず「利用する」に設定してください。(P.144) ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルラインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルライン設定を「しない」にしてください。(P.157)

こんなときは	対処方法
ワイワイトーク中に「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえた。	・ P.41、52をご覧ください。
トーン（プッシュ）信号の送出しがたは？	・ P.62をご覧ください。
着信ベル／呼出ベルの意味が分からない。	・ P.82、128をご覧ください。
公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた。 また、呼出音が少しおかしいと言われた。	・ P.82、127をご覧ください。
電話をかけたとき、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・ 相手がNTT東日本または西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。(P.142) ・ ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。(P.124)
親機から子機を呼び出せない。	・ 子機を親機に近づけてみてください。 ・ 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・ テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。(P.5、29) ・ 近くで別の子機を使用していませんか？ ・ 子機を充電してみてください。(P.32)

電話（子機）

こんなときは	対処方法
子機から「ツー」という音がしない。 電話がかかけられない。	・ 親機の電源プラグを確認してください。(P.27) ・ [外線] ボタンを押してください。 ・ 子機を充電してください。(P.32) ・ 親機の回線が接続されているか確認してください。(P.34) ・ 親機の回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください。(P.34)
通話中に声のとぎれたり雑音が入る。	・ 親機に近づいてみてください。 ・ 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・ テレビやラジオなどから離れてみてください。 ・ 蛍光灯が近くにあって離してください。(P.5、29) ・ 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してください。
電話をとったが何も聞こえない。	・ 子機を充電してください。(P.32)
ベル（呼出音）が鳴らない。	・ ベルの音量調整が「OFF」になっていませんか？ ・ 着信ベルに休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？(P.130) ・ 親機に近づいてみてください。 ・ 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・ 親機の電源プラグを確認してください。(P.27) ・ 子機を充電してください。(P.32)
通話中にすぐに電池がなくなる。	・ 電池パックを交換してください。(P.214)
ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい。	・ 音量を調節してください。(P.53)
ワイワイトーク中に「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）がした。	・ P.52をご覧ください。
通話中に「ピッピッピッピッピッ」という音が鳴りだした。	・ 電池が残り少なくなっています。充電器に置いて充電してください。(P.32)
充電器に置いたとき、[外線]ボタンと[グループ／ドアホン／内線]ボタンが点灯しない。	・ ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込んでありますか？(P.31) ・ 充電器に正しく置いてください。

こんなときは	対処方法
他のファクシミリの子機をSPL-N10/SPL-N11Wの子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合には指定の増設子機をお買い求めください。
増設した子機が使えない。	・増設した子機に対する識別番号（IDコード）の登録が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。（P.227）

ファクス（コピー）

こんなときは	対処方法
コピーが鮮明でない。	・ハンドスキャナの原稿読み取り面を清掃してください。（P.210） ・当社推奨品の記録紙を使用してください。（P.17）
コピーが白紙になる。	・コピーする面を裏に向けて原稿をセットしましたか？ ・感熱紙モードで普通紙をセットしていませんか？ ・感熱紙の印字面を裏に向けてセットしましたか？
コピーがかすれた。 コピーが薄い。	・読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。（P.75）
コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙が給紙不良です。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。
コピー面の左端が欠ける。	・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のまま、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると左側約2～3 cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。
記録紙の裏面が汚れる。	・記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。（P.212、213）

ファクス（送信）

こんなときは	対処方法
原稿をセットしたのに「原稿がつまりました」の表示が出る。	・いったんカバーを開け、カバーを閉じてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。（P.211） ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。（P.209）
原稿をセットすると「原稿がつまりました」の表示が出た。 原稿が送り込まれていかない。	・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。（P.76） ・ハンドスキャナが外れていないか確認してください。 ・原稿が小さすぎます。ハンドスキャナ(P.90)を使って送信してください。 ・原稿が厚すぎます。ハンドスキャナ(P.90)を使って送信してください。 ・原稿が薄すぎます。ハンドスキャナ(P.90)を使って送信してください。 ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。（P.209） ・原稿送り用ローラを清掃してください。（P.211）
原稿が斜めに入った。	・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。（P.209） ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。（P.76） ・原稿送り用ローラを清掃してください。（P.211）
原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「原稿がつまりました」と「ローラを清掃してください」の表示が交互に出た。	・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。（P.209） ・原稿送り用ローラを清掃してください。（P.211）
原稿が送られず、「無応答 相手先が無応答です」と表示が出た。	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度かけなおしてください。
送信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した。	・相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。

こんなときは	対処方法
何回送信しても「リダイヤル待ち」になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が話中です。 ・ 電話がかけられるかを確認してください。 ・ 手動で送信してみてください。(手動とは、電話をかけて話をして、そのあと双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です)
原稿が送られず、「話し中 相手先が話し中です」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手先が話中です。しばらくしてから、かけなおしてください。 ・ 回線が混み合っています。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。
原稿が送られず、「通信失敗 通信が失敗しました」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。
相手側での受信の状態が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。(P.210)コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・ キャッチホンが入った可能性があります。もう一度送りなおしてください。 ・ 画質モードを変えて送ってみてください。(P.74)
送信した原稿が相手先で白紙になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手先の記録紙が表裏逆になっている可能性があります。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。 ・ 原稿を反対向きにセットした可能性があります。原稿を裏向きにセットして、もう一度送りなおしてください。(P.76)
相手先で受信した原稿に黒いすじが入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。(P.210)コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。
相手先で受信した原稿がかすれた。 相手先で受信した原稿が薄い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。(P.75)
送信に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画質モードの設定を「細かい」や「写真」にしたときは、「ふつう」や「小さい」にしたときに比べ、送信に時間がかかります。(P.74) ・ 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・ 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。 ・ 相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、接続されるまでに時間がかかることがあります。(P.142)
海外への送信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です(手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です)。 ・ らくらく電話帳を使う場合、国際電話番号のあとに、ポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 ・ 海外通信の設定をすると、エコークャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。(P.134)
送ったファクスが縮小された。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手機(受信側)がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの本機を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。(P.72) ・ A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のまま、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。(P.76)
送受信でサイズが違う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿／記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。 ・ 1つ上の項目も参照してください。

ファクス(受信)

こんなときは	対処方法
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・ コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録を止めてください。 ・ 着信モードを「電話専用」に設定しているときは自動受信できません。 ・ 相手先がファクス信号を出さないタイプである可能性があります。受信の操作をしてください。(P.83) ・ 着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。(P.128) ・ 留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。

こんなときは	対処方法
受信した記録紙に黒いすじが入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。コピーにも黒いすじが入るときは、NEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。(P.230)
「しばらくお待ちください」と表示が出たままになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグを入れたまま、しばらくご使用を控えてください。
「通信失敗 通信が失敗しました」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。
「記録紙がつかまりました」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がつかまりました。取り除いてください。(P.205) ・記録紙の給紙不良です。 ・普通紙モードで感熱紙を使用していませんか？
「普通紙を入れてください」(普通紙モード) 「感熱紙を入れてください」(感熱紙モード) と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がなくなっています。 ・記録紙カセットが外れていませんか？
「カバーが開いています」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・カバーが開いています。(P.208)
「記録カバーが開いています」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録カバーが開いています。(P.208)
「リアカバーが開いています」と表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ・リアカバーを閉めてください。(P.208)
受信中に「ピーピーピー」という音が鳴りだした。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手のファクシミリに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。
受信中に「ピー」という音が鳴りだした。	<ul style="list-style-type: none"> ・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙が詰まったか、なくなっています。
受信した原稿が白紙になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・感熱紙の印字面を裏に向けてセットしましたか？ ・相手先の原稿が表裏逆になっていないか確認してください。 ・相手先から後端部分が白い(文字が書いていない)原稿が送られてきた場合に記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。 ・定型受信(P.134)を「しない」に設定している場合には、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。
受信した画像が鮮明でない。	<ul style="list-style-type: none"> ・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。
ファクスかんたん受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクスかんたん受信するように設定されているか確認してください。(P.127) ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断される場合があります。 ・周囲に騒音などありませんか？ ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。[スタート/コピー] ボタンを押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。
記録紙が詰まる。 記録紙が送られない。	<ul style="list-style-type: none"> ・当社推奨品の記録紙を使用してください。(P.226) ・セットできる枚数は30枚までです。 ・記録紙は使い切ってから入れてください。 ・しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。 ・記録紙給紙用ローラ、記録紙送り用ローラを清掃してください。 ・記録紙カセットの奥側斜面を水拭きしてください。
プリントした記録紙が汚れるとき。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙ローラを清掃してください。
ファクスの送信はできるが、受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？ モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいのときは受信できません。

こんなときは	対処方法
海外からの受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。
海外からファクスを受けるときは、常に海外通信を「する」に設定しておく方がよいのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。
メモリーオーバーによる通信異常が多発する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機はファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリー代行受信がはたらくように、いったんメモリーに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリー容量を超えるデータ量の原稿が送られてくるとメモリーオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・不要な用件を消す (P.108) ・メモリー受信を「しない」に設定する (P.135)
A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。
記録紙がなくなったときはどうなるのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がなくなったページからメモリー代行受信します。(P.88)
ファクス情報サービスの取り出しかたは？	<ul style="list-style-type: none"> ・P.84をご覧ください。
子機で出たときのファクスの受信方法は？	<ul style="list-style-type: none"> ・P.83をご覧ください。

留守番電話のとき

こんなときは	対処方法
留守設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。(P.108)
「メモリー残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえた。	<ul style="list-style-type: none"> ・用件がすぐにいっぱいになります。不要な用件を消去してください。(P.108)
留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・トールセイバを「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります（着信モードを電話専用にしている場合の着信ベルは5回です）。(P.126)
留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）。	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタスピーカ音量が「切」になっています。[音量▲ 大] ボタンを押して調節してください。(P.105)
外出先から操作（リモート操作）できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・リモート操作を「する」に設定してありますか？ (P.112)
用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。
留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・着信ベル回数を9回以下に設定してください。(P.128)
留守設定にしているとファクスがメモリーに入ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・記録紙がなくなっていないですか？ (P.26)

ハングスキャナ

こんなときは	対処方法
「ハングスキャナが外れています」と表示が出た。	・ハングスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。(P.91)
ハングスキャナで読み取ると、拡大コピーになる。 ハングスキャナで読み取ると、縮小コピーになる。	・拡大／縮小コピーの設定を確認してください。(P.102)
ハングスキャナでコピーできない。	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？(P.89) ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？(P.91)
読み取り中に「ピッピッピッ…」という音がした。	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。(P.94)
記録位置がズれる。	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。(P.93)
「スキャナのコードを接続してください」と表示が出た。	・ハングスキャナ用コードを接続してから、ハングスキャナをセットしてください。
コードレスで使用時、電池ランプが点灯しない。	・電池が正しく入っていますか？電池が正しく入っているか確認してください。 ・電池の残量がありません。ハングスキャナ用コードを接続してください。 ・ハングスキャナの電池パックを新しいものと交換してください。(P.216)
コードレスで使用時、メモリランプが点滅している。	・ハングスキャナのメモリがいっぱいです。メモリに記憶されている原稿を消去してください。(P.100)
コードレスで使用時、長時間充電してもすぐに電池ランプが点滅する。	・ハングスキャナの電池パックを新しいものと交換してください。(P.216)

いろいろなサービス

こんなときは	対処方法
ポケベル呼び出しができない。	・用件転送がセットされていますか？
キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・P.154をご覧ください。
停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。
ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。
NTT東日本またはNTT西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らす着信ベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにならなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。
ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、子機にかかってきた電話が子機の着信データとして記憶されない。	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。

Lモード

「これ以上保護できません。」と表示が出た。	・これ以上保護できません。すぐに受信メールの保護を解除してください。
「これ以上登録できません。」と表示が出た。	・すでに登録しているBookmarkを削除してください。
「満杯です。」と表示が出た。	・これ以上、登録できません。すぐに登録している画面メモを削除してください。
「パスワードが違います。」と表示が出た。	・パスワードの入力が間違っています。正しいパスワードを入力し、再度アクセスしてください。

接続方法

こんなときは	対処方法
ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。
パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない。	・P.139をご覧ください。
パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない。	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。

その他

こんなときは	対処方法
「原稿がつもりました」と表示されるが、原稿が取れない。	・カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。
スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない。	・親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。
操作を間違えた。	・P.35をご覧ください。

オプション品・消耗品の購入について

オプション品・消耗品は、お近くの販売店か、本機をお買い求めいただいた販売店、もしくはNECフィールドディング（株）（増設子機を除く）でお求めください。電話番号はNEC保守サービス受付拠点一覧（P.230）をご参照願います。

■ オプション品

価格には消費税は含まれておりません。

●増設子機セット

型名	標準価格	備考
SP-ZK12	19,000円	漢字表示

■ 消耗品

価格には消費税は含まれておりません。

●インクフィルム

型名	サイズ	標準価格
SIF-A4040	A4/40m	1,200円

●電池パック（コードレス子機用）

型名		標準価格
SP-N1	ニカド電池	1,600円

●電池パック（ハンドスキャナ用）

型名		標準価格
NB-R72G	ニカド電池	2,400円

推奨消耗品

推奨消耗品は、お近くの販売店か、本機をお買い求めいただいた販売店でお求めください。

記録紙は推奨紙のご使用をお勧めします。

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合も、A4サイズ、紙厚0.07 mm～0.09 mmで表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙をお使いください。

※このページの紙の厚さは約0.08 mmです。

●推奨紙

型名	サイズ・数量
普通紙	
FUJIFILM 熱転写用紙 ファクス用普通紙 FAX A4×100	A4・100枚
感熱紙	
FUJIFILM Economy リボン不要のワープロ用感熱紙 EC A4×100 C	A4・100枚

子機の増設

別売の子機を増設できます。増設する子機は、別途本機をお買い求めいただいた販売店でお求めください。

- 増設できる子機 : 必ず下記の型名をご指定ください。
指定以外の子機はご使用になれません。

型名	標準価格
SP-ZK12 (漢字表記)	19,000円

価格には消費税は含まれておりません。

- 増設できる台数 : SPL-N10は最大3台まで、SPL-N11Wは最大2台まで子機を増設
できます (付属の子機と合わせて合計4台)。
- 識別番号の登録 : ご使用前に識別番号 (IDコード) の登録が必要です。
登録には、増設する子機と親機が必要です。詳しくは、販売店にお問
い合わせください。
- 子機を増設すると : 親機から子機を指定して、内線通話ができます。
子機どうしで内線通話ができます。
※SPL-N10の場合、子機どうしの内線通話はトランシーバー方式
の簡易子機間通話となります。双方向の通話はできません。
子機から子機へ外線電話を転送できます。

お客様ご相談窓口などのご案内

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの

【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257（幅）×1000（長さ）mm 最小：128（幅）×128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙、感熱紙 ・A4サイズ（210×297mm） ・厚さ0.07～0.09mm
記憶容量*1	A4（700文字程度）の原稿で約20枚（最大30文書）
有効読取幅	250 mm（B4） 208 mm（A4）
有効記録幅	205 mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査または ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査：8画素/mm 副走査：15.4本/mm（細かい）、 7.7本/mm（小さい）、3.85本/mm（普通）
通信モード	G3/ECM
通信速度	14 400/12 000/9 600/7 200/4 800/2 400 bit/s
電送時間*2	ECM約8秒
記録方式	・感熱記録方式 ・熱転写記録方式
適用回線	一般加入電話回線、ダイヤルイン回線・NCC回線
自動受信	有（ファクス/電話自動切替機能内蔵）
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	待機時*3：SPL-N10の場合：約2.3W ：SPL-N11Wの場合：約2.4W 最大時：約100W 送信時：約17W（標準的原稿） 受信時：約18W（標準的原稿） コピー時：約27W（標準的原稿）
直流抵抗	285Ω（20mA）
外形寸法	333（横幅）×343（奥行き）×184（高さ）mm （突起部を除く）
質量	約4.9kg（記録紙インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5～35℃、湿度：35～85%
推奨環境	温度：15～30℃、湿度：35～70%

子機

使用可能距離	見通し距離約100m
電源 （子機）	DC2.4V （専用ニカド電池使用）
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間*4 連続通話時：約7時間
外形寸法	48（横幅）×44（奥行き）× 180（高さ）mm（突起部を除く）
質量	約180g（電池パックを含む）

〈充電器〉

外形寸法	66（横幅）×100（奥行き） ×83（高さ）mm
質量	約110g （子機充電器用ACアダプタを除く）
消費電力	約1.0W（充電時）
電源	AC100V 50/60Hz （子機充電器用ACアダプタを使用）

・充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2、固定：1

*1 記憶容量は、留守電の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。

*2 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85 line/mm）で高速モード（14 400 bit/s）で送った場合の速さです。これは画像情報みでの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手の機種、回線状態により異なります。

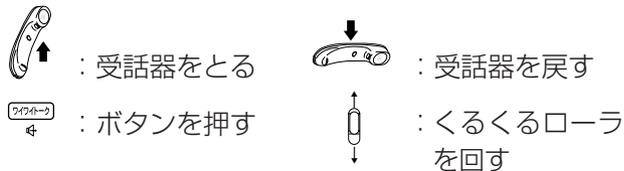
*3 待機中しばらくしたときの消費電力です。

*4 待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には待受時の電池持続時間が短くなります。

■ 外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
■ 本機を設置する場所がNTT東日本またはNTT西日本の支店・営業所（交換機）から離れていると、使用できないことがあります。NEC保守サービス受付拠点にご相談ください。⇒（P.230）

操作早わかりガイド

親機の使いかた



電話	
電話をかける	相手先番号 → 通話 → 受話器を戻す
ワイワートクでかける	[ワイワートク] → 相手先番号 → 通話 → [ワイワートク]
リダイヤルする	[リダイヤル] → 受話器を戻す → 相手先を選ぶ → 通話 → 受話器を戻す
電話を受ける	着信音 (ベル) → 受話器をとる → 通話 → 受話器を戻す
保留する	通話中 → [保留/内線] → 受話器を戻す
通話に戻る	保留中 → 受話器をとる → 通話
子機で話す	保留中 → [子機] → 子機で通話
外線転送子機へ	外線と通話中 → [保留/内線] → 内線番号* → 子機と通話 → 受話器を戻す <small>※子機が出ないときは [保留/内線] ボタンを押します。</small>
<子機>	親機からの呼出 → [子機] → [グループ/内線] → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	[保留/内線] → 内線番号* → 子機と通話 → 受話器を戻す
<子機>	親機からの呼出 → [子機] → [グループ/内線] → 親機と通話 → 子機で通話
電話帳でかける	受話器をとる → 相手先を選ぶ → 通話
通話録音	外線と通話中 → [ファンクションボタン [録音]] → 録音 → [ストップ]
録音内容を聞く	[再生] → 再生 → [ストップ]
	※外線と通話中に [再生] ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手と一っしょに聞けます。

電話	
音量調整	待機中 → [ベル音量] → 小 → 中 → 大 → 切 ワイワートク音量 → [ワイワートク] → 小 → 中 → 大 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 受話音量 → 通話中 → 小 → 中 → 大 → 小 → 中 → 大 モニタースピーカ音量 → 用件再生中 → 小 → 中 → 大 → 切 → 小 → 中 → 大
トーン信号を送る	外線と通話中 → [トーン] → 以後のダイヤルはトーン (プッシュ) 信号で送出される
キャッチホンの利用	外線通話中 → 「ブルル・プップ」 → [ファンクションボタン [キャッチ]] → 次の人と通話 最初の人と通話 ← [ファンクションボタン [キャッチ]]

ファクス/コピー	
画質モード	[ファンクションボタン [画質]] → ふうふう → 小さい → 細かい → 写真
自動送信	原稿セット → 相手先番号 → [スタート]
電話帳で送信	原稿セット → 相手先を選ぶ → [スタート]
手動送信	原稿セット → 相手 → [スタート] → 相手先番号 → 通話 → 相手を受信操作 → [スタート] → 受話器を戻す
複数の相手先に送信	原稿セット → 相手先を選ぶ → [ファンクションボタン [宛先選択]] → 最大10件までくり返し → [ファンクションボタン [選択終了]] → [スタート]
手動受信	着信音 (ベル) → 受話器をとる → 「ポー・ポー…」 → 「ファクシミリを受信します…」 → 受話器を戻す 着信音 (ベル) → 受話器をとる → 「ポー・ポー…」 → [スタート] → 受話器を戻す 通話中 → 相手を送信操作 → 「ポー・ポー…」 → [スタート] → 受話器を戻す
コピー	原稿セット → [スタート] → (複数部コピーするときには部数を指定) → [スタート]

HANDSCANNER	
準備 (コードをつけたまま)	HANDSCANNERを外し、原稿の上に置く → 画質選択 → コピーまたはファクス (下記へ)
コピー (コードをつけたまま)	準備 (上記から) → [スタート] → 読み取り → [スタート/ストップ] → HANDSCANNERを戻す
ファクス送信 (コードをつけたまま)	準備 (上記から) → 相手先番号 → [スタート] → 読み取り → [スタート/ストップ] → [1] → HANDSCANNERを戻す
準備 (コードレス)	HANDSCANNERを外したあとコードを外し、原稿の上に置く → 画質選択 → コピー (下記へ)

*内線番号 ・ 付属の子機…内線2 ・ 増設子機…1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5
 ・ 全ての子機を一斉に呼ぶとき…「*」
 **SPL-N11Wでは内線3も付属の子機となります。

ハンズキャナ	
コピー (コードレス)	準備 (上記から) → スタート/ストップ → 読み取り → スタート/ストップ → 動作中のランプの消灯を確認する → コードを取り付けてハンズキャナを戻す
メモリに記憶されている原稿を送る (親機)	ファンクションボタン [機能] → [7ハンズキャナ] を選ぶ → [1.メモリ送信] を選ぶ → 送信するページを選ぶ → (指定ページを送信するときには送信ページを指定) → 相手先番号 → スタート
メモリに記憶されている原稿をプリントする (親機)	ファンクションボタン [機能] → [7ハンズキャナ] を選ぶ → [2.メモリ表示] を選ぶ → プリントするページを選ぶ → ファンクションボタン [印刷]
メモリに記憶されている原稿を消す (親機)	ファンクションボタン [機能] → [7ハンズキャナ] を選ぶ → [3.メモリ消去] を選ぶ → ファンクションボタン [はい]

留守電	
留守の設定/解除	留守
用件の再生	再生 → 再生 ※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です。」のあとファンクションボタン [消去] を押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 → ファンクションボタン [消去]

子機の使いかた



: 充電器からとる



: 充電器に戻す

○ : ボタンを押す

クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると [外線] ボタンまたは [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押さずに相手と話ができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は [外線] ボタン、内線の場合は [グループ/ドアホン/内線] ボタンを押して、相手と話ができます。

電話	
電話をかける	電話機 → 外線 → 相手先番号 → 通話 → または 外線
リダイヤルする	電話機 → 機能 → 相手先を選ぶ → 外線 → 通話
電話を受ける	着信音 → 電話機 → 外線 → 通話 → または 外線
保留する	通話中 → 保留 → 外線 または 電話機 → 通話
通話に戻る	保留中 → 電話機 → 外線 または 保留 → 通話
親機で話す	保留中 → 親機 → 親機で通話
転送	親機へ 外線と通話中 → グループ/ドアホン/内線 → 1番 → 親機と通話 → または 外線
<親機>	子機からの呼出 → 子機と通話 → 外線と通話
他の子機へ	外線と通話中 → グループ/ドアホン/内線 → 内線番号* → 転送を伝える → または 外線
<子機>	子機からの呼出 → グループ/ドアホン/内線 → 相手の声を聞く → 外線と通話
内線通話	電話機 → グループ/ドアホン/内線 → 1番 → 親機と通話 → または グループ/ドアホン/内線
<親機>	子機からの呼出 → 子機と通話 → 親機と通話
簡易子機間通話 トランシーバー方式 (SPL-N10)	待機中 → グループ/ドアホン/内線 → 内線番号* → 話す → キック → 送受話の切り替え → 聞く → 送受話の切り替え → 話す → キック → または グループ/ドアホン/内線

※送受話を切り替えられるのは、送話側のみです。

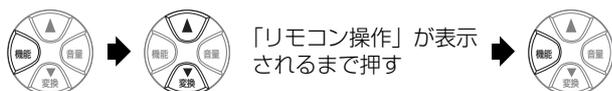
*内線番号 ・ 付属の子機…内線2 ・ 増設子機…1台目:内線3**、2台目:内線4、3台目:内線5

・ 親機と他の子機を一齐に呼ぶとき…「*」

**SPL-N11Wでは内線3も付属の子機となります。

電話	
子機間通話 双方向 (SPL-N11W)	子機からの呼出 → → → 子機と通話 → または →
電話帳でかける	→ → 相手先を選ぶ → → 通話
グループで探してかける	→ → → グループを選ぶ →
素早く探してかける	→ → 相手先の頭文字のダイヤルボタン → → → 相手先を選ぶ → → 通話
通話録音	外線と通話中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → → 録音 → → → →
録音内容を聞く	待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → → 再生 → → →
※外線と通話中に上記の操作を行うと、録音内容や留守電の用件を相手にも聞かせることができます。このとき、再生を止めるには「#」を押します。	
音量調整	受話音量 通話中 → → 「標準」→「大」→「特大」
ベルの鳴/切	待機中 → → 2秒以上押す → 「OFF」→「大」→「小」
トーン信号を送る	電話をかける → → 以後のダイヤルはトーン(ブッシュ)信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「ブルー・ブツツ」 → → 次の人と通話 → → 最初の人と通話 →

“リモコン操作”の選びかた



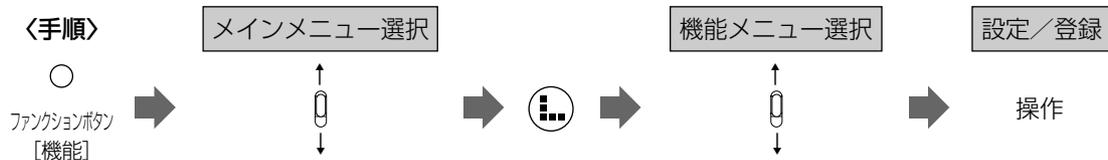
- *内線番号 ・ 付属の子機…内線2 ・ 増設子機…1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5
 ・ 親機と他の子機を一齐に呼ぶとき…「*」
 **SPL-N11Wでは内線3も付属の子機となります。

ファクス	
手動受信	→ 「ポー・ポー…」 → 「ファクシミリを受信します…」 → または
	→ 「ポー・ポー…」 → → → または
	通話中 → 相手が送信操作 → 「ポー・ポー…」 → → →
	または

留守電	
設定	待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に → → →
解除	待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に → →
用件の再生	待機中 → 「リモコン操作」を選ぶ(下記) → 20秒以内に → 再生 → → →
再生中の用件を消去	用件を再生中 →
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 → 「用件は以上です。」 → 「ピッピッピッ…」 → → → →

外出先からの操作 (外線リモート)	
本機に電話をかける	→ # パスワード # → 操作コード(下記)
	————— ブッシュ信号 —————
・ 巻き戻し……………	# 1 #
・ 用件再生……………	# 2 #
・ 早送り……………	# 3 #
・ 用件転送設定…	# 6 1 #
・ 留守設定……………	# 7 #
・ 留守設定解除…	# 9 #
・ 用件消去……………	# 8 #
・ 用件転送解除…	# 6 2 #

機能設定／登録早見表



メインメニュー	機能メニュー	設定／登録内容 ([] はお買い求め時の状態です)	参照ページ
1.リストプリント	1.電話番号リスト	親機の電話番号リストをプリントする	P.45
	2.着信データリスト	親機に記憶された着信データをプリントする	P.146
	3.システムリスト	各種設定内容をプリントする	P.123
	4.通信管理レポート	通信管理レポートをプリントする	P.78、83
2.受信設定	1.着信モード	[電話／ファクス自動切替]、電話専用、ファクス専用	P.127
	2.ベル音・メロディ	[ベル1]、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5、チャイム1、チャイム2、鉄琴、チャルメラ、SL、ひいらぎかざろう、メサイヤ「ハレルヤコーラス」、カルメン「前奏曲」、四季「春」第1楽章、禿山の一夜、自作／ダウンロード1～3	P.129
	3.ファクスかんたん受信	[する]、しない	P.127
	4.着信ベル回数	0～19回、[6回]	P.128
	5.呼出ベル回数	1～19回、[10回]	P.128
	6.音声メッセージ	する、[しない]	P.130
3.設定メニュー	1.背景画面	[自動切替]、ダウンロード画像、朝、昼、夜、非表示	P.136
	2.画面コントラスト	レベル0～レベル15 [レベル4]	P.137
	3.読み取り濃度	レベル0～レベル4 [レベル2]	P.75
	4.発信元記録	[する]、しない	P.125
	5.海外通信	する、[しない]	P.134
	6.保留メロディ	[新世界より「第2楽章」、The Sidewalks Of New York]	P.129
	7.回線種別	プッシュ回線、[ダイヤル回線]、自動回線選択	P.123
	8.ドアホン接続	ドアホン1、ドアホン2、ドアホン1&2、[ドアホンなし]	P.120
	9.子機の受話音量	[標準]、大きい	P.137
	10.子機の送話音量	[標準]、大きい	P.137
	11.不達レポート	[する]、しない	P.136
4.登録メニュー	1.オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディを登録する	P.130
	2.自分の電話番号	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	P.124
	3.発信元	自分の名前（最大40文字）	P.124
	4.ダイヤルイン	する、[しない]、ファクス専用（する、[しない]）、ファクスと電話の番号（4桁）の登録、共通鳴動（する、[しない]）	P.157
	5.時刻設定	年月日と時刻の登録	P.126
	6.電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	P.47
5.留守電機能	1.全用件消去	留守番電話の全用件を消去する	P.109
	2.応答メッセージ録音	応答メッセージの録音（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	P.109
	3.応答メッセージ消去	応答メッセージの消去（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	P.111
	4.トールセイバ	する、[しない]	P.126
	5.リモート操作	する、[しない]、リモートパスワード（4桁）の登録	P.112
	6.用件転送	する、[しない]、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）	P.114

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録内容（[] はお買い求め時の状態です）	参照ページ
6.ナンバーディスプレイ	1.ナンバーディスプレイ利用	[する]、しない	P.144
	(以下はナンバーディスプレイを「する」に設定した場合のみ)		
	2.プライベートコール指定	相手先指定、プライベートコール指定（[全て]、内線番号）、着信鳴り分け指定（[指定なし]、ベル1、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5、チャイム1、チャイム2、鉄琴、チャルメラ、SL、ひいらぎかざろう、メサイヤ「ハレルヤコーラス」、カルメン「前奏曲」、四季「春」第1楽章、禿山の一夜、自作／ダウンロード1～3）	P.150
	3.番号リクエスト	する、[しない]	P.151
	4.着信拒否	[する]、しない	P.149
	5.応答メッセージ選択	する、[しない]	P.149
	6.キャッチホン	する、[しない]	P.153
	7.着信拒否リスト編集	着信拒否リストの登録／確認／削除	P.148
7.ハンズキャナ	1.メモリ送信	[全ページ]、指定ページ、新規ページ	P.97
	2.メモリ表示	[新規読み取りページ]、全読み取りページ	P.98
	3.メモリ消去	ハンズキャナのメモリに記憶されている全文書を消去する	P.101
	4.読み取り記録幅	[A4→A4]、B5→A4、A5→A4、B4→A4	P.102
	5.メロディハンズキャナ	[する]、しない	P.103
8.プリント設定	1.定型受信	[する]、しない	P.134
	2.メモリ受信	[する]、しない	P.135
9.ファクス情報サービス		ファクス情報サービスを取り出す	P.84
10.Lモード設定	1.画像表示設定	[する]、しない	P.201
	2.端末機器自動設定	アクセスポイントの電話番号を自動的に設定する	P.201
	3.センタ番号確認	設定されているアクセスポイントの電話番号を表示する	P.202
	4.電話帳データ送信	電話帳のデータをLモードセンタに送信する	P.203
	5.Bookmarkデータ送信	BookmarkのデータをLモードセンタに送信する	P.203
	6.無通信監視タイマ	01～10分、無監視 [3分]	P.202

索引

アルファベット

ACアダプタ	15
Bookmark	
Bookmarkを削除する	176
Bookmarkを使って接続する	175
Bookmarkデータ送信	202
Bookmarkにタイトルをつける	176
Bookmarkに登録する	175
Bookmarkのデータを Lモードゲートウェイに送信する	203
FAX TO機能	183
INSネットを利用するには	140
Lボタン	13
Lモード	159
Lモード用パスワードを変更する	165
おぼえておいてください	161
こんなことができます	159
接続する	163,173
接続中に電話がかかってきたら	161
切断されたとき	161
切断する	162
操作をやめる	162
使えるようにする	162
ブラウザ(情報閲覧)サービス	159
マイメニュー	164,165
メールサービス	160
Lモードゲートウェイ	159
MAIL TO機能	182
NEC保守サービス受付拠点	230
PHONE TO機能	181
URL	173
URLを入力してホームページに接続する	173
表示されているURLに接続する	182
表示中のURLを確認する	174
WEB TO機能	182

五十音

【ア行】

アース端子	12,27
アドレス	
送信者のアドレスを電話帳に登録する	197
表示されているメールアドレス宛に メールを送る	182
アンテナ	12,34
インクフィルム	11
インクフィルム1本で印刷できる枚数	20
インクフィルムを交換する	204
インクフィルムをセットする	20
インクフィルムの処分方法について	204
インクフィルムの保管について	17
印刷	
システムリストを印刷する	123
着信データリストを印刷する	146
通信管理レポートを印刷する	78
ページやメールを印刷する	184
インターネットのホームページ	
Bookmarkを使ってホームページを見る	175

URLを入力してホームページを見る	173
画面メモに登録する	178
最新の情報に更新する	180
表示されているURLのホームページを見る	182
ページやメールを印刷する	184
マイメニューでホームページを見る	164
液晶ディスプレイ	13,15,16
液晶ファクス	85
液晶ファクスを設定する	85
回転する	88
拡大/縮小する	87
メモリからファクスを消去する	86
メモリに受信したファクスを印刷する	86,87
メモリに受信したファクスを表示する	85
液晶ファクスボタン	13
絵文字	37,229
応答メッセージ	104
自作の応答メッセージを録音する	109
電話帳に登録されている相手にだけ 自作応答メッセージを流す	149
オプション品	226
親機	12
相手の声が聞き取りにくいとき	40,42
外線転送	68
組み立てる	20
電話を受ける	49
電話をかける	40
ドアホン通話をする	119
内線通話をする	63
話をしてからファクスを受ける	83
ベル音量を調節する	49
保留にする	50
文字を入力する	36
モニタスピーカ音量を調節する	105
らくらく電話帳	43
リダイヤル	42
ワイワイトーク音量を調節する	42
ワイワイトークをする	41
オリジナル着信メロディ	130
オリジナル着信メロディを消去する	132
着信メロディを自分で作る	130
メロディ入力のしかた	132
音声メッセージ	
音声メッセージを設定する	130
音量を調節する	
受話音量	40,52
ベル音量	49,60
モニタスピーカ音量	105
ワイワイトーク音量	42,53
音量ボタン	13,15
【カ行】	
海外通信	134
回線種別	34,123
回線接続端子	12,34
外線転送	68
外線ボタン	15
外線リモート	112
外出先から用件転送を解除する	116
外出先から留守を設定する	113

外出先から留守番電話の用件を聞く	113
外線リモートを設定する	112
外線リモート操作コード表	114
ツールセイバ	104
ツールセイバを設定する	126
リモートパスワードを登録する	112
画質を調節する	74
画像表示設定	201
カバー	20
カバー開レバー	12,20
紙づまり	
記録紙がつまったとき	205
原稿がつまったとき	209
画面コントラスト	137
画面メモ	178
かんたん時刻セット	28
かんたん登録	146,147
感熱記録紙	17,26,135
キータッチトーン	138
記号	37,229
機能設定／登録早見表	237
機能ボタン	15
キャッチボタン	15
キャッチホンサービス	154
キャッチホン・ディスプレイ	152
記録紙	17
記録紙をセットする	26
記録紙がつまったとき	205
記録紙の保管について	17
記録紙の向き	26
記録紙モードを設定する	135
記録紙カセット	11,12
記録紙カセットを取り付ける	27
記録紙スタッカ	12
記録紙排出口	12
クイック通話	51
クイック通話を設定する	139
グループ／ドアホン／内線ボタン	15
くるくるローラ	13
原稿	
画質を調節する	74
原稿をセットする	76
原稿がつまったとき	209
原稿について	72
原稿の色	73
原稿のサイズおよび厚さ	72
セットできる枚数	72
読み取り可能範囲	72
読み取り濃度を調節する	75
原稿セットガイド	12,76
原稿セット台	11,12
原稿セット台を取り付ける	24
原稿挿入口	12,76
原稿排出口	12
原稿読み取り面	14
コードレスハンズキャナ	
コードレスでコピーする	96
コードレスで送信する	97
ハンズキャナ用コードの取り付け／取り外し	92
コールバック	144,145
子機	15
相手の声が聞き取りにくいとき	52,53
外線転送	69,70
キータッチトーンを設定する	138
組み立てる	30
子機を増設する	63,227
子機のベルを優先して鳴らす	138
充電器を壁にかけて使う	33
充電する	32
受話音量を大きくする	137
準備	29
使用可能時間	33
送話音量を大きくする	137
電池パックを交換する	214
電話を受ける	60
電話をかける	51
ドアホン通話をする	120
内線通話をする	63
話をしてからファクスを受ける	83
ベル音量を調節する	60
保留にする	61
文字を入力する	38
用件を再生する	108
用件を消去する	108
らくらく電話帳	54
リダイヤル	53
留守を解除する	107
留守を設定する	106
ワイワイトークをする	52
ワイワイトーク音量を調節する	53
子機優先着信	138
コピー	
コピーの準備をする	74
親機でコピーする	89
ハンズキャナでコピーする	93,96
困ったときは	218
【サ行】	
再生ボタン	13
再読込	180
削除／保留ボタン	15
時刻	28,126
日付／時刻を合わせる	126
自作応答メッセージ	
自作応答メッセージを録音する	109
電話帳に登録されている相手にだけ 自作応答メッセージを流す	149
システムリスト	123
自動送信	77
充電	
子機を充電する	32
ハンズキャナを充電する	25
充電器	15,31
壁にかけて使う	33
組み立てる	31
縮小	
受信したファクスを縮小する（定型受信）	134
受信	82
手動受信	83
着信モード	127
電話専用	127
電話／ファクス自動切替	127
話をしてからファクスを受ける	83
表示されているファクス番号の ファクスデータを受信する	183
ファクスかんたん受信	83,127
ファクス専用	127
メールを受信する	170
メモリ代行受信	88

受信メール	
画面の見かた	171
受信メールを印刷する	199
受信メールを削除する	198
受信メールを返信する	195
特定の受信メールを保護する	194
手動受信	83
手動送信	79
受話音量	40,52
受話器	12
受話器を取り付ける	23
受話器端子	12,23
受話器用コード	12,23
受話口	12,15
仕様	233
消耗品・オプション品の購入	226
スタート/コピーボタン	13
スタート/ストップボタン	14
ストップボタン	13
スピークスあっとらんど (Lモード)	160
清掃	
親機・子機	210
記録紙送り用ローラ	212
記録紙カセット	211
記録紙給紙用ローラ	213
記録ローラ	212
原稿送り用ローラ	211
ハンズキャナ	210
接続 (Lモード)	
Bookmarkを使って接続する	175
URLを入力してホームページに接続する	173
表示されているURLに接続する	182
マイメニューのサイトに接続する	164
接続 (設置)	
アース線の接続	27
アンテナを調整する	34
インクフィルムをセットする	20
親機を組み立てる	20
回線種別を設定する	34
記録紙をセットする	26
原稿セット台を取り付ける	24
子機を組み立てる	30
子機を充電する	32
子機の準備	29
作業の流れ	18
時刻を設定する	28
充電器を壁にかけて使う	33
充電器を組み立てる	31
受話器を取り付ける	23
設置スペースを確認する	19
電源を接続する	27
電池パックを取り付ける	30
電話回線につなぐ	34
電話コンセントを確認する	19
ハンズキャナ用電池パックを取り付ける	24
切断	
Lモードを切断する	162
設置スペース	19
センタ番号確認	202
操作パネル	12,13
操作早わかりガイド	234
送信	
Bookmarkのデータを	
Lモードゲートウェイに送信する	203
相手が話中のとき	78
海外通信	134
記憶された番号に送りなおす	147
自動送信	77
手動送信	79
送信できなかったとき	78
送金の準備をする	74
電話帳のデータをLモードゲートウェイに	
送信する	203
ハンズキャナで送信する	94,97
みんなに送信する	80
メモリに記憶されている原稿を送る	97
送信済メール	
送信済メールを印刷する	193
送信済メールを削除する	192,193
送信済メールを編集して送る	191
送信済メールを読みなおす	191
送話音量	137
送話口	12,15
【夕行】	
待機中	15
ダイヤルイン	155
ダイヤルボタン	13,15
ダウンロード	
サイトから着信メロディをダウンロードする	185
電話帳/Bookmarkデータを	
ダウンロードする	203
端末機器自動設定	201
着信拒否	144,148
着信拒否の電話番号を登録する	146,148
着信データ	144
着信データを消去する	146,147
着信データを着信拒否リストに登録する	146
着信データを使って送信する	147
着信データを使って電話をかける	145,147
着信データを電話帳に登録する	146,147
着信データを表示する	145
着信データリストを印刷する	146
着信データリスト	144,146
着信鳴り分け	150
着信ベル	82,104
着信ベル回数を設定する	128
着信メロディ	
オリジナル着信メロディを作成する	130
かけてくる相手によって着信メロディを変える	150
サイトから着信メロディを入手する	185
着信メロディを設定する	129
着信モード	127
通信管理レポート	78
通風孔	12
通話録音	
通話中の会話を録音する	117
定型受信	134
定型文	
定型文を使って入力する	168
定型文を編集する	200
停電がおきたときは	217
データアップロード	203
電源	
親機の電源を接続する	27
電源コード	12
転送	
外線転送	68
受信メールを他の宛先に転送する	196

【八行】

背景画面	136
パソコンやモデムにつなぐ	139
発信元記録	124
番号リクエスト	151
ハンズフリー通話	41,52
ハンズキャナ	14,24,90
原稿を拡大／縮小する	102
原稿を読み取るときの注意	90
コードをつけたままでコピーする	93
コードをつけたままで送信する	94
コードレスでコピーする	96
コードレスで送信する	97
コードレスで使うとき	96
電池パックを交換する	216
取り付け／取り外し	91
ハンズキャナの準備をする	24
ハンズキャナの設定をする	102
メモリに記憶されている原稿を印刷する	99
メモリに記憶されている原稿を消去する	100
メモリに記憶されている原稿を送信する	97
メモリに記憶されている原稿を表示する	98
読み取り時のメロディを流す／止める	103
ハンズキャナ用コード	12
取り付け／取り外し	92
ハンズキャナ用コード端子	14
ハンズキャナ用電池パック	11
ハンズキャナ用電池パックを充電する	25
ハンズキャナ用電池パックを取り付ける	24
日付／時刻	28,126
日付／時刻を合わせる	126
ファクスを受ける	82
手動受信	83
着信モードについて	127
電話／ファクス自動切替	82,127
話をしてからファクスを受ける	83
表示されているファクス番号の	
ファクスデータを受信する	183
ファクスかんたん受信	83,127
ファクス専用	127
メモリ代行受信	88
ファクスを送る	77
相手先が話中のとき	78
海外通信	134
記憶された電話番号に送ринаおす	147
自動送信	77
手動送信	79
送信できなかったとき	78
送信の準備をする	74
みんなに送信する	80
ファクスかんたん受信	83
ファクスかんたん受信を設定する	127
ファクス情報サービス	84,228
ファクス専用	127
ファンクションボタン	13
ファンクションボタン表示	16
フォワードメール	
受信メールを他の宛先に転送する	196
不達レポート	78
不達レポートの出力を設定する	136
フックスイッチ	12
プライベートコール	150
ブラウザ（情報閲覧）サービス	159
画面上での基本操作	164

接続する	163,173
ブランチ式接続の禁止	19
ベル音量	49,60
ベル音色／メロディ	
かけてくる相手によって着信ベルを変える	150
子機のベルを優先して鳴らす	138
サイトから着信メロディを入手する	185
ベル音色／メロディを変更する	129
変換ボタン	15
返信	
受信メールを返信する	195
ポケットベルの呼び出し	115
保護	
特定の受信メールを保護する	194
保守サービス	230
保留／内線ボタン	13,50
保留にする	50,61
保留メロディ	50
保留メロディを変更する	129
【マ行】	
マイク	13
マイメニューボタン	13
未送信メール	
画面の見かた	187
未送信メールを印刷する	190
未送信メールを送る	186,188
未送信メールを削除する	189,190
未送信メールを編集して送る	188
無通信監視タイマ	202
無鳴動着信	128
無鳴動着信を設定する	128
メールを送る	
受信メールを他の宛先に転送する	196
受信メールを返信する	195
新規メールを作成して送信する	166
表示されているメールアドレス宛に	
メールを送る	182
未送信メールを送る	186,188
メールを作成する	
作成したメールを保存する	169
送信済メールを編集して送る	191
定型文を使って入力する	168
電話帳を使って宛先を入力する	168
未送信メールを編集して送る	188
メールを受信する	
メールを受信して読む	170
メールを読みなおす	172
メールサービス	160
メールボタン	13
メッセージ到着お知らせサービス	141
メモリ残量表示	16
メモリ受信	135
メモリ送信	97
メモリ代行受信	88
メモリアル	81
メモリアルンプ	14
メロディ	
オリジナル着信メロディを作成する	130
サイトから着信メロディを入手する	185
着信メロディを設定する	129
ハンズキャナのメロディを流す／止める	103
保留メロディを変更する	129

文字	
文字の選びかた	36,38
文字の入力のしかた	36,38
文字／写真／消去スイッチ	14
モニタスピーカ	12,15
モニタスピーカ音量を調節する	105

【ヤ行】

用件転送	
転送された用件を外出先で聞く	116
呼出ベル回数	82
呼出ベル回数を設定する	128
読み取り可能範囲	72
読み取り濃度	75
読み取り幅マーク	14
読み取りマーク	14,90

【ラ行】

らくらく電話帳	
送信者のアドレスを電話帳に登録する	197
着信データに記憶された電話番号を	
登録する	146,147
電話をかける	43,54
電話帳を子機に転送する	47
電話帳に登録する	44,56
電話帳のデータをLモードゲートウェイに	
送信する	203
リアカバー	12
リアカバー開レバー	12
リストプリント	
システムリストをプリントする	123
着信データリストをプリントする	146
電話番号リストをプリントする	45
リダイヤル	42,53
消去する	43,54
リダイヤル表示から電話帳に登録する	45,57
リダイヤルボタン	13
リモート操作	112
外出先から用件転送を解除する	116
外出先から留守を設定する	113
外出先から留守番電話の用件を聞く	113
外線リモート操作コード表	114
トールセイバ	104
トールセイバを設定する	126
リモート操作を設定する	112
リモートパスワードに登録する	112
留守番電話	104
応答メッセージの内容	104
自作の応答メッセージを消去する	111
自作の応答メッセージを録音する	109
用件を再生する	107
用件を消去する	108
留守を解除する	106
留守を設定する	105
留守中にかけてきた相手を確認する	152
留守ボタン	13
留守録着信データ	152
録音	
自作応答メッセージ	109
通話録音	117

【ワ行】

ワイホワイトーク	41,52
ワイホワイトーク音量	42,53
ワイホワイトークボタン	13,15

MEMO

MEMO

本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S.Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

This equipment (including the softwares) has the specifications to be used only in Japan. Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
<http://www.nec.co.jp/kan/>



Ni-Cd

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

故障のときはP.230のNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。

●品番 **SPL-N10**
SPL-N11W

年 月 日

●お買い上げ店

TEL ()

NG-086750-0V05

ND-022788 (J)

静岡日本電気株式会社

2001年 8月 第5版

© NEC Corporation 2001

〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

安全にお使いいただくために—必ずお読みください—

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークス@（アットマーク）SPL-N10/N11W」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。

- ⚠ 危険** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
- ⚠ 警告** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- ❗ (お願い)** ・ この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
- ❓ (ワンポイント)** : この表示は、本機を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

絵表示の例 **⚠ (高温注意)** : △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
: 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

🚫 (分解禁止) : ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
: 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

🔌 (電源プラグをコンセントから抜け) : ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
: 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本機の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対おやめください。

- この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。
- この取扱説明書をお手元に置き、常に本機を最良の状態でご使いいただくための手引書としてご利用ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本製品のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのCompact NetFront®を搭載しています。
Copyright © 1998-2001 ACCESS CO.,LTD.
Compact NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

本製品の日本語かな変換機能はNECビューテクノロジー株式会社と使用契約を締結し、使用しているものです。
Copyright © 1991-2001 NEC Viewtechnology.Ltd.